



近 世 (1643～1867)

元号年	西暦	釧路市史関係事項(関係史料)	関係する日本及び北海道の事項
寛永20	1643	・オランダ船カストリクム号(司令官フリース)が厚岸湾に停泊する。 この来航記でのクスリ・アイヌが厚岸で交易等の叙述及び『松前旧事記』での事件に関する記事中に「クスリ」とあり、文献上「クスリ」という地名の初見とされる。	
正保元	1644	・幕府の編纂した『正保絵図』に「クスリ」の地名が記載される。	
寛文 9	1669	・静内の酋長シャクシャインらが蜂起する。松前藩は乱を鎮圧し、十勝・日高地方を支配下に置く。クスリでも、松前藩前田九郎左衛門の船が事件に巻き込まれ、死傷者が出る。また、オンベツでも死者15名との記録がある。事件のしばらく後に、釧路・厚岸・根室のアイヌらが松前藩に交易の再開を申し出る。 (『津軽一統志』『寛文拾年狄蜂起集書』)	
 <p>【東蝦夷地クスリ場所之図】</p>			
元禄10	1697	・出羽国人佐藤信景らが、阿寒岳の麓オセナムとその南クノリで畑と水田を設け、3年間の収穫に成功したとの伝聞がある。 (『北海道殖民状況報文』、『土性辯』)	
正徳 3	1713	・寺島良安筆の『和漢三才図絵』に「薬ヶ嶽」との記載がされる。	
享保 3	1718	・南部佐井及び江戸霊岸島の船がクスリへ漂流し破船する。	
寛保 3	1743	・釧路場所・白糠場所間で場所荷物抜買事件が起こり、上乘役らが処罰される。(『福山秘府』)	
安永 3	1774	・飛驒屋久兵衛が絵鞆・厚岸・霧多布・国後場所請負人となる。	

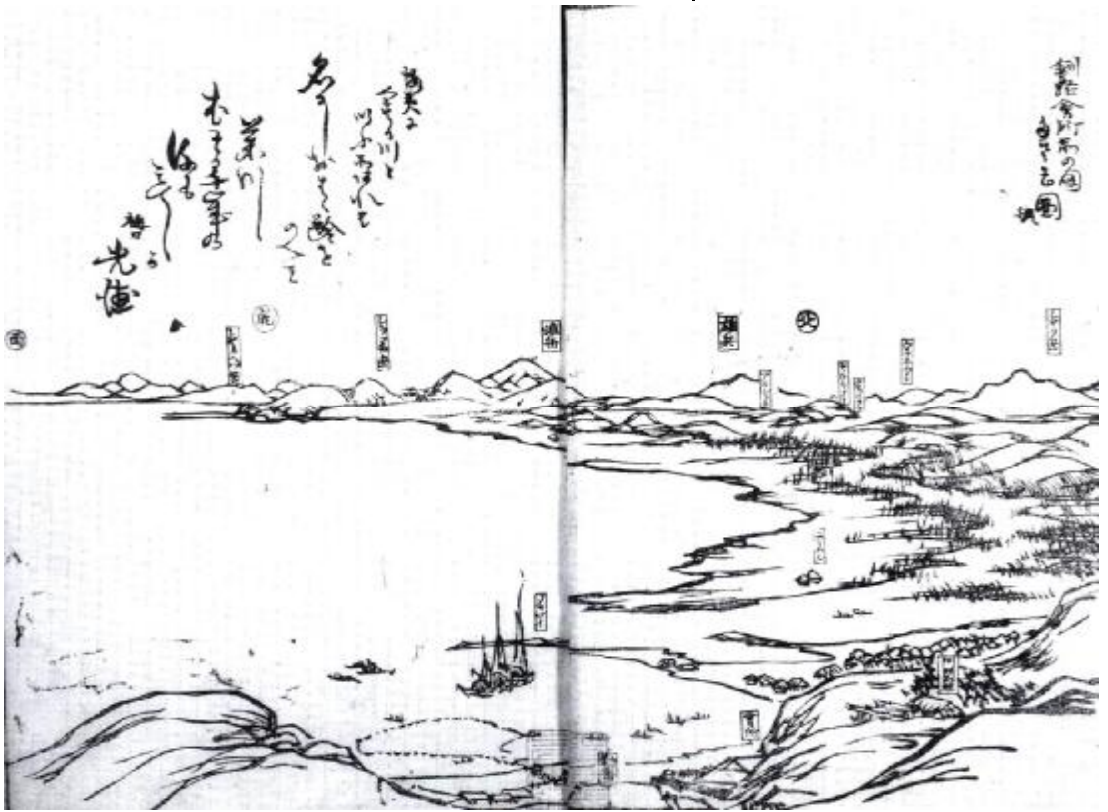
安永 4	1775	・飛騨屋久兵衛が宗谷場所も請負人となる。この頃併せて釧路場所も請負ったとみられる。	
天明 2	1782	・松前広長筆『松前志』に釧路の石炭のことが記される。	・クナシリ・ソウヤのアイヌ800～900人と 権太アイヌ180人餓死
天明 6	1786	・釧路場所での昆布採取が始まる。この頃、釧路に運上屋1戸、 白糠は2戸、厚岸は1戸。 (『北海道開拓使事業報告』、『蝦夷拾遺』)	
寛政元	1789	・松前藩がクナシリ・メナシの乱の責任を問うて飛騨屋の場所請 負を罷免し、村山伝兵衛に請負わせる。	・クナシリ・メナシのアイヌが蜂起
寛政 3	1791	・この年、釧路の昆布生産高は8,000駄、干鮭1,300束といわれ、 厚岸からも昆布を出す。(『東蝦夷道中記』) ・釧路場所の請負人は大黒屋茂右衛門運上金65両、白糠は 大和屋惣次郎運上金75両という。	・寛政4年、ロシア使節ラックスマンが、大 黒屋光太夫ら漂流民3名を伴い根室に 入港して通商要求
寛政10	1798	・襟裳岬のルベシベツ―ビタタヌンケ間の山道が開削され、 釧路までの馬利用が可能になる。	
寛政11	1799	・11月、幕府は東蝦夷地各場所の請負人を廃して直轄とし、運 上屋を「会所」に改め、併せて通行屋を設ける。(『休明光記』) ・釧路運上屋も会所に改められる。 ・釧路―仙鳳趾間の陸路が開削される。(『東行漫筆』) ・尺別旅宿所(番屋)が設置される。	・1月、幕府、東蝦夷地浦河より知床に至 る地域及び諸島の仮直轄を決定 ・箱館に沖ノ口役所設置
寛政12	1800	・伊能忠敬がクスリ場所の測量を行う。尺別・クスリなどの旅宿所 に泊まってニシベツまで行き、帰路に就く。	・八王子千人同心、白糠と勇払に屯田
			
<p>【寛政11年ころの尺別】 『蝦夷奇勝図巻』 寛政11年:谷元且画</p>			
		・幕吏原胤教の部下が雌阿寒岳の硫黄を試掘する。(『北海道 殖民状況報文』)	
享和 2	1802	・白糠場所は釧路場所に編入され、旧会所は釧路場所の番屋 となる。(『東行漫筆』) ・箱館奉行がアブタ・アカン山以外の蝦夷地材伐出しを禁ずる。	・2月、蝦夷地奉行が設置され、5月に箱館 奉行と改称

<p>文化 2 1805</p>	<p>・米屋孫兵衛(初代孫右衛門)が初めて釧路場所請負人となる。</p> <div style="text-align: center;"> <p>佐野家系図</p> </div> <div style="text-align: right;"> <p>佐野家相続図</p> </div> <p>【佐野家系図・相続図:「孫右衛門」を名乗るのは三代目勝三郎以降】</p>	<p>・巖島神社が米屋孫兵衛により真砂町に造営される。</p>
<p>文化 4 1807</p>		<p>・幕府、松前氏を転封し、蝦夷全島を直轄</p>
<p>文化 5 1808</p>	<p>・仙鳳趾―厚岸間の陸路が開削され、釧路―厚岸間が全通する。 ・この年、釧路場所の出産高3,964石余という。</p>	<p>・間宮林蔵・松田伝十郎ら樺太を探検</p>
<p>文化 6 1809</p>	<p>・釧路場所の蝦夷家数309軒、1,384人を数え、出稼ぎのため住居を離れている者が目立つという。『東行漫筆』</p> <div style="text-align: center;"> <p>【文化7年頃のクスリ会所(『東蝦夷地より国後へ陸地道中繪圖』)</p> </div>	<p>・樺太を北蝦夷地と改称</p>
<p>文化 8 1811</p>	<p>・露国ディアナ号艦長ゴローニン、蜜入国の咎により国後島で捕えられ、陸路福山へ護送される。(釧路を通過)</p>	
<p>文化 9 1812</p>	<p>・東蝦夷地各場所の直轄を廃し、場所請負制に復することとして入札が行なわれ、釧路場所は請負人に川内屋長十郎、近江屋九十郎、運上金1,355両2分と決まる。</p>	

文化10 1813

・場所請負制が復活するが、東蝦夷地の運上屋は、従来どおり「会所」と呼称される。

・高田屋嘉兵衛の仲介によりゴローニンら箱館で釈放



【釧路会所の図(『東蝦夷日誌』)]～釧路港の原風景が描かれている。

文政 4 1821

・この年、釧路場所の荷物積出高**3,964**石余という。(『久寿里場所引渡一件書物』)

・幕府、蝦夷地を松前藩に還付し、松前奉行を廃止

文政 5 1822

・米屋儀兵衛(二代目孫右衛門)が運上金**450**両で釧路場所請負人となる。

天保元 1830

・御城米船・虎寿丸が、バシクルに漂着し破船する。

天保 3 1832

・三代目米屋孫右衛門(勝三郎)が場所請負人を継承する。

天保14 1843

・釧路勤番の配置は、頭役士**1**人・騎従士**1**人・足軽**4**人・在住**18**人、鉄砲**200**目**1**挺・**100**目**1**挺・**10**匁**3**挺・**5**匁**5**挺、手槍**10**筋。
・奥蝦夷で巨大地震が発生し、死者**46**人を出す。釧路では、**5**メートルの大津波が**2**回記録される。

弘化 2 1845

・松浦武四郎初めて東蝦夷地を旅し知床へ至り、釧路に立寄る。

嘉永 6 1853

・釧路場所のアイヌ人口は**1,298**人という。(『東蝦夷日誌』)




安政元 1854

・日米和親条約締結。箱館奉行開庁

安政 2 1855

・釧路場所は仙台藩の警備地となり、厚岸「調役在勤」詰合が統轄する。
・四代目米屋孫右衛門(喜与作)が場所請負人を継承する。

・幕府、松前周辺以外の蝦夷地大部分を直轄し、東北諸藩が蝦夷地警備
・外国船に薪水食料供給のため箱館開港

安政 3	1856	<ul style="list-style-type: none"> ・ 釧路の庄屋晴一郎ことメンカクシが、ニシベツ川筋の漁獵権につき、厚岸詰合へ根室アイヌを訴える。 ・ 箱館奉行がオソツナイで石炭を採掘する。(年内に中止) ・ 松浦武四郎が再度釧路に立寄る。この時の旅行記として『武四郎廻浦日記』が著されている。  <p style="text-align: center;">【松浦武四郎】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幕府、函館奉行の白糖炭坑開発を承認(翌年、採炭開始)  <p style="text-align: center;">【白糖石炭窟(『東徼私筆』)】</p>
安政 4	1857	<ul style="list-style-type: none"> ・ 釧路場所のアイヌ人口は、247戸1,324人という。(玉虫左太夫『入北記』) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 箱館奉行、蝦夷地に稼方として渡来する者の入役金を免除
安政 5	1858	<ul style="list-style-type: none"> ・ 松浦武四郎が最後の蝦夷地調査で、3度目のクスリ場所来訪。阿寒方面を調査し、尺別にも滞在する。(『久摺日誌』)  <p style="text-align: center;">【『久摺日誌』外の松浦武四郎著作】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 箱館奉行、永住願う者の越年役を免除 ・ 日露修好通商条約締結
安政 6	1859		<ul style="list-style-type: none"> ・ 箱館開港、運上所設置
万延元	1860	<ul style="list-style-type: none"> ・ 釧路場所は変わらず直領地で仙台藩警備とされる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東北6藩、蝦夷地を分領支配
文久 3	1863	<ul style="list-style-type: none"> ・ 米屋が大謀網を開発し、漁獲量を増大させたという。 ・ このころ釧路場所の生産高は、昆布5,563石、ノ粕1,413石。 	

慶応4年・明治元年(1868)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
5		1 箱館裁判所開庁(7.17、箱館府と改称)
8	<p>… 佐賀藩などが蝦夷地開拓(分領)を出願する。</p> <p>【佐賀藩からの開拓出願書類】</p>	
9		8 明治と改元、一世一元の制

明治2年(1869)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
5		18 五稜郭の榎本軍降伏、箱館戦争終結
6		17 版籍奉還
7		8 官制改革(二官六省の制)、開拓使設置
8	<p>15 釧路国釧路郡の名称が定められる。</p> <p>17 佐賀藩が釧路国の厚岸、釧路、川上三郡支配を命ぜられる。</p> <p>『使省藩士族寺院管轄図』 (佐賀藩管轄図)</p>	<p>15 蝦夷を北海道と改称、11ヶ国86郡画定</p> <p>… 諸藩・省・士族・寺院等に北海道の分領支配を委託(根室・札幌等は開拓使直轄)</p>
9	<p>14 白糠・足寄・阿寒3郡が兵部省の支配地となる。(翌3年5月、福山藩支配となる)</p>	28 開拓使、場所請負制度廃止を布達(10.29、漁場持と改称して当分従前どおりの布達)
10		… 根室開拓史出張所開設
(この年)		(この年)
	<p>… 佐野孫右衛門が駅通取扱人として人馬継立、荷駄送、海上輸送を一手に任せられる。</p>	


明治3年(1870)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
2	・佐賀藩が、漁場持の厚岸・榊富右衛門と釧路・佐野孫右衛門に対し、漁場1ヶ所につき移民5戸の召募を諭達する。	
3	12 会所の名称を廃し、本陣と称する。	
5	<ul style="list-style-type: none"> ・阿寒郡と白糠郡が福山藩の支配地となる。 ・漁場持佐野孫右衛門が174戸・637人の移住者を渡島・青森・秋田より招募し、知人・弁天ヶ浜から仙鳳趾へ至る海岸に定住させたと佐賀藩に報告する。 <div style="text-align: center;">  <p>【四代目佐野孫右衛門(喜代作)】</p> </div>	
9		19 政府、平民に苗字使用許可
(この年)		(この年)
		・榊富右衛門、厚岸・浜中に移民61戸・163人

明治4年(1871)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
5		・札幌に開拓使庁設置、函館・根室開拓使出張所を出張開拓使庁と改称
6	<ul style="list-style-type: none"> ・阿寒郡、白糠郡が開拓使の管轄下に入る。 ・佐野孫右衛門が漁場経営不振等のために経済的破綻をきたし、漁場持を辞退して函館へ退去する。この後、佐賀藩が直掬を行なう。(肝煎:石川吉四郎、手代:豊嶋庄作) 	
7	・佐賀藩が困窮漁民へ米・塩・味噌等の貸付けを始める。	14 廃藩置県断行
8	10 佐賀藩の農工移民286名が釧路国(厚岸・浜中・釧路)に移住する。 ・分領支配廃止により、佐賀藩が釧路国の支配を罷免される。	20 開拓使、分領支配を廃止、全道を直轄 28 政府、穢多・非人の称を廃する布告
12		19 根室・函館・札幌・宗谷・浦河・樺太に出張開拓使庁を設置、管轄国郡を画定
(この年)		(この年)
	<ul style="list-style-type: none"> ・佐野孫右衛門が米町に巾4間、延長27丁の道路を開削する。 ・流氷害のため昆布が全滅する等、漁業生産がふるわず、佐野の移民事業が困難を窮める。 ・工部省が釧路オソツナイで石炭鉱を再開する。(分領罷免で中止) ・米町で小笠原儀蔵が飲食料理店兼貸付座敷を開業する。 	・開拓使、札幌に農業試験場開設(通称:札幌官園、明治12年、札幌育種園と改称、偕楽園試験場とも呼ばれた)

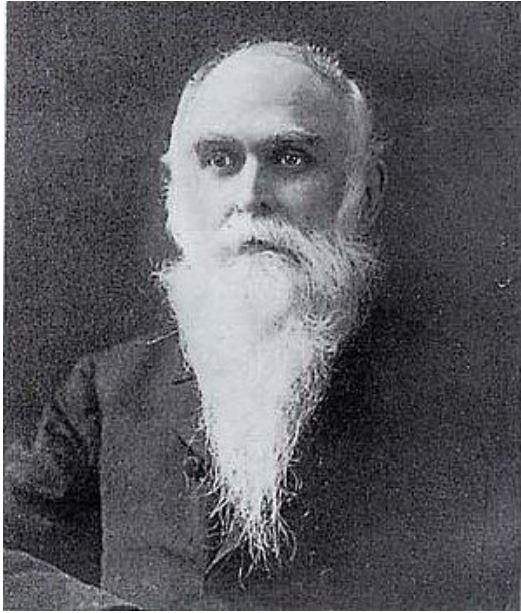
明治5年(1872)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
2	・ 佐野孫右衛門が再び釧路郡漁場持に起用される。	
3	<p>1 開拓使が伊万里県(旧佐賀藩)から厚岸・釧路・川上3郡、福山県(旧福山藩)から白糠・阿寒・足寄3郡を受け取る。</p> <p>15 釧路・白糠・阿寒・川上・足寄の5郡が、開拓使の釧路詰役人の管轄地域と定められる。</p> <p>20 根室出張開拓使庁管内の村名が定まり、イカリ・ヌサマイ・オダイト・オニップ・ウラリマイ・イヨロト・ハルトルを併せて釧路村と称する。</p>	
4	<p>15 伊万里県から厚岸・釧路両郡に移住した移民が根室出張開拓使に引き継がれる。</p> <p>28 佐野孫右衛門が、釧路・白糠郡戸長(川上・阿寒・足寄郡も兼ねて取扱)に任命される。(歳費20円給与)</p> <p>・ 阿寒郡のシタカラ・テンベツ・ソウシ、白糠郡のシラスカ・ショロの各村名が定まる。</p>	 <p>【佐野の戸長任命状(佐野家文書)】</p>
5	26 伊万里県からの移民165人が札幌に移る。	
8		3 学制発布
9	14 官立釧路病院と官立厚岸病院が開業する。(根室支庁管内で外に根室・別海・泊・振別・紗那・網走・浜中に官立病院が設置される)	14 北海道開拓使庁を札幌本庁と改め、函館、根室、宗谷、浦河、樺太の5支庁設置
12		3 太陽暦採用(この日を明治6年1月1日)
(この年)		(この年)
	<p>・ 開拓使から山林原野を1人10万坪まで払下げて地券が渡され、10年間免税される。(既墾地は7ヶ年の免税とする)</p> <p>・ 桂恋の観音堂で、寺子屋が開かれる。</p>	・ 壬申戸籍の編成開始


明治6年(1873)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1		10 徴兵令公布
6		・ 厚岸海関所開設(襟裳から千島まで管轄)
7	・ 開拓使根室支庁厚岸出張所が開設され、釧路詰役所が同所釧路分局と改称される。	
10	6 厚岸郡紋静から釧路郡重瀾(チプランケウシ)まで3里8町(約12.7km)の新道が開削され、従前仙鳳趾に置かれていた通行屋が重瀾に移される。	
(この年)		(この年)
	・ 開拓使の附属船で函館～根室の旅客、貨物の輸送が行われる。(明治15年の開拓使廃止まで続く)	・ 主に西日本で徴兵令反対の騒擾56件、処罰者多数



明治7年(1874)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1		17 板垣退助らが愛国公党を結成し、「民撰議院設立の建白書」提出
2		1 佐賀の乱(～3.1)
3	10 釧路詰開拓使役人の土屋久礼に阿寒・足寄・網尻の地理調査が命ぜられる。	
5	31 根室支庁が内塾規則を制定し、就学を奨励する。 .. 昆布価格が著しく下落し、根室支庁備金の中から釧路・根室漁業者に漁業資金を貸与(3ヶ年年賦)すると布達される。	.. 開拓使、外務省と協議し北海道諸島沿海漁猟取締心得を公布
7	10 芸娼妓及び貸座敷規則が実施される。	
8	2 釧路川の渡船料が、1人に付き1銭、馬1匹に付き2銭とされる。 4 春鳥沼附近での石炭試堀が許可され、採炭が行なわれる。 13 ライマンが全道の鉱物資源調査で釧路に入る。(『オホツナイヨリ広尾及ビ根室ニ至ル』の報告書)	2 黒田清隆、参議兼開拓長官に任命
	<p>【ライマン】 全道の地質調査を行う中で、オホツナイ(岩見ヶ浜)周辺の炭質の優秀さを指摘した。</p> 	
10		29 津軽海峡海底電信線の敷設工事完了 30 屯田憲兵例則を制定
11	.. 根室支庁がアイヌへの「オムシャ」(特別扶持・救済)を廃止し、一般国民対象の「賑恤規則」による救助を行なうとする。	.. 三菱商会、東京～函館間の定期航路開設
12	1 釧路郵便役所が米町に開設される。(翌8年1月1日に米町郵便局と改称)	12 開拓使、漁場・昆布場の自費新開分は5カ年免税を布達
(この年)		(この年)
	.. 筑前善次郎が雌阿寒丸・雄阿寒丸により函館—釧路間の貨物輸送を始める。 .. 天皇・皇后両陛下の写真が支庁に安置され、三大節当日に一般奉拝が許可される。	

明治8年(1875)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 苫小牧を起点に浦河経由根室までの郵便路線が開設される。(郵便物の通送回数は月6往復) ・ 尺別郵便局が佐野孫右衛門を取扱人として開設される。 	
3	<p>9 開拓使発行の兌換証券と新紙幣との交換が実施される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 根室支庁が天然痘予防規則を制定する。(以降年々春秋2期に種痘が実施される) ・ 根室支庁管内の各郡町村名称が片仮名から漢字に改められる。 	20 東京―北海道間に電信開通
4	<p>30 釧路国釧路郡に米町(コメマチ)、白糠郡に尺別村、阿寒郡に飽別村、足寄郡に足寄村・螺湾村の1町4村が増設される。</p>	14 立憲政体樹立の詔発布
5		<p>7 樺太・千島交換条約調印</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1隊の屯田兵198戸・965人、琴似に入植
6		<ul style="list-style-type: none"> ・ 開拓使、根室牧場を開設
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 根室支庁厚岸出張所釧路分局が同所釧路派出所と改称される。 	29 開拓使、仮学校を札幌に移転して札幌学校と改称(9.7 、開業式)
8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今谷啓助が、春鳥の石炭を御用炭として扱うよう、4月に開拓使へ願い出たが、却下される。 	
9		20 江華島事件
12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 根室支庁厚岸出張所釧路派出所が同所釧路分署と改称される。 	
(この年)		(この年)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 永福法随(藤法隋)を住職とし、佐野孫右衛門によって後の聞名寺となる説教所が設けられ、その境内で寺子屋も開かれる。  <p style="text-align: center;">【聞名寺】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国の小学校数24,225校に達す ・ 官備外国人527人(学術教師144、事務69、技師205、職工36、雑73人)

明治9年(1876)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	10 根室支庁がアイヌに移住・出稼ぎの自由化を布達する。	
2		26 日朝修好条規(江華島条約)調印
3	13 漁場持制度が廃止されることになり、佐野孫右衛門が返上を願い出て許可される。 .. 松前正行寺の説教所(後の大成寺)が開設される。	28 廃刀令布告
4	19 鹿猟仮規則が根室支庁でも公布施行される。	
7	11 旧佐賀藩から釧路郡へ移住した漁民135名に貸し付けられた金品の返済が免除される。 19 根室支庁がアイヌに姓名を用いるよう布達する。	
8	20 鮭漁での「テス網」使用禁止を根室支庁が定める。	5 金禄公債証書発行条例制定 14 札幌農学校開校式挙行
9	8 釧路国が第24大区となり、釧路郡は第2小区で米町・釧路村・桂恋村・昆布森村・跡永賀村・仙鳳趾村、阿寒郡は第5小区で舌辛村・徹別村・蘇牛村・飽別村、白糠郡は第1小区で白糠村・庶路村・尺別村とされる。	8 開拓使、管内大小区画を定める 21 開拓使、漁場持制度を廃し、漁場・昆布場は出願者に割渡す旨を布達
10	20 佐野孫右衛門がアトサプリの硫黄鉱試堀を出願し、許可される。  【硫黄山の佐野事務所】 .. 内務省勸商局産業資金貸付金を得た武富善吉と笠野熊吉が半官半民の広業商会を設立し、北海道産昆布の流通が開拓使から同商会に委託される。  【函館の廣業商會本店】	.. 神風連の乱(24日～)、秋月の乱(27日～)、萩の乱(28日～)など士族の反乱相次ぐ
12		28 北海道の地租、地価の100分の1と定める
(この年)		(この年)
		.. 地租・地価改定に関する農民騒擾26件


明治10年(1877)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
2	19 根室支庁が新開の漁場・昆布場以外の営業出願を差し止める。	15 西南戦争開始
3	12 紗那・浜中・釧路の3分署が廃止される。	
4	14 根室支庁が釧路など11ヶ所に浦役場を設け、浦役人を配置する。	
8		21 第1回内国勸業博覧会、上野公園で開催
12		13 北海道地券発行条例制定
(この年)		(この年)
	<ul style="list-style-type: none"> 海産乾場の私有が認められ、漁業者独立自営の基礎が確立する。 広業商会が大蔵省勸業局の資金により漁民に資本金を貸与し、昆布場などが増加する。(釧路の昆布場は明治10年に96ヶ所、翌11年には175ヶ所) 	<ul style="list-style-type: none"> 全道三角測量図完成 北海道各地にて罐詰伝習実施 コレラ、長崎・横浜から全国に蔓延、死者8,027名


明治11年(1878)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	根室支庁が初めて区入費を賦課する。	7 道内初の新聞『函館新聞』創刊
2	根室支庁が漁業資本金貸与規則を制定する。	
3	26 根室支庁が従前無税の拾い昆布・煎海鼠・布海苔にも課税する。	
4	30 厚岸・釧路・白糠・尺別の駅逋保管馬が、厚岸・釧路・阿寒・川上郡のアイヌの希望者に、1頭3円で払い下げられる。	
5		14 内務卿大久保利通、暗殺
6	28 仙鳳趾に駅逋所が設けられ、厚岸—仙鳳趾間は5里5町(約20km)、仙鳳趾—釧路間は9里12町(約37km)とされる。 【創刊間もない道内初の新聞『函館新聞』に掲載の「開拓使録事」】 	1 東京株式取引所開業 5 開拓使、総代人選挙法及総代人心得布達
7		22 「地方3新法」(郡区町村編成法、地方税規則、府県会規則)公布
8	永福法随(藤法隋)が米町の建物1棟を寄附し、有志の拠金によって仮教場が設けられる。(翌年9月、公立移管し日進学校となる)	7 千島国得撫・新知・占守の3郡、札幌本庁から根室支庁に移管
9	郵便汽船三菱会社が函館—根室間の定期航路を開設する。	
10		20 開拓使、鮭鱒の支川での漁一切禁止、本川でも曳網のみ許可と布達
11		14 開拓使、アイヌの呼称を「旧土人」と布告
(この年)		(この年)
	佐野孫右衛門が硫黄搬出道路の開削に着手する。(明治13年竣工)	札幌で鮭卵人工孵化を試行

明治12年(1879)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	21 釧路郡官立病院が火災により焼失する。	22 開拓使札幌本庁が焼失
3	24 根室支庁が「公立小学校生徒授業料収額規則」を定める。	
4		4 琉球藩を廃し、沖縄県と布告(琉球処分)
6	.. 根室支庁が鉱山学士を釧路に派遣し、石炭・硫黄を調査する。	4 東京招魂社を靖国神社と改称
7		23 開拓使、郡区町村編成法により大小区画を廃し、90郡区・826町村を設定
8	<p>4 焼失した釧路郡官立病院が公立に改められ、釧路国第一公立病院と改称して新築が決まる。(翌月着工、翌13年1月竣工)</p>  <p>院 病 立 公 路 釧</p> <p>【釧路国第一公立病院】 この年1月21日に焼失した官立釧路病院は、翌年釧路国第一公立病院として再建された。</p>	
9	<p>16 米町の仮教場を公立学校に移行し、日進学校が開校される。</p> <p>23 昆布森村に日進学校の分校が仮設される。</p> <p>.. 春採川・大楽毛川に長さ12間の板橋が架設される。</p> <p>.. コレラ予防のための検疫を実施するよう郡役所が布達する。</p>	29 学制を廃し、教育令を制定
10	10 御得稲荷神社が、須貝利吉経営の漁場私祭神祠としてトンケシの地に奉祀される。	
11	5 根室警察署厚岸分署が、釧路国一円を管轄区域として、湾月町に設置される。	25 根室支庁、従前無税の牡蠣・海扇に課税
12		6 函館大火、2,245戸焼失
(この年)		(この年)
	<p>.. 須田徳右衛門が幣舞町で酒の醸造と販売、納谷留蔵が真砂町で菓子の製造販売を、それぞれ始める。</p> <p>.. 函館在留英国商人ブラキストンが釧路で製材を始めるが失敗する。</p> <p>.. 釧路の貸座敷業の営業が9軒(芸妓11人・娼妓22人)を数える。</p> <p>.. この頃市街地の中心は現・法華寺門前より米町交番附近迄と言う。</p>	.. 全国的にコレラが流行(死者10万数千人)

明治13年(1880)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	26 根室支庁官下で、釧路国アイヌを除き、鹿猟が禁止される。	
2	20 昆布森の日進学校分校が独立して、昆布森学校となる。	
4	・ 官立釧路病院が米町波止場十字街に移転し、釧路国第一公立病院として新築され、開業する。	8 区町村会法制定
6	26 根室支庁が、大小区制を廃し、郡役所・戸長役場を開庁する旨布達する。(釧路国は厚岸郡役所の管轄) ・ 日進学校が佐野孫右衛門寄付の建物(現・武富私道の位置)に移転する。	16 札幌新聞創刊(45号で廃刊)
7	15 厚岸外5郡(釧路・白糠・阿寒・足寄・川上・)役所が厚岸に置かれ、米町に釧路戸長役場が開庁する。(米町・釧路村・桂恋村を管轄) 元・佐野家支配人で呉服屋の樋口雄蔵が初代戸長となる。 ・ 厚岸郡長より、適正な売買を行なうため量目の換算を一定にするよう布達がなされる。	
9	・ 根室支庁が小学校則、変則小学教則を公布する。(日進学校は変則小学教則による)	
10	20 令闡寺(大正2年、法華寺に改称)が寺号公称を許される。 ・ 佐野孫右衛門が硫黄搬出の為に着工した道路約27里余(雪裡よりアトサヌプリに至る)を開通させる。	
11		5 官営工場払い下げ概則制定 28 手宮一札幌間鉄道が開通
12		・ 厚岸で広業商会木挽機械場開業(明治16年、赤字経営で閉鎖)
(この年)		(この年)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開拓使が地方土産物の自由売買を認める。これを機に、函館の海産仲買商の進出が見られる。 ・ 広業商会支配人の武富善吉が佐野孫右衛門の漁場一切を買収し、武富安太郎を代理人、福富甚吉を支配人として、事業の拡大を図る。(昆布場243ヶ場、鮭場29ヶ統、昆布2万8千余石、鮭4千石、鰯2千3百石と、生産高が飛躍する) <p style="text-align: center;">【武富善吉】 「かの佐野孫右衛門を釧路開発の創始者なりとすれば、君は佐野氏の事業を継承して更に之を大成したる者・・・釧路の開発の先覚者なり」(『釧路人物評傳』)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金銀正貨海外流出の為、正貨準備高が紙幣流通高の5.7%へ低下(明治5年約21%)
		




明治14年(1881)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1		26 東京神田より出火、焼失 11,000 戸
3	7 医師の巡回によるアイヌへの施療は無資力の者以外有料にする と、郡役所が布達する。	・紙幣整理(金貨1円を紙幣1円 93 銭、4月に 銀貨1円を紙幣1円 79 銭)
4	18 公衆浴場の浴室・板の間に男女を区分する改作をすべしと、郡役 所が布達する。	
5	22 釧路村で火災が発生し、 12 戸が延焼する。	22 小樽大火、焼失 585 戸
6	・根室支庁が管内学校維持方策の確立に関する通達を出す。	
7	8 釧路国網走郡(美幌村外 5 村)が北見国網走郡に編入される。 16 聞名寺が寺号公称を許される。 22 根室支庁が戸数割税徴収規則を布達する。	30 天皇、東北・北海道巡幸に出発(~ 10.11)
8	4 釧路郡米町に取締のため交番所が設けられ、巡查配置の請願が あり、根室支庁より開拓使長官に上申する。(請願巡查の始まり) 4 米町の湯屋より出火し、 9 戸が類焼する。	
10		12 国会開設の勅諭発布 18 自由党結成(総理・板垣退助)



明治15年(1882)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
2		8 開拓使廃止、函館・札幌・根室の 3 県設置
4	1 根室県庁が開庁する。郡役所・戸長役場は従前どおりとされる。	16 立憲改進黨結成(総理・大隈重信)
6	22 北海道 3 県に対する昆布採取資本金 10 万円中 7 万円・漁業資本金 40 万円中 7 万円が、大蔵省から根室県に引継がれる。	
9	・米町・釧路村を割いて、米町の北東に隣接する真砂町ができる。	
10		10 日本銀行開業
11	22 根室県が、釧路・国後に郡役所を設置するよう上申する。(却下)	14 札幌一幌内間の鉄道全通
12	7 厚岸警察署釧路郡米町派出所が開設される。	
(この年)		(この年)
<ul style="list-style-type: none"> ・張江豊治が真砂町で味噌、醤油の小売店を開業する。 ・中戸川平太郎が西幣舞で50町歩の土地払下げを受けて馬耕開墾し、小作人20戸ほどの中戸川農場を開く。(大正5年に閉鎖) 		<ul style="list-style-type: none"> ・コレラ大流行、国内死者33,784人
<p>【中戸川平太郎農場】 『北海立志図録』より</p>		



明治16年(1883)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1		29 北海道事業管理局設置(3県1局制)
2	19 厚岸警察署釧路郡米町派出所が同署釧路分署となる。	
3	13 旧土人教育資金1,000円が3県に下賜される。(根室県201円)	
4	30 根室県が小学校則と小学教則を施行し、日進学校がこれに準拠する事となる。	
6	<p>4 根室県が郡町村総代人選挙法と総代人心得を布達する。</p> <p>25 根室県が、赤壁次郎・酒井純明に命じて土族移住地の適地選定を行い、報告により入植地を阿寒川西岸と決める。</p>	<p>・ 3県で移住土族取扱規則制定</p>
<p>【かつて、あばれ川とよばれた「阿寒川」の流路変遷図】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>原阿寒川 (釧路川に合流～大正7年)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>切替阿寒川誕生 (大正7年、釧路川と分離)</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>釧路運河掘削 (昭和10年代初)</p> </div>		
7		2 『官報』第1号発刊
8	2 根室県下アイヌ救済の為、国庫より5,000円5カ年支給が決まる。	
11		28 鹿鳴館の開館式と夜会開催
(この年)		(この年)
<ul style="list-style-type: none"> ・ アイヌ救済下付金について、根室県管内旧土人救済方法を制定し、翌年より勸農事業を実施する。 ・ 釧路郡役所及び鳥取県土族移住用家屋105戸の建築事業が佐々木与兵衛らによって開始される。(明治18年まで) 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 政府、新聞紙条例及び出版条例の改正で言論取締強化


明治17年(1884)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1		26 文部省、中学校通則制定
5	1 根室県が鳥取士族移住予定地を鳥取村と命名するように上申し、 5月29日に内務卿から認可される。	7 戸長公選制を廃し、府知事・県令が選任 26 兌換銀行券条例制定
6	9 鳥取県士族・第1次41戸207人が移住する。1戸につき農耕馬1頭 と農具・食料などが貸与される。	30 文部卿、3県にアイヌ教育資金各2千円下付
	 	
	【鳥取県士族移住図(左)と開村時の鳥取村本籍簿(右)】	
7	.. 釧路村西幣舞に正方形の区画測量が実施される。(1区画30間四方で、 58区画となる)	7 華族令制定
9	16 米町戸長役場が廃止され、厚岸郡役所米町出張所が設置される。 (管轄は釧路郡の内米町・真砂町・釧路村・桂恋村の2町2村と白糠 ・川上・阿寒・足寄の4郡14村、鳥取村は根室県勸業派出所直轄) 25 渡辺活定が寺号公称願を出し、定光寺開山の基礎を作る。	.. 鳥取県外からの士族、岩見沢へ入植開始
10	3 鳥取県令山田信道が鳥取県士族移住地を視察する。 7 米町出張所が釧路出張所と改称される。 25 札幌から根室に至る電信線架設工事が完了し、真砂町(現南大通 7丁目)に釧路郵便局電信分局の局舎が新設されて、一般公衆電 信の取り扱いが始められる。	29 自由党解党
11	.. 大成寺が寺号公称を許可される。	
12	25 白糠・足寄両郡各村戸長役場が白糠村に設置され、尺別村が管 轄下に入る。	14 ソウルで甲申事変 17 大隈重信らが立憲改進黨を脱党
(この年)		(この年)
	<ul style="list-style-type: none"> .. 武富善吉が雌阿寒山の硫黄試掘を許可される。 .. 米町、春採及び茂尻矢の一部で畑地が増加する。 .. 浦見町道路が開かれ、休み坂が開通する。 .. 和船手操漁法が導入される。(3枚はぎ漁船を使用) .. 日進学校が初めて独自の区分による授業料徴収を決める。 .. 永福法随(藤法隋)が根室県令へ教育に関する上申書を提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> .. 清仏開戦のため、清国向けの海産物(昆布)の価格が暴落 .. 群馬事件、秩父事件、加波山事件など各地で農民騒擾167件



明治18年(1885)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 釧路郵便局が3等局に昇格する。 	
5	<ul style="list-style-type: none"> 14 鳥取県士族・第2次64戸306人が移住する。 16 釧路外4郡役所(釧路・白糠・川上・阿寒・足寄郡を管轄)が釧路に設置される。(初代郡長は宮本千萬樹) 	<ul style="list-style-type: none"> 5 屯田兵条例制定(屯田憲兵例則廃止) 9 日本銀行、最初の兌換銀行券発行
7	<ul style="list-style-type: none"> 3 釧路茂尻矢のアイヌ・27戸138人が下雪裡に移住させられ、旧土人救済所が設置される。(阿寒郡初の行政出先機関) 	
8		<ul style="list-style-type: none"> 4 太政官大書記官金子堅太郎、北海道3県を視察(~10月2日)
9	<ul style="list-style-type: none"> 5 釧路郡役所庁舎が新築落成する。 29 日本郵船が函館―根室間の命令航路を引継ぎ、釧路寄港も指定されて、豊島回漕店が釧路での代理店となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 29 郵便汽船三菱と共同運輸が合併、日本郵船会社設立
11	<ul style="list-style-type: none"> 15 釧路集治監が川上郡熊牛村(標茶)に開庁する。 <p style="text-align: center;">【釧路集治監】</p>	
12		<ul style="list-style-type: none"> 22 太政官制を廃し、内閣制度確立
(この年)		(この年)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 釧路郡役所吏員・大島徳右衛門が産土神として小祠(三吉神社の前身)を創立する。 <p style="text-align: center;">【三吉神社】</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ 御得稲荷神社が、トンケン部落の守護神として現在の名称となる。 ・ アトサヌブリの硫黄採掘権と春鳥の石炭試掘権が、佐野孫右衛門より山田慎(名義は山田朔郎)に譲渡される。 ・ 三井銀行根室支店が釧路出張所を開設する。(明治26年閉鎖) ・ 鳥取と釧路の境界に跨る湿地帯が埋め立てられ、幅4間・長さ280間の道路が造られる。(北大通の前身) ・ 厚岸警察署釧路分署が独立して釧路警察署となり、別棟の剣道場で「尚武会」が組織される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝染病流行、赤痢の死者1万627人、腸チフスの死者6,483人、コレラの死者9,310人


明治19年(1886)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1		26 3県1局を廃し、北海道庁設置の布告
2	5 定光寺が寺号公称を許される。	
3	1 根室県が廃止され、根室支庁が開庁する。	2 帝国大学令公布
4		10 小学校令・中学校令・師範学校令公布
5		6 農商務省、漁業組合準則公布
6		25 北海道土地払下規則公布
7	<p>3 日進学校が、米町139番地(現在の弥生2丁目11番)に新築される。</p> <p style="text-align: center;">釧 路 日 進 学 校</p>  <p style="text-align: center;">【釧路日進学校】 移転新築前の校舎は「丸太学校」と呼ばれ親しまれたが、絵図・写真は残っていない。</p> <p>・ 釧路郵便局が、為替貯金事務の取扱いを始める。</p>	13 日本標準時制定
8		<p>8 山県有朋、井上馨外の政・官・財界人が道内長期視察(~9.4)</p> <p>・ 道庁、殖民地選定事業開始</p>
10	<p>・ 鳥取村の2ヶ所に公立簡易教育所ができる。(鳥取小学校と北斗小学校の前身)</p>	
12	<p>28 根室支庁が廃止され、道庁と郡役所が直結となる。</p> <p>・ 武富善吉らが釧路共同牧畜会社を設立し、200万坪の庶路共同牧場を開設する。</p>	28 道庁、郡区長が警察署長、戸長が分署長、郡区書記が警部補を兼任と布告
(この年)		(この年)
	<p>・ 宮本郡長が釧路川架橋を道庁へ提言する。(実現せず)</p> <p>・ 春に、鳥取県土族移住者が村民総会を開き、「移住者申合規約」を根室支庁へ提出する。</p> <p>・ 釧路電信分局は、分局長1名、通信信技手1名、駆使(配達人)2名、モールス機1座であると報告される。</p> <p>・ 越後から来た本間連治・与平の兄弟が、初めて川崎船での岡手繰によるタラ漁を行なう。</p>	<p>・ コレラ大流行、全国の死者10万8,405人・道内死者2,155人</p>


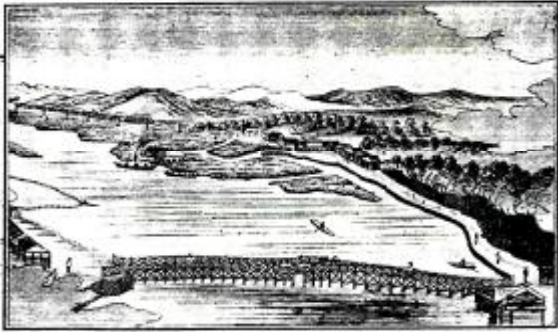

明治20年(1887)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	8 釧路集治監が釧路監獄署と改称される。	
2	<p>・ 安田善之助が春鳥炭山とアトサヌプリ硫黄鉱山を山田慎から譲り受ける。</p>  <p>【釧路村春鳥採炭場ノ景】</p>	
3	31 尺別郵便局が廃止される。(白糠郵便局へ統合)	31 北海道水産税則公布(減税・出航税廃止)
4	<p>7 日進学校が「小学校簡易科教則」による授業を始める。</p> <p>・ 日本銀行根室代理店釧路出張所が開設される。(三井銀行代行)</p>	26 道庁、鉱山事務取扱手続を制定
5	<p>8 函館より聖公会執事の寺田藤太郎が来釧し、初の聖洗式を行なう。</p> <p>13 鳥取村の公立第一簡易教育所の校舎が新築落成し、第一鳥取簡易小学校と改称される。</p> <p>15 同上第二同上が第二鳥取簡易小学校と改称される。(後の北斗小)</p> <p>20 釧路警察署に昆布森分署と白糠分署が置かれる。</p>  <p>【釧路警察署】 釧路警察署となる前は、厚岸警察署釧路分署であった。明治18年に独立し、この年5月18日付の道内各警察署巡査人員配置では12人(根室21人・厚岸10人)とされる。</p> <p>31 鳥取村戸長役場が設置される。(初代戸長は中谷虎雄)</p> <p>31 舌辛村に阿寒郡4ヶ村戸長役場を置くことが布告される。</p>	20 博愛社、日本赤十字社と改称
6	23 釧路外4郡役所が、釧路外11郡役所となり、管轄区域が拡大して十勝国にまで及ぶ。	・ 道庁、英国人技師C・S・メークを招き、2カ年全道港湾調査実施
10	<p>1 宮本郡長が米町・真砂町に丁数(1~3丁)を設け、釧路・幣舞・洲崎・山越・浦見・花生・城山の各町新設を上申する。</p> <p>・ 釧路監獄署と硫黄山囚徒外役所間に私設電話が開設される。</p>	
11	<p>25 標茶—硫黄山間の釧路鉄道が完成し、硫黄運搬が開始される。</p> <p>・ 釧路川に硫黄運搬のため、安田が蒸気船を就航させる。</p> <p>・ メークが釧路港修築設計図を道庁へ提出する。</p>	
12	・ 武富善吉が雌阿寒硫黄の採掘を開始する。	25 保安条例公布、570人に退去命令
(この年)		(この年)
	<p>・ 愛北物産合資会社(本社名古屋)が、真砂町に店舗を設け、魚粕・肥料の売買、酒醸造、米穀商を営む。</p> <p>・ 音別(音別川河口東側)に中村守重が大規模な牧場を開設する。</p>	<p>・ 道庁、旧根室県下アイヌへの農業指導廃止</p> <p>・ 天然痘流行、死者9,967人(道内1,327人)</p>

明治21年(1888)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<ul style="list-style-type: none"> 地元の漁業家や商人により釧路十勝共同汽船会社が設立される。 	22 在札幌・小樽職工有志親睦会開催(道内労働運動の初まり)
3	19 道庁林務課設置に伴い、林務課釧路派出所が開設される。	
4	11 人馬車継立所を釧路、尺別など釧路国内では 9ヶ所 に設けると告示される。	11 道庁、人馬車継立営業規則を制定 25 市制・町村制公布(北海道への適用除外)
5	16 舌辛村外 3ヶ村 戸長役場が下雪裡ピラカコタンに設置され、石井作五郎が戸長に就任する。 21 函館聖公会執事のジョン・バチェラーが来釧し、演説会を開く。	8 枢密院開院式、憲法草案など諮詢
6	30 広業商會が解散する。	
7	5 釧路村を割いて、洲崎・浦見・幣舞の 3町 が新設される。 14 新造船の釧路丸が函館から入港し、祝賀会が開かれる。 26 釧路十勝共同汽船の釧路丸が桂恋海岸で難破する。	29 甲申事変の金玉均、小笠原より札幌へ移送
9	2 監獄署と釧路郡役所間の専用電話が開通する。 <ul style="list-style-type: none"> 日進学校に簡易科(3ヶ年)卒業者の温習科(11ヶ月)が設けられる。 釧路一標茶間の道路が囚人労働により着工される。 	
12	<ul style="list-style-type: none"> 釧路十勝共同汽船が釧一函定期航路の函館丸を買収する。 函館の金森汽船が釧一函定期航路の恵山丸を買収する。 春鳥炭山で大安坑が開かれる。(明治42年廃坑) 	14 道庁新庁舎(赤レンガ)が落成
(この年)		(この年)
	<ul style="list-style-type: none"> 佐々木与兵衛と武富善吉により大川町道路が開削される。 酒井純明が21万坪の土地貸付けを受けて、春鳥農園を開設する。 釧路聖公會が創立され、信者の献金により教会堂を落成する。  <p>【釧路聖公會の第2代礼拝堂(明治37年9月建立)】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 千歳鮭鱒人工孵化場、開設




明治22年(1889)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	29 川上郡役所が独立する。(熊牛村の監獄署内に併置)	22 徴兵令改正公布 (国民皆兵の徹底)
2		11 大日本帝国憲法発布(翌年11.29施行)
4	<p>13 令聞寺(後の法華寺)が米町の現在地に移転する。</p> <p>・ 釧路で最初の中等教育機関である「釧路英和女学校」が、釧路聖公会により米町(現弥生町)に開校する。(校長:ルーシー・ペイン)</p> <p>【日本聖公会釧路英和女学校】</p>  <p>・ 浄土真宗本願寺派教務所(後の本行寺)が創建される。</p>	
5	<p>9 道庁がタンチョウの狩猟を禁止する。(違反者に罰則適用)</p> <p>21 釧路川左岸7,000坪の埋め立て工事が始められる。</p>	・ 日本昆布会社設立
6	・ 春鳥炭山で、大成坑が開かれる。(大正元年まで採炭を行なう)	
7	・ 釧路郵便局が2等局に昇格し、電信分局が独立して釧路2等電信局となる。	<p>1 東海道線(新橋一神戸間)全通</p> <p>31 小樽港、特別輸出港に指定</p>
8	1 釧路郡役所内に釧路測候所が設置される。(11月、標茶に移転)	
9	<p>21 日進学校が尋常科4ヵ年制となる。</p> <p>22 愛北物産合資会社により、釧路川に初めて橋が架設され、愛北橋と呼ばれる。(総工費2,500円、巾2間、長さ120間)</p> <p>圖之橋北愛</p>  <p>【愛北橋】明治31年に落橋した。</p>  <p>【当時の渡し舟の想像図】</p>	・ 根室で『北友』創刊
10	・ 田中彪が舌辛村オシヨナイに石炭鉱区設定を許可される。	13 富山県魚津で米騒動(以後各地で頻発)
11	<p>・ 釧路測候所が熊牛村(標茶)に移転し、釧路二等測候所となる。</p> <p>・ 釧路一標茶間の道路が囚人労働により開通する。</p>	18 北海道炭砒鉄道会社設立
12		・ 函館区上水道工事が完成
(この年)		(この年)
	<p>・ 大楽毛橋が架設される。(大正9年8月の洪水で流される)</p> <p>・ 大楽毛に大内牧場(馬の放牧)が開設される。</p> <p>・ 鳥取村の30才以下の男子50余名が矯士会を組織する。</p>	<p>・ 殖民地地区画測設作業開始</p> <p>・ 道庁、全道の地質調査・産鉱地調査実施(24年『北海道鉱床調査報文』)</p>

明治23年(1890)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
2	<p>15 鳥取村移住士族が「報恩会」を結成する。</p>   <p>【左:報恩会旗 =池田家紋に 鳥取町章。 右:報恩祠堂】</p>	<p>11 金鵒勲章制度創設</p>
4	<p>日進学校で教育幻灯会が初めて催される。</p>	<p>上磯に北海道セメント会社設立</p>
6		<p>屯田兵440戸、厚岸郡太田村に入植</p>
7	<p>釧路監獄署が釧路集治監の名称に復する。</p> <p>鳥取村民が官給品返済の義務を免ぜられ(3月)、勸業資金貸付金で鳥取牧畜会社を設立し、牛の放牧を行なう。</p>	<p>1 第1回総選挙、大同55・改進黨46・愛国35・保守22・九州21・自由17等計300</p> <p>根室の『北友』、『根室新聞』と改題</p>
9	<p>4 日進学校に高等科4ヶ年課程が付設される。</p> <p>私設釧路消防組が組織され、洲崎町に器具配置場が設置される。</p>	<p>御料局、網走御料地内白楊樹(マツチ軸木原木材料)を毎年3万本・10ヶ年払い下げ、山田慎へ特売許可</p>
10		<p>30 教育勅語発布</p>
11	<p>1 釧路区裁判所が設置される。</p>  <p>【釧路区裁判所庁舎】 新築された“裁きの庭” (M42.2.5.落成式)</p> <p>硫黄山―網走間の囚人労働による道路開削が竣工し、釧路―網走間が全通する。</p>	
12	<p>27 釧路港が特別輸出港に指定される。</p> <p>29 釧路―標茶―網走間の電信回線が完成し、3局が接続される。</p> <p>阿寒川第1分水工事(オンネビラ～オタノシケ川)が始まる。</p>	
(この年)		(この年)
	<p>北海道製紙会社(後の前田製紙)が、川上郡の御料林及び国有林の30年間立木払い下げ特売契約を道庁と結ぶ。</p> <p>釧路電信局が電信技術伝修生の養成を始める。</p> <p>私設安田馬車軌道が、沼尻―港頭(知人)間に敷設される。</p> <p>石井・山崎共同牧場がベトマイに開設される。</p> <p>別保に山県勇三郎の山県牧場が開設される。</p>	<p>道内国有林の内、200万町歩を皇室財産の御料林に編入</p> <p>道庁、国有林の立木払い下げを主とした特売制度実施</p> <p>コレラ流行、国内死者35,227人</p>

明治24年(1891)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>12 釧路聖公会在現春採中込りに「春採土人学校」を開校する。 (主任教師ルーシー・ペイン)</p> <p>【春採土人学校】 翌々年、私立春採尋常小学校として認可されたが、そのまま通称された。</p> 	24 釧路港に特別輸出港規則施行の勅令公布
2	<p>10 巖島神社が真砂町から米町に移転・造営される。</p> <p>【当時の巖島神社の鳥居と社殿】</p> 	6 根室有志、道会開設請願の委員選挙 (この他、道内各地から請願多数)
3	28 厚岸・川上両郡役所を釧路郡役所へ統合する。(釧路郡外12郡役所となる)	7 北海道教育会発足 12 自由党発足(総理に板垣退助)
4	23 出雲大社の分霊を勧請して、鳥取神社が創祀される。	
5	18 巖島神社が郷社に列せられる。 20 鳥取牧畜会社により共有鳥取牧場が開設される。	11 大津事件(露皇太子刺傷)発生
7	1 釧路港が特別輸出港となり、函館税関釧路出張所が置かれる。 13 永久保秀二郎が春採土人学校教師として赴任する。 27 釧路集治監が北海道集治監釧路分監と改称される。	27 道庁官制改正、行政官と警察官を分離
9	<p>1 明治22年着工された釧路埼灯台が完成し、初点される。</p>  <p>【釧路埼灯台】 木造八角形で黒白横縞の6等級灯台。</p> <p>.. 宮本郡長が退任し、推原国太郎が釧路郡長に就任する。</p>	1 東京一青森間の鉄道が全通
10	.. オンネビラ(後の山花・美濃)に愛知県等移住者団体が入植する。	28 濃尾大地震(M8.0)、死者7,273人
11	<p>1 釧路ハリストス正教会が開教する。</p> <p>.. 安田善次郎外の6名が株主となり、私設鉄道条例に基づいて硫黄山鉄道を普通鉄道とすべく釧路鉄道会社設立を出願する。</p>	7 北海道電燈、大通西3丁目で営業開始 17 文部省、奉安庫・奉安殿の設置を訓令
(この年)		(この年)
	<p>.. 釧路十勝共同汽船会社が解散する。</p> <p>.. 米町に芝居小屋「成田座」ができる。(後に宝来座、その後大黒座)</p> <p>.. 巡査駐在所が雪裡に設置される。</p>	.. 新渡戸稲造、米国製スケートを持ち帰り、札幌農学校学生らにスケートを奨励


明治25年(1892)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
2	・ 釧路―網走間の電信回線が紋別まで延長される。	15 第2回総選挙、自由94・改進黨38
4	3 金森商船会社の雷電丸が釧路港外で流氷と衝突して沈没する。 (翌月、犠牲者40名の慰霊碑が聞名寺境内に建立される)	
6	・ 貫誠社団休(香川県農業移民)が塘路湖畔に入植する。(砂糖黍の栽培を試みるが失敗に終わり、12月までに一同離散)	1 札幌鉱山監督署開庁 21 鉄道施設法公布
9	8 釧路鉄道会社により標茶―跡佐登間の普通鉄道営業が始まる。	
12	25 釧路―稚内間の電信回線が完成し、6局が接続する。	
(この年)		(この年)
	・ 西端寺の元となる説教所が、現在の米町にできる。 ・ 幌呂―ピリカネツプ―雌阿寒岳間の道路工事が着手される。	・ 道庁、4ヶ年計画の地質調査事業開始 ・ 天然痘流行、死者8,409人(道内1,599人)

明治26年(1893)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	・ 二瓶正惟が釧路郡長に就任する。	
3		25 北垣長官、「北海道開拓意見書」を提出
4	・ 三井銀行の公金取扱代行を廃し、日本銀行根室出張所の釧路派出所が設けられる。 (明治31年12月廃止) 【『北海道実業人名録』(明治27年)】 従来、昭和27年の日銀釧路支店開設までは、釧路への日銀直接進出はなかったとされていた。	
5		22 戦時大本営条例公布
6	・ 雌阿寒硫黄の採掘を細川時太郎が再開する。(明治30年休山)	
8		12 文部省、学校行事用の「君が代」など公示
10	・ 阿寒湖にヒメマス採卵場が設置される。	
12	23 茂尻矢一阿寒太間に釧路橋が架設される。 ・ 鳥取村の原次郎らが初めてユツパナイ(後の桜田)に入植する。 ・ 春採土人学校が道庁認可の私立春採尋常小学校となる。	
(この年)		(この年)
	・ 釧路郵便局で小包郵便の取扱いが始まる ・ 仙鳳趾村ベツジャクベツで炭山が開坑される。 ・ 別保炭山が試掘される。(明治29年、山県炭砒となる) ・ 日進学校が灯台下の付属運動場で運動会を開催する。 ・ 木村藤太が写真屋を開業する。	・ 道庁、鉄道予定幹線図作成 ・ 赤痢全国で流行、死者41,284人 ・ 天然痘流行、死者11,852人(道内954人)


明治27年(1894)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
3	22 根室沖を震源とする大地震が起こり、釧路川沿岸に巾30数 ^丈 、長さ20 ^餘 の亀裂が随所に生じる。(釧路で圧死者1人)	1 総選挙、自由119・改進黨48・国協26 29 朝鮮で東学党蜂起
8		1 清国に宣戦布告(日清戦争開始)
9		1 総選挙、自由105・改進黨45・革新40
12		12 『北海民燈』、『小樽新聞』と改題
(この年)		(この年)
	<ul style="list-style-type: none"> 前田汽船会社が開業し、函館—釧路—霧多布間定期航路を開設する。函館の能登善吉も汽船運航を始め、日本郵船と金森商船も交えて4社の競争となる。 神八三郎が別保原野で、柿田元造が鳥取村で、各々でんぷん製造を始める。  <p>【神牧場】 神八三郎は、でんぷん製造をM34年に中止して牧場経営に専念し、馬産王国釧路の礎を築いた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 西幣舞に真宗大谷派説教所(後の鮮明寺)ができる。 仙鳳趾で渡辺寅次郎が炭山を開坑する。 釧路青年同盟会機関誌『釧路の燈台』が発行される。 	<ul style="list-style-type: none"> 日清戦争の汽船徴用で海上運輸途絶、道内物価騰貴・経済不況 鉄道会議で北海道の鉄道敷設方針決定

明治28年(1895)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	20 鳥取村11番組の坂本友規が、前年の原らに続き、ユツパナイ(後の桜田)に入植する。	
4		17 日清講和条約調印 23 独・仏・露、遼東半島変換勸告(三国干渉)
9		29 函館商業会議所設立認可
10		3 根室大火、889戸焼失
11	桐野弘が釧路郡長に就任する。	
12		2 小樽商業会議所設立認可
(この年)		(この年)
	<ul style="list-style-type: none"> 酒井純明の「春鳥農園」で小作経営が始まる。 釧路英和女学校が釧路女学校と改称する。 	<ul style="list-style-type: none"> コレラ大流行、国内死者40,150人

明治29年(1896)


月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	16 釧路電信分局が人員9名・モールス機4台・二重機1とされる。	1 石狩・渡島・後志・胆振の4国に徴兵令施行
3		31 拓殖務省設置、北海道・台湾を統轄
4		27 小樽大火、786戸焼失 .. 札幌鉱山監督署、再設置
5		14 北海道鉄道敷設法公布 29 「殖民地撰定及び区画施設規定」制定
6	15 老若舞で津波に流され2名の死者を出す。 27 日進小学校桂恋分教場が開設される。	13 函館船渠(ドック)株式会社設立 15 明治三陸地震(M8.5)、津波で死者21,959人、住宅損壊10,390戸
8	1 釧路鉄道会社が、硫黄採掘中止に伴い運行を休止する。 .. 磯部定蔵が、幣舞町で清酒「旭鶴」の醸造を始める。	
9	.. 大洪水による別保原野の浸水が、5～6尺にも及ぶ。 .. 別保の山県礦で運炭軌道が敷設され、採炭を再開する。 	26 第一国立銀行、普通銀行の(株)第一銀行として営業開始(この後、明治32年2月までに、122行が転換)
(この年)		(この年)
	.. 山県勇三郎が舌辛村オシヨナイ(大祥内)で石炭採掘を始める。	.. 官有鉄道上川線(空知太一旭川)着工 .. 赤痢全国で流行、死者22,356人、腸チフスでも死者9,174人

【別保抗口】




明治30年(1897)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
2	・ 第一銀行釧路支店が開設される。	
3	・ 阿寒村最初の入植者である安藤利右衛門が愛知県より舌辛原野に入植する。	29 貨幣法公布(10.1施行、金本位制成立)
4	6 武隈作平が率いる富山団体43戸288名が舌辛原野に入植する。 ・ 根室税務監理局管内税務署(後の釧路税務署)が設置される。  【昭和7年、幣舞町に新築された釧路税務署】	1 北海道国有未開地処分法施行 2 遠洋漁業奨励法公布
5		29 北海道区制、北海道1級・2級町村制公布
6	22 釧路税関出張所が函館税関釧路支署とされる。	・ 官設鉄道十勝線(旭川一帯広)着工
7	22 日進小学校の高等科生48名が、厚岸等に5泊6日の日程で初めての修学旅行へ出発する。	
8	23 札幌農学校本科生川上瀧彌が阿寒湖で採集した球状の藻類に、宮部金吾教授が「マリモ(毬藻)」と命名する。	
9		1 拓殖務省を廃し、内閣に台湾事務局設置
10	・ 北海道鉄道敷設費により、釧路鉄道会社が買収される。	27 高嶋村に庁立水産試験場設置
11	2 釧路郡役所が廃止され、釧路支庁が設置される(支庁長は畠山省三)。釧路郡の内5町2村は直轄とし、7戸町役場を管轄する。	2 郡区役所を廃し、全道に19支庁設置
12	・ 聞名寺の進藤龍玄が西幣舞に説教所を開く。(後の龍玄寺)	20 根室大火、662戸焼失
(この年)		(この年)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 別保川支流クッタクンベ川附近で露頭炭層が発見される。 ・ 北海道国有未開地処分法の施行により、釧路川・阿寒川沿いの各地に民間牧場が開設されていく。  【庶路村字大楽毛中戸川牧場】 この年、500町歩で牛馬140頭。作家中戸川吉二が少年時代を過ごす。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厚岸港からの枕木等木材移出、31,183石 ・ 赤痢全国で流行、死者23,763人、天然痘でも死者12,276人 ・ 片山潜の『労働世界』(後に『社会主義』と改題)創刊等、労働運動が広がり始め、労働争議約100件発生



明治31年(1898)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>8 鳥取神社が道庁長官により、無格社に列せられる。</p>  <p>【大正時代の鳥取神社】</p> <p>13 日進小学校西幣舞分教場(後の寿小学校)が開設される。</p>	<p>1 徴兵令、全道に施行</p>
3	<p>8 聯隊区司令部が根室から移り、釧路聯隊区司令部が設置される。</p> <p>31 西端寺が米町の布教所を母体として建立される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 私設消防組が公設消防組として認可され、翌月より洲崎町・米町・西幣舞の3部・組合員181名となる。 釧路女学校が函館の靖和女学校に統合され、閉校する。 	<p>1 根室銀行設立</p> <p>15 総選挙、自由98・進歩91・国協26</p>
5	<p>10 本行寺が寺号公称を許される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 釧路一帯広間鉄道予定線の測量が釧路口より開始される。 	<p>22 『函館新聞』、『函館毎日新聞』と改題</p>
6	<p>17 安田善次郎がアトサヌプリの硫黄事業から撤退する。</p>	<p>30 「隈板内閣」成立(10月に分裂)</p>
7	<p>20 川上瀧彌が『植物学雑誌』第137号に、和名マリモ(毬藻)の発見と命名を発表する。</p>	
8		<p>10 総選挙、憲政260・国協20</p>
9		<p>6 全道が豪雨被害、石狩川流域を中心に死者248名、流出・倒壊家屋3,500戸余</p>
10		<p>1 滝川で鉄工組合第29支部結成</p>
11	<p>3 日進小学校が現在地に新築移転する。</p> <p>7 舌辛村外3ヶ村戸長役場が舌辛15線35番地に移転する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本郵船が、函館—釧路間の命令航路を開設する。 	<p>1 北海道庁鉄道部を廃し、北海道鉄道部(逓信省所管)設置</p>
12	<p>23 西幣舞分教場が寿小現在地に新築移転する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本銀行が根室銀行へ業務委託し、釧路派出所を閉鎖する。 	<ul style="list-style-type: none"> 全道漁業組合大会、函館で開催
(この年)		(この年)
	<ul style="list-style-type: none"> 現・米町4丁目が埋め立てられ、遊廓区域とされる。 廣井勇博士が、道庁の命により釧路築港の精密調査を実施する。 聯隊区司令官が会長の「釧路体育会」が剣道場を開設する。 函館商人・山田啓介が別保・舌辛国有林から立木払下げを受け、枕木7千挺を生産する。 直別原野区画地への入植許可を39戸が受けて入地が始まる。 	<ul style="list-style-type: none"> 鉄工組合の全国各支部に共働店(生活協同組合)設立



明治32年(1899)

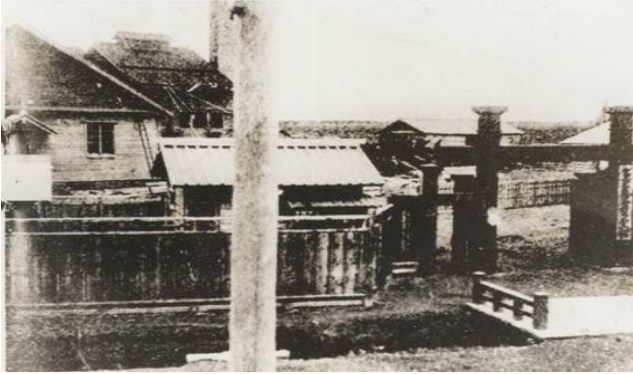

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>●● 根室銀行釧路出張所が開設される。(7月に支店へ昇格し、大正12年11月に安田銀行釧路支店となる。)</p>  <p>【根室銀行釧路支店】</p>	
2		<p>7 中学校令改正公布、実業学校令公布</p> <p>8 高等女学校令公布</p>
3		2 北海道旧土人保護法公布
4	●● 舌辛外3ヶ村戸長役場が戸数割で村費を賦課すると決める。	
6		15 視学官・府県視学等の制度を定める勅令
7	<p>13 釧路港が普通貿易港に指定され、翌月4日に開港する。</p>  <p>【当時の釧路港全景】</p> <p>●● 真宗大谷派説教所(後の仏海寺)が舌辛に開設される。</p>	<p>13 小樽・釧路・室蘭を開港するとの勅令</p> <p>13 屯田兵の配置計画完了</p> <p>26 札幌電話交換局設置(8.1.小樽、10.10.函館、各交換局設置、3局共翌年業務開始)</p>
8	<p>14 西端寺が寺号公称を許される。</p>  <p>【真言宗西端寺】</p> <p>20 湯波内の本願寺派説教所で寺子屋が開かれる。</p>	<p>8 全道に暴風雨(～12日)、各地で出水し、死者27人・浸水家屋5,744戸</p> <p>18 北海道区制改正公布</p>
9	28 鳥取神社が鳥取村144番地に社殿を造営し、移転する。	15 函館大火、2,494戸焼失
10	8 町田為蔵が来釧し、西幣舞で天理教の布教を始める。	1 札幌・函館・小樽に区制施行
(この年)		(この年)
	<p>●● 阿寒川第2分水工事(七番組～第1分水溝)が施工される。</p> <p>●● 越後漁民が、母漁村より川崎船を釧路に持込んで手繰網漁業を始める。これにより漁場が拡大され、漁獲量が増加し、定住する次第浜衆・藤塚浜衆が多くなる。</p>	<p>●● 不平等条約改正により、治外法権・関税自主権回復</p> <p>●● 赤痢全国で流行、死者23,763人、この年肺結核死者66,408人(総死亡の7.1%)</p>

明治33年(1900)



月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
3		10 治安警察法公布
4	1 釧路線敷設の為、北海道鉄道部釧路線工事区を設置する。 .. 真砂町の納谷留蔵が醤油・味噌醸造所を開業する。	
5	.. 官設鉄道釧路線(釧路一帯広間)が釧路より起工される。	16 札幌一小樽間に電話が開通
6	15 英貨物船がレール等を積載し、釧路港初の輸入船として入港する。	
7	1 釧路に町制(北海道1級町村制)が施行され、 初代町長に白石義郎が就任(9月に町会が 選出し、道庁長官が認可)する。  【初代の釧路町長 白石義郎】 啄木在職中の釧路新聞社長としても有名。 .. 釧路国第一公立病院が町立釧路病院と改称される。	1 道内12町4村に1級町村制施行
8	30 第1回釧路町会議員選挙が行なわれる。(定数16名)	20 小学校令改正公布
9	.. 北海道鉄道部釧路線工事区が同部釧路出張所と改称される。	15 立憲政友会結成(総裁・伊藤博文)
10	5 荻野丈吉が『釧路新聞』(第1次)を創刊する。 26 私立春採尋常小学校が、私立学校令による再認可を受ける。 18 陸軍省が、軍馬補充部釧路支部を白糠に設置と通達する。 .. 舌辛川に渡船場が設置される。(現・富士見橋より80m下流)	
12	18 『釧路新聞』(第1次)が筆禍を原因として58号で廃刊する。 .. 初代幣舞橋が道庁により架設される。(巾14尺、長さ113間)  【初代幣舞橋と西幣舞・頓化の家並み】 .. 真砂町の田中商店が『釧路市街全図』(1/5,000)を発行する。	18 憲政本党、総理に大隈重信
(この年)		(この年)
	<ul style="list-style-type: none"> .. 釧路の人口が初めて1万人台になる。(2,129戸、10,309人) .. 鳥取村農会(釧路市農業協同組合の前身)が設立される。 .. 床丹炭砒が山県炭砒の一部として開坑する。(明治36年に閉鎖) .. 前田栄次郎が国有未開地142万坪の払下げを受け、トリウシに牧場を開設する。 .. 水井喜作が釧路初の人力車営業を始める。 	<ul style="list-style-type: none"> .. 中国で義和団事件、日本軍主力の8カ国連合軍が北京攻撃

明治34年(1901)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>2 高野豊蔵が釧路新聞の施設を継承して『北東日報』を創刊する。</p>  <p>【北東日報の創刊号】 「創刊号」なのに「第59号」なのは、58号で廃刊した釧路新聞の続号を意味する。</p> <p>7 町役場が支庁内から洲崎町1丁目1番地に移転する。</p> <p>11 日進小学校桂恋分教場が桂恋尋常小学校として開校する。</p>	
2	<p>1 鳥取郵便局が鳥取村1番地に設置される。</p>  <p>【鳥取郵便局と大正13年の同局職員】 鳥取郵便局は大正元年に大楽毛に移転したが、同13年に鳥取の現在地に戻り、新局舎となった。</p> <p>16 穂禰平(オンネビラ)簡易教育所(後の山花小)が開設される。</p>	<p>12 夕張炭鉱でガス爆発、死亡19人・負傷8人</p>
4	<p>1 舌辛簡易教授所(後の阿寒小学校)が開設される。</p>  <p>【舌辛尋常小学校】 明治39年昇格、翌年新築された校舎</p> <p>26 日進小学校西幣舞分教場が第二日進小学校(後の寿小)となる。 (5月18日に開校式を行なう)</p> <p>30 湯波内(ユッパナイ)簡易教育所(後の桜田小)が開設される。</p>	<p>1 北海道会法、北海道地方費法施行</p> <p>1 旧土人児童教育規定(庁令)施行</p>

<p>5 15 白糠に陸軍軍馬補充部釧路支部が開設される。</p> <p>25 豊島庄作がトンケシ番屋と真砂町自宅間に私設電話を架設する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前年より天寧で建設の前田製紙工場が完成し、操業を開始する。  <p style="text-align: center;">【前田製紙釧路工場】</p> <p>翌年7月に操業を停止し、翌々年1月、富士製紙に買収されて北海紙料(株)として操業再開。明治39年に富士製紙(株)第4工場となるが、大正2年焼失する。</p>	<p>18 片山潜・幸徳秋水らが社会民主党結成 (20日、結社禁止)</p>
<p>6 1 尺別村字尺別1番地に教育所が開設される。</p>	
<p>7 20 釧路—白糠間に鉄道が開通(延長約28km)し、初代釧路駅が開業する。(中間に大楽毛・庶路駅が開業)</p> <ul style="list-style-type: none"> 釧路川左岸35,209坪の埋立工事が始まる。 	
<p>8 10 道会議員選釧路支庁で武富隆太郎・宮城野勇太郎が当選する。</p>	<p>10 第1回道会議員選挙、定数35人(有権者数 12,635人=人口の約1%)</p>
<p>9 30 北海道集治監釧路分監が廃止され、網走分監に継承される。</p>	<p>3 『北海タイムス』発刊</p>
<p>11 1 上大楽毛に簡易教育所(後の鶴丘小)が設置される。</p> <p>14 洲崎町・真砂町が大火(660戸焼失、死者3名)に見舞われる。火災類焼のため、『北東日報』が廃刊となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 尺別原野道路(現・道道尺別線・尺別停車場線)が開通する。 	
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<ul style="list-style-type: none"> 鳥取5番組から穂禰平経由舌辛までの12線道路が開削される。 茂尻矢の佐々木牧場が牛乳販売(配達)を始める。  <p style="text-align: center;">【佐々木牧場】</p> <p>現在の緑ヶ岡にあり、釧路で初めて牛乳販売を行なった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 千葉藤一郎が蒸気機関を導入して釧路木挽所を開設する。(明治39年に山県釧路製材所、同40年に釧路木材軸木(株)となる) 合資会社釧路倉庫が設立される(営業倉庫の初め) この頃、羽織・袴に「深ゴム」の皮靴姿が紳士礼装として流行する。 都地常次郎が阿寒で最初の駅通所を舌辛に開設する。 	<ul style="list-style-type: none"> 田中正造、足尾鉍毒事件で衆議院議員を辞職(10.23)、天皇に直訴(12.10) 普通銀行数、ピークの1,867行 全道現住戸口、189,526戸・1,101,892人 (内、アイヌ民族は、4,158戸・17,688人)

明治35年(1902)



月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	・・ 大雪と寒波で放牧の馬 700頭 ・牛 60頭 が凍死する。	30 日英同盟調印
2	17 大楽毛―釧路間で吹雪の為汽車が立往生し、 5日 目に復旧する。	12 初の普選法案、衆議院に提出(2.25 否決)
3	26 郵便局と電信局が統合し、釧路郵便電信局となって入舟町(現・大町7丁目)に局舎を新築・移転する。	
5	・・ 釧路軍友会(在郷軍人会の前身)が結成される。	
6	・・ 町役場が洲崎町埋立地に新築・移転する。	1 函館―小樽間の鉄道工事開始
7	1 釧路・白糠水産組合が設立され、真砂町に事務所が建てられる。 28 白石義郎が『釧路新聞』(第2次)を創刊する。 	1 漁業法に基づく漁業組合規則・水産組合規則、施行 11 旭川―札幌―小樽間、市外通話開始
8	10 道内初の総選挙が札幌・小樽・函館の 3区 のみで実施される。 ・・ 日進高等科生徒と帰省中の釧路出身学生が野球の試合を行う。	10 総選挙、政友 190 ・憲政 95 ・帝國 17
10	4 音別川オコタヌンペ渡船場が道拓殖費により開設される。	
11	4 釧路ハリストス正教会の会堂が落成する。 	
12	・・ 草野製軸所(マッチ軸木製造)が茂尻矢に創立される。 ・・ 音別川鉄道橋梁(155m)が竣工する。	
(この年)		(この年)
・・ 福井・福島・岩手から舌辛村久著呂原野へ農民団体が入植する。 ・・ 尾崎酒造所が十勝・北見へ酒の販路を拡張する。 ・・ 高野豊蔵が紙・文具店を開く。(後に印刷業等も営む) ・・ 神社の奉納草相撲が盛んになる。	・・ 北海道国有未開地処分法による払下げ、延面積 19万町歩 ・・ 三井物産などにより、清国向け鉄道枕木材の切り出しが盛況	

【第2次釧路新聞の創刊号】


この創刊号から、戦時統合による昭和**17年10月31日**付最終号まで原紙が保存され、昭和**50年**に市指定文化財となった。

【釧路ハリストス正教会(描画)】


明治36年(1903)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 釧路停車場で公衆電話の取扱いが始められる。 ・ 前田製紙工場が北海紙料(株)となって操業を再開する。 	
2	1 日進小と第二日進小が、第一・第二尋常高等小学校と改称する。	
3	1 官設鉄道釧路線の白糠―音別間が開通し、音別駅が開業する。	1 総選挙、政友175・憲政85・帝國17
4	1 釧路郵便電信局を釧路郵便局と改称する。(業務は同前) 18 天理教の神様奉祀場所(後の茂尻矢分教会)が創立される。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 尺別の教育所が、尺別簡易教育所として正式に認可される。 ・ 音別市街―上音別(二俣)間の殖民道路が敷設される。 	
5	16 尺別駅通所が廃され、音別橋上手に音別駅通所が開設される。 20 第三尋常小学校(後の東栄小)の開校式が行なわれる。  <p>【昭和7年改築の第三尋常高等小学校】 明治41年3月8日、啄木は猛吹雪の為、ここで一夜を明かした。</p>	
6		30 3区以外の道内にも衆議選法施行を公布
8	31 第2回町会議員選挙で、定員半数改選(8名)・増員(4名)・補欠(2名)の計14名が選出される。	
9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 釧路川左岸埋立工事が完成し、入舟町が新設される。 ・ 泰心寺が本行寺の天寧説教所として創建される。 	
10	10 真宗大谷派の尺別説教所(後の正楽寺)が創建される。	22 片山潜来道、各地で社会主義を教宣
11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宮本繁次郎ら12名が『平民新聞』読書会を結成する。 	15 平民社結成、週刊『平民新聞』創刊
12	25 官設鉄道釧路線の音別―浦幌間が開通する。 28 大降雪があり、釧路管内で約2,000頭の牛馬が斃死する。	
(この年)		(この年)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 山県回漕部が釧路・厚岸―横浜間に雲海丸を就航させ、本州直航路を開く。 ・ 舌辛に兵頭炭山が開坑され、大楽毛迄の馬車軌道が敷設される。 <p>【舌辛村 兵頭炭山】 北大図書館蔵</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ 3小学校の連合運動会が灯台下運動場で開催される。 ・ 浄土真宗本願寺派の説教所(現飛鶴山覚栄寺)が開設される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 釧路―根室間、厚岸―標茶―網走間の鉄道施設が第2期計画線に編入 ・ 前年の凶作で東北地方飢饉 	

明治37年(1904)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>29 柿田亨が博済病院を浦見町に設立し、落成式が行なわれる。</p>  <p>【博済病院】 昭和4年に移転・新築されたこの建物が、昭和21年から釧路赤十字病院となる。</p>	
2		<p>10 日露戦争勃発</p> <p>23 日韓議定書調印</p>
3	<p>1 釧路で初の衆議院議員選挙(第9回総選挙)が行われ、釧路・根室・河西・網走選挙区は柳田藤吉(根室)が当選する。</p>	<p>1 総選挙、政友133・憲政90・帝國19、道内は6選挙区各1名選出</p>
4		<p>・ 小学校国定教科書使用開始</p>
5	<p>・ 野沢定吉が飽別駅通所を開設する。</p>	<p>8 小樽区大火、2,481戸焼失</p>
6	<p>25 「釧路座」で活動写真の巡回興行が催される。</p>	<p>13 第1回北海道畜産共進会、札幌で開催</p>
7	<p>30 白石町長が辞職し、町会は大森長三郎を町長に選出する。(大森は赴任せず、9月22日に秋元幸太郎を改めて選出、第2代町長となる)</p> <p>・ 釧路米穀雑貨商組合が設立される。</p>	
8	<p>10 第2次道会議員選挙で、釧路支庁管内は白石義郎・山崎兵次郎が当選する。</p> <p>・ 第二十国立銀行釧路支店が開設される。(大正元年9月、第一銀行と合併し、第一銀行釧路支店となる)</p>	<p>10 第2期道会議員選挙</p> <p>22 第1次日韓協約調印</p> <p>・ 釧路線の浦幌―豊頃間、開通</p>
9		<p>9 屯田兵条例廃止</p> <p>・ 与謝野晶子、「君死に給ふこと勿れ」発表</p>
10		<p>15 函館―小樽間の鉄道が全通</p>
12	<p>20 舌辛郵便局(後の阿寒郵便局)が設置される。</p>	<p>15 釧路線の豊頃―利別間、開通</p>
(この年)		(この年)
	<p>・ 埋立工事などで町債が増え、財政が逼迫する。</p> <p>・ 臼井捨(後に第7代市長)が幣舞町に硝子器製造工場を開設する。</p> <p>・ 庶路と厚岸に実業補習学校が開校する。</p> <p>・ この頃、「提灯胴」という皮長靴が流行する。</p>	<p>・ 日露戦争による公共事業縮小・海運停滞・貿易不振等で不景気</p> <p>・ 道内の義務教育就学率、90%超す</p> <p>・ 鳥取県の奥田亀蔵、トロール漁業開始</p>





明治38年(1905)


月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1		6 夕張炭鉱第2斜坑でガス爆発、 36 人死亡 22 ペテルブルクで「血の日曜日」事件 ・十勝線の狩勝トンネル(915m)竣工
2	・十勝国大津の三上回漕店(後の三ツ輪運輸)が釧路に移転する。 ・米倉直七が乗合馬車の営業を始める。	8 道庁、輸入牝牛補助規定公布 16 郵便貯金法公布
3	27 直別原野道路(東 3 線 0 号—同 6 号間)が完成する。	8 鉱業条例を廃し鉱業法公布 29 鉄道建設・営業業務、道庁から通信省へ
5		27 日本海海戦(~ 28)
7	8 天理教布教所が西幣舞に設置される。 (42年西幣舞分教会となる) ・釧路町会が釧路中学校の設置を初めて決議し、道庁に請願する。	
9	1 根室地方裁判所釧路支部が設置される。 ・西村周右衛門がサメ延縄漁により釧路沖で初めてマグロを捕獲し、釧路白糠水産組合から奨励金を受ける。	5 日露講和(ポーツマス)条約調印、日比谷焼討ち事件等各地で暴動、 6 日に戒厳令
10	21 官設鉄道の利別一帯広間が営業開始し、釧路一帯広間の鉄道が全線開通する。(釧一帯間所要時間 5 時間 22 分)	
11	18 中学校設立運動委員会が、敷地・建設費全部地元負担の道庁方針を拒絶と新聞発表する。	17 第 2 次日韓協約調印、韓国各地反日暴動
12	24 聖公会礼拝堂で、釧路初の西洋音楽会開催される。	
(この年)		(この年)
<ul style="list-style-type: none"> 春採の安田炭山で第一堅坑(現・春採3丁目)の開削を始める。この頃、同山の「友子」制度が発足する。  <p style="text-align: center;">【春採安田炭山第一堅坑之一部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 釧路線の順次開通により、沿線の河川流域で立木払下げによる木材造成が盛んになる。 釧路港から初めての直輸出で枕木材が上海へ積み出される。 『釧路新聞』紙上で、連載小説「恋塚」を巡る論争や新派・旧派の俳句論争が行なわれる。 		<ul style="list-style-type: none"> 道庁、中等教育機関拡充7ヶ年計画樹立 根室でカニ缶詰製造開始 東北地方、大凶作

明治39年(1906)


月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	・ 真砂町の白陽堂が「釧路風景絵はがき」(12枚組)を発行する。	
2		24 日本社会党第1回大会開催
3	20 新派俳句の「鈴蘭(れいらん)吟社」が発足する。 ・ 釧路魚商組合が設立される。	20 上野の帝国図書館竣工、開館式 31 鉄道国有法公布
4	4 私立春採尋常小学校が廃校され、町立の第三尋常小学校附属春採特別教育所となって、開校式が行なわれる。 9 釧路産牛馬組合(後の釧路畜産組合)が設立される。 ・ 直別原野に真宗大谷派東本願寺系説教所が開設される。	
5	13 日本基督教団釧路教会による定期礼拝などの布教活動が始まる。 15 福島県太田神社から分霊した小祠が建立される。(後の音別神社) 25 音別簡易教育所(後の二俣小学校)が開設される。 ・ 龍玄寺の寺号公称が許される。	1 北海道銀行設立
6	20 池田栄太郎が初めて釧路沖合でのマグロ流網漁を行なう。 ・ 前田正名が阿寒湖畔山林5千 ^坪 の払下げを受け、開発を始める。 ・ 富士製紙が北海紙料会社を買収、富士製紙(株)第4工場と改称して、工場増設等を行なう。 ・ 笠井病院が洲崎町に開業する。	1 太平洋の海底電信線完成、日米間開通
8	30 第3回釧路町会議員選挙(改選8・増員4・補欠4)が実施される。 ・ 富士製紙が、明治43年までの年期契約により、阿寒国有林23万石余の払下げを受ける。 ・ 釧路炭礦(株)が設立され、舌辛のオトンベツ沢で採炭を開始する。	
9	28 西島勝(敗袴)が『北東時報』を創刊する。(翌年9月に日刊となり、明治41年に『北東新報』と改題)	
10	3 丸三越後屋呉服店(両角榮治)が真砂町で開業する。 ・ 丸と北村呉服店(北村藤吉)が西幣舞で開業する。 ・ 釧路陸送業組合(馬車運送)が設立される。	1 北海道炭礦鉄道(株)、北海道炭礦汽船(株)と改称 9 札幌商業会議所設立
11		26 南満州鉄道(株)設立(翌年4月開業)
12	・ 大坂炭山鉱業が別保クタクンベ川付近に別保一坑を開く。	
(この年)		(この年)
	・ 釧路国6郡全体の実測が完了する。(面積約40万町歩、全樹木量96,845千石と測定される) ・ 移住民取扱員事務所が、釧路等道内4港と道外3港に設置される。 ・ 山県勇三郎が昆布森炭砒を買収する。 ・ 佐々木与兵衛が、釧路で初めて自転車に乗る。 ・ 「ザクロ会」の前身「文芸研究会」が発足する。 ・ ゲロリ(下駄スケート)が流行する。	・ 馬匹改良30ヶ年計画実施 ・ 川田男爵、馬鈴薯の輸入新種を七飯村で実験栽培 ・ 丙午の迷信で出生数12%減

明治40年(1907)

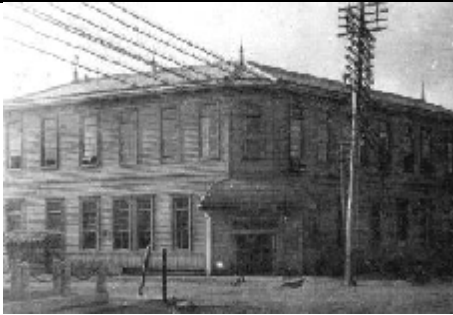
月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>6 釧路大工職組合が設立される。</p> <p>・ 釧勝木材軸木(株)が創立される。(後の釧勝興業釧路製材所)</p>	
2	<p>9 春採特別教育所校舎を解体、移転・改築して官立の春採尋常小学校となり、永久保秀二郎が授業を再開する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>【ルーシー・ペイン】 春採土人学校を創設した。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【永久保秀二郎】 『永久保秀二郎日誌』は市指定文化財</p> </div> </div> <p>・ 合資会社三ツ輪印釧路水産製造所が創立される。</p>	<p>4 足尾銅山で坑夫暴動、軍が鎮圧</p> <p>25 河東碧梧桐来道、各地で新派俳句指導</p>
3	<p>6 釧路築港費が貴族院では否決される。</p> <p>14 新派俳句の「キャベツ会」が発足する。</p>	<p>21 小学校令改正(義務教育6年に延長)</p>
4	<p>6 根室に滞在中の河東碧梧桐が来釧し、これを機に新派俳句の「幣舞(へいぶ)会」が誕生する。</p> <p>15 上音別神社(後に二俣神社と改称)が建立される。</p> <p>・ 平岩初太郎が造船所を創業し、川崎船の建造を始める。</p>	<p>1 札幌に北海道帝国鉄道管理局と鉄道庁北海道建設事務所設置</p> <p>1 樺太庁、大泊(コルサコフ)に開庁</p>
5	<p>11 舌辛村立徹別教育所(後の中徹別小学校)が開設される。</p> <div style="text-align: center;">  <p>【舌辛尋常小学校附属下徹別特別教授場】 徹別教育所は火事で焼失し、明治43年4月に下徹別特別教授場として再建され、大正10年6月に徹別中央尋常小学校となった。</p> </div> <p>・ 4組合(米穀雑貨・物産・雑穀肥料・漁業)連合運動会が茂尻矢の公園予定地で開催される。</p>	<p>5 石川啄木、2度目の渡道・在函</p> <div style="text-align: center;">  <p>【釧路川河畔の啄木像】 9月に札幌・小樽へ移り、翌年1月に来釧する。</p> </div>
6	<p>1 第一尋常高等小学校内で、夜学会の授業が始められる。</p> <p>・ 鉄道開通5周年記念釧路鉄道運動会が、駅前広場で開かれる。</p> <p>・ 鳥取村3校(鳥取第一・第二・穂禰平の各尋常小学校)連合運動会が開かれる。</p>	<p>4 別子銅山で坑夫暴動、軍が鎮圧</p> <p>22 東北帝国大学新設、札幌農学校は同大農科大学と改称</p>
7	<p>1 音別巡査駐在所が開設される。</p> <p>27 港内で石炭荷役中の竹之浦丸が転覆し、遭難者を出す。</p> <p>・ 池田栄太郎らの38艘が釧路沖でマグロ流網漁を行なう。</p>	<p>20 福岡県豊国炭砒ガス爆発、死者365人</p> <p>24 第3次日韓協約調印</p>

8	<p>10 道会議員選挙で釧路支庁管内から白石義郎・木下成太郎が選出される。</p> <p>23 武富善吉が千葉県の津田沼商業銀行を買収し、釧路銀行を設立する。(大正3年6月に経営破綻し、閉鎖する)</p> <ul style="list-style-type: none"> 山田慎がアトサヌプリで硫黄の採掘を再開する。 	<p>10 第3期道会議員選挙</p> <p>25 函館区大火、12,390戸焼失</p>
9	<p>8 狩勝峠開通により、旭川—釧路間が釧路線と改称され、旭川・札幌経由で函館までが全通する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 釧路で初めてカトリック神父のミサが行われる。 	
10	<p>25 釧路線の直別駅が開業する。</p> <p>28 軍馬補充部釧路支部音別派出所が設置される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 専売局函館収納所釧路出張所が開設される。 茂尻矢に釧路製材造船合資会社が設立される。 牧諭輔が音別市街で初の医院を開業する。 	<p>15 『小樽日報』創刊(石川啄木と野口雨情、記者として参画)</p>
11	<p>3 (株)水印釧路魚菜市場が西幣舞に卸売市場を開設する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 草野製軸所が大日本燐寸軸木(株)の系列企業となる。  <p style="text-align: center;">【草野製軸所の工場内部】 大正元年に茅野製軸所となり、昭和初期まで操業した。</p>	<p>1 北炭と英国兵器会社の共同出資で、室蘭に(株)日本製鋼所設立</p>
(この年)		(この年)
<ul style="list-style-type: none"> 道庁技師の関屋忠正が、貴族院の釧路築港費は再調査が必要との議決を受けて現地精密調査の上、築港計画案を完成させる。 岡田八十次が桂恋炭鉱を開坑する。(出水で明治42年に休山) 八戸からの漁船団と釧路の一部漁業者によるニシン旋網漁が釧路漁業者の建網曳網漁を圧倒し、支庁の漁業権認可を巡って「釧路旋網騒擾」が始まる。 日本郵船が、釧路—本州間の補助航路を開設する。 釧正館の渡辺源六が駅弁を始める。 日本基督教団釧路伝道教会が設立される。(信徒代表坂本弥太郎) 野中賢三の小説「朝」が、『文章世界』に載って好評を博す。 舌辛炭山が釧路炭礦(株)から沢口炭礦に引き継がれる。 徳島団体が飽別に入植する。 		<ul style="list-style-type: none"> 道内に狂犬病流行、撲殺狂犬13,442頭 函館大火により、小樽の人口が函館を上回る(小樽区90,370人・函館区88,038人・札幌区66,193人)



明治41年(1908)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>21 石川啄木(当時23歳)が釧路新聞記者として小樽から来釧する。</p>  <p>【釧路新聞社前】 正面玄関入口左側柱の手前、最後列の中折帽子が石川啄木</p>	<p>17 新夕張炭砦でガス爆発、死亡91名、負傷21名</p>
2	<p>・ 釧勝興業(株)が設立され、山県勇三郎の事業を引継ぐ。</p>	
3	<p>8 大風雪が襲い、雪崩で家屋が倒壊し、釧路で19名、昆布森で18名の圧死者を出す。</p>	<p>7 国有鉄道青函連絡船、営業開始</p> <p>23 青森-室蘭定期船陸奥丸沈没、死者239人</p>
4	<p>1 尺別簡易教育所が音別尋常小学校と尺別教育所に分離される。</p> <p>1 白糠外6ヶ村戸長役場が白糠外2ヶ村(庶路・尺別)戸長役場となる。</p> <p>5 石川啄木が函館行の酒田川丸で離釧する。(76日間在釧)</p> <p>6 直別特別教授所が開設される。(44年11月に直別教育所と改称)</p> <p>7 釧路郡漁業組合が設立される。(武富善吉が初代組合長)</p> <p>21 尺別村音別市街地に音別郵便局が開設される。</p> <p>・ 関屋忠正による道庁の釧路港修築計画案が政府に提出される。</p>	<p>15 北海道国有未開地処分法改正(大地積処分を売払制等)公布</p> <p>28 初のブラジル移民783人出国</p>
5	<p>1 音別第二教育所(後の音別第二小)が開設される。</p> <p>15 衆議選の釧路・根室・河西・網走選挙区で、白石義郎が当選する。</p> <p>18 釧路教育会が発足する。</p> <p>21 徹別特別教育所(後の上徹別小)が設置される。</p> <p>29 道庁林務課釧路派出所が廃止され、釧路営林区署が開庁する。</p>	<p>15 総選挙、政友187・憲政70・大同29</p> <p>・ 道庁、各林務派出所廃止、5営林区・14分署・150保護区設置</p> <p>・ 王子製紙苫小牧工場建設着工</p>
6	<p>25 白石義郎が衆議院議員当選により、道会議員を辞職する。(8月8日の補欠選挙で秋元幸太郎が当選する)</p>	
7	<p>19 秋元幸太郎が『釧路日報』を創刊する。</p>	
8	<p>27 浦見町で金光教の大神が奉斎され、布教が始められる。</p> <p>・ 山浦政吉が阿寒湖畔で旅館の営業を開始する。</p>	
11		<p>19 札幌水力電気(株)設立(後・北海水力電気)</p>
12	<p>23 河西支庁長の上野直温が第3代町長に選出される。</p> <p>・ 春鳥炭山鉱業所が安田商事(合)釧路支店安田鉱業所となる。</p>	<p>25 軍馬補充部川上支部、熊牛村に設置</p>
(この年)		(この年)
	<p>・ 別保山県炭砦が釧勝興業(株)別保砦となる。</p> <p>・ 釧路商店及び有志大運動会が灯台下運動場で開催される。</p> <p>・ 句会「北鷗吟社」が発足する。</p> <p>・ 日本基督教団釧路教会堂が新築落成する。</p>	<p>・ 輸入鋼製汽船でのトロール漁業開始</p> <p>・ デフレ進行、戦争景気終わり不況</p>



明治42年(1909)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>1 釧路で最初の電話交換業務が入舟町(現大町4丁目1)に移転・新築された郵便局で開始される。</p> <p>【釧路郵便局新局舎】 電話交換局開設運動を牽引した日景安太郎が敷地を寄付した。</p>  <p>.. 釧路肉類販売業組合が設立される。</p>	<p>11 北海道庁火災、内部全焼</p> <p>.. 函館に道内初の常設映画館(錦輝館)設立</p>
3	<p>13 釧路港修築案が帝国議会通过する。</p> <p>.. 釧路豆腐商組合と釧路木挽職組合が設立される。</p>	
4	<p>1 釧路築港事務所が町役場内に開設され(11月、知人町に庁舎落成)、関谷忠正が初代所長となる。</p> <p>1 音別簡易教育所が「音別教育所」に改称する。(後の二俣小)</p> <p>7 私立実用裁縫伝習所が開校する。(後の釧路女子技芸学校)</p>	<p>6 汽船トロール漁業取締規則制定、北海道漁業禁止区域を告示</p> <p>25 小樽区大火、700戸焼失</p>
5	<p>.. 大湖会員(滋賀県人会)が春採湖畔に釧路港修築碑を建立する。</p> <p>.. 長谷川製材所が西幣舞に創立される。</p>	<p>1 根室毎日新聞と根室新報が合併、『根室新聞』創刊</p>
6	<p>.. 第2回釧路町各会社・銀行連合運動会が開催される。</p> <p>.. 古川忠一郎編『釧路築港史・全』が出版される。</p>	
7	<p>.. 釧路の電話番号簿が初めて発行される。(加入272台)</p> <p>.. 釧路の鯨旋網漁船が白糖沖の漁場を侵犯し、境界紛争が起こる。</p>	<p>31 大阪市北区大火、11,365戸焼失</p>
8	<p>30 第4回町会議員選挙(改選9・補欠3)が実施される。(～31日)</p>	
9	<p>19 「子規忌晩餐会」で「阿寒太会」が創立される。</p>	
10	<p>10 釧勝興業(株)釧路製材所火力発電部からの送電により、市街地に初めて電灯が点く。</p> <p>15 第1回釧路畜産馬匹共進会が開催される。(～19日)</p>	<p>19 第1期北海道拓殖計画、閣議決定</p> <p>26 安重根、ハルピンで伊藤博文を射殺</p>
11	<p>3 二代目幣舞橋の開通式が行なわれる。</p> <p>.. 静岡団体が知茶布に入植する。</p>	
12	<p>15 真宗本願寺派の舌辛説教所(後の覚栄寺)が公称認可される。</p> <p>23 上野町長の辞職願を町会が承認する。</p> <p>.. 岩中鐘詰製造所が蟹・鱒等の缶詰製造を始める。</p> <p>.. 三井物産が5ヶ年の年の特売許可で舌辛国有林より大量の木材切り出しを始める。(同年11月白糖10ヶ年、翌年7月浦幌5ヶ年)</p>	
(この年)		(この年)
	<p>.. 鳥取村自治研究会が組織され、「村是調査」に着手する。</p> <p>.. 春採炭山の大安坑より堅入りで小盛坑が開かれる。(大正9年閉坑)</p> <p>.. 釧美線の敷設陳情運動が始まる。</p>	<p>.. 生糸輸出量、初めて中国を抜き世界一</p>


明治43年(1910)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>1 釧路測候所が熊牛村から釧路町幣舞に移設される。</p>  <p>【釧路測候所】 釧路に移転後は、平成12年まで幣舞の気象台として親しまれた。</p>	<p>18 北海道鉄道管理局、釧路・函館等10駅に移住民取扱主任を配置</p>
2	<p>・ 釧路織物商組合が設立される。</p>	
4	<p>1 舌辛尋常小付属布伏内特別教授場(後の布伏内小)が開設される。 3 舌辛尋常小付属下徹別特別教授場(後の中徹別小)が開設される。</p>	<p>1 第1期北海道拓殖事業15年計画実施 21 漁業法改正(漁業組合制度拡充)公布</p>
5	<p>1 函館—釧路間に上下各1回の直通旅客列車の運行が開始される。</p>  <p>【明治43年頃の釧路駅前通り】</p>	<p>9 石狩川治水工事着工 25 大逆事件の検挙開始(6.1.幸徳秋水逮捕)</p>
6	<p>25 町会議員補欠(6名)選挙が実施される。</p>	<p>1 根室港開港、水産物に限り輸出許可</p>
7	<p>23 秋元幸太郎が第4代町長に選ばれる。(翌年5月の「情意投合」迄町会議員20名中11名が欠員になる等、紛糾する)</p>	<p>14 文部省『尋常小学読本唱歌』発刊</p>
8	<p>10 道議選釧路支庁管内で、佐藤国司・木下成太郎が当選する。</p>	<p>10 第4期道会議員選挙 22 韓国併合の日韓条約調印</p>
9	<p>・ 釧勝興業の電力供給事業を引継ぎ、釧路電灯(株)が設立される。 ・ 国の直轄工事を行なう釧路土木派出所が設置される。 ・ 共栄挽材所が設立され、下駄・棒板等の生産を始める。</p>	<p>1 王子製紙苫小牧工場、操業開始</p>
11	<p>1 北海道水産試験場釧路駐在所が開設される。 29 徹別特別教育所(後の上徹別小)が焼失する。</p>	
12		<p>1 石川啄木『一握の砂』発刊</p>
(この年)		(この年)
	<p>・ 『鳥取村村是』が策定される。 ・ (株)共立魚菜市場を、土屋金次郎らが入舟町に開設する。 ・ ニシン旋網枡船曳航の為、蒸気船が使用され始める。 ・ 三井物産釧路出張所が開設され、坂本弥太郎が独立して坂本商會を設立、舌辛などからの木材輸出を拡大する。 ・ 山部造船所が入舟町に開設され、磯舟建造を始める。 ・ 田村耕が尺別に石炭の鉱業権を設定し、試掘権を得る。</p>	<p>・ 北海道線で米製ラッセル車初走行 ・ 農商務省、汽船手繰網の試験操業</p>



明治44年(1911)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1		18 大逆事件、24名に死刑判決
3	31 音別と穂禰平の駅通所が廃止される。	11 普選法、衆議院初可決(15日貴族院否決)
4	.. 大楽毛に国有種牡馬派遣種付所が設置される。	
5	3 阿寒郡戸長役場が全焼する。 30 町会議員補欠(11名)選挙が実施される。	16 小樽区大火、1,251戸焼失 17 稚内町、人家724戸・公共施設等殆ど焼失
6	9 釧路町3小学校連合運動会が知人の岬頭(灯台下)グラウンドで開催され、全町民の半数約1万2千人の観客が集まる。 11 第1回官民連合運動会が岬頭グラウンドで開催される。 	【第1回官民連合運動会】 釧路新聞と釧路日報が主催して開かれたが、第2回は大正5年となり、昭和5年の第15回から「釧路市民大運動会」となって、釧路市民の最大行事として楽しまれた。
7	1 旭川一函館間が急行化され、釧路一函館間の所要時間が25時間45分の直通列車となる。 23 定光寺境内に忠魂碑が建立される。	
8	12 潮音寺(桂恋)が定光寺説教所(布教仮事務所)として創建される。 30 前年焼失の徹別特別教育所(後の上徹別小)が移転・新築される。 .. 釧路築港に伴う阿寒川切替工事の測量が開始される。	20 皇太子、函館着(9月12日迄道内巡啓) 21 警視庁、特別高等課設置
9	2 皇太子(後の大正天皇)が行啓する。(～4日) 12 公会堂の落成式が行なわれる。  【釧路公会堂】 皇太子殿下の御宿所とする為、前年5月着工して釧路の大工全員で完成させた。 17 剣道場の「練武館」が西幣舞に設置され、開会式が行われる。	1 平塚らいてう等の『青鞥』創刊
10	1 釧路産牛馬組合が大楽毛家畜市場を開設する。(20～23日、大楽毛停車場前で初の馬市開催) 3 秋元町長が5月の「情意投合」の約束に従い辞任する。 24 音別停車場前で、釧路産牛馬組合主催の馬市が開催される。 .. 舌辛一布伏内間道路(約8km)が殖民道路に認定される。	10 辛亥革命始まる
11	19 武富隆太郎が第5代町長に選ばれる。	
(この年)		(この年)
	.. 釧路左官組合が発足する。	.. 全国の義務教育就学率98%・通学率90%




明治45年・大正元年(1912)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
2	1 釧路からの長距離電話線が音別郵便局まで延長される。	12 清朝滅亡
3	・ 釧路物産商組合が設立される。	
4	3 公会堂内に、釧路教育会附属図書館が設置される。 ・ 釧路木材商組合が設立される。	12 函館区大火、733戸焼失 29 夕張炭砒ガス爆発、死者269名
5	6 山下西洋洗濯店(後のエンパイア・クリーニング)が開業する。 15 衆議選で木下成太郎が当選する。(秋元は落選) ・ 真砂町に蕎麦店「東屋」(伊藤竹次郎)が開業する。 【東屋本店】 初代店舗は大正11年焼失。翌年再建された総二階建て延210坪の店舗	15 総選挙、政友211・国民95・中央31
6	1 徹別教育所附属湖畔特別教授場(後の阿寒湖小)が前田一步園の寄付により開設される。 3 釧路町立病院が米町から頓化へ移転改築され、落成式を行う。 15 函館—釧路間の第3・4列車に1等寝台車が連結される。 ・ 鈴木水産工場が入舟町で創業する。(後の北海水産工場)	
7	16 道議補選で厚岸町会議員の上田勘兵衛が当選する。 25 釧路中学校の敷地・建設費寄附を町会が議決する。  【庁立釧路中学校】 翌年4月、札幌二中・小樽商業と同時に開校した。	30 明治天皇崩御、「大正」と改元
8	30 第5回町会議員選挙(改選10名・増員4名)が実施される。	
10		5 網走線(池田—網走間)全通
11	1 釧路仏教各宗協和会が発足する。(大正6年に釧路慈徳会となる) 4 前年焼失の阿寒戸長役場が舌辛15線に新築されて開庁する。 ・ 米内活版所(後の米内印刷)が西幣舞8番地に開業する。	
12	・ 草野製軸所を引継ぎ、茅野製軸所が創業される。	20 室蘭町大火、471戸焼失 23 夕張炭砒ガス爆発、死者216名
(この年)		(この年)
	・ 鳥取村と舌辛村の村界問題が解決する。 ・ 釧路—根室間鉄道の実測が開始される。 ・ 各官庁や商店などで野球チームが作られ、朝野球が流行する。	・ 米価騰貴、下層民の生活困窮



大正2年(1913)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	4 天寧の富士製紙第4工場が焼失する。	
2	.. 野中賢三らの「ザクロ会」機関誌『凍野(ツンドラ)』が創刊される。	7 桂首相らが「立憲同志会」結成 11 第1次護憲運動により桂内閣総辞職
3	19 布教山令闡寺が法華寺と改称される。  【布教山法華寺】 大正15年に改築された 本堂・庫裡・納骨堂。	
4	8 庁立釧路中学校が開校し、入学式が行なわれる。	
5		4 函館区大火、1,532戸焼失
6	.. 立憲同志会の後藤新平、河野広中が遊説のため来町する。	
7	10 北海道拓殖銀行釧路支店が真砂町に開設される。  【拓殖銀行釧路支店】 「釧路港真砂町百廿八番地電話五五九番」とされる。昭和18年に釧路南支店と改称し、北大通出張所が釧路支店となる。	12 中国で「第2革命」、8月失敗し孫文が日本に亡命
	14 直別教育所が、直別尋常小学校に昇格する。 .. 政友会の杉田定一、戸水寛人が遊説のため来町する。	
8	10 道議選釧路支庁管内で佐藤国司・横田又九郎が当選する。 27 暴風雨の為、釧路沖でマグロ漁船18隻が沈没、63名が溺死する。 .. 武富町長が函館に転地治療の為、辞職する。	10 第5期道会議員選挙、政友27・新政9
11	16 釧路—函館間の直通旅客列車が東滝川経由となり、所要時間24時間25分で全線急行化される。(釧路—札幌間は14時間35分) .. 句会「六鳴社」が創立される。	10 釧路本線、滝川始点となり滝川—下富良野間営業開始
12	26 西幣舞75番地から出火し、286戸が焼失する。(死者1名)	
(この年)		(この年)
	.. 浜頭久太郎がトンケシで造船所を創業する。 .. 釧路沖で操業する内地の発動機付鮪漁船が増加する。 .. 句会「まりも吟社」が創立される。(『えぞにう』の母体となる) .. 厚岸鮮明寺の寺号を西幣舞の説教所に移し、公称を許可される。	.. 8月暴風雨・9月降霜等で全道大凶作


大正3年(1914)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
2	<p>3 枝幸村長の林田則友が第6代町長に選出される。(23日、道庁認可)</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p>【林田則友町長】 大正7年、第7代町長に再選され、同9年から11年迄一代限りの区長となって市制施行に向けた多くの事業を成し遂げた。</p> </div>  </div>	
3	<p>2 鳥取村に本門法華説教所(後の本祥寺)が開設される。</p>	<p>24 山本内閣、シーメンス事件で総辞職</p>
4	<p>1 尺別村戸長役場が独立して開庁される。</p> <p>30 鮮明寺が、現在地へ移転する。</p> <p>・ 茅野鉄工場(漁船等の機械修理)が入舟町で開業する。</p>	<p>1 旭川に区制施行</p> <p>8 函館区大火、849戸焼失</p>
6	<p>・ 舌辛に曹洞宗布教所(後の仰嶺山西来寺)が開設される。</p>	<p>28 堯皇太子暗殺(サラエボ事件)</p>
7	<p>・ 飯塚城之助と嵯峨久が、各々漁業組合の貸付け資金で建造した発動機船による鮪流網漁業等始める。</p>  <p>【マグロの水揚げ風景】 この年から地元漁業者も発動機船での鮪流し網漁を始め、昭和4年にピークの300万貫(約1万1千ト)を水揚する。</p>	<p>28 第1次世界大戦始まる</p>
8	<p>・ 根室線の釧路一厚岸間が着工される。</p> <p>・ ガソリンポンプが初めて導入され、消防組第5部に配置される。</p>	<p>23 日本、ドイツに宣戦布告</p>
9	<p>・ 城川竹次郎が湯波内で水稻の本格的収穫(反当籾8斗)に成功する。</p>  <p>【当時のユツパナイでの田植え】 以後、上阿寒・下仁々志別等にも水稻耕作が広まった。</p>	
10	<p>6 春採の安田炭砒が閉山し、安田商事釧路支店も閉鎖される。</p>	
11	<p>1 音別教育所が霧里尋常小学校(後の二俣小)と改称する。</p>	<p>28 新夕張炭砒ガス爆発、死者422名</p>
12		<p>15 福岡県方城炭砒ガス爆発、死者687名</p>
(この年)		(この年)
	<p>・ 釧路で初の常設映画館「敷島館」が真砂町で開業する。</p> <p>・ 尺別教育所が尺別尋常小学校と改称する。</p> <p>・ 林田町長が上水道敷設を計画し、関屋忠正に設計を依頼する。</p>	<p>・ 株価暴落、中小銀行取付・支払停止頻発</p> <p>・ 道内に腸チフス(死者356人)とパラチフス(死者115人)流行</p>



大正4年(1915)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	25 拓殖銀行釧路支店西幣舞派出所が開設される。(昭和7年に北大通出張所・同18年に釧路支店となる)	14 産牛馬組合法廃止、畜産組合法公布 18 中国政府に21ヶ条の要求
3	25 衆議選で、道議(根室)の小池仁郎が当選する。 .. 共立魚菜市場を譲り受け、釧路三鱗(株)魚菜市場が発足する。	25 総選挙、同志会153・政友108・国民27
4	1 白糠村(庶路村と合併)に2級町村制が施行され、独立して尺別村戸長役場が音別原野基線4番地に開庁される。 .. 知茶別特別教授場が開設される。(大正5年6月に廃止)	1 『北海道史』編纂着手(開道50年記念事業)
5	12 第一小学校出身者の「釧路青年会」が発足する。	25 日華条約調印(前後より日貨排斥運動)
6	13 三代目幣舞橋の渡橋式が行われる。	
7	.. 小川勇次郎が、道内では最初のハイヤー営業を始める。  【道内初の営業用自動車】 横浜からフォード8人乗り幌型中古車を買入れ開業した。	6 台南で抗日蜂起始まる
8	17 嵯峨久らにより釧路鮭流網組合が設立される。(大正9年に釧路発動機漁船組合となる) 30 第6回町会議員選挙(改選12名・補欠2名)が実施される。	
9	18 島村抱月・松井須磨子らの芸術座一行が共楽座で公演する。 23 写真同好会が森本金之丞宅で第1回展覧会を公開する。	15 内務・文部省、青年団体の指導育成・設置基準を共同訓令
11	10 「舊鳥取藩士 鳥取開村記念碑」と「忠魂碑」が建立される。 11 真砂町の大火で、47棟72戸が全焼する。	
(この年)		(この年)
<ul style="list-style-type: none"> .. 阿寒郡第1回農産物品評会が舌辛尋常小学校で開催される。 .. 道立水産試験場釧路駐在所に所属する試験船が建造される。 .. 舌辛村の中久著呂に宮城団体が入植する。 .. 大楽毛家畜市場の年間取引が1,440頭・56,839円に達する。  <p>【大楽毛家畜市場】 昭和6年には3,900頭が取引され、「全国第一位の大市場」と称された。</p>		<ul style="list-style-type: none"> .. 輸出穀類の伸長等で道内景気回復傾向 .. 全国の自動車1,244台、自転車617,184台、人力車123,776台



大正5年(1916)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
3	7 根室地方裁判所を移転し、釧路地方裁判所と改称する。 <ul style="list-style-type: none"> 第一銀行釧路支店が廃止され、拓銀釧路支店に業務譲渡される。 	18 北海道会法改正(任期3年を4年へ)
4	6 釧路少年団が公会堂で結成大会を開く。 10 地裁の移転に伴い、浦見町(現宮本町)に十勝監獄釧路出張所(8月5日に釧路分監と改称)が設置される。 25 北海道水産試験場釧路駐在所が釧路支場と改称される。 28 暴風雨のため、港内で荷役中の舢人夫11名が溺死する。 <ul style="list-style-type: none"> 正置運送部と釧標合資会社(後に川井運送部が替わる)の発動機船による釧路一標茶間の釧路川水運輸が始められる。 釧路郵便局に初めて電報配達用赤自転車3台配置される。 	2 友愛会磐城連合会結成(以降、横浜・東京・神戸等で地方連合会結成)
5	1 金比羅院の基となる不動堂が西幣舞40番地に創建される。 3 別保の大坂炭砒が買収され、三井鉱山(株)釧路炭砒となる。 29 鉄道1,000マイル(道内国鉄の総延長)記念式典が挙行される。 <ul style="list-style-type: none"> 二俣に真宗説教所が創立される。(昭和5年12月廃寺) 	3 帝國聯合教育會結成
6	29 産業組合法による尺別信用組合が設立される。(後の音別農協)	
7	9 第2回官民連合運動会が春採公園グラウンドで5年ぶりに開催される。 12 釧路産牛馬組合が釧路産牛馬畜産組合と改称する。 <ul style="list-style-type: none"> 雌阿寒岳の硫黄採掘が三浦繁松により再開される。 	
8	10 道議選釧路支庁管内で、佐藤国司・佐々木与兵衛が当選する。 <ul style="list-style-type: none"> 本多静六博士を林田町長が招き、春採公園の設計を依頼する。 	2 函館大火、1,763戸焼失 10 第6回道会議員選挙、同志会19・政友17
9		1 工場法施行
10	6 釧路港修築計画が改訂され、北防波堤の築造が追加される。 15 釧路第四尋常小学校(後の旭小学校)が開校する。  <p>【第四尋常小学校】 昭和6年制定の北原白秋作詞・山田耕筰作曲校歌の中の「第四、第四、第四」が、「旭、旭、旭」と変えられて歌い継がれた。</p>	6 閣議、北海道拓殖事業計画更訂案決定 10 立憲同志会外、憲政会結成(衆院過半数)
11	1 官設鉄道の旭川工場釧路派出所が、釧路鉄道工場と改称される。 <ul style="list-style-type: none"> 藤田石版所(後の藤田印刷)が開業する。 	
12	阿寒駅前には釧路支庁の樹木苗畑が設置される。	24 特別教育規程改正(教育所廃止)公布
(この年)		(この年)
	<ul style="list-style-type: none"> 舌辛村の中幌呂に香川団体が入植する。 尺別村の奥ムリ地区に福島団体9戸が入植する。 	<ul style="list-style-type: none"> 雑穀、澱粉等の活況で道内景気回復 貿易収支大幅黒字(内地出超3億7千万円) コレラ流行、国内死者7,482人



大正6年(1917)


月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	26 釧路興業無尽(株)が設立される。(昭和19年に北洋無尽へ統合)	24 暴風雪で後志沿岸の漁船転覆、死者160人
2		1 輪西製鉄所、北海道炭砒汽船と三井資本の北海道製鉄(株)となる
4	1 上大楽毛・穂弥平・湯波内の各簡易教育所が尋常小学校となる。 14 二俣墓地と火葬場が設置される。 20 衆院選で、小池仁郎が2選を果す。	20 総選挙、政友165・憲政121・国民35
5	5 尺別原野に「森林防火組合」が結成される。 .. 音別市街地区に「音別消防組」が創設される。	
8	24 アート・スミスが来釧し、高等飛行の妙技を披露する。  【「鳥人スミス」の曲芸飛行】 鳥取村の原野を会場として宙返り、錐揉み等を低空飛行で演じ、5万人の観客を大いに沸かしたと言う。	16 アート・スミスが函館で飛行、以降道内巡演
9	19 第1回釧路畜牛共進会が大楽毛家畜市場で開かれる。(～23日)	
10	10 尺別原野に「衛生組合」が結成される。 .. 木村久太郎が休業中の安田春鳥炭山を買収し、採炭を再開する。	1 東日本に台風、死者・行方不明1,300人
11	1 釧路慈徳会が創立され、更生保護事業を行なう。 .. 釧路教育會編『釧路國郷土誌』が発刊される。	7 ロシア10月革命、ソヴィエト政権樹立
12	1 根室線釧路一浜厚岸間が開業し、釧路駅を現在地に新築移転、旧釧路駅を浜釧路駅と改称して貨物専用駅とする。  【大正時代の釧路停車場】 .. 山浦政吉が阿寒湖畔駅通所を開設する。	21 福岡県桐野炭坑ガス爆発、死者361人
(この年)		(この年)
<ul style="list-style-type: none"> .. 鈴木水産工場を継承して北海水産(株)が設立され、発動機船2隻を建造し、機船底曳網漁を始める。 .. 安富甚吉が桂恋炭坑を再開する。(大正12年、太平洋炭砒が買収) .. 尺別炭山に弓道場が開設される。 .. 尺別村の霧里原野に福島団体が入植する。 .. 舌辛村の仁々志別に岐阜団体が入植する。 		<ul style="list-style-type: none"> .. 大戦で世界的な農産物暴騰、道内も雑穀・澱粉等の成金続出 .. 道内の義務教育就学率99%に達する .. 貿易収支黒字拡大(内地出超5億6千万円)

大正7年(1918)


月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<ul style="list-style-type: none"> 木村組炭砦が運炭用馬車軌道を港頭まで、全線複線化する。  <p>【春採湖畔を走る複線化された馬車軌道】</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道興業(翌年3月富士製紙へ吸収合併)が、鳥取村の製紙工場と阿寒川の飽別発電所の建設に着手する。  <p>【「日本一ノ輸出紙 富士製紙釧路工場」図】</p>	
3	<p>13 林田則友が第7代町長に再選される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 釧路築港に伴う阿寒川切替工事が竣工し、通水する。 	27 市町村義務教育費国庫負担法公布
4		1 北海道帝国大学開学
5	<ul style="list-style-type: none"> 音別市街で火災が発生し、18戸が焼失する。 	
7		23 富山県魚津町で米騒動
8	<p>30 第7回町会議員選挙(改選12名・補欠1名)が実施される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 音別第二教育所がチャンベツに移転・新築される。 	<p>1 開道50年記念北海道博覧会(～9.19)</p> <p>2 政府、シベリア出兵宣言</p>
9	<p>1 音別第二教育所が第二尋常小学校となる。</p> <p>15 音別第二小学校附属上音別教授場が開設される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 木村組炭砦の第1斜坑が開坑し、蒸気巻揚機で出炭を始める。 	<p>25 台風で道内の死者・行方不明37人、家屋全半壊1,691戸</p> <p>29 原敬内閣成立(初の本格的政党内閣)</p>
10	<p>7 湖畔尋常小学校が開校する。(木村組が建設し、町へ寄付する)</p> <ul style="list-style-type: none"> 椎葉糺義が尺別炭砦を開坑する。(翌年6月に北日本鑛業となる) 	
11		9 ドイツ革命、11日第一次世界大戦終結
12	<p>25 西幣舞の現稲荷小路附近から出火、繁華街の86戸が焼失する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 木村組炭砦が知人に貯炭場と高架栈橋を造成する。 	6 大学令・改正高等学校令公布
(この年)		(この年)
	<ul style="list-style-type: none"> 大塚仙五郎がトンケシで大塚製材工場を創業する。 北海水産(株)が底曳網漁船6艘(内4艘は動力船)を建造し、前年からの底曳網漁を本格化する。(和船手繰漁業者も動力化に向かう) 本願寺鳥取説教所(後の誠行寺)が創建される。 舌辛村の徹別に和歌山団体が入植する。 	<ul style="list-style-type: none"> スペイン風邪大流行、死者15万人 米騒動、7.23～9.17迄に37市・134町・139村で発生、検挙者数万人・起訴7,708人 貿易収支黒字、大戦中の4年間累計約14億円、貿易外収支も累計約10億円

大正8年(1919)



月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>3 西幣舞9番地から出火、491戸を焼失し、死者1名。(この大火を機に、幣舞通りと真砂町通り拡幅が町会で議決される。)</p> <p>.. 釧路中学校に校風刷新会の事件が起こる。</p>	<p>4 独でスパルタクス団蜂起(14日鎮圧)</p> <p>5 ドイツ労働者党(後のナチス)結成</p> <p>18 パリ講和会議(~6.28)</p>
3	<p>27 神道実行教釧路教会が西幣舞に創建される。</p>	<p>1 朝鮮で3・1運動、万歳事件</p>
4	<p>1 尺別村に2級町村制が施行され、尺別村役場が開設される。初代村長に戸長の結城源七郎が任命される。</p> <p>4 釧路産牛馬畜産組合が畜産奨励方針を決議する。</p> <p>4 阿寒の仰嶺山西来寺が公称認可される。</p> <p>10 合名会社敷島商會が設立される。(12年10月「福司」醸造開始)</p> <p>.. 聖パウロ教会の釧路幼稚園(13年に瑞穂幼稚園と改称、昭和6年休園)が開設される。(釧路初の幼稚園)</p>	<p>10 史蹟名勝天然記念物保存法公布</p>
	 <p>【釧路で最初の幼稚園:瑞穂幼稚園】 昭和6年9月「一時休園」とされたが、再開されずに昭和23年9月開園の頌栄保育園へ引き継がれた。</p>	
5	<p>1 第1回尺別村会議員選挙が実施される。(定数10名)</p> <p>17 庁立釧路高等女学校が第一小学校の一部を仮校舎として開校し、一期生の入学式が行なわれる。</p>	<p>4 第1回全国中等学校陸上競技選手権大会</p> <p>4 北京で5.4運動開始、日貨排斥運動拡大</p> <p>23 選挙法改正(納税資格10円を3円へ)公布、北海道の衆議定数6→16・選挙区6→12</p>
	 <p>【茂尻矢の庁立釧路高等女学校】 翌年1月31日、茂尻矢の第一小分教場(6月に第五小となる・後の城山小)隣に校舎が完成・移転し、10月19日に開校記念式が行なわれた。</p>	

	<p>12 釧路鉄道工場が幸町に移転・新築される。</p>  <p>【移転新築された 釧路鉄道工場】</p> <p>16 釧路郵便局が、1等局に昇格する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 釧路教育會主催で、町内の校長・教員・少年団員70余名が雌阿寒岳登山を行なう。 </p>	
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中戸川吉二の「イボタの蟲」が『新小説』に発表され、芥川龍之介等から高く評価される。 	<p>11 帯広に北海道製糖(株)設立 28 ベルサイユ講和条約調印</p>
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 帝国議会で、鉄道予定線が厚網線から釧網線に変更される。(大正11年に着工) 	
8	<p>30 尺別炭砒教育施設が、尺別尋常小学校付属特別教授場となる。</p>	<p>30 友愛会、大日本労働総同盟友愛会と改称</p>
9	<p>1 飽別(阿寒第1)発電所が運転を開始する。 2 音別工業(株)が設立され、製材工場を創業する。</p>	
10	<p>4 釧路警察署の職場句会「芙蓉会」が発足する。 20 富士製紙の飽別発電所等電気事業を分離し、富士電気(株)が設立される。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 殖産興業無尽(株)釧路出張所(本社網走)が開設される。 </p>	
11	<p>25 根室線の厚岸―厚床間が開通する。 28 釧路政友倶楽部(政友会釧路支部)が設立される。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 米価が1升66銭まで暴騰し、町が貧窮世帯へ白米を廉売する。 </p>	<p>26 北海道道路令公布</p>
12	<p>7 雄別炭礦鉄道(株)の前身である北海炭礦鉄道(株)が設立される。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 坂井木材合資会社が設立される。(後に日本5大枕木業者の一つとなるが、昭和の恐慌期に倒産する) </p>	
(この年)		(この年)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本多博士の春採公園造成計画により、国有未開地54町歩(後に84町歩)の払下げが決定する。 ・ 釧路電燈(株)が、北海道電気(株)に買収される。 ・ 曹洞宗鳥取説教所(後の宗仙寺)が創建される。 ・ 魚粕相場が暴落(大戦中は百石4千円が4百円に)し、北海水産(株)が倒産する。北海水産の底曳船を、次第浜出身の手繰船船頭らが各々買収し、機船底曳網漁の船主となる。 ・ 鳥取村1番組の鈴木新次郎が、稻荷社を創建する。(後の共栄稻荷神社) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道庁、釧路・置戸・温根湯・富良野第一の各事業区で国有林の官行斫伐開始 ・ 全国で同盟罷業497件・63,137人参加、小作争議326件発生



大正9年(1920)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	13 第一小附属茂尻矢分教場(後の城山小)が開設される。	10 国際聯盟発足
3	3 オーロラ詩社が文芸座談会を開催する。	15 株価暴落、戦後恐慌始まる
4	1 尺別炭砦の石炭運搬用軽便軌道が完成し、貨物専用駅として釧路本線尺別駅が開業する。 5 釧路発動機漁船組合が設立される。 10 第二小附属大楽毛特別教授場(後の大楽毛小)が開設される。 22 木村組炭鉱と三井釧路炭鉱が合併、太平洋炭礦(株)を設立する。 .. 前田汽船を千賀竹三郎らが引継ぎ、東海汽船(株)を設立する。 .. 音別尋常小学校に「高等科」が併置される。	
5	5 神習教末広講社が設立される。 10 衆議選道9区(釧・根・河・網)で小池仁郎・木下成太郎が当選する。 .. 尺別炭砦の施設消防組が結成される。	2 日本最初のメーデー、上野公園で開催 10 総選挙、政友278・憲政110・国民29 24 シベリアのニコラエフスクで「尼港事件」
6	18 釧路実業同志会(憲政同志会釧路支部)が設立される。 22 第五尋常小学校(後の城山小)が開校する。 27 釧路町を分割し、別保地区等は釧路村(2級町村)として分村する。	14 夕張炭砦北上坑ガス爆発、死者209人
7	1 釧路町に道内6番目の区制が施行される。 .. 鳥取村の富士製紙(株)釧路工場が創業を開始する。	
8	9 豪雨で釧路川が氾濫して大洪水となり、橋北市街地の殆どが水没する。阿寒川は流路を変えて大楽毛川に合流する。  10 道議選釧路区で前田政八、管内で佐藤国司・徳田豊が当選する。 30 第1回区会議員選挙が実施される。(定数24名)	9 釧路支庁管内の洪水被害、死者・行方不明10人、家屋流失・全壊57戸、床上浸水1,437戸、橋梁流失22ヶ所 10 第7期道会議員選挙、政友31・憲政17
9	4 釧路川治水計画が決定され、釧路築港計画も港域が拡大される。	15 道庁、機船底曳網漁業取締規則公布
10	1 国勢調査で釧路区39,392人・鳥取村2,254人・舌辛村5,884人・尺別村5,628人とされる。 2 林田則友が初代区長に選出される。 9 鳥取神社が鳥取村43番地に社殿を造営し、遷座する。	1 第1回国勢調査、北海道人口2,359,183人 20 全日本鉱夫総联合会設立
12	24 日本基督教団釧路教会が浦見町に移転・新築される。	
(この年)		(この年)
		.. 道内生産額、工産物が農産物上回る

大正10年(1921)



月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
2	<ul style="list-style-type: none"> 「青空(せいこう)画会」が創立され、第1回の展覧会が開かれる。 	12 大本教幹部、不敬罪等で一斉検挙
3	<ul style="list-style-type: none"> 阿寒湖マリモと厚岸牡蠣島植物群落が天然記念物に指定される。 釧路体育協会が北海道体育協会の下部機関として発足する。 	10 北海道自治講習所規則制定(7.3.開所)
4	<ul style="list-style-type: none"> 11 阿寒神社が村社に列格される。  <p>【阿寒神社】</p> <ul style="list-style-type: none"> 22 徹別中央小附属西徹別教授場(後の西徹別小)が開設される。 	<ul style="list-style-type: none"> 9 水産会法公布 14 函館大火、2,041戸焼失
5	<ul style="list-style-type: none"> 1 第2回尺別村会議員選挙が実施される。(定数12名) 札幌通信講習所釧路支所が開設される。(昭和5年9月に廃止) 音別工業が火力発電所を開設し、音別市街地区に灯が点る。 直別畜牛組合が設立される。 	1 苫小牧大火、1,007戸焼失
6	<ul style="list-style-type: none"> 3 釧路郡漁業組合が、「釧路区西部」「釧路区東部」「釧路郡」の3漁組に分割される。 8 釧路川治水工事が着工される。  <p>【新水路掘削工事の様子】 現在の新釧路川沿いに線路が敷設され、機関車と掘削機で掘り進められた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 20 釧路体育協会の初主催で、第6回官民連合運動会が開かれる。 	25 三菱内燃機神戸工場争議(7月、三菱・川崎造船に拡大・3万人余参加、7.14軍隊出動)
8	<ul style="list-style-type: none"> 5 西和田一根室間が営業開始し、根室線が全線開通する。釧路本線と根室線を合わせ、滝川一根室間を根室本線と改称する。 7 第1回全道青年団陸上競技大会で、釧路勢が総合2位となる。 全釧路軍・小樽庁商対抗陸上競技会が釧中グラウンドで開かれる。 	
9	14 (株)栗林商会釧路出張所が開設される。(15年1月三上に譲り撤退)	22 農商務省、機船底曳網漁業取締規則公布
10	<ul style="list-style-type: none"> 北海道電気(株)が北海道電燈(株)に吸収合併される。 村井組(後の村井建設)が創立され、雄別の炭住を建設する。 	<ul style="list-style-type: none"> 富士電気、北海道電燈と改称
12	<ul style="list-style-type: none"> 舌辛に釧路営林区署の苗畑が設置される。 	
(この年)		(この年)
	<ul style="list-style-type: none"> 釧路木材流送組合が設立される。 蛸の空釣延縄漁業が釧路沿岸一帯に普及し始める。 大町桂月が阿寒湖畔を訪ね、『文藝春秋』に漢詩を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 北洋での蟹缶詰加工船創業始まる 全国で同盟罷業246件・58,225人参加、小作争議1,680件・145,898人参加

大正11年(1922)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>20 釧路郵便局の郵便通送員、吉良平治郎が吹雪の中で殉職する。 (責任感発露の模範として昭和5年に修身の教科書に採用された)</p> <p>【山本多助エカシ作 吉良平治郎像】 アイヌ民族精神の体现者としての人物像再評価が進められている。</p> 	
	<p>28 釧路の観測史上第1位の最低気温-28.3度を記録する。</p>	
2	<p>21 富士製紙釧路工場の1号機がザラ紙の抄造を開始する。</p>	<p>・道庁長官、全道中学校長会議で「赤化思想防止」を指示</p>
3	<p>1 釧路一帯広間の電話が開通する。(札幌も通話可能となる)</p>	<p>3 全国水平社創立大会</p>
4	<p>1 尺別村が音別村と改称される。</p> <p>7 釧路川口両岸とトンケシ海岸97,029坪埋立て及び港内浚渫による岸壁造成の「釧路港湾整備計画書」が、区から道庁に提出される。</p> <p>11 改正鉄道敷設法で釧美線(釧路一相生間)が予定される。</p> <p>30 平戸前に鳥取小附属特別教授場が開設される。(後の北斗小) ・釧路土木派出所が釧路土木事務所に改称される。</p>	<p>9 日本農民組合創立</p> <p>11 改正鉄道敷設法公布(予定線149・内北海道22決定)</p> <p>16 道庁、旧土人児童教育規定廃止</p> <p>22 健康保険法公布(T15.7.1施行)</p>
5	<p>11 二俣市街地に二俣郵便局が設置される。</p>	<p>21 第1回全道中等学校陸上競技大会</p>
6	<p>18 第7回官民連合運動会の参加が30団体・選手2,000人に達する。</p>	
7	<p>7 徹別(阿寒第2)発電所が運転を開始する。</p> <p>17 摂政宮殿下(後の昭和天皇)が行啓される。(～19日)</p>  <p>【行在所の公会堂から釧路中学校視察に向かわれる摂政宮殿下】</p>	<p>8 摂政宮殿下、道内巡啓(～23日)</p> <p>15 日本共産党、非合法に創立大会</p> <p>17 有島武郎が農場を小作人に開放</p>


<p>8 1 市制が施行される。</p> <p>【市制施行を伝える『釧路新聞』】</p> <p>17 釧路支庁が釧路国支庁と改称される。(昭和32年に復する) ・ 三上運送会社が豊嶋回漕店を吸収合併する。</p>	<p>1 道内6区を廃し、各市制を施行</p>
<p>9 30 西幣舞(現北大通14)に札幌鉄道局釧路運輸事務所の新庁舎が竣工する。</p> <p>【幣舞橋通りの突き当りに建つ釧路運輸事務所】</p>	
<p>10 3 舌辛—幌呂間の拓殖費支弁道路が開通する。 5 第1回市会議員選挙が実施される。(定数30名) 21 前田政八が初代市会議長に選出される。 ・ 南防波堤が堤頭灯台以外は完成する。</p>	<p>14 「監獄」を「刑務所」と改称する勅令</p>
<p>11 28 真砂町より出火し、入船・幣舞・浦見へ延焼する。118棟146戸が焼失し、消火に当たった放水ポンプ自動車も焼損する。 ・ 市営住宅が、春採(現宮本)・浦見(現住吉)・西幣舞(現寿町)に合計100戸完成する。</p>	<p>18 アインシュタイン来日</p>
<p>12 12 初代市長に元滋賀県警察部長の二木千年が選出される。 ・ 栗林商船(株)釧路出張所が開設される。 ・ 釧路卓球協会が結成される。</p>	
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<p>・ 釧路ハーモニカ・アンサンブルが創立される。 ・ 邦楽の釧路市三曲演奏会が結成される。 ・ 二俣巡查駐在所が設置される。(請願巡查)</p>	<p>・ 全国で同盟罷業250件・41,503人参加、小作争議1,578件・125,750人参加</p>

大正12年(1923)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>17 北海炭鑛鉄道(後の雄別鉄道)が、釧路―雄別炭山間の一般旅客貨物営業を開始する。</p>  <p>【雄別炭山駅を出発して釧路駅に向かうSLと客車】</p> <p>20 釧路臨港鉄道が敷設免許を申請する。</p> <p>31 西幣舞69番地より出火し、76棟141戸が焼失する。</p>	<p>27 婦人参政同盟、東京で結成</p>
2	<p>12 釧路土木建築請負業組合(後の釧路建設業協会)が発足する。</p>	<p>11 第1回全日本スキー選手権大会(小樽)</p>
3	<p>7 私立雄別尋常小学校が開校する。(昭和8年3月公立移管)</p> <p>20 霧里尋常小学校が二俣尋常小学校に改称される。</p>	<p>8 東京で、初の国際婦人デー集会</p>
4	<p>1 舌辛村(阿寒郡4村統合)と鳥取村に2級町村制が施行され、初代村長に、舌辛は松田尚二・鳥取は増川篠夫の各戸長が就任する。</p> <p>1 釧路商業中学校(釧路中学に併置された夜間課程)が開校する。</p> <p>14 音別神社の創立が許可され、社殿を新築移転し、無格社となる。</p> <p>30 古川忠一郎著『釧路発達史』が刊行される。</p>  <p>【釧路発達史】 後の市史編さんに大きな影響を与えた貴重な書である。記述は当時の釧路国全体に及ぶ。</p>	<p>1 戸長役場全廃、町村制施行(北海道は市6・1級町村99・2級町村155)</p>
5	<p>1 第3回音別村会議員選挙が実施される。(定数12名)</p> <p>10 鳥取村と舌辛村の第1回会議員選挙が実施される。</p> <p>17 巖島神社が県社に昇格する。</p>	<p>1 鉄道省、稚泊連絡船(稚内―現コルサコフ)運行開始</p> <p>15 農商務省、水産冷蔵奨励規則公布</p>


6	<p>30 二木市長が吏員16名を抜き打ち解雇する。 ・・ 春採小盛坑付近に定光寺の説教所(後の佛心寺)が開設される。</p>	28 道庁、土人救療規程公布
8	<p>1 市役所庁舎が幣舞町に落成、移転する。</p>  <p>【新築された釧路市役所】</p> <p>13 鳥取村消防組が認可され、鳥取132番地に器具置場を設ける。</p>	26 道庁、市場規則制定
9	<p>25 木材配送の為、釧路川河畔に天寧駅が開設される。(釧路—上別保間の本線より分岐する車扱貨物駅)</p>	<p>1 関東大震災(M7.9)、死者・行方不明10万5千人、家屋全壊・焼失47万戸</p> <p>28 道庁、土人救護規程公布</p>
10	<p>7 釧中の野球・陸上・柔道・剣道部が初めて根室に遠征する。</p>	
11	<p>20 釧路公共職業紹介所が西幣舞に開設される。</p>	<p>1 根室銀行等安田系11行、大合同</p> <p>25 北海道水産会設立</p>
12	<p>12 釧路臨港鉄道(株)が設立される。</p>  <p>【大正15年旅客運送開業当時の臨港鉄道の社屋と社員の面々】</p> <p>25 富士製紙工場岐線連絡の為、根室本線新富士駅が開業する。</p>	
(この年)		(この年)
<ul style="list-style-type: none"> ・・ 舌辛の沢口炭砦が閉山する。 ・・ 市内22ヶ所の病・医院に土人救療所が道庁から囑託される。 ・・ 太平洋炭砦が桂恋炭砦を買収する。(本格出炭は昭和25～32年) ・・ 釧路の底曳網漁船15隻が新潟県沖での操業を始める。 ・・ オルケストラ・マドリニ・スティカディ・クシロが創立される。 ・・ 尺別炭砦で「唐傘争議」が起こる。 ・・ マグロ買取運搬船が釧路に回航し、本州への輸送を始める。 		<ul style="list-style-type: none"> ・・ 道庁、前年迄土人病院4ヶ所開設補完の為土人救療所123ヶ所を囑託 ・・ 関東大震災で北海道への避難民16,580人 ・・ 全国で同盟罷業270件・36,259人参加、小作争議1,917件・134,503人参加

大正13年(1924)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>3 釧路で初めての全市民的な新年短歌会が公会堂で開かれる。 ・・ 俳人の臼田垂浪が来釧し、後の『えぞにう』創刊の基礎となる。</p>	<p>5 上歌志内炭砒ガス爆発、死者76人 10 政友会脱党議員、政友会本党結成し第1党</p>
2	<p>10 塚野公二郎が「情の宿」を開設する。(翌年に内田悟も加わり、昭和2年、釧路養老園となる。)</p>	
3	<p>26 雄別炭山郵便局(無集配)が設置される。 29 釧路郵便局から電話交換局が幣舞町(現大町2丁目)の新局舎に移転する。(電信部門は残る)</p> <p>【釧路郵便局電話分室】 「近代的な本館の壮麗さは複式交換機と相俟って真に理想的の建物である。」(当時の釧路新聞)</p>	
4	<p>1 十勝刑務所釧路支所が釧路刑務所と改称される。 2 北海炭砒鉄道(株)が三菱鉱業に買収され雄別炭砒鉄道(株)となる。 ・・ 市立病院が幣舞町に新築され、頓化から移転する。 ・・ 「音別消防組」が公設となる。</p>	
5	<p>10 衆議選道9区で小池仁郎・奥野小四郎が当選する。</p>	<p>10 総選挙、憲政151・政友本党109・政友会105</p>
6	<p>14 雄別尋常小学校大祥内分教場が開設される。(昭和14年9月廃校)</p>	
8	<p>9 釧路の観測史上第2位となる最高気温30.8度を記録する。 10 道議選市部で前田政八、郡部で伊藤八郎が当選する。 ・・ 根室本線の大楽毛鉄橋が4年ぶりに復旧する。</p>	<p>10 第8期道会議員選挙、憲政25・政友19</p>
9	<p>2 尺別炭砒に巡查駐在所が設置される。 6 舌辛小附属仁々志別特別教授場(後の仁々志別小)が開設される。</p>	
10	<p>・・ 直別一尺別間に拓殖道が完成する。</p>	
11	<p>4 釧根齒科医師会の設立総会が開かれる。 15 小池愛三らが「釧路短歌会」を発足させる。 15 南防波堤の堤頭灯台(赤灯台)が初点される。 27 釧路商業会議所の設立(入舟町8)が農商務省から認可される。</p>	<p>26 モンゴル人民共和国成立</p>
12	<p>12 アイヌ給与地整理・管理を行なう「舌辛互助組合」が設立される。 24 永久保秀二郎が、釧路にて死去する。(享年76才)</p>	<p>13 婦人参政権獲得期成同盟会結成</p>
(この年)		(この年)
	<p>・・ 太平洋炭砒が第2斜坑を開削する。(大正14年に閉鎖) ・・ 機船底曳網でスケトウダラが捕られ始め、スキミ製造が盛んになる。 ・・ 釧路相撲協会が結成される。 ・・ 貨物自動車による運送業が始まる。</p>	<p>・・ 貿易収支赤字、ピークの6億5千万円 ・・ 全国で同盟罷業295件・48,940人参加、小作争議1,532件・110,920人参加</p>

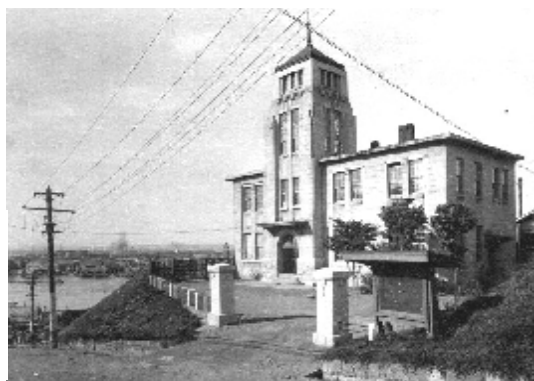
大正14年(1925)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1		20 北京で日ソ基本条約調印(国交回復)
2	<p>1 尺別駅で一般貨物の取扱いを始める。</p> <p>2 今上陛下御成婚記念釧路市簡易図書館が公会堂内に開館する。</p> <p>12 釧路臨港鉄道の春採一知人間が営業開始する。</p> <p>21 西幣舞100番地から出火、81棟118戸が焼失する。</p> <p>24 釧路商業会議所の第1回議員総会が開催され、初代会頭に福井邦雄が就任する。</p> <div data-bbox="568 524 1007 927" data-label="Image"> </div> <p>【釧路商工会議所】 昭和3年に釧路商工会議所と改称する。同6年、大川町埋立地に事務所(写真)を新築・移転する。</p>	
3	<p>16 釧路臨港鉄道の別保一春採間が営業開始する。</p> <p>20 釧路自動車(株)が設立され、市内路線バスの運行を始める。</p> <div data-bbox="260 1039 778 1413" data-label="Image"> </div> <p>【乗合バスと車掌たち】 昭和9年に釧路乗合自動車(株)と改称、19年に8社統合で東邦交通となった。</p>	1 (社)東京放送局、試験放送開始
4	<p>3 釧路で初の無産政党「釧路新政同盟」が結成される</p> <p>.. 中野回漕店(後の中野運輸)が開業する。</p>	22 治安維持法公布
5	<p>1 第4回音別村会議員選挙(定数12名)が実施される。</p> <p>10 鳥取村と舌辛村で第2回村会議員選挙が実施される。</p> <p>20 産業組合法による有限責任釧路信用組合(後の釧路信用金庫)が設立される。</p> <div data-bbox="260 1787 632 2002" data-label="Image"> </div> <p>【設立当初の釧路信用組合事務所】</p> <div data-bbox="679 1644 1163 2002" data-label="Image"> </div> <p>【昭和5年、幣舞橋袂に移転・新築の釧路信用組合】</p>	<p>5 普通選挙法(改正衆議院議員選挙法)公布</p> <p>22 総同盟分裂、日本労働組合評議会結成</p>


7	<p>1 発動機漁船組合が三鱗(株)魚菜市場を買収し、ミツウロコ(株)共同魚菜市場を設立する。</p> <p>4 第20回奥羽6県・北海道市長会議が釧路で開催される。(～6日)</p> <p>22 市消防組への火災連絡専用電話が開通する。</p> <p>27 舌辛に伊藤自動車部(後の阿寒バス)が設立され、舌辛―湖畔―北見相生間の旅客・貨物輸送を始める。</p>	1 蒋介石らの広東国民政府成立
8	23 釧路国支庁の新庁舎が竣工する。	1 青函航路、貨車輸送開始
9	<p>1 舌辛小附属第2特別教授場(後の下徹別小)が開設される。</p> <p>1 北海道立水産試験場釧路支場が廃止される。</p> <p>5 釧路埼灯台に吹鳴警報機(霧笛)が設置される。</p>  <p>【釧路埼灯台と霧笛信号】 口径80cm長さ4mのパイプを持つエアサイレン</p> <p>17 二木市長が愛知県内務部長に発令されて辞職する。</p> <p>20 雄別鉄道の湯波内(後の桜田)駅が開業する。</p>	20 東京6大学野球リーグ戦開始
10	<p>1 国勢調査で、釧路市42,332人・鳥取村4,844人・舌辛村10,305人・音別村5,028人とされる。</p> <p>.. 久本春雄が邦画「かく」で帝展に初入選する。</p>	<p>1 第2回国勢調査施行、北海道の人口は2,498,679人</p> <p>5 北海道美術協会、第1回道展開催</p>
11	<p>3 釧路労働組合が結成され、組合長に伊藤又吉が就任する。</p> <p>7 私立釧路裁縫伝習所が釧路女子技芸学校と改称し、支庁旧庁舎を改築して移転する。</p> <p>8 三井物産と新宮商行之共同出資による北海木材防腐(株)釧路工場が創立される。(道内最初の民営防腐会社)</p> <p>26 釧中生の同人雑誌『北方芸術』が創刊される。</p>	15 相生線(美幌―北見相生)全通
12	<p>7 岡本佃(前台湾総督府警務課長)が第2代市長に選出される。</p> <p>8 太平洋炭砒の知人高架棧橋が竣工し、石炭積出しを始める。</p> <p>23 蘇牛(阿寒第3)発電所が送電を開始する。</p>	<p>1 浅沼稻次郎ら農民労働党結成</p> <p>28 (財)大日本相撲協会設立</p>
(この年)		(この年)
	.. 釧路スケート協会が結成される。	<p>.. ラジオ聴取契約者、東京131,373人・大阪47,942人・名古屋14,290人</p> <p>.. 全国で同盟罷業270件・32,472人参加、小作争議2,206件・134,646人参加</p>

大正15年・昭和元年(1926)



月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>30 栗林商会釧路出張所が三上運送に業務譲渡して閉鎖される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 春採湖で釧路スケート協会主催の第1回児童スケート大会が開かれる。 ・ 釧路産牛馬畜産組合音別支部が設置される。 	<p>15 京都学聯事件に治安維持法発適用</p>
2	<p>1 臨港鉄道の春採―臨港間で旅客営業が始まる。(沼尻・米町・真砂町の各停留場を設置)</p> <p>27 増税反対釧路市民大会が開かれ、約1千人が参加する。</p>	<p>13 日本労働組合評議会北海道地評発足</p>
3	<p>10 妙本寺の寺号公称が許される。</p>	<p>28 北海道製酪販売組合联合会(酪聯)設立</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三上幹部で労組加入33名の解雇撤回闘争が起こる。 	
5	<p>22 尺別炭砦々員住宅5棟50戸が火災で焼失する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 臨港鉄道の観月園停留場が設置される。 ・ 雄別鉄道の富士製紙釧路工場専用測線(鳥取測線)が開通する。 ・ 市営給水岸壁(南埠頭)の埋立て・築造が着工される。 	<p>1 北海道初のメーデー実施</p> <p>22 十勝岳大噴火、死者・行方不明144人</p>
6	<p>15 鳥取第1小に富士製紙の鳥取工業実技学校が併置される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音別信用購買販売組合が設立され、製酪所を設置する。 	<p>22 道庁、酪農奨励規則公布</p>
7	<p>1 各小学校に青年訓練所が併設される。</p>	<p>1 青年訓練所令施行</p>
8	<p>25 釧路労働組合が日本労働組合評議会釧路合同労働組合となる。</p>	<p>20 (社)日本放送協会設立</p>
9	<p>1 北防波堤灯台(白灯台)が初点される。</p> <p>18 金光教が浦見町から宮本町に移転する。</p>	<p>6 労働農民党北海道支部联合会発足</p>
10	<p>1 釧路健康保険署(後の社会保険事務所)が西幣舞に設置される。</p> <p>5 普通選挙により、第2回市会議員選挙(定数30名)が実施される。</p> <p>20 雄別鉄道の穂弥平(後の山花)駅が開業する。</p>	
11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第3回明治神宮体育大会(第10回から明治神宮国民体育大会)で北海道青年部(釧路勢が中心)が総合優勝する。 	<p>25 庁立図書館開館式(札幌)</p>
12	<p>3 西幣舞の民家から出火し、駅前付近の81棟、121戸が焼失する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一条迷洋らの短歌雑誌『白楊樹』が創刊される。 ・ 釧路警察署が現幣舞公園に移転・新築される。 <p>【釧路警察署】 S23年釧路市警察署となり、市警は翌年黒金町へ移転。後、道警釧路方面本部(右)となって、S46年解体後幣舞公園になる。</p>	<p>16 全日本農民組合同盟北海道同盟発足</p> <p>25 大正天皇崩御、「昭和」と改元</p>
(この年)		(この年)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 釧路港第1期修築工事が竣工する。 ・ 千葉県出稼ぎ者によるイワシ旋網漁業が始まる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全道的に大正2年以來の凶作 ・ 全国で同盟罷業469件・63,644人参加、小作争議2,751件・151,061人参加





昭和2年(1927)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>1 釧路市水道(鶴ヶ岱)浄水場が完成し、給水が開始される。</p> <p>【鶴ヶ岱浄水場】 別保川左岸を取水口とし、最大8,767m³/日を給水した。</p> 	
3	<p>・ 初代道庁鉄道部長田邊朔郎が、道内の鉄道1,000マイル達成を記念し、春採公園(後に幸町公園へ移設)に記念碑を建立する。</p>	<p>7 北丹後地震(M7.3)、死者3,589人</p> <p>15 銀行取付け等、金融恐慌始まる</p>
4	<p>6 徹別郵便取扱所(後の徹別郵便局)が設置される。</p> <p>・ 音別製酪所が「クローバーバター」等の生産・販売を始める。</p> <p>・ 市立釧路実科高等女学校が開校する。</p>	<p>5 商業会議所法廃止、商工会議所法公布</p> <p>18 蒋介石、南京国民政府樹立</p> <p>22 3週間のモロトリアム(支払猶予)実施</p>
5	<p>1 釧路で初めてのメーデー行進が行なわれる。</p> <p>1 第5回音別村会議員選挙が実施される。(定数12名)</p> <p>10 鳥取村と舌辛村で第3回村会議員選挙が実施される。(各定数10名)</p> <p>21 金毘羅院の寺号公称が許される。</p>	
6	<p>7 岡本市長が辞職する。</p>	<p>1 憲政会・政友本党合同、立憲民政党結成</p>
7	<p>1 更科源蔵らの詩誌『港街』が創刊される。</p>	
8	<p>21 酒井隆吉(前樺太庁内務部長)が第3代市長に選出される。</p> <p>・ 電灯料値下期成会が結成され、電灯料金値下げ運動が始まる。</p> <p>・ 白楊樹社が歌集『新人パンフレット』を出版する。</p>	<p>3 第1回都市対抗野球、神宮球場で開催</p>
9	<p>14 釧路カトリック教会の献堂式が行われる。</p> <p>15 釧網線釧路(別保信号所)一標茶間が開通する。</p> <p>・ 雄別炭砦で蒸気機関に加えて電力が導入され、雄別の炭住街に電灯が点り、採炭設備も大幅に機械化される。</p>	
10	<p>12 「情の宿」が釧路養老園(後の長生園)と改称される。</p> <p>21 阿寒国立公園期成会の前身となる釧路保勝会が発足する。</p> <p>・ 第二小学校(後の寿小)が新築落成する。</p>	<p>1 北海道1級・2級町村制施行(1級町村への府県町村制準用、普通選挙制等)</p> <p>・ 富山で電灯料値下運動開始、全国化</p>
11	<p>29 上音別拓殖医として女医(万沢ヨシ)が着任する。</p>	<p>12 三菱美唄炭砦ガス爆発、死者39人</p>
12	<p>1 仁々志別原野道路(穏弥平—仁々志別原野西42線)が全通する。</p> <p>・ 北海道拓殖軌道雪裡線(新富士—中雪裡)が開通する。</p>	<p>3 山川均・堺利彦・荒畑寒村ら『労農』創刊</p>
(この年)		(この年)
	<p>・ 釧路港第2期修築工事が着手される。(昭和16年竣工予定)</p> <p>・ 漁船動力化が進展し、内燃機関修理・製造工場が出来始める。</p> <p>・ 全道少年野球大会釧路予選会が開催される。</p> <p>・ 東北北海道卓球大会が釧路で開催される。</p>	<p>・ 北海道第1期拓殖計画終了、第2期拓殖計画実施</p> <p>・ 産児制限・不況で出生人口大幅減少</p> <p>・ 全国で同盟罷業346件・43,669人参加、小作争議2,052件・91,336人参加</p>



昭和3年(1928)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>1 釧路商工会議所が釧路商業会議所を改組して発足する。</p> <p>15 釧路スキー倶楽部が発会式を兼ねて第1回釧路スキー大会を開く。</p> <p>24 釧路郵便局舎が州崎町(現南大通5丁目)に新築され、竣工する。</p>  <p>【釧路郵便局】 煉瓦色の「市内筆頭の近代的ビルディング」で3月21日から移転後の執務を開始した。</p> <p>・阿寒湖漁業組合が設立され、ヒメマス・アメマス等の養殖を始める。 (翌年、西網走湖のワカサギを阿寒湖へ移植する)</p> <p>・釧路中学校文芸部の機関誌『山脈』が創刊される。</p>	<p>12 大相撲、ラジオ中継開始</p> <p>23 日ソ漁業条約調印</p>
2	<p>20 衆議選道5区で、木下成太郎・三井徳宝・小池仁郎・前田政八が当選する。</p>	<p>1 日本共産党中央機関紙『赤旗』創刊</p> <p>20 普選法で初の総選挙、政友217・民政216・無産諸派8</p>
3	<p>2 釧路新聞(第2次)が夕刊を発行し始める。</p> <p>15 共産党一斉検挙により、釧路では奥林市蔵・島田清・武本実三郎の3名が家宅捜索を受けて検束されたが、翌朝放免となる。</p> <p>25 釧路で全道社会民衆党支部代表者会議が開かれる。</p>	<p>15 治安維持法により全国で1,600余名逮捕、内488名が共産党員として起訴(3.15事件)</p> <p>25 全日本無産者芸術聯盟(ナップ)結成</p>
4	<p>12 音別村会議員補欠選挙が実施される。(1名)</p>	<p>10 日本商工会議所設立</p> <p>10 労農党・評議会・無産青年同盟に解散命令</p>
5	<p>10 音別第二小附属上音別教授所が上音別尋常小学校となる。</p> <p>20 道議補選(前田衆議の欠員)で林田則友が当選する。</p>	
6	<p>1 第十二銀行(昭和18年に北陸銀行)釧路支店が開設される。</p> <p>17 第13回官民連合運動会で仮装行列が初めて市内をパレードする。</p>	<p>4 張作霖爆殺(満州某重大事件)</p>
7	<p>9 三吉神社が村社に列せられる。</p> <p>13 酒井市長が辞職する。</p> <p>22 市会議員補欠選挙(1名)が実施される。</p> <p>29 公会堂で『至上律』主催の文芸講演会が行なわれる。</p> <p>・詩誌『港街』を改題した『至上律』が創刊される。</p>  <p>【『詩と評論 至上律』創刊号】 左:表紙 右:中表紙</p>	<p>22 鈴木茂三郎ら無産大衆党結成</p>



<p>8 1 音別村役場会議室(議事堂)が落成する。</p> <p>10 道議選市部で菊地三之助、郡部で伊藤八郎が当選する。</p> <p>16 佐藤国司が第4代市長に選出される。(初の地元市長となる。)</p> <p>19 白楊樹社主催の「詩歌講演会」が公会堂で催される。</p>	<p>10 第9期道会議員選挙、政友27・民政24</p>
<p>9 3 嵯峨漁港建設・埋立ての為、釧路漁港(株)が設立される。</p>	<p>1 鉱夫労役扶助規則改正(婦人・年少者の坑内・深夜労働禁止)公布</p>
<p>10 5 音別村会議員補欠選挙(1名)が実施される。</p> <p>21 鳥取村立共栄尋常小学校の開校式が行われる。</p> <p>.. 尺別炭山が買収され、雄別炭礦鉄道(株)尺別礦業所となる。</p>  <p>【尺別炭山駅】 左の小屋が駅舎で、右は選炭工場、手前はB6型SLと石炭貨車。</p>	<p>8 蒋介石、国民政府主席就任</p>
<p>11 3 四代目幣舞橋が完成し、渡橋式が行なわれる)</p>  <p>【四代目幣舞橋】 前3代の幣舞橋は木橋の為短命だったが、四代目は昭和50年まで、「北海道三大名橋」の一つとして親しまれた。</p> <p>11 別保信号所を東釧路駅とし、釧網線の起点とする。</p> <p>.. 頓化の隔離病舎が移転・新築され、市立釧路湖畔病院となる。</p>	<p>1 「ラジオ体操」の放送開始</p>
<p>12 21 太平洋炭礦春採坑で、坑内火災により11名が死亡する。</p> <p>23 南防波堤内埋立地の臨港鉄道への貸付けを市会が議決する。</p>	<p>25 日本労働組合協議会(全協)発足</p>
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<p>.. 釧路警察署に新武徳館ができる。</p> <p>.. 市内の学校で籠球が盛んになり始める。</p> <p>.. 釧路青年団陸上競技部が結成される。</p> <p>.. 仁々志別駅通所が開設される。</p>	<p>.. 銀行合同進む(普通銀行1,280→1,028)</p> <p>.. 化学肥料普及で硫安消費量、大豆糟消費量と並ぶ(窒素成分量換算)</p> <p>.. 全国で同盟罷業332件・36,872人参加、小作争議1,866件・75,136人参加</p>

昭和4年(1929)



月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>9 釧路中学に旧警察署の武徳館を移設し、柔剣道場が建てられる。 ・・ 釧路教育夜話会機関誌『潮騒』が創刊される。</p>	12 道庁、牛酪検査規則公布
2	<p>12 鳥取神社が村社に列せられる。 26 上飽別(阿寒第4)発電所が送電を開始する。</p>  <p>【北海道電燈(株)阿寒川系発電所】</p>	
3	<p>・・ 南防波堤内埋立地及び給水岸壁建設工事が竣工する。</p>	<p>5 労農党代議士山本宣治暗殺される 23 道庁、拓殖費教育補助規定公布</p>
4	<p>16 共産党の再弾圧により、釧路では前年と同じ3名の外6名の計9名が検挙されるが、札幌移送後釈放される。 26 二俣小付属霧里特別教授場が、霧里尋常小学校となる</p>  <p>【霧里小学校】昭和42年3月に閉校した。</p>	16 治安維持法により全国で1,000余名逮捕、内339名が共産党員として起訴(4.16事件)
5	<p>1 第6回音別村議会議員選挙(定数18名)が実施される。 10 第4回鳥取(12名)・舌辛(14名)村会議員選挙が実施される。 14 殖民軌道雪裡線(新富士一中雪裡)が営業開始する。 16 初代鳥取橋が完成し、竣工式が行なわれる。</p>	
6		17 駒ヶ岳大爆発、家屋全・半壊1,915戸
7	<p>25 平戸前特別教授場が平戸前尋常小学校(後の北斗小)となる。</p>  <p>【北斗小学校】昭和46年閉校</p>	<p>2 張作霖事件で引責、田中内閣総辞職し、民政党浜口雄幸内閣成立</p>

<p>8 15 猪狩満直の詩集『移住民』が出版される。</p>	<p>5 上歌志内炭砒ガス爆発、死者71人 15 釧網線の標茶一弟子屈間開通</p>
<p>10</p>	<p>24 NY株式市場大暴落、世界恐慌始まる</p>
<p>11 9 湯波内橋と湯波内停車場道路の竣工・渡橋式が行なわれる。 11 消防組第1部番屋(後の市消防本部)が新築落成する。</p>  <p>【鉄筋コンクリート造の新築番屋】 鉄骨造の望楼は地上20m。幣舞橋の袂から市中を見渡した。</p>	<p>21 大蔵省、金解禁に関する省令公布</p>
<p>12 18 臨港鉄道の東釧路―春採間旅客営業が始まる。 ・ 飯田要次郎が浪花町で保育所を始める。(後の釧路保育院)</p>	<p>25 日本労働組合全国協議会(全協)結成</p>
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 財政逼迫により、一切の新規事業を見合わせた「直立不動予算」が編成され、市債の低利借替等が佐藤市長により実施される。 ・ 鋼船(東海丸・妙見丸・住吉丸)による底曳網漁が始まる。 ・ マグロが300万貫(約1万1千ト)以上の大漁となる。 ・ マグロの豊漁により、釧路川での「氷切り」が盛んとなる。  <p>【釧路川での氷切出し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 釧路港からの雑穀出荷が100万俵を超える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母船式鮭鱒漁業勃興、工船での缶詰生産が盛んになる ・ 全国で同盟罷業494件・60,084人参加、小作争議2,434件・81,998人参加



昭和5年(1930)


月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	20 『至上律』を改題した詩誌『北緯五十度』が創刊される。 <ul style="list-style-type: none"> 春採湖リンク開きのフィギュア試技に700名の観衆が集まる。 	11 金輸出解禁実施(金本位制に復帰)
2	11 昭和村創成期成会の設立総会が開かれる。 20 衆議選で東條貞・木下成太郎・小池仁郎・三井徳宝が当選する。	20 総選挙、民政 273 ・政友 174 ・無産諸派 5
4	1 尺別駅が一般駅に昇格し、旅客営業を開始する。	
5	1 初代新川橋(鳥取橋と同構造)が竣工する。 <ul style="list-style-type: none"> 高田寿夫(元釧中教師)の小説『インテリゲンチャ』が出版される。 	<ul style="list-style-type: none"> 小林多喜二「蟹工船」発表(『戦旗』～6月)
6	11 酪連釧路工場が鳥取村に完成し、バター等の製造販売を始める。 16 尺別炭山郵便取扱所が設置される。(後の尺別炭山郵便局) 22 官民連合運動会が「市民運動会」と改称して第 15 回が開催される。	
7	<ul style="list-style-type: none"> 公益質屋が大川町に開設される。 	
9	25 越後屋呉服店の両角栄治が丸三鶴屋デパートを開店する。  <p>【丸三鶴屋デパート】 左:外観 右:一階店内</p> <ul style="list-style-type: none"> 釧路金属労働組合が結成される。 	15 農林省、機船底曳網漁業取締規制改正 (許可期間を 5 年以内に短縮等)
10	1 国勢調査で、釧路市 51,586 人・鳥取村 6,990 人・舌辛村 11,752 人・音別村 6,140 人とされる。 1 新釧路川の全水路が完成し、釧路川から切替通水される。 5 第 3 回市会議員選挙が実施される。(定数 30 名) <ul style="list-style-type: none"> 阿寒湖畔一弟子屈間の「阿寒横断道路」が開通する。  <p>【阿寒横断道路】 完成当時の道幅は僅かに3.6m、「477曲り」と呼ばれる難路だった。</p>	1 第 3 回国勢調査、北海道人口 2,812,335 人
11	5 嵯峨久の銅像が建立される。(戦時中供出され、昭和 35 年に再建)	5 北海道アイヌ協会機関誌『蝦夷の光』創刊
12	5 更料源蔵の詩集『種薯』が北緯五十度社から発刊される。	
(この年)		(この年)
	<ul style="list-style-type: none"> 種馬所が鳥取村等釧路国管内9ヶ所に増設される。 不況により、産馬の価格が大正時代の5分の1に下落する。 釧路港から米・英への雑穀直輸出が始まる。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界恐慌、日本に波及(昭和恐慌) 全国で同盟罷業763件・64,933人参加、小作争議2,478件・58,565人参加

昭和6年(1931)


月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	28 釧路の観測史上第2位の最低気温-28.2度を記録する。 .. 尺別小附属尺別炭砒特別教授場が、尺別炭砒尋常小学校となる。	26 日本農民総同盟と全日本農民組合合同、 日本農民組合(日農)結成
2	.. 野坂朔朗(作五郎)らの句会「無名会」が発足する。	
3	12 臨港鉄道が南埠頭借入岸壁(知人埋立地)で接岸荷役を始める。 25 第1回児童画展が鶴屋デパート4階で開催される。(～31日)	.. 軍部クーデタ未遂事件(3月事件)
4	18 脚本研究会の会「木曜座」が創立される。 29 釧路考古学研究会が発足する。	1 国立公園法公布 1 重要産業統制法(カルテル強制)公布
6	1 栗林商船と三上運送の出資により三ツ輪運輸(株)が設立される。 12 阿寒国立公園期成会が発足する。 27 田村剛博士が阿寒国立公園候補地域を視察する。 【『国立公園候補地 阿寒』(昭和6年7月 釧路市役所内阿寒国立公園期成会)】	6 北海道旧土人奨学資金給与規程制定
		
7	16 釧路一東京間に市外電話回線が開通する。 17 本多静六博士ら国立公園調査会一行が阿寒を視察する。 31 根室・釧路地域業者による北海道昆布輸出組合が設立される。	5 労農・全国大衆・社会民衆の3党合同、 全国労農大衆党結成
8	8 釧路軟式野球協会が結成される。	24 リンドバーグ夫妻、太平洋横断根室港着水
9	1 官立春採小学校(旧春採土人学校)の閉校式が行なわれる。 19 釧路川治水工事が竣工し、岩保木水門で通水式が行なわれる。  【岩保木(旧)水門】 ここからの新水路が新釧路川だが、昭和39年～平成13年は釧路川(従来の川は旧釧路川)とされた。 20 釧網線(東釧路一網走)の全通式が第二小学校で挙行される。	18 柳条湖事件、満州事変始まる
10		.. 道庁、北千島海域鮭鱒流網漁を許可
11	.. 『北緯五十度詩集』が刊行される。 .. 失業救済事業で市道側溝コンクリート工事が始まる。(～翌年1月)	27 日本プロレタリア文化聯盟(コップ)結成
12		13 金輸出再禁止を閣議決定(金本位制停止)
(この年)		(この年)
	.. 尺別炭山で鉱長宅爆破事件が起こる。 .. 音別・二俣・尺別の青年訓練所が、各実業補修学校と改称される。	.. 東北・北海道大凶作、農家子女身売り続出 .. 全国で同盟罷業864件・54,515人参加、小作争議3,419件・81,135人参加



昭和7年(1932)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1		8 朝鮮人李奉昌、天皇の馬車に爆弾投げる (桜田門事件)
2	4 音別村会議員補欠(3名)選挙が行われる。 10 音別神社が村社に昇格する。  【音別神社】 毎年7月12日を中心に例祭が行なわれている。 10 釧路市教育会編の副読本『釧路市郷土誌』が発刊される。	9 前蔵相井上準之助、血盟団員が射殺 20 総選挙、政友301・民政146・無産諸派5
3	15 真壁仁詩集『街の百姓』が出版される。	1 満州国建国宣言(首都長春[新京])
4	1 尺別炭山郵便取扱所が郵便局に昇格する。 15 釧路新聞『木曜文芸』に連載中の五十嵐重司(釧中生)の小説「灰色の聖林」が学校当局の申入れで掲載を中止される。 .. 雪裡線と幌呂線の運行組合が合併し、北海道拓殖軌道雪幌線運行組合が設立される。	
5	31 釧路合同労組と同金属労組が釧路一般労働組合が結成される。	15 青年将校ら首相官邸襲撃、犬養首相射殺 (5・15事件)
6	.. 忠魂碑が大成寺から鶴ヶ岱公園内に移設される。  【当時の忠魂碑】 昭和26年に鳥取神社の忠魂碑が合祀され、同40年に厳島神社境内の釧路護国神社に移設されている。	29 警視庁に特別高等警察部設置
7	.. 市営グラウンド(69,735㎡)が第五小学校裏に完成する。	24 全国労農大衆党、社会大衆党と改称
8	1 市制施行10周年記念式典が挙行される。 10 道議選市部岡田伊之助、郡部伊藤八郎・伊藤鉄次郎が当選する。 15 市内の字(町名)地番の改正が告示され、真砂町・西幣舞等が南大通・北大通等に変更される。 16 茅野満明が第五代市長に選出される。	4 北海中卒の南部忠平、ロサンゼルス五輪三段跳びに世界新で金メダル 10 第10期道会議員選挙、政友30・民政28 15 河西支庁を十勝支庁、浦河支庁を日高支庁に各改正


<p>9 18 釧路畜産組合が新馬種「日本釧路種」を発表する。</p>  <p>【「日本釧路種」の種牡馬】 「小格重軛馬」の日本釧路種は軍用・農耕など多方面で活躍した。</p> <p>9 釧路畜産組合が第1回釧路地方競馬を鳥取村10番地で開催する。 (昭和12年まで年2回、同16年まで年1回開催された)</p>  <p>【釧路地方競馬】 競馬場に因んで、後に「駒場町」となった。</p>	<p>7 文部省、欠食児童20万人への臨時学校給食実施を訓令</p>
<p>10 9 市営グランド開場記念市民大運動会が開催される。</p>	<p>5 農山漁村経済更生計画助成規則公布</p>
<p>11</p>	<p>5 広尾線(帯広―広尾)全通</p>
<p>12 4 北海道漁業缶詰(株)釧路工場が入舟町に完成し、カニ缶詰生産の操業を開始する。</p> <p>7 国の失対事業で春採湖西岸埋立護岸工事が始まる。(～翌年3月)</p>  <p>【釧路市失業救済事業春採湖埋立工事現場風景】</p>	<p>23 文部省、小学校における北海道郷土地理教授要項を訓令</p>
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 釧路川浚渫及び両岸埋立護岸工事が始まる。 ・ 釧路地方の底曳網漁船操業停止期間が6・7月の2ヶ月と定められ、この期間、根室への入会操業が行なわれる。 ・ 水難救済会が釧路港配置の救難船(白鳥丸)を建造する。 ・ 舌辛村の水稻作付けが435反と最大になるが、冷害の為に収穫皆無の大凶作に終わる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冷水害で全道的な大凶作 ・ 道庁長官凶作の根釧原野視察、酪農主体の根釧原野農業開発5ヶ年計画策定 ・ 全国で同盟罷業778件・46,025人参加、小作争議3,414件・61,499人参加

昭和8年(1933)



月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1		1 山海関事件、中国軍と関東軍衝突
2	1 雄別炭鉱大祥内坑でガス爆発事故が発生し、5人が死亡する。	20 小林多喜二、築地署で虐殺
3	15 鳥取小学校に鳥取家政女学校が併置される。  【家政女学校の授業風景】 予科(尋常小卒)・本科(予科又は高等小卒)・専修科があった。	3 昭和三陸地震(M8.1)、死亡・不明 3,064 人 27 政府、国際連盟脱退を通告 29 漁業法改正公布(組合自営を認める)
4	1 尺別炭鉱小に高等科が置かれ、尺別炭鉱尋常高等小学校となる。 1 旭小学校に市立商業専修学校が併置される。 ・ 釧路専門店会(後の日専連釧路会)が創立される。	・ 道庁、根釧原野農業開発5ヶ年計画実施
5	1 鳥取村に1級町村制が施行され、村長に佐藤一馬が就任する。 28 都市計画基本調査(地形測量)が実施される。(～11/28) ・ 富士製紙釧路工場が王子製紙釧路工場と改称する。 ・ 第7回音別村会議員選挙(定数18名)が実施される。 ・ 第5回阿寒村会議員選挙(定数24名)が実施される。	18 王子製紙(株)、富士製紙(株)・樺太工業(株)を合併 31 関東軍と中国軍の塘沽停戦協定成立
6	16 仁々志別川の不二橋が完成し、渡橋式が行なわれる。 18 第18回市民大運動会が会場を市営グラウンドに移して開催される。 ・ 農山漁村振興事業として、久寿里橋架橋工と城山一春採炭山一益浦一桂恋間道路の改良工事が始まる。	
7	24 太平洋炭鉱春採坑でガス爆発が起き、6人が死亡する。 30 第5回鳥取村会議員選挙(定数18名)が実施される。	11 大日本生産党員らクーデター計画、49人検挙(神兵隊事件)
8	23 高浜虚子が来釧する。 27 龍清教会(後の龍清寺)が大町に創建される。 ・ 野田頭鉄彌が『釧路大東新聞』を創刊する。  【釧路大東新聞】 市立釧路図書館に昭和14～15年の一部が保存されている。	

<p>9 17 釧路陸上競技協会が設立され、道陸協に加盟する。</p>	<p>17 北海道陸上競技協会創立</p>
<p>10 .. 釧路川と新釧路川を結ぶ運河掘削工事が始まる。</p>  <p>【釧路運河掘削工事の風景】 主に木材の流送の為着工したが、釧網線の開通等により未完のまま終了した。</p>	<p>21 5相会議で満州国の育成・日満支3国提携などの国策大綱決定</p>
<p>11 .. 釧路考古学研究会が『釧路市の先住民族遺跡』を刊行する。</p>	<p>12 道庁、卸売・小売市場規則各公布 26 石炭販売統制機関の昭和石炭(株)設立</p>
<p>12 20 初代久寿里橋の渡橋式が行なわれる。</p>  <p>【初代久寿里橋】 橋が架かるまでは渡し船で往来していた。昭和17年5月、腐朽で中央部墜落時も復旧まで再度、渡し船が使われた。</p> <p>25 北聯の釧路聯合倉庫・澱粉再製工場・豆選工場が操業を始める。</p>	<p>1 標津線の厚床—西別(別海)間開通</p>
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<ul style="list-style-type: none"> .. 市の財政が内務・大蔵両省の事前監督を受ける。(昭和15年まで) .. 釧路から初めて、金城丸が東カムチャッカで鮭鱒流網漁を行なう。 .. 日貨排斥運動で休航した釧路—上海線に代わり、釧路—大連線の航路に4社が就航する。 .. 岩淵三治が、阿寒湖に鯉を放流する。 .. 舌辛村の水稻収穫が、前年皆無から最高の653石となる。(翌年以降は冷害凶作が続く) 	<ul style="list-style-type: none"> .. 輸出産業全般的好調、米の大豊作などにより、景況暫時好転 .. 全国で同盟罷業525件・35,880人参加、小作争議4,000件・48,073人参加 .. 道庁、漁業取締船新造、2隻で底引船取締を実施


昭和9年(1934)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1		29 官民大合同の日本製鐵(株)設立
2	1 猪狩満直の詩集『秋の通信』が北緯五十度社から刊行される。 .. 南埠頭を臨港鉄道が市から買収(34,579㎡・72万円)する。	
3	15 バス営業の釧路自動車(株)が釧路乗合自動車(株)と改称される。 26 釧路木炭移出商業組合が設立される。	16 瀬戸内海・雲仙・霧島、国立公園に指定 21 函館大火、焼失24,186戸死者・不明2,716人
4	1 第一・二・三・四・五の各尋常高等小学校が、日進・寿・東栄・旭・城山に各改称される。	
6	9 鳥取村で開村50年記念祭が挙行される。(～11日) .. 鳥取村役場編『鳥取50年誌』が刊行される。	
7	20 『音別村々報』創刊号が発刊される。 .. 釧路畳販売・釧路雑穀澱粉卸売・釧路米穀卸の各商業組合が設立される。 .. ミツロコ(株)共同魚菜市場が(株)共同魚菜卸売市場へ、(株)水印釧路魚菜市場が(株)釧路魚菜卸売市場と改称する。	25 農林省、母船式漁業取締規則公布(全て許可制となる)
8	4 釧路港貿易額200万円突破を記念し「第1回港まつり」が催される。	
9	10 豪雨による大洪水で、舌辛村2名・音別村7名が死亡する。	21 室戸台風、関西中心に死者・不明3,036人
10	5 第4回市議員選挙が実施される。(定数36名)	1 標津線の西別(別海)一中標津間開通
11	20 商工会議所が改築され、一部を釧路商工奨励館として開館する。 .. 大楽毛橋が永久橋に架替えられる。	18 日本労働組合全国評議会(全評)結成
12	4 阿寒が国立公園に指定される。 【12月16日、公会堂前から出発した数千人の「阿寒国立公園指定」祝賀パレード】  23 音別一白糠間道路改良工事とパシクル橋復旧工事が完成する。 25 音別橋架替工事が竣工し、渡橋式が行なわれる。 .. 釧路農事試作場が太田村から鳥取村穩弥平に移転・開設される。 .. 知人岬(米町公園)に石川啄木歌碑が建立される。	4 阿寒・大雪・日光・中部山岳・阿蘇、国立公園に指定 .. 日本捕鯨(株)の船団、南氷洋へ初出漁
(この年)		(この年)
	.. 音別村本流地区に朝日炭砒(後の音別炭砒)が開坑される。 .. マイワシの水揚量が最高の550万貫(約2万ト)を記録する。 .. マグロ流網漁の水揚量が急激に減少する。 .. 釧路港の輸出総額が328万円余となる。(大連線が主力)	.. 全道の冷害凶作、米収穫前年322万石が187万石 .. 全国で同盟罷業562件・42,149人参加、小作争議5,828件・121,031人参加



昭和10年(1935)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
2	<p>10 釧路スキー協会が発足し、第1回スキー大会が硫黄山で開かれる。</p> <p>22 釧路瓦斯(株)が設立される。</p>  <p>【釧路瓦斯(株)本店】 翌年11月18日に石炭が原料の都市ガス供給を開始する。</p> <p>.. 雄別炭砒診療所が開設される。</p>	25 母船式鮭鱒漁の全企業、太平洋漁業(株)に合併吸収
3	7 札幌通信局海事部釧路出張所が浪花町4に開設される。	
4	<p>.. 各青年訓練所・実業補習学校等が、各青年学校に改称される。</p> <p>.. 新田煉乳釧路工場が貝塚で操業を始める。</p>	1 青年学校令公布
5		6 茂尻炭砒でガス爆発、死者95人
6	<p>16 市民大運動会が第20回を記念して大々的に開催される。</p>  <p>【第20回釧路市民大運動会】</p>	
7	.. (株)共同魚菜卸売市場が(株)釧路魚菜卸売市場を買収・合併する。	
8	<p>4 釧路開港35周年を記念して第2回港まつりが開催される。</p> <p>6 阿寒湖畔郵便取扱所(翌月26日に阿寒湖郵便局)が設置される。</p> <p>27 『タンチョウ』及びその繁殖地が国の天然記念物に指定される。</p>	7 北海道綴方教育連盟結成
9	<p>10 図書館が公会堂内から市役所横水道事務所跡に移転する。</p> <p>24 音別に加入電話が施設され、音別郵便局で交換業務が始まる。</p>	18 美濃部達吉、「天皇機関説」で議員辞職
10	1 国勢調査で、釧路市56,170人・鳥取村9,034人・舌辛村13,236人・音別村5,275人とされる。	1 第4回国勢調査、北海道人口3,068,282人
12	24 モシリヤのチャシ・春採台地堅穴群・チャランケチャシが国の史蹟に指定される。	8 大本教出口王仁三郎ら、不敬罪と治安維持法違反で逮捕(第2次大本教事件)
(この年)		(この年)
	<p>.. 釧路港から青エンドウ等の豆類が欧米へ直輸出され始める。</p> <p>.. 中徹別—仁々志別間道路(約5km)が開通する。</p>	<p>.. 前年続き全道的冷害凶作、米収穫178万石</p> <p>.. 全国で同盟罷業531件・31,853人参加、小作争議6,824件・113,164人参加</p>



昭和11年(1936)




月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>15 佐々木米太郎著『釧路郷土史考』を市が発刊する。</p>  <p>【佐々木米太郎】 釧路米穀雜貨商組合長であり、町会・区会・市会議員を20年余務める等、政財界に重きをなした人物で、郷土史研究にも力を注いだ。</p>	<p>15 全労・総同盟が合同、全日本労働総同盟(全総)創立</p>
2		<p>20 総選挙、民政205・政友174・社会大衆22</p> <p>26 皇道派青年将校ら1,400人、内府斉藤実・蔵相高橋是清ら殺害(2・26事件)</p>
3	<p>30 湯波内の自作農創設地で泥炭地開墾が始まる。</p>	
4	<p>1 釧路男子高等小学校(後の弥生中)が開校する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市立釧路病院附属看護婦養成所が開設される。 釧路管弦楽団が結成され、定期演奏会等をはじめ。 釧路郷土文化協会(会長は茅野市長)が創立される。 	
7	<p>14 釧路市立郷土博物館が市役所内図書館2階に開館する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 明治製菓(株)が貝塚の新田練乳釧路工場を買収し、極東煉乳(株)釧路工場となる。 小助川浜雄の歌集『海彦』が新墾社から発刊される。 	<p>17 スペイン内戦始まる</p> <p>31 第12回五輪開催地、東京に決定</p>
8	<p>16 佐藤国司が再び市長(第6代)に選出される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ベルリン五輪で市第三高小卒の中村コウが円盤投げ4位入賞する。 開港35周年記念事業で佐野碑園が前年より整備され、佐野氏紀功碑が建立される。 俳人の臼田亜浪が来釧する。 前年1社となった卸売市場が魚と青果の2社に分離される。 	<p>6 砂川炭砒の田島直人、ベルリン五輪三段跳に世界新で金メダル</p> <p>10 第11期道会議員選挙、民政29・政友26</p>
9	<p>27 天皇陛下が行幸され、男子高等小学校が行在所となる。</p>	
10	<p>19 雄別炭礦鉄道(株)が浦幌炭砒を買収し、尺別鉱業所浦幌坑とする。</p> <p>29 釧網線が釧網本線と改称される。</p>	<p>3 陸軍特別大演習、北海道で実施(～5日)</p> <p>8 全日本専門店會聯盟(日專聯)結成</p>
11	<p>23 釧路ロータリークラブが創立される。</p>	<p>25 日独防共協定、ベルリンで調印</p>
12	<p>9 日蓮宗音別教会所(後の妙音山法華寺)が創立される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 太平洋炭砒が春採第2斜坑採掘を再開する。 	
(この年)		(この年)
	<ul style="list-style-type: none"> 根釧原野の多数の農家に、道費補助で乳牛が導入される。 帯広松光寺釧路布教所(後の松光寺)が川上町に開設される。 シュンク舌辛川支流サルンナイ沢で炭砒が開坑する。 音別消防組に初めて消防ポンプ車が導入される。 	<ul style="list-style-type: none"> 全国で同盟罷業498件・26,772人参加、小作争議5,769件・58,675人参加

昭和12年(1937)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>10 釧路臨港鉄道の東釧路一城山間が開業される。</p>  <p>【開業当時の城山駅とガンリンカー】</p> <p>16 鳥取村に釧路種馬所が設置される。</p>	
2	<p>11 八千代座において失業者大会及び演説会が開かれる。</p>	<p>11 文化勲章令公布</p>
4	<p>1 舌辛村が分割され、鶴居村が開村する。</p>	<p>30 総選挙、民政179・政友175・社会大衆37</p>
5	<p>5 第8回音別村会議員選挙が行われる。(定数18名)</p> <p>13 商工会議所が『釧路観光案内』を発刊する。</p>  <p>【復刻版『釧路観光案内』】 商店・工場・官公庁の写真等も豊富で、当時の釧路を知る貴重な史料。2004年に復刻された。</p> <p>.. 第6回阿寒村会議員選挙が行われる。(定数18名)</p>	<p>17 北海道漁業組合联合会(道漁聯)設立</p>
6	<p>5 舌辛村が阿寒村と改称される。</p> <p>9 保証責任鳥取信用購買利用組合が設置される。</p> <p>.. 穂弥平一仁々志別間の殖民軌道(約12km)が開通する。</p>	<p>9 第5回冬季五輪開催地、札幌に決定</p> <p>18 ヘレンケラー来道、各地で講演</p>
7	<p>30 第6回鳥取村会議員選挙が行われる。(定数18名)</p>	<p>7 廬溝橋事件(日中戦争へ拡大)</p>
8		<p>9 農林省、機船底曳網漁業整理規則公布</p>
9	<p>10 太平洋炭砒の春採選炭場が火災により大半の設備が焼失する。</p>	
10	<p>.. 音別市街の火災により寺院・料理店等7棟8戸が消失する。</p>	<p>13 北大に北方文化研究室設置</p> <p>30 標津線(標茶―根室標津―厚床)全通</p>
11	<p>3 鳥取村の酪聯釧路工場が貝塚の極東練乳工場隣地に移転する。</p>	<p>.. 道庁編『新撰北海道史』、全7巻刊行終了</p>
12	<p>15 人民戦線事件により釧路では10数名が検挙され、土屋祝郎・永田金次郎・桑原一の3名が起訴される。</p> <p>21 春採湖ヒブナ生息地が国の天然記念物に指定される。</p>	<p>13 日本軍、南京を占領(南京大虐殺)</p> <p>15 労農派の山川均ら400人余検挙(第1次人民戦線事件)</p> <p>22 全評・日本無産党に解散命令</p>
(この年)		(この年)
	<p>.. 日中戦争で石炭需要が急増し、釧路炭田各坑も増産体制となる。</p> <p>.. 遍照教会(後の遍照寺)が北大通12の9に創建される。</p> <p>.. 阿寒湖のヒメマスがパンケトーに移植される。</p>	<p>.. 全国で同盟罷業530件・53,429人参加、小作争議3,879件・63,246人参加</p>

昭和13年(1938)

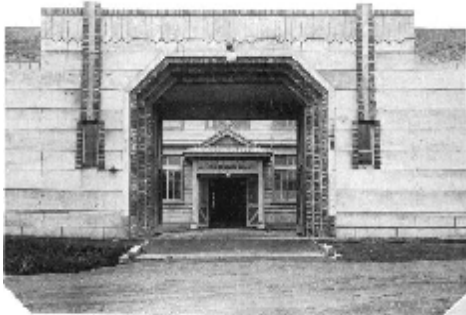
月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	10 北海道機船底曳網漁業整理水産組合が設立され、釧路支部所属 45隻を20隻に減船する整理案を5月に農水省へ提出する。	
2	26 NHK釧路放送局が開局し、仮放送(50ワツ)を開始する。	1 大内兵衛・美濃部達吉ら教授グループ検 挙(第2次人民戦線事件)
3	10 全釧路俳句大会が開催される。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 釧路畜産組合が新馬種「奏上釧路種」を発表する。  <p>【奏上釧路種】 軽種馬を改良して誕生した小格重鞍馬。 扱いやすい多目的馬として活躍した。</p>	1 商工省、綿糸布配給統制規則公布(綿糸 布の割当票制度、最初の配給切符制) 18 漁業法改正(組合機能が拡大)公布 29 重要鉱物増産法公布
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北埠頭の建設・鉄道事業の為、釧路埠頭倉庫(株)が創立される。 ・ 雄別通洞が開通し、全ての坑口が一本化される。  <p>【雄別通洞を出入りする炭車】 右は石炭を満載して炭山駅に向かう炭車、左は空の炭車。</p>	1 国家総動員法公布 6 電力管理法・日本発送電(株)法、各公布
5	7 釧路市壮年団が発足する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 俳誌『摩周』が創刊される。 	1 ガソリンの配給切符制実施
6	20 詩誌『大熊座』が創刊される。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 嵯峨漁港の日本水産(株)釧路工場で釧路初の製氷が始まる。 	
7	22 NHK釧路放送局が本放送(100ワツ)を開始する。	1 市町村立職業紹介所廃止、国営化
8	1 全国中等学校武道大会北海道予選会で釧中剣道部が優勝し、神宮大会に初出場する。	

<p>9</p>	<p>7 吉田仁吉編『釧路行幸誌』を市が発刊する。</p> <p>8 嗟峨漁港に(株)釧路魚卸売市場本場が新築・竣工し、入船町魚市場は廃止される。</p>  <p>【頌徳碑 嗟峨久壽像】 「釧路漁業界の父」と呼ばれ、 漁業基地:釧路の礎を築いた。</p> <p>.. 釧路機関区に初めてC58型蒸気機関車が配置される。</p>	<p>19 商工省、石炭配給統制規則公布(10.1配給切符制実施)</p>
<p>10</p>	<p>5 第5回市議会議員選挙が実施される。(定数36名)</p> <p>.. 北海道バレーボール大会(札幌市)一般男子の部で、釧路鉄道工場が優勝する。(以降3年連続で明治神宮体育大会道代表となる)</p>	<p>6 夕張炭砒でガス爆発、161名死亡</p>
<p>11</p>	<p>.. 愛国飛行場の開場式が行なわれ、万余の観衆が集まる。</p>  <p>【愛国飛行場】 飛行場は無くなったが、「愛国」という地名だけは残った。</p>	<p>13 日本労働組合総聯合、日本勤労奉公聯盟と改称</p> <p>20 『岩波新書』刊行開始</p> <p>20 北海道国民精神文化研究会発足</p>
<p>12</p>	<p>8 尺別炭山郵便局で電話交換業務が始まる。</p> <p>17 尺別小学校が全焼する。</p>	
<p>(この年)</p>		<p>(この年)</p>
	<p>.. 太平洋炭砒でロング採炭(長壁式採炭)が始まる。</p>  <p>【当時のロング採炭現場】</p> <p>.. 釧路港作業組合産業報国会が結成される。</p>	<p>.. 全国で同盟罷業224件・12,769人参加、小作争議4,615件・52,817人参加</p>

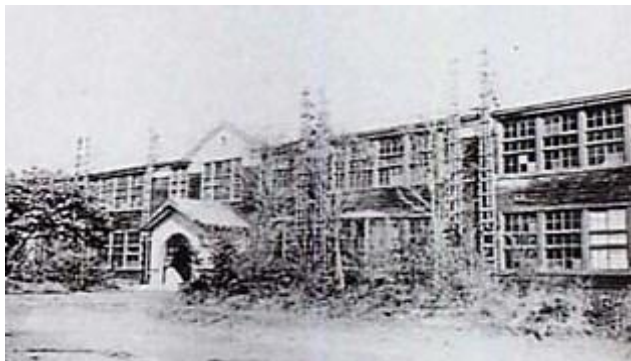
昭和14年(1939)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>16 直別市街に直別郵便取扱所(後の直別郵便局)が開設される。 ・・ 二俣郵便局が電信業務を開始する。</p>	<p>15 横綱双葉山、連勝記録69で止まる 25 警防団令公布(4.1施行)</p>
2	<p>13 高野大師講大師教会支部(後の岸福寺)が設立される。 20 北海木材化学工場で労働争議が起こる。 27 消防組を改組し、阿寒・雄別・北陽各警防団が結成される。 ・・ 釧路再生原料問屋商業組合が設立される。</p>	<p>9 政府、国民精神総動員強化方策を決定</p>
3	<p>9 釧路の観測史上第1位の最深積雪123cmを記録する。 31 消防組を改組し、音別警防団が結成される。 ・・ 釧路菓子小売商業組合が設立される。 ・・ 釧路國水産會の漁業用海岸無線局が嗟峨漁港で営業開始する。</p>	<p>15 各地の招魂社、護国神社と改称 25 酪農業調整法公布 28 国民精神総動員委員会官制公布</p>
4	<p>1 消防組を改組し、釧路市警防団が結成される。 1 釧路女子高等小学校(後の東中)が開校する。 22 庁立釧路工業学校(採鉱・機械・応用化学科)が開校する。 ・・ 仁々志別小附属共和特別分教場(後の共和小)が開設される。</p>	<p>1 全国の発送電設備33社を統合し、日本発送電(株)設立 12 米穀配給統制法公布 26 青年学校義務制(12~18才男子)の勅令</p>
5	<p>・・ 一条正(釧路では一条迷羊)の短編集『蛭の仲間』が出版される。</p>	<p>11 満蒙国境で武力衝突(ノモンハン事件)</p>
7	<p>15 国民徴用令が施行され、軍需工場等への徴用が始まる。 ・・ 三ツ輪運輸の雄別炭荷役部門が釧路石炭荷役(株)となる。 ・・ 太平洋炭礦の港頭石炭ローダーとコンクリ製高架棧橋が完成する。</p> <div data-bbox="419 1137 1007 1518" data-label="Image"> </div> <p>【巨大な石炭ローダーでの汽船積み込み風景】</p>	<p>8 国民徴用令公布 26 内務・厚生両省「朝鮮人労務者内地移住に関する件」通牒(85,000人の強制連行認可)</p>
8	<p>1 土木・築港・治水事務所を統合して釧路土木現業所が設置される。 6 第1次釧路開拓団が満拓公社の現地立会の下、入植決定する。</p>	
9		<p>1 独軍、ポーランド侵攻(第2次世界大戦)</p>
10	<p>・・ 焼失した尺別小学校の復旧工事が竣工する。 ・・ 釧路ゴム靴類小売商業組合が設立される。</p>	<p>18 価格等統制令・地代家賃統制令・賃金臨時措置令等、各公布</p>
12	<p>16 仁々志別郵便取扱所(後の仁々志別郵便局)が設置される。</p>	<p>26 朝鮮総督府、「創氏改名」強制開始</p>
(この年)		(この年)
	<p>・・ マダラ・スケトウダラの水揚げが1,200万貫(約4万5千ト)となる。 ・・ 出征兵士への「千人針」が街頭で目立ち始める。</p>	<p>・・ 10~12月に道内26鉱山で朝鮮人3,002人が紛争・争議に参加 ・・ 全国で同盟罷業290件・20,640人参加、小作争議3,578件・9,065人参加</p>


昭和15年(1940)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1		20 北海道産業報国聯合會結成
2	<ul style="list-style-type: none"> 新教各派が合同し、釧路基督教連盟が発足する。 釧路酒類食料品雑貨卸売商業組合が設立される。 	1 陸運統制令・海運統制令、各公布
3	11 第1次釧路開拓団が満州国東安省に入植する。 17 雄別炭砦で朝鮮人457人がストライキ、21日に70人が検挙される。 <ul style="list-style-type: none"> 内務・大蔵両省の市財政事前監督が7年ぶりに解除される。 釧路海産物移出商組合が設立される。 	23 道庁、宗教団体会法施行細則公布
4	1 阿寒村に1級町村制が施行される。 1 音別林産物検査員駐在所が開設される。 7 釧路大東新聞社が全焼する。 <ul style="list-style-type: none"> 釧路金物小売商業組合、同木材商業組合、同洋服雑貨・既製洋服小売商業組合、同酒類食料品雑貨小売商業組合が設立される。 	8 石炭配給統制法公布
5	<ul style="list-style-type: none"> 阿寒村北陽炭鉱が開坑される。 	1 国民優生法公布
6	30 第7回阿寒村会議員選挙が行われる。(定数18名)	
8	15 臼井拾が第7代市長に選出される。 24 臨港鉄道の臨港一入舟間が開業し、城山一入舟間が全通する。 <ul style="list-style-type: none"> 釧路燃料小売商業組合が設立される。 	10 第12期道会議員選挙(以後6年8月在職) 15 全政党の解党終了
9		27 ベルリンで日独伊3国同盟調印
10	1 国勢調査で、釧路市63,180人・鳥取村10,651人・阿寒村13,140人・音別村6,859人とされる。 10 釧路一函館間急行第3・4列車に「まりも」の愛称が付けられる。 <ul style="list-style-type: none"> 釧路米穀小売商業組合が設立される。 女子高等小と市立実科高女の校舎が城山に新築される。 	1 第5回国勢調査、北海道人口3,272,718人 12 大政翼賛会発足(総裁近衛首相)
11	21 「北海道綴方教育連盟事件」が起こる。(東栄小訓導の坂本亀松ら3名の教員が検挙される。翌年1月10日第2次検挙)  <p style="text-align: center;">【釧路刑務所】 起訴された12名は釧路地裁の判決が出る昭和18年6月迄(1名途中死亡)釧路刑務所に拘置された。</p>	1 砂糖、マッチの配給切符制実施 10 紀元2600年記念式典挙行  <p style="text-align: right;">【紀元2600年奉祝を伝える釧路新聞】</p> 23 大日本産業報国会発足
(この年)		(この年)
	<ul style="list-style-type: none"> 釧路の明星・金城・東海丸が北千島で底曳試験操業を行なう。 太平洋炭礦の年間出炭量が初めて100万トンを突破する。 太平洋炭礦別保坑に朝鮮人約800名が強制就労される。(18年迄に約2,700名が釧路炭田の各坑に強制就労される) 	<ul style="list-style-type: none"> 内務省、部落会・町内会・隣保班整備要綱を道府県に通達(隣組制度) 全国で同盟罷業239件・24,152人参加、小作争議3,165件・38,614人参加



昭和16年(1941)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>10 綴方連盟事件の第2次検挙により、道内53名の教員が検挙される。 (この内9名、前年検挙の3名と合わせ12名が起訴される)</p>	<p>10 大政翼賛会北海道支部発足 18 北海道産業報国会結成</p>
2	<p>18 大政翼賛会釧路市支部が発足する。(支部長に臼井市長) <ul style="list-style-type: none"> ・ 釧路小間物化粧品紙文具小売商業組合、釧路医薬品衛生材料小売商業組合が設立される。 </p>	<p>1 各三等郵便局を特定郵便局と改称</p>
3		<p>11 労働者年金保険法(S19厚生年金)公布 18 三菱美唄炭鉱でガス爆発、177名死亡</p>
4	<p>1 各小学校が国民学校と改称される。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 明治乳業(旧極東煉乳)と酪連が統合し、貝塚の両工場が北海道興農公社釧路工場となる。 </p>	<p>1 6大都市で米穀配給通帳制・外食券制実施 1 生活必需物資統制令公布</p>
5	<p>16 庁立釧路工業学校の校舎落成が行なわれる。</p>  <p style="text-align: center;">【庁立釧路工業学校】 昭和23年に北海道釧路工業高等学校と改称される。</p>	<p>30 北海道文芸協会が季刊『北方文芸』創刊</p>
6	<p>15 市民大運動会の入場式が全道にラジオ実況放送される。</p>	
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商業報国会釧路市支部が結成される。 	<p>1 全国の隣組、一斉に常会実施(以後毎月)</p>
8		<p>8 文部省、学校報国会(団)編制を訓令</p>
9	<p>6 釧路の観測史上第1位となる日降水量182.4mmを記録する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 台風により釧路方面の死者が24名にのぼる。 ・ 釧路陶磁硝子器小売商業組合、同洗染商業組合が設立される。 </p>	<p>2 衆議院議員クラブ解消、翼賛議員同盟成立</p>
10		<p>18 東条英機内閣成立</p>
11	<p>4 大政翼賛会釧路市支部に文化委員会が設けられ、科学・芸術・教化・厚生各分科会が設けられる。</p>	<p>22 国民勤労報国協力令公布</p>
12	<p>18 金比羅院が南大通に移転する。</p>	<p>8 太平洋戦争勃発</p>
(この年)		(この年)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 米も配給通帳制になり、殆どの食料・生活物資が配給制となる。 ・ 各学校に全校組織の学校報国会(団)が編制され、授業が半減して勤労奉仕・軍事教練が主となり始める。 ・ 専門学校・実業学校の翌春卒業生が3ヶ月繰上げ卒業する。(次の年より6ヶ月繰上げ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宗教団体法により、教派神道13教派・仏教28宗派・キリスト教2教団に統合 ・ 全国で同盟罷業525件・35,880人参加、小作争議4,000件・48,073人参加 ・ 全国で朝鮮人労働者の紛議628件・33,526人参加、逃亡43,031人

昭和17年(1942)




月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1		1 食塩の配給通帳制実施
2		1 衣料の配給、点数切符制実施 21 食糧管理法公布
3	11 道内の全小規模運送業者が日本通運(株)札幌支部に統合され、日本通運(株)釧路支店が開設される。	5 東京に初の空襲警報発令 7 農水省、鮮魚介配給統制要綱制定
4	3 阿寒村森林組合が設立される。 30 衆議選道5区で「推薦候補」4名が当選する。 .. 音別村森林組合が設立される。 .. 女子国民学校(後の東中)に女子青年学校が開設される。	1 船舶運営会設立(海運全てを国家管理) 1 道内電力4社統合、北海道配電(株)設立 30 第21回総選挙(翼賛選挙)実施 .. 木材統制令により北海道地方木材(株)設立
5	21 第7回鳥取村会議員選挙が行われる。(定数24名) .. 第9回音別村会議員選挙が行われる。(定数18名) .. 尺別炭鉱一浦幌炭鉱間の「尺浦隧道」が完成する。	13 企業整備令公布 20 水産統制令公布
6	26 釧路聖教会(新教系)の長塚牧師が特高に検挙される。 30 阿寒村会議員補欠選挙(4名)が行われる。	
8	7 釧路鮮魚介配給統制(株)が設立される。	14 閣議、町内会等を翼賛会指導組織とする
9	11 釧路鉄道管理部が設置され、鉄道工場を工機部と改称する。 30 釧路産牛馬畜産組合が産馬畜産組合と産牛同に分離される。 .. 更科源蔵の『コタン生物紀』が札幌で出版される。	
10	5 第6回市会議員選挙が行われる。(当選36名中32名が推薦候補)	
11	1 新聞統合で釧路新聞社は北海道新聞釧路支社となる。  【新聞統合前の釧路新聞社屋】 この統合で、明治35年から続いた第2次釧路新聞が廃刊となる。 3 尺別一尺別炭山間の軌道に代わる専用鉄道が運行開始する。	1 北海道タイムスなど11新聞統合され「北海道新聞」創刊 .. 道会議員会、翼賛道政会に改組
12	5 釧路国民職業指導所が北大通から大川町に移転・新築される。	12 北海道翼賛芸術聯盟結成
(この年)		(この年)
	.. 野球の試合が「ヨシ」「ダメ」等のサインで行われるようになる。	.. 全国で労働争議173件・9,625人参加 .. 産業報国会、163,740事業所・5,514,320人

昭和18年(1943)


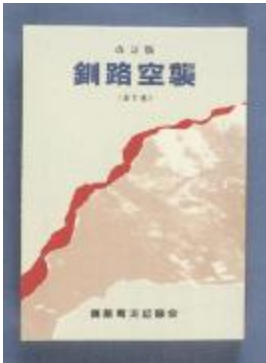
月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>4 市立病院が全焼し、入院患者・家族など9人が焼死する。</p> <p>8 釧路ハリストス正教会信徒の白系露人2名が特高に検挙される。</p> <p>10 文芸雑誌『霧笛』が創刊される。(翌年1月の第13号で休刊)</p>	<p>21 文部省、中学・高女は4年、大学予科は2年等に各修業年限短縮を決定</p>
2	<p>21 釧路翼賛芸術連盟が発足する。</p> <p>.. 釧路映画演劇協会が発足する。</p>	<p>1 日本軍、ガダルカナル島撤退開始</p>
3		<p>11 農業団体法・水産業団体法、各公布</p> <p>12 商工組合法・商工経済会法、各公布</p> <p>20 改正府県制・市制・町村制、各公布</p>
4	<p>.. 戦力増強重点生産方針により釧路炭田の中小炭砦が閉鎖され、8炭山だけに整理統合される。</p>  <p>【戦時中の太平洋炭砦(春採坑従業員倶楽部)】 建物の真中辺りに日の丸がついた戦意高揚の垂れ幕が掛かっている。</p>	
5	<p>1 企業整備令により釧根地域の貨物自動車業者が統合され、釧根貨物自動車(株)が設立される。</p>  <p>【当時使われていた釧根貨物のトラック】</p> <p>8 大詔奉戴日(毎月8日)に釧路尚武会が「武装行進」を行なう。</p> <p>13 東北海道武道大会が旭国民学校で開催される。</p> <p>20 釧路市西部漁協と同東部漁協が統合され、釧路市漁協となる。</p>	
6	<p>1 音別村が北海道指定村となり、7名の参与が置かれる。</p> <p>1 港湾運送業統制令による「1港1社」統合で、港の雑貨荷役は釧路港運(株)・石炭荷役は釧路石炭運送(株)が設立される。</p>	<p>1 北海道1級・2級町村制廃止</p> <p>20 創価教育学会幹部21名検挙(～7/6)</p> <p>25 閣議、学徒戦時動員体制確立要綱決定</p>


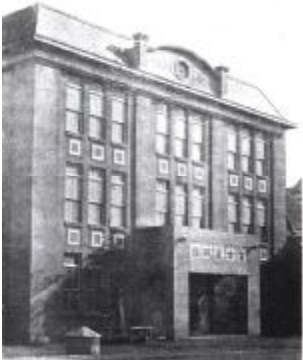

<p>3 太平洋炭礦別保坑のガス爆発で朝鮮人坑夫7人が死亡する。</p> <p>9 鳥取村に町制が施行され鳥取町となり、初代町長に井原栄松が就任する。(鳥取村開村60周年の年でもあり、『鳥取町誌』が記念刊行される)</p> <div data-bbox="411 313 922 660" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">【発刊された鳥取町誌】 (左:表紙 右:目次)今では大変貴重な自治体史となっている。</p> <p>30 綴方連盟事件に判決が出され、11名が有罪となる。(1名獄死)</p>	
<p>7 25 湖畔国民学校の新校舎が完成し、移転する。</p>	
<p>9 .. 農業関係諸団体が統合されて、各市町村農業会が設立される。</p> <div data-bbox="587 945 1173 1220" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: right;">【釧路高等女学校生徒援農隊の休憩時間】</p>	<p>23 閣議、国内必勝勤労対策(車掌・理髪師等17職種の男子就業禁止、25歳未満女子を勤労挺身隊として動員)決定</p>
<p>10 2 釧路商工会議所が北海道商工経済会釧路支部に改組される。</p> <p>27 大日本武徳会釧路支部設置記念弓道大会が開催される。</p> <p>.. 更科源蔵の詩集『凍原の歌』が出版される。</p> <div data-bbox="906 1332 1268 1720" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: right;">【生徒動員態勢確立を伝える新聞記事】</p>	<p>12 閣議、教育に関する戦時非常措置方策(学生の徴兵猶予停止、勤労働員等)発表</p> <p>21 神宮外苑で出陣学徒壮行大会举行</p>
<p>11 10 釧路翼賛芸術聯盟文学部機関誌『郷土文学』が創刊される。</p> <p>14 城山国民学校が全焼する。</p> <p>17 尺別炭砒奥沢坑でガス爆発事故が起き、12人が死亡する。</p>	<p>1 鉄道省と通信省が統合、運輸通信省発足</p>
<p>12 1 音別村沿岸警備隊が結成され、警防団長が隊長に任命される。</p>	<p>21 閣議、都市疎開実施要綱決定</p>
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<p>.. 釧路の底曳網漁船45隻の内、約半数が徴用される。</p>	<p>.. 軍需物資増産の為、企業大整備</p> <p>.. 全国で労働争議292件・10,626人参加</p>

昭和19年(1944)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1		26 東京・名古屋に防空法による初の疎開命令
2	.. 陸軍報道奉公隊釧路文学隊・美術隊・音楽隊 が結成される。	
3	15 道内無盡合同で北洋無盡(株)を設立し、釧路支店が開設される。 16 釧路沖で「日連丸」が米潜水艦に撃沈され約2,800人が死亡する。 .. 市立高女、庁立高女の勤労挺身隊が結成される。	6 全国の新聞、夕刊を廃止(11/1～朝刊2頁) 28 農業団体法一部施行、産馬畜産組合を馬匹組合と改称
4	15 企業整備令により、釧根地域と美幌の乗合旅客自動車業8社が統合され、東邦交通(株)が設立される。 .. 国鉄の赤帽・入場券の発売・荷物一時預り業務が廃止される。	
5	31 市漁協や市場業務等が統合され、釧路漁業会が設立される。	16 三菱美唄炭砒でガス爆発、109名死亡
6	.. 市民運動会が翌年と併せて、2年間で中止される。	27 有珠山東の新成火山、昭和新山と命名
7	17 釧路食料品日用雑貨配給統制組合等の種目別配給統制組合が多数設立される。	7 サイパン島守備隊3万人玉砕
8	16 佐藤国司が3度目の市長就任で第8代市長となる。 .. 釧路炭田の8山(前年整理統合による)の内、太平洋・雄別・庶路は保坑、尺別・浦幌・本岐・白糠・新尾幌は休山となり、坑夫の殆どは九州(一部芦別)の炭山へ配転される。	4 閣議、国民総武装決定(竹槍訓練等開始) 4 東京都区部の初等科3～6年生、集団疎開
9	1 カトリック釧路愛児園が開設される。 21 極洋捕鯨釧路事業場が南浜町で操業開始する。  【極洋捕鯨釧路事業場】 この日、宮城県 <small>の</small> 捕鯨船が1万貫の大マッコウ鯨を水揚げした。 .. 仁々志別国民学校下仁々志別分校が開校する。	15 道内24地区小運送業、日本通運へ統合 30 神・仏・基30万人の宗教家、大日本戦時宗教報国会結成
10	1 庁立釧路保健所が幣舞町25番地に開設される。	
12		7 東南海地震(M7.9)、死・不明1,273人
(この年)		(この年)
	.. 大阪等の肥料工場が統合・移転され、日本肥料(株)釧路工場が材木町に設立される。 .. 企業整備で市内の造船所は釧路造船所(知人)・東日本造船所(浜町)・三ツ輪造船所(天寧)の3ヶ所となる。 .. 近海に米潜水艦が出没し、釧路港への入船が激減する。  【新富士海岸に設営されたトーチカ(防陣地)】	.. 全国で労働争議216件・6,627人参加 .. 米軍機の日本本土空襲激化  【防火訓練】 空襲に備え、釧路でも防火訓練が行われる


昭和20年(1945)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1		13 三河地震(M6.8)、死者 2,306 名
3		9 ・10東京大空襲、 23 万戸焼失・死傷 12 万人 18 閣議、中等学校等4月より授業停止決定
5	<ul style="list-style-type: none"> 市立図書館が貴重書の疎開準備を行なう。 妙法寺の寺号公称が許可される。 	7 独、連合国に無条件降伏
6	<ul style="list-style-type: none"> 市内で建物疎開(防火帯を設ける為の強制撤去)が始まる。 	23 沖縄戦終結、戦死 9 万人・一般死者 10 万人
7	<p>14 ・15の両日、米軍艦載機延141機が8波に渡り釧路地方を空襲。通信運輸施設・造船所・製紙工場等に甚大な被害を受け、釧路市(当時鳥取町含む)で死者193人・負傷者273人・損失家屋1,375戸、音別村で死者9人・負傷7人・家損7戸、阿寒村で死者5人・負傷8人。その外、沿岸漁船での死者・行方不明28人・負傷8人。</p>  <p>【空襲で爆破された釧路工機部の旋盤工場】</p>  <p>【『改訂版 釧路空襲』】 本書は同時代人の証言や公文書外の史料を詳細に編集したた労作である。 (釧路戦災記録会編、1989年7月)</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道青果物配給公社釧路支店が設置される。 	17 ポツダム会談(26日ポツダム宣言発表)
8	1 釧路埼燈台に釧路埼無線方位信号所が併置される。	6 広島に原爆投下 9 長崎に原爆投下 14 御前会議、ポツダム宣言受諾・無条件降伏決定(15日、玉音放送)
9	<ul style="list-style-type: none"> 保坑となっていた太平洋・雄別・庶路の3炭砒が、配転されていた坑夫達の帰山により生産を再開し始める。 	1 ソ連軍、全千島占領を完了 11 GHQ、戦争犯罪人逮捕を命令 27 漁船操業許可海域(マッカーサーライン)設定



<p>10 7 進駐軍が釧路入りし、南大通の富士屋旅館を接収して宿舍とする。</p>   <p>【進駐軍が接収した富士屋旅館】 将校・下士官の宿舍となり、一般兵士は男子国民学校を宿舍にした。</p> <p>【GHQ先遣隊、釧路へ進駐】 進駐軍は10月4日に函館へ上陸し、7日にトラックで釧路へ入った。本隊は24日に釧路入りし、約100名が2ヶ月程駐留した。</p> <p>19 国鉄釧路工機部従業員組合が結成される。(全国初の国鉄労組)</p>	<p>10 国内政治犯約2,500人出獄</p> <p>15 治安維持法廃止</p> <p>26 閣議、石炭生産緊急対策(賃上げ・食料増配等)決定</p> <p>30 進駐軍の道内兵力21,630人、全道で235ヶ所を接収</p>
<p>11 1 釧路財務事務所が設置される。</p> <p>3 GHQの命令による武器・弾薬の海中投棄作業中、艇(ハシケ)が転覆して市民4人が死亡する。</p>  <p>【事故を伝える新聞記事】 昭和36年になってやっと、4人の遺族に「占領軍関係人身被害見舞金」が国から支給された。</p> <p>25 春採炭鑛労働組合が結成される。(翌年、太平洋炭鉱労組に改組)</p> <ul style="list-style-type: none"> 進駐軍と釧路中学校教師の交歓バスケット試合が実施される。 市の奉仕活動要請(水道復旧等)に、市民から抗議の声が上がる。 	<p>6 GHQ、財閥解体を指令</p> <ul style="list-style-type: none"> 閣議、緊急開拓事業実施要項決定(5ヶ年に府県85万・北海道70万町歩開墾・入植) 社会党・自由党・進歩党、相次いで結成
<p>12 1 北部復員監部釧路地方世話部が設置される。</p> <p>6 雄別炭鑛労働組合が結成される。</p> <p>10 ハルピンで釧路開拓団が解散を決定する。</p> <p>23 日本基督教会を会場に釧路地方労働組合連合会が結成される。</p> <p>24 釧路市戦災復興区区域画整理計画が決定される。</p>	<p>8 庶路炭鑛労働組合結成</p> <p>15 GHQ、国家神道と政府を分離する覚書</p> <p>22 労働組合法公布</p> <p>29 農地調整法改正公布(第一次農地改革)</p>
<p>(この年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 終戦で、徴用されていた底曳漁船の操業が再開されるが、釧路の水揚は昭和17年(994万貫)の1/7の140万貫にとどまる。 教科書の軍国主義・国家主義的な記述が「スミ塗り」される。 	<p>(この年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 道内の結核死亡者、年間10,075人 卸売物価指数350.3、東京小売同308.4 全国の労組509(380,677人)、労働争議95件(35,647人)

昭和21年(1946)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>8 旧博済病院が釧路赤十字病院となり、診療を始める。</p> <p>19 尺別炭鉱労働組合が結成される。</p> <p>20 日本社会党釧路支部が結成される。</p>	<p>1 天皇「人間宣言」、神格化否定詔書発布</p> <p>4 GHQ、軍国主義者の公職追放指令</p> <p>20 北海道労働組合連盟結成</p>
2	<p>23 鳥取町農民組合が結成される。</p> <p>28 三ツ輪運輸・釧路港運職員労働組合が結成される。</p> <p>.. 総合文芸誌『北東文化』が創刊される。</p>	<p>5 北海道農民組合連盟結成</p> <p>17 金融緊急措置令(新円切替)、食料・隠匿物資等緊急措置令各公布</p> <p>24 静内で北海道アイヌ協会設立</p>
3	<p>16 釧路市農民組合が結成される。</p> <p>17 王子製紙釧路工場労働組合が結成される。</p> <p>17 北教組釧路国教員組合が結成される。</p> <p>28 鳥取町の宗仙寺が寺号公称を許可される。</p> <p>.. 北海道配電(株)釧路支店労働組合が結成される。</p>	<p>1 北海道地方労働委員会設置</p> <p>3 物価統制令公布(3.3物価体系)</p> <p>5 米国教育使節団来日(4.7六三制等教育の民主化を勧告)</p>
4	<p>10 戦後初の衆議選が行われ、北海道2区(定員9名)で釧中卒の伊藤郷一・森三樹二が当選する。</p> <p>.. 釧路市戦災復興土地区画整理事業が5ヶ年計画で始められる。</p> <p>.. 道東俳句会が設立され、機関誌『えぞにう』が創刊される。</p> <div data-bbox="687 972 970 1332" data-label="Image"> </div> <p>【『えぞにう』昭和27年1月号】 道東俳句会は昭和23年1月に「えぞにう社」と改称した。平成18年には創刊700号記念合同句集『えぞにうの華・第三集』を発刊している。</p> <p>.. 音別軍馬補充部用地が開放され、緊急入植者の入地が決まる。</p>	<p>10 初の婦人参政権による総選挙、自由141・進歩94・社会93・協同14・共産5・諸派38・無所属81、婦人立候補者89名中39名当選</p> <p>20 持株会社整理委員会令公布</p>
5	<p>1 戦後初の復活メーデーが挙行され、釧路で3,500人が参加する。</p> <div data-bbox="264 1438 805 1765" data-label="Image"> </div> <p>【炭住街でのメーデー出陣式】</p> <p>17 釧路瓦斯労働組合が結成される。</p> <p>18 釧路野球連盟(後の釧路軟式野球連盟)が結成される。</p> <p>29 釧路臨港鉄道労働組合が結成される。</p> <p>.. 釧路体育協会(後の釧路市体育協会)が発足する。</p> <p>.. 演芸文化研究会(春秋座)が発足する。</p> <p>.. 文芸同人誌『ふいりあ』(第1次)が創刊される。</p>	<p>3 極東国際軍事裁判所開廷</p> <p>19 飯米獲得人民大会(食糧メーデー)挙行</p> <p>22 第1次吉田茂内閣成立</p>

6	<p>5 釧路遺族会結成総会が開催される。</p> <p>30 市民大運動会が復活復活開催される。(第29回)</p>	22 GHQ、漁業操業海域を拡大
7	<p>13 佐藤国司市長死去(7/1)により、衆議選挙法に準拠した市長選挙が行われ、菊地三之助が当選する。(全国に先駆けた市長公選)</p> <p>18 釧路港湾振興会(船主・荷役業者・荷主・倉庫業者)が発足する。</p> <p>25 釧路総合文化連盟主催の文化講演会が商工会議所で開かれる。</p> <p>28 鳥取大師教会が設立される。(後の真言寺)</p> <p>.. 釧路庭球・卓球連盟が結成される。</p>	5 文部省、市町村に公民館設置を通達
8	<p>7 北海道興農公社従業員組合(後の雪印乳業労組)が結成される。</p> <p>15 霧笛社が『北海道短歌選集』(小川勲)を発刊する。</p> <p>.. 釧路排球聯盟が再建され、全道実業人排球大会予選が行われる。</p>	<p>1 日本労働組合総同盟(総同盟)結成</p> <p>12 経済安定本部令公布</p> <p>19 全日本産業別労働組合会議(産別)結成</p>
9	<p>1 釧路山岳会(後の釧路山岳連盟)が創立される。</p> <p>10 社団法人釧路商工会議所が設立される。</p> <p>23 尺別炭鉱で休坑後の初送炭を行ない、復興祭を祝う。</p> <p>25 釧路馬匹組合が釧路種馬一千頭共進会を開催する。(～29日)</p>  <p style="text-align: center;">【大楽毛家畜市場での共進会風景】</p> <p>.. 極洋捕鯨釧路事業場が操業を再開する。</p>	<p>9 生活保護法公布</p> <p>13 民生委員令公布</p> <p>27 労働関係調整法公布(労働争議調停法廃止)</p>
10	<p>10 太平洋・雄別・尺別・庶路の各労組がストに入る。(～15日)</p> <p>17 青空画会が復活し、第28回「青空画展」が開かれる。(～20日)</p> <p>.. 休坑にされていた音別炭鉱が採炭を再開する。</p> <p>.. 第1回釧路市体育祭が釧路体育協会により開催される。</p>	<p>8 文部省、教育勅語廃止等を通達</p> <p>10 全日本炭鉱労組(全炭)ゼネスト6万人参加</p> <p>21 自作農創設特措法公布(第2次農地改革)</p>
11	<p>20 釧路スキー聯盟が結成される。</p> <p>27 『東北海道新聞』が創刊される。</p>	<p>3 日本国憲法公布</p> <p>20 日本商工会議所設立</p>
12	<p>10 佛心寺が寺号公称を許可される。</p> <p>22 鳥取町の誠行寺が寺号公称を許可される。</p>	<p>21 南海道大地震(M8.0)、死者1,330人</p> <p>22 全道一斉に市町村農地委員選挙実施</p> <p>27 閣議、石炭・鉄鋼中心の傾斜生産方式決定</p>
(この年)		(この年)
	<p>.. 食料品の遅配・欠配が続き、物価が急騰する。</p>	<p>.. 東京小売物価指数1,893・卸売同1,627</p> <p>.. 鉱工業生産指数30.7・製造工業同52.2</p> <p>.. 道内の労組1,439・約30万人、全国で17,266 ・4,925,958人</p> <p>.. 全国で同盟罷業622件・510,391人参加</p>




昭和22年(1947)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
2	20 各小学校でララ物資の缶詰等による給食が始まる。	1 400万人ゼネスト、マッカーサー命令で中止
3	9 新壘釧路支部(33年「支社」)が結成され、発足歌会が開かれる。 25 札幌自動車事務所釧路出張所(後の陸運事務所)が開設される。 31 音別町の旧軍馬補充部を改造し、引揚者収容所が開設される。	31 教育基本法・学校教育法、各公布
4	5 阿寒村長選で小村義馬、音別村長選で紅林鉄雄が当選する。 5 釧路市長選で佐熊宏平、鳥取町長選で藤村敏一が当選する。 8 大川町の釧路国民勤労働員署が、釧路公共職業安定所と改称され、同所内に北海道釧路労政事務所が併設される。 17 釧路地方裁判所が設立される。 30 阿寒村(定員26名)・音別村(同22名)議会議員選挙が行われる。 30 釧路市(定員36名)・鳥取町(同24名)議会議員選挙が行われる。 30 道議選で市部太田益夫、管内本間武三・小川吉雄が当選する。 .. 釧路庭球連盟(後の釧路軟式庭球協会)が発足する。 .. 釧路地区バスケットボール協会が創立される。	1 新学制による小・中学校発足 7 労働基準法公布 14 独占禁止法公布 16 道庁長官決選投票、田中敏文が当選 17 地方自治法公布 20 第1回参議選、社会47・自由39・無所属108 25 総選挙、社143・自131・民124・協31 30 第1回統一地方選挙
5	1 六・三制が始まり、市は南中・東中、鳥取町は鳥取・共栄・桜田中、阿寒村は阿寒・共和・雄別・徹別・上徹別・仁々志別・阿寒湖の各中学校、音別村は音別・二俣・尺別炭鉱の3中学校が開校する。  【中学校3教室を増築した当時の二俣小中学校】 中学は平成8年、小学が平成9年に各々閉校。昭和60年改築の校舎が平成12年、体験学習センター「こころみ」に生まれ変わっている。  【釧路市立南中学校】 昭和27年に移転して弥生中となり、この校舎は東中が61年まで使用する。	3 日本国憲法・地方自治法など、各施行 19 経営者団体連合会創立(翌年、日本経営者団体連盟【日経連】と改称)
	1 道庁釧路営林区署が林野庁帯広営林局釧路営林署となる。 3 釧路司法事務局(後の法務局)と釧路簡易裁判所が設置される。 11 雄別炭礦鉄道(株)が三菱鉱業(株)から分離独立する。 20 阿寒村役場雄別支所が栄町指定商組合を間借りして開設される。 .. 議会議長に釧路市山崎鉄三郎・鳥取町鈴木正一・阿寒村大野直栄・音別村牧幾太郎が就任する。	



<p>6 22 第30回市民大運動会で仮装行列が復活する。 ・ 釧路保健所が警察署から衛生行政事務を移管される。</p>	<p>1 片山哲内閣(社・民・協の3党連立)成立</p>
<p>7 19 釧路市・太平洋警防団を解散し、同各消防団が設置される。</p>	<p>1 公正取引委員会発足 5 経済安定本部、新価格体系を発表</p>
<p>8 20 鳥取町警防団を解散し、鳥取町消防団が設置される。 21 阿寒村警防団を解散し、阿寒村消防団が設置される。 ・ 札幌財務局釧路地方部及び管内各出張所が開設される。 ・ 日本棋院釧路支部が結成される。</p>	<p>4 最高裁判所発足</p>
<p>9 1 釧路労働基準監督署が旭町に開設される。 1 音別・尺別炭砦警防団を解散し、同各消防団が設置される。 16 阿寒村の大洪水で死者6人、家屋の流失2戸・浸水33戸等の被害。 20 音別教会(本願寺派)が常竜寺として寺号公称を許可される。 29 雄別警防団を解散し、雄別消防団を結成する。 ・ 釧路短歌会が発足する。</p>	<p>14 キヤサリン台風、16日までに全国の死者、関東地方を主に2,247人</p>
<p>10 1 国勢調査で、釧路市61,421人、鳥取町12,100人、阿寒村15,004人、音別村7,395人とされる。 11 雄別中学校生徒14名が阿寒湖で遭難する。</p> <div data-bbox="261 972 943 1357" data-label="Image"> </div> <p>【雄別中学生阿寒湖遭難慰霊碑】 試運転中のモーターボートに生徒たちが乗り込んだが、岸から300mの地点で転覆、生徒14名が遭難した。33回忌の昭和54年、湖畔の正徳寺に慰霊碑が建立される。</p> <p>・ 太平洋炭砦が桂恋坑を開坑する。(昭和32年閉坑)</p>	<p>1 第6回国勢調査、北海道人口3,852,821人 26 改正刑法(不敬罪・姦通罪廃止等)公布 30 関税と貿易に関する一般協定(GATT)調印</p>
<p>11 1 (社)釧路歯科医師会が設立される。 3 シュンケ舌辛川支流の早川の沢で古潭炭砦が開坑する。 ・ 釧路新響管弦楽団が創立される。</p>	<p>17 警察法公布(国家地方警察・自治体警察・各公安委員会設置) 19 農業協同組合法公布(農業団体法廃止)</p>
<p>12 1 釧路駅に鉄道公安所が設置される。(昭和24年に公安室と改称)</p>	<p>18 過度経済力集中排除法公布 20 臨時石炭鉱業管理法公布(炭鉱国家管理) 22 改正民法・改正戸籍法、各公布</p>
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<p>・ 湯波内で460町歩が買収され、34戸の小作農に譲渡される等、釧路地方でも農地改革が始められる。 ・ 阿寒村で赤痢が流行し、221人が罹患、4人が死亡する。</p>	<p>・ 道内の主食遅配90日に(全国平均20日) ・ 最大のベビーブーム、出生 2,678,792人、出生率 34.3人/1,000人 ・ 全国で同盟罷業351件・212,081人参加</p>


昭和23年(1948)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北海道興農公社釧路工場が北海道酪農協同(株)同と改称する。 	<ul style="list-style-type: none"> 26 帝銀稚名町支店行員12人毒殺(帝銀事件)
2	<ul style="list-style-type: none"> 8 鳥取町主畜農業協同組合(後の釧路市農協)が創立される。 9 (社)釧路市医師会が設立される。 15 音別村農業会が解散し、音別村主畜農業協同組合が創立される。 	<ul style="list-style-type: none"> 9 国立国会図書館法公布 10 片山哲内閣総辞職 13 産別民主化同盟(民同)結成
3	<ul style="list-style-type: none"> 7 音別村警防団が解散し、音別村消防団が設置される。 25 市公安委員会が発足し、釧路市警察の開庁式が行われる。 <div style="text-align: center;">  <p>【26年10月、黒金町に移転・新築された釧路市警察署】</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 7 新警察制度発足 10 芦田均内閣(民・社・協の3党連立)成立
4	<ul style="list-style-type: none"> 1 上大楽毛中(後の鶴丘中)・穂禰平中・湯波内中が開校する。 1 音別村役場尺別炭砵支所が設置される。 1 新制高等学校の発足により、釧路中学校が釧路高等学校、釧路高等女学校は釧路女子高等学校、釧路工業学校は釧路工業高等学校、釧路実科高等女学校は市立高等女学校となる。 26 阿寒村商工協同組合が設立される。 ・ 日本通運が釧路港湾運送事業に進出する。 ・ 道東トラック協会(後の釧根地区トラック協会)が設立される。 	<ul style="list-style-type: none"> 1 新制高等学校(全日制・定時制)発足 13 改正証券取引法公布(金融機関の証券業務兼営禁止) 27 海上保安庁設置法公布 28 夏時刻法公布(サマータイム制)
5	<ul style="list-style-type: none"> 1 釧路海上保安部が設置される。 1 阿寒村農業共済組合が設立される。 20 音別村農業共済組合設立総会が開催される。 28 雄鉄の鳥取支線が竣工し、雄別炭が北埠頭送りとなる。 ・ 音別村開拓農協が創立される。(昭和26年に主畜農協に統合) ・ 阿寒(20日)・徹別(10)・仁々志別(25)の各主畜農協が創立される。 	<ul style="list-style-type: none"> 10 石炭庁設置法公布 18 道、財政白書を発表
6	<ul style="list-style-type: none"> 9 中音別小学校の開校式が行われる。 <div style="text-align: center;">  <p>【中音別小学校】 中音別444にあり、昭和40年、音別小・二俣小へ統合された。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 23 昭和電工社長、商工省への贈賄容疑で逮捕(昭和電工事件) 28 福井地震(M7.1)、死者3,769人


<p>7 5 潮音寺の寺号公称が許可される。</p> <p>8 東栄小学校に聾唖学級(釧路聾学校の前身)が開設される。</p> <p>20 農林省道食糧事務所音別出張所が開設される。</p> <p>.. 『鉄鉄文芸』が創刊され、佐々木武観が戯曲を発表し始める。</p>  <p>【若き日の佐々木武観】 翌年、戯曲『荒原地』で第1回国鉄文芸年度賞を受け、昭和26年上京して作家生活に入る。</p>	<p>15 教育委員会法公布</p> <p>20 国民の祝日に関する法律公布</p> <p>31 政令201号公布(公務員の団体交渉権・スト権を剥奪)</p>
<p>8 1 釧路地方経済調査庁(後の監察局)が商工会議所内に開設される。</p> <p>13 釧路主畜農業協同組合連合会(釧路地区連)が設立される。</p>	<p>9 国労新得分会で職場離脱開始</p>
<p>9 6 市内初の認可保育所として釧路頌栄保育園(聖公会)が開園する。</p> <p>.. 春採ペンクラブが創立され、同人文芸誌『行人』が創刊される。</p>	<p>.. アイオン台風、死者・行方不明 2,368人</p>
<p>10 .. 釧路国支庁より足寄郡を十勝支庁に編入する。</p>	<p>19 第2次吉田茂内閣成立</p>
<p>11 1 北海道教育委員会釧路国事務局(後の釧路教育局)が発足する。</p> <p>3 阿寒村農産物品評会が開催される。</p>	<p>1 北海道教育委員会発足(10/5第1回選挙)</p> <p>12 極東国際軍事裁判判決、7人が絞首刑</p>
<p>12 1 日本肥料(株)が北海道化学肥料(株)釧路工場として操業再開する。</p>  <p>【日東化学工業(株)釧路工場】 昭和26年に日東化学工業(株)に買収され、増設・改修で生産能力5万トとなった。</p> <p>7 釧路家庭裁判所が設置される。(1/1開庁の家事審判所を改称)</p>  <p>【柏木町の釧路家庭裁判所】 昭和39年に新築した地方裁判所等の合同庁舎へ入る前の庁舎</p>	<p>2 漁業権等臨時措置法公布</p> <p>7 昭和電工事件で芦田前首相逮捕</p> <p>15 水産業協同組合法公布</p> <p>18 GHQ、米政府指令「経済安定9原則」発表</p>
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<p>.. 東北海道陸上競技選手権大会が市営グラウンドで復活開催される。</p> <p>.. 仏海寺の布伏内分教会(後の浄泉寺)が開設される。</p>	<p>.. 日本脳炎流行、全国で2,620人死亡</p> <p>.. 全国で同盟罷業667件・2,298,530人参加</p>

昭和24年(1949)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	29 釧路児童相談所が城山の仮事務所に開設される。 <ul style="list-style-type: none"> 阿寒観光協会が創立される。 	23 総選挙、民自 264 ・民主 69 ・社会 48 ・共産 35 <ul style="list-style-type: none"> 協同14
2	<ul style="list-style-type: none"> 阿寒村公民館が村長公宅を転用して開館する。 丸三鶴屋2階に市立郷土博物館が仮移転する。 第1回雌阿寒岳スキー大会が開催される。 	16 第3次吉田茂内閣成立
3	14 北埠頭の石炭ローダーが完成し、石炭の接岸荷役が開始される。 <ul style="list-style-type: none"> 釧路作家クラブの同人文芸誌『北方文芸』が創刊される。 	7 ドッジ米国公使、経済安定 9 原則実現化具体策を表明(ドッジライン)
4	<ul style="list-style-type: none"> 尺別炭鉱が雄別礦業所から分離され、尺別礦業所となる。 	1 道内に農業改良普及員 342 名を配置
5	<p>9 日本郵船の雲仙丸が釧路—東京間の定期航路に就航する。</p>  <p>【出航する雲仙丸と見送る市民ら】</p> <p>22 釧路市漁業協同組合が設立される。</p>	<p>24 通商産業省設置法公布</p> <p>31 新制国立大学設置、道内は5校発足</p>
6	<p>1 市設魚揚場B棟が錦町に完成し、業務を開始する。(8月にA棟が竣工し、併せて落成式が行われる)</p> <p>1 釧路司法事務局が釧路地方法務局と改称される。</p> <p>5 公会堂が改修され、釧路市公民館として開館する。</p> <p>12 二代目鳥取橋が完成し、渡橋式が行われる。</p> <p>18 釧路市東部漁業協同組合が設立される。</p> <p>22 道東華道文化協会の結成総会が公民館で開かれる。 <ul style="list-style-type: none"> 釧路地方弓道連盟が結成される。 東北海道柔道同好会(後の釧路柔道連盟)が結成される。 </p>	<p>1 日本国有鉄道・日本専売公社発足</p> <p>1 逓信省、郵政省と電気通信省に分離</p> <p>10 社会教育法公布</p>
7	<p>6 釧路茶道文化協会が発足する。</p> <p>12 道立水産試験場釧路支場が大川町に再開設される。 <ul style="list-style-type: none"> 釧路少年成人保護観察所(後の釧路保護観察所)が設置される。 釧路ハイヤー協会(後の釧根地区ハイヤー協会)が設立される。 </p>	<p>5 下山国鉄総裁、轢死体で発見(下山事件)</p> <p>12 国鉄第2次人員整理、約6万3千人に通告</p> <p>15 中央線三鷹駅で無人電車暴走、6人死亡(三鷹事件)</p>
8	<p>1 王子製紙が3分割され、釧路工場が十條製紙釧路工場となる。</p> <p>6 「釧路短歌会」を再編して「釧路短歌連盟」が発足する。</p> <p>10 北海道学芸大学(後の北海道教育大学)釧路分校が開校する。</p>  <p>【当時の学芸大学釧路分校(城山の東中校舎西側半分を市から譲渡された)】</p>	<p>15 GHQ、石炭配給統制撤廃を指令</p> <p>17 東北本線で旅客列車脱線・転覆、3人死亡(松川事件)</p> <p>26 税制改革に関するシャープ勧告</p>



<p>15 釧路郵便局の電信課・電話課が分離され、釧路電気通信部の電報局・電話局となる。(電報局庁舎は昭和32年まで郵便局2階)</p> <p>27 龍清寺が寺号公称を許される。</p> <p>.. 極洋捕鯨釧路事業場が副港に移転・新築される。</p>	
<p>9 5 北中学校が開校する。</p> <p>20 釧路鉄道管理部が釧路鉄道局と改称する。</p>	<p>10 全道庁委員長ら56名誠首(レッドバージ)</p> <p>19 人事院、政治活動制限の規則制定</p>
<p>10 1 北海道電波監理局釧路電波監視局が開設される。</p> <p>2 弘宣寺(雄別)の寺号公称が許可される。</p> <p>10 釧路市(14,826戸71,731人)と鳥取町(2,638戸13,449人)及び白糠村の一部(37戸308人)が合併する。</p>  <p>【鳥取町役場庁舎前にて町議・町長・助役らの合併記念写真】</p> <p>.. 釧路スキー連盟が結成される。</p> <p>.. 阿寒湖漁業協同組合が設立される。</p> <p>.. 雄別炭山で同人文芸誌『火山脈』が創刊される。</p>	<p>1 毛沢東、中華人民共和国成立を宣言</p> <p>6 学術会議、研究機関人事は政治に左右されてはならないと決議</p> <p>20 東京都公安条例公布・施行</p>
<p>11 3 公民館で初めて「総合文化展」(26年から「文化祭」)が開催される。</p> <p>6 第1回東北海道演劇コンクールが開催される。</p> <p>10 鳥取町との合併に伴って、市議会議員選挙(定数36名)と市長選挙が併せて実施され、佐熊宏平が釧路市長に再選される。</p> <p>30 鶴ヶ岱に市営球場が開設される。(後の富士見球場)</p> <p>30 太平洋炭砒興津坑の出炭が始まり、同別保坑が閉鎖される。</p> <p>.. 音別村営の鮭孵化事業が開始される。</p>	<p>1 道交法改正で対面交通(人は右・車は左)</p> <p>3 湯川秀樹、ノーベル物理学賞決定</p> <p>3 北海道文化賞第1回授賞式举行</p> <p>26 プロ野球、2リーグに分立</p>
<p>12 3 桜が丘小学校の開校式が行われる。</p> <p>20 神八三郎と定光寺により祈願寺が建立される。</p> <p>22 釧路機船底曳網漁業協同組合が設立される。</p>	<p>10 全国産業別労働組合連合(新産別)結成</p> <p>15 私立学校法公布</p>
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<p>.. 北方芸術座・白樺座・すずらん座・ひまわり座・木の実座・釧路演劇部・釧路演劇研究会等の各劇団が盛んに公演を行う。</p> <p>.. マサバ巻網漁の水揚が1千万貫(約3万7千ト)となる。</p>	<p>.. ドッジライン実施でインフレ沈静化</p> <p>.. 労組員6,655,483人で最高の組織率55.8%</p> <p>.. 全国で同盟罷業511件・1,117,154人参加</p>



昭和25年(1950)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>10 釧路鉄道局を釧路鉄道管理局、釧路工機部を釧路工場とする。</p> <p>21 尺別炭砒独身寮が全焼する。(死者2名・負傷7名・罹災184名)</p>	
2	<p>5 真言寺の寺号公称が許可される。</p> <p>13 本祥寺の寺号公称が許可される。</p> <p>28 雄昌寺(雄別)の寺号公称が許可される。</p>	10 北海道開発法案を閣議決定
3	<p>31 釧路市立高等女学校が閉校する。</p> <p>.. 新日本文学会釧路支部が発足する。</p>	<p>30 札幌証券取引所開所</p> <p>31 米以外の食糧配給・価格統制撤廃</p>
4	<p>1 釧路市消防本部・消防署・消防団が発足する。</p> <p>1 上音別小に二俣中上音別分校が併置される。(昭和29年に上音別小・中学校となる)</p> <p>1 釧路高等学校が北海道釧路湖陵高等学校、釧路女子高等学校が北海道釧路江南高等学校に改称され、男女共学となる。</p> <p>1 東栄小の聾唖学級が道に移管されて北海道釧路聾学校となり、湖陵高校の一部を借用して開校する。(昭和28年新校舎移転)</p> <p>13 市立高等家政学院(後の星園高)が学芸大学の一部を仮校舎として開校する。(翌年11月1日、新校舎移転)</p> <p>.. 釧路柔道会館が幣舞橋詰に開設される。</p>	<p>1 札幌医科大学開学</p> <p>15 公職選挙法公布</p> <p>21 日本炭鉱労働組合(炭労)結成</p> <p>30 図書館法公布</p>
5	<p>1 雄鉄舌辛駅が阿寒駅と改称される。</p>  <p>【雄別鉄道阿寒駅】</p> <p>6 市立で初めての栄町保育園が開園する。</p> <p>12 戦後初めて、外国貿易船が入港する。</p> <p>25 釧路地区保護士会が発足する。</p>	<p>1 北海道開発法公布(6.1道開発庁設置)</p> <p>6 国民金融公庫法公布(6.6発足)</p> <p>16 北大でGHQ講演会阻止(イールズ事件)</p> <p>20 臨時石炭鉱業管理法廃止(国管理終了)</p>
6	<p>1 標茶農業高校雄別分校(定時制)が開設される。(年内に校名を釧路富士見高校雄別分校と改称、翌年阿寒高校となる)</p> <p>10 北海道酪農協同(株)釧路工場が北海道バター(株)釧路工場となる。</p>	<p>4 参議選、自由52・社会36・緑風9・無所属19</p> <p>6 マッカーサー、共産党幹部の公職追放指令</p> <p>10 北海道酪農協同(株)、北海道バター(株)と雪印乳業(株)に分離</p> <p>25 朝鮮戦争勃発</p>
7	<p>1 三ツ輪運輸(株)が分離されていた釧路港運(株)と北邦運輸(株)を合併して復元再編される。</p> <p>30 市営球場で、大映vs毎日のプロ野球公式戦が開催される。</p> <p>31 鮮魚介統制が4月から全廃され、釧路鮮魚介集出荷共同組合(ミツウロコ)・市漁協・釧路冷蔵商事の3卸売市場が発足する。</p> <p>.. 釧路市立高校(定時制)が釧路富士見高等学校と改称される。</p>	<p>2 金閣寺、放火により全焼</p> <p>8 マッカーサー、国家警察予備隊創設指令</p> <p>11 日本労働組合総評議会(総評)結成</p> <p>24 GHQ、新聞協会代表にレッドページ指令</p>




<p>8 21 市営製氷工場が操業を開始する。</p> <p>22 釧路市で観測史上4位の最高気温30.4度を記録する。</p> <p>.. 前年に続くサバ大漁で、全国から300隻近い漁船が釧路に集まる。</p>	<p>10 警察予備隊令公布・施行</p>
<p>9 1 市立釧路図書館条例が制定され、図書館協議会が設置される。</p>	<p>5 公務員レッドパージを閣議決定</p>
<p>10 1 急行第3・4列車(釧路—函館間)に「まりも」の愛称が復活する。</p> <p>5 妙堅寺の寺号公称が許可される。</p> <p>5 阿寒村にマリモ愛護会が設立される。</p> <p>7 第1回マリモ祭りが湖畔で開催される。</p> <div data-bbox="678 454 999 869" data-label="Image"> </div> <p>【第1回マリモ祭り】 戦後の混乱期にマリモの盗採・ヤミ売りが横行、電力不足のため水力発電への過放水による水位低下もあって、マリモ全滅の危機を救おうとの思いが祭りに結実した。</p> <p>12 知茶布隧道が住民による工事で開通する。</p> <p>.. 市立病院が火災から7年9ヶ月ぶりに再建される。</p> <p>.. 釧路スケート連盟が結成される。</p> <p>.. 釧路でもレッドパージが進められる。(11月迄に太平洋労組51名・国鉄労組22名・雄別労組20名・尺別労組11名外)</p> <div data-bbox="703 1021 1007 1429" data-label="Image"> </div> <p>【レッドパージ: 釧路炭田各鉱での共産党関係者追放の新聞記事】</p>	<p>1 第7回国勢調査、道人口4,295,567人</p> <p>1 日中友好協会設立</p> <p>13 戦争協力者の公職追放解除(3,250人)</p> <p>25 中国人民義勇軍、朝鮮戦争に参戦</p>
<p>11 1 白糠村に町制が施行される。</p> <p>20 泰心寺の寺号公称が許可される。</p> <p>.. 舌辛—布伏内間道路(約8km)が完成する。</p>	<p>10 旧軍人の公職追放解除(3,250人)</p> <p>16 全北海道労働組合協議会(全道労協)結成</p>
<p>12 15 聞名寺春採説教所(後の法光寺)が開設される。</p> <p>17 国民健康保険村立音別病院が完成し、開院式が行われる。</p> <p>21 北埠頭建設工事が竣工する。</p> <p>25 北海道無盡(株)釧路支店が開設される。</p>	<p>7 池田蔵相発言「貧乏人は麦を食え」物議</p> <p>13 地方公務員法公布</p>
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<p>.. 釧路音楽同好協会が発足する。</p> <p>.. 釧路市青果商業協同組合(2.28)、釧路水産物商業協同組合(3.29)等の商工業協同組合が多数設立される。</p>	<p>.. 朝鮮戦争による「特需景気」始まる</p> <p>.. 魚群探知機全国に普及開始</p> <p>.. 日本脳炎流行、全国で2,430人死亡</p> <p>.. 全国で同盟罷業566件・761,050人参加</p>



昭和26年(1951)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>8 釧路市観光協会の設立総会が開かれる。</p> <p>28 第1回釧路市スケート大会(十條リンクでアイスホッケー、春採湖でスピード)が開催され、初めて全国放送で実況中継される。</p>	<p>25 ダレス米特使来日、吉田首相と数次の会談後、講和条約骨子等を声明して2.11離日</p>
2	<p>20 市立釧路図書館が新築され、開館する。</p> <p>【市立釧路図書館】 名称は図書館でも、独立した建物ではない図書室だったのが、名実共に「図書館」となった。</p> 	<p>23 共産党4全協、武装闘争方針決定</p>
4	<p>1 春採中学校が開校する。(5月18日まで南中校舎併用)</p> <p>1 鳥取132番地に鳥取中学校の新校舎が建設される。</p>  <p>【鳥取中学校】 昭和52年の鉄筋校舎竣工まで使われた木造校舎</p> <p>1 釧路富士見高校雄別分校が村立阿寒高等学校として独立する。</p> <p>4 日本水産(株)釧路出張所の捕鯨事業場が操業を開始する。</p> <p>8 商業協同組合釧路専門店会が再結成される。</p> <p>16 尺別炭鉱に釧路湖陵高校音別分校(定時制課程)が設置される。</p> <p>23 阿寒で小村義馬・音別で紅林鉄雄が、両村長共再選される。</p> <p>23 阿寒村(定員26名)・音別村(定員22名)議会議員選挙が行われる。</p> <p>30 道議選で市部は太田益夫・菊池三之助、管内は岡林歓喜・二瓶栄吾が当選する。</p> <p>・・ 富士見高等学校が道に移管され、湖陵高校定時制課程となる。</p> <p>・・ 道立公共職業補導所(後の道立職訓)が弥生町に開設される。</p>	<p>3 宗教法人法公布</p> <p>11 トルーマン米大統領、マッカーサーを解任</p> <p>30 第2回道知事・道議選、田中知事が再選</p>
5	<p>1 新日本文学会釧路支部の『釧路文学』が創刊される。</p> <p>1 鶴ヶ岱公園の太鼓橋・小動物園・弓道場等が完成し、開園する。</p> <p>13 釧路市民俳句会が発足する。</p> <p>14 市児童図書館(後の栄町児童館)が栄保育園2階に開設される。</p> <p>18 東中学校が南中校舎の一部を借用して現在地に移転する。</p> <p>19 桜が丘小学校が移転・新築される。(旧校舎は春中となる)</p> <p>22 釧根貨物自動車会社が釧路貨物自動車(株)等7社に分割される。</p>	<p>1 北海道電力(株)等全国9電力発足</p> <p>19 浜中町の映画館で火災、小中生24人・幼児14人・大人4人の計42人焼死</p> <p>29 港湾運送事業法公布(登録制実施)</p>
6	<p>15 (株)一印釧路青果卸売市場が創立される。</p> <p>25 佐々木武観の『拓林飯場』(映画『ならずもの』原作)が発刊される。</p>	<p>20 政財界人の第1次追放解除、2,958人</p> <p>21 ILO及びユネスコ、日本の加盟承認</p>
7	<p>1 釧路土木現業所が釧路開発建設部となる。</p> <p>1 釧路埠頭倉庫(株)専用鉄道(新富士―北埠頭)が雄別炭礦鉄道(株)に譲渡され、同社埠頭線となる。</p> <p>28 鶴ヶ岱公園内に市立郷土博物館の新館が竣工する。</p>	<p>1 北海道開発局発足</p> <p>2 政府、地方の公職追放者6万6千人解除</p> <p>10 持株会社整理委員会廃止の政令公布</p> <p>10 朝鮮戦争休戦会談、ケソン(開城)で開始</p>


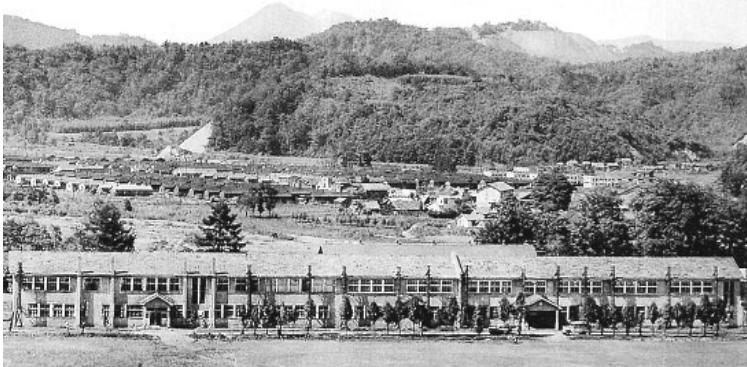
	<p>・阿寒村役場が16線30に移転・新築される。</p>  <p>【阿寒村役場】</p>	
8	<p>2 釧路弁護士会が設立される。</p> <p>17 第1回釧路畜牛共進会が大楽毛家畜市場で開催される。(～19日)</p> <p>18 公民館で成人学校開校式が行なわれる。(料理・英会話等9学級)</p> <p>28 釧路市社会福祉協議会が発足する。</p>	<p>6 政財界人の第2次追放解除、13,904人</p> <p>16 旧軍将校追放解除、11,185人</p> <p>22 講和条約全権委員6名任命</p>
9	<p>3 北海道銀行釧路支店が開設される。</p> <p>16 阿寒湖畔に石川啄木の歌碑が建立される。</p> <p>24 穂弥平等5部落220戸が電化され、祝賀会が開かれる。</p> <p>・松光寺の寺号公称が許可される。</p>	<p>8 サンフランシスコ講和会議、対日平和条約(49カ国)・日米安全保障条約調印</p>
10	<p>6 釧路貿易振興会が設立される。</p> <p>6 市警察署が日銀支店建設の為、黒金町に移転・新築されて執務を開始する。(市警旧庁舎は解体移設され博物館になる)</p> <p>20 北洋無盡が北洋相互銀行、北海無盡が北海道相互銀行となり、各釧路支店が改称される。</p> <p>23 釧路信用組合が釧路信用金庫と改称する。</p> <p>24 第1回全道高校演劇コンクール釧路地区大会が開催される。</p> <p>26 北海道化学肥料(株)釧路工場が日東化学工業(株)同となる。</p> <p>29 富士銀行釧路支店が北大通に移転・新築される。</p> <p>・阿寒村役場雄別支所が完成し、栄町指定商組合から移転する。</p>  <p>【阿寒村役場雄別支所】</p> <p>・釧路地方総合開発期成会が発足する。</p>	<p>6 道開発審、道開発総合計画等を答申</p> <p>24 社会党、講和・安保で左右両党に分裂</p> <p>26 東京―札幌間の民間航空、運航再開</p> <p>26 衆議院、講和・安保両条約を承認</p>
11	<p>3 公民館で第1回釧路市文化祭が開催される。(後の芸術祭)</p>	<p>14 日・米・加3カ国漁業条約調印</p>
12	<p>2 市立病院が全焼し、19人が死亡(内、焼死者14人)する。</p> <p>・新生産業(株)が知茶布川上流に阿寒炭砒を開坑する。</p>	<p>1 博物館法公布</p> <p>17 水産資源保護法公布</p>
(この年)		(この年)
<p>・鶴ヶ岱と鳥取の新築市営住宅50戸に755世帯が入居を申し込む。</p> <p>・大洋漁業・日本冷蔵・日魯漁業の各水産工場が操業開始し、戦前からの極洋捕鯨・日本水産と合わせ5大水産会社が釧路に出揃う。</p>		<p>・鉱工業生産指数127.7・製造工業同114.8</p> <p>・赤痢流行、全国で14,836人死亡</p> <p>・全国で同盟罷業546件・1,159,740人参加</p>

昭和27年(1952)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	5 太平洋炭鉱労組文化部の『郷土』が創刊される。	21 札幌市警備課長射殺される(白鳥事件)
2	12 釧路児童相談所が住吉町82に移転・新築される。	19 青梅線で貨車4両暴走事故(青梅事件)
3	4 十勝沖地震により千代の浦で2.2 ^時 ・音別で2.7 ^時 の津波に襲われ、集合煙筒倒壊・ズリ山崩壊で15名死亡。北埠頭が壊滅、久寿里橋大破等、被害総額は市が約14億円・音別村約1億6千万円となる。	4 十勝沖地震(M8.2)で、死者28人・行方不明5人・負傷者287人、厚岸に6 ^時 ・八戸で2 ^時 の津波、被害総額約182億円
	   <p>【左:津波を避けて高台に避難する人々 右:壊滅状態の北埠頭岸壁】</p> <p>【被害を受けた尺別一直別間の線路】</p>	
	<p>15 市立高等家政学院が住吉に移転、星園家政専門学校と改称する。</p> <p>24 商業協同組合釧路商店会が創立される。(後に専門店会と合併)</p> <p>29 タンチョウ、マリモが国の特別天然記念物に指定される。</p>	10 HBC、ラジオ放送開始(道内初の民放)
	  <p>【タンチョウは釧路湿原・マリモは阿寒両国立公園の、そして釧路市のシンボル】</p>	
4	<p>1 阿寒高校定時制課程が設置される。</p> <p>1 阿寒村社会福祉協議会が発足する。</p> <p>1 音別中学校直別分校が開設される。</p> <p>1 釧路市教育研究所が開設される。</p> <p>1 道東華道文化協会が釧路華道協会と改称する。</p> <p>15 ミツウロコ(株)釧路魚卸売市場が設立される。</p> <p>25 北洋漁業が再開され、釧路から独航船2隻が函館へ出港する。</p> <p>25 広報「くしろ」創刊号が発刊される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 母子世帯が入る双葉療が古川町に開設される。 ・ 音別村教育研究所が発足する。 	<p>10 NHKラジオ「君の名は」放送開始</p> <p>12 破防法反対スト第1波、道内87,660人参加</p> <p>21 公職追放令廃止</p> <p>22 中標津の武佐中と教頭・教諭自宅に家宅搜索、6.22～住民同盟休校(武佐中事件)</p> <p>28 対日平和条約発効により国家主権回復</p>
5	<p>1 市立鶴ヶ岱高等学校(後の商業高校定時制課程)の開校式が、星園家政専門学校々舎にて行なわれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回全釧路対全十勝柔道選手権大会が開催される。 	1 皇居前広場でデモ隊2名射殺、1,230名検挙(血のメーデー事件)

6	<p>1 釧路一小樽間でC57型蒸気機関車による通し運転が開始される。</p> <p>1 釧路崎灯台改築工事が完成する。(灯高10¹尺・光達34.2km)</p> <p>1 北海道労働金庫釧路支店が開設される。</p>	6 中央教育審議会(中教審)設置
7	<p>・ 結核治療の為、北海道立釧路療養所が鶴ヶ岱に開設される。</p> <p>・ 市が普通バス型(25人乗)広報車「まりも号」を購入する。</p>	21 破防法・公安調査庁設置法各公布
8	<p>1 市制30周年記念式典が日進小学校体育館で挙行される。</p> <p>10 阿寒村々章及び同村歌(後に町章・町歌に継承)が制定される。</p> <p>23 浄土寺が創建される。</p>	<p>1 日本電信電話公社発足</p> <p>13 国際通貨基金・世界銀行に日本加入調印</p>
9	<p>1 「釧路産馬一千頭共進会」が大楽毛家畜市場で開催される。</p> <p>13 阿寒村開基65周年記念式典が阿寒小で挙行される。(～15日)</p>	
10	<p>1 日本銀行釧路支店が開設される。</p>  <p>【竣工直後の日銀釧路支店】明治31年日銀釧路派出所廃止以来54年ぶりの開設。</p> <p>12 釧路法人会(後の釧路地方法人会)が設立される。</p> <p>17 炭労63日間ストに太平洋・雄別・尺別等労組も参加・突入する。</p> <p>20 映画『女一人大地を行く』ロケ隊が太平洋と雄別で撮影を始める。</p> <p>・ 阿寒村議会議員補欠(2名)選挙が行われる。</p>	<p>1 総選挙、自由240・改進黨85・右社57・左社54</p> <p>15 保安隊、警察予備隊を改組し発足</p> <p>17 炭労、63日間スト突入</p> <p>30 第4次吉田内閣成立</p>
11	<p>1 市・阿寒村・音別村に教育委員会が設置される。(公選4名・議員1名、教育長は職員)</p> <p>15 北海文学同人会の『北海文学』が創刊される。</p>  <p>【『北海文学』第1号の表紙と中表紙】</p> <p>25 音別村役場尺別炭砦支所が新尺別駅西側に移転・新築される。</p> <p>・ 釧路柔道会館が旭町に移転する。</p>	<p>1 全市町村に教育委員会設置(都道府県と5大市は昭和23年設置)</p>
12	<p>4 釧路青年会議所が設立される。</p> <p>22 城山の市営スケートリンクがオープンする。</p> <p>・ 山下洗濯店が「エンパイアクリーニング」に商号変更する。</p>	<p>15 政府、炭労無期限ストへ緊急調整権発動(16.中止)</p>
(この年)		(この年)
<p>・ 日本特殊鑛(株)が雌阿寒岳中マネシリで硫黄採掘を始める。</p> <p>・ 北海道税理士会道東支部(後の釧路支部)が設立される。</p>		<p>・ 個人国民所得、S9～11年の98.6%に回復</p> <p>・ 全国で同盟罷業576件・1,622,549人参加</p>

昭和28年(1953)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
2	<p>19 釧路土木現業所が双葉町に移転・新築される。</p> <p>22 湖陵高校が体育館などの一部を残して焼失し、校舎借用の釧路聾学校も類焼する。</p>  <p>【炎上する湖陵高校 (職員室付近)】</p> <p>・ 東北北海道新聞が北海タイムスへ合併される。</p>	<p>1 NHK、東京地区でテレビ本放送開始</p>
3	<p>14 釧路機関区が宝町へ移転・新築される。</p> <p>31 村立阿寒高校が道に移管され、北海道阿寒高等学校と改称する。</p>  <p>【布伏内の炭住街を背にした阿寒高校。昭和50年に仲町へ移転する。】</p>	<p>14 衆議院、吉田内閣不信任案可決して解散 (バカヤロー解散)</p>
4	<p>1 南中学校が移転・新築され、弥生中学校と改称する。</p> <p>11 市立釧路商業高等学校が開校する。(前年開校の市立鶴ヶ岱高校《定時制のみ》を併設)</p> <p>15 釧路市が港湾管理者に指定される。</p> <p>・ 阿寒村国民健康保険診療所(後の町立阿寒病院)が開設される。</p>	<p>1 国際電電(株)、電電公社から分離・開業</p> <p>5 日本婦人団体連合会結成</p> <p>19 総選挙、自由199・改進黨76・左社72・右社66・分党派自由35</p> <p>24 参議選、自由46・左社18・緑風16・無所属30</p>
5	<p>4 標茶町市街地の大半を焼き尽くす大火で128棟が焼失する。</p>	<p>21 第5次吉田内閣成立</p>
6	<p>1 釧路トヨタ自動車(株)が設立される。</p> <p>27 佛心寺が春採230番地(後の5丁目15)に移転・新築される。</p> <p>・ 北水試の光洋丸と巡視船「てんりゅう」が指揮船となり、第13八幡丸等底曳船6隻が択捉島沖で試験操業を行なう。</p>	<p>13 内灘で米軍試射場反対闘争開始</p>
7	<p>23 釧路聾学校の新校舎が城山2丁目に再建・落成する。</p> <p>・ 第1回釧路市民展が公民館で開催される。</p>	<p>27 板門店で朝鮮休戦協定調印</p>
8	<p>1 釧勝線(白糠線)が法定線となり、釧美線の実現性が遠のく。</p> <p>7 日銀本店で「北海道泥炭地開発懇談会」が開催される。</p>	<p>7 電気・石炭の「スト規制法」公布・施行</p> <p>28 日本テレビ、民放初のTV本放送開始</p>
9	<p>26 青蓮寺(雄別)の寺号公称が許可される。</p> <p>・ 炭砒各社の一斉人員整理で、太平洋285人・雄別706人・尺別328人が希望退職する。</p>	<p>1 独禁法改正公布(不況・合理化カルテル等)</p>

- ・太平洋炭砒体育館が落成する。



【健保体育館】
春採湖の一部が埋め立てられ、隣に野球場も造られた。

- 10 27 市長・市議会議員(36名)選挙が行われ、佐熊市長が3選を果たす。
- ・保安隊(後の自衛隊)釧路駐屯地が天寧に開設される。
 - ・焼失した市立病院が2年ぶりに鉄筋コンクリート造で再建される。

- 1 町村合併促進法施行
- 2 ワシントンで池田・ロバートソン会談(30日、日本の自衛力増強で一致との共同声明)

- 11 3 釧路市民俳句会が釧路俳句会に改組・改称される。
- ・北海道信用保証協会釧路支所が開設される。

- 27 三鉱連(全国三井炭鉱労組連合会)の人員整理反対闘争終結(英雄なき113日の闘い)

- 12 5 国民金融公庫釧路支店が開設される。
- 6 太平洋炭砒の春採病院が全焼し、1人が死亡する。
- 9 産業会館が落成し、釧路商工会議所が1階で業務を始める。
- 25 東邦交通の観光バス部門を分離し、阿寒バス(株)が設立される。

- 15 水俣病発症例初出(昭和31年判明)
- 24 奄美群島返還の日米協定調印(25日発効)
- ・世界銀行調査団来道、各泥炭地を調査



【阿寒バス株式会社の新社屋】



【当時の阿寒バス車両】
昭和30年代から青を基調としたデザインに変更された




(この年)



- ・小手繰網密漁防止の為、エビ桁曳網漁の試験操業が実施される。
- ・冷害・凶作で釧路管内の農業被害額が約4億3千万になる。

(この年)

- ・道開発局、殖民軌道の動力化工事実施、翌年に向け町村に移管し簡易軌道と改称
- ・道内主要死因、脳溢血(4,714人)が結核(3,931人)に代わり1位
- ・全国で同盟罷業602件・1,333,519人参加

昭和29年(1954)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>29 商業高校と鶴ヶ岱高校が、東中内仮校舎から鳥取144番地(後に暁町11番地)の新校舎に移転する。</p>  <p>【北海道釧路商業高等学校】 翌年、道に移管され、全日と定時の両課程になり、鶴ヶ岱高校は廃校となる。昭和52年に昭和へ移転し、跡地に釧路養護学校が開校する。</p> <p>・ 釧路市教育会館が鶴ヶ岱1番地に完成する。</p>	<p>6 青函トンネル起工式、調査ボーリング開始</p> <p>16 札幌市で男子スピードスケート世界選手権大会開催(～17日)</p>
2	<p>13 第1回東北海道スケート選手権大会が市営リンクで開催される。</p>	
3	<p>8 音別町連合婦人会が結成される。</p>	<p>1 第5福竜丸、米水爆実験により被災</p> <p>8 日米相互防衛援助協定(MSA協定)調印</p>
4	<p>1 殖民軌道雪裡線が鶴居村営簡易軌道(新富士一中雪裡)となる。</p> <p>・ 「燠」詩人会の同人誌『燠』が創刊される。</p>	<p>21 法相、造船疑獄に指揮権発動(22日辞職)</p>
5	<p>10 暴風で釧路の鮭鱒流網漁船3隻が沈没し、33人が死亡する。</p> <p>13 鳥取小学校が鳥取町47番地に移転・改築される。</p> <p>27 択捉島沖漁場へ、第1回の底曳船団が出漁する。</p> <p>・ 北海道労働金庫釧路支店が開設される。</p> <p>・ 釧路港が北洋鮭鱒独航船の発進帰還基地となる。</p>  <p>【出漁する北洋鮭鱒独航船団】</p>	<p>8 改正警察法公布、警察行政の二元化</p> <p>9 防衛庁設置法、自衛隊法各公布</p> <p>10 暴風雨により全道で海難事故、漁船遭難506隻、死者333名</p>
6	<p>30 釧路市警の解散式が行なわれる。</p> <p>・ ラジオ共同聴取施設が尺別・直別地区まで設置される。</p> <p>・ 釧路サイクリング協会が発足する。</p> <p>・ 北海道バター(株)音別工場の操業が開始される。</p>  <p>【北海道バター(株)音別工場】 昭和32年にクローバー乳業、同33年に雪印乳業と改称される。</p>	<p>8 改正警察法公布(都道府県に一元化)</p> <p>9 防衛庁設置法・自衛隊法各公布</p>


<p>7 5 阿寒営林署が釧路営林署から分割設置される。</p> <ul style="list-style-type: none"> .. 全国高校野球北海道大会が市営球場で開催される。 .. 太平洋炭砒の桜ヶ岡ベルト斜坑が完成する。  <p>【桜ヶ岡ベルト斜坑】 左は一番人車の発車時。右は坑内。</p>	<p>1 北海道警察発足、札幌・函館・旭川・釧路・北見の5方面本部設置</p> <p>8 日鋼室蘭労組、901人の解雇通知一括返上</p>
<p>8 14 天皇・皇后両陛下が阿寒(~15日)と釧路(~16日)をご訪問される。</p>  <p>【阿寒湖でマリモをご覧になる天皇陛下】 お手前の筒はマリモ観察用の覗き筒</p> <p>31 湖陵高校の焼失校舎が再建され、新校舎で授業が始まる。</p> <p>31 太平洋炭砒で坑内ガス爆発が起こり、39人が死亡する。</p> <ul style="list-style-type: none"> .. 「釧路うたう会」が全国的な「うたごえ運動」の中から発足する。 	<p>7 天皇・皇后両陛下、道内巡幸(~23日)</p> <p>7 国連食糧農業機関(FAO)、道内泥炭地を調査(~9.16)</p>
<p>9 15 釧路喫茶店組合が創立される。</p> <p>20 湖畔の遊覧船業者が合同し、阿寒遊覧船(株)を設立する。</p> <p>22 釧路市工場誘致条例が施行される。</p> <p>27 函館に「釧路市洞爺丸遭難者救護対策本部」が設置される。</p> <ul style="list-style-type: none"> .. 市下水道設置計画案(10カ年・1億8千万円)が議決される。 .. 地域情報誌『東北海道』が創刊される。 	<p>26 台風15号(洞爺丸台風)が北海道に襲来、青函連絡船5隻が遭難し、洞爺丸の乗員・船客1,155名が死亡、岩内町で3,300戸焼失の大火、風倒木6400万石超</p>
<p>10 20 二代目久寿里橋が十勝沖地震災害復旧工事により完成する。</p> <p>27 尺別礦業所の浦幌坑が閉山する。</p> <p>31 釧路電話局の新局舎が黒金町9丁目に竣工する。</p> <ul style="list-style-type: none"> .. 前田一步園製材工場が開設される。 .. 釧路技能者共同養成所が川北町4に開設される。 .. 共栄・城山・桜ヶ岡の市立3保育園が開園する。 	
<p>11 1 太平洋炭砒職域生活協同組合(後の釧路生協)が設立される。</p> <p>20 新川小学校が開校する。</p> <p>25 十勝沖地震で被害を受けた北埠頭の復旧工事が完了する。</p>	<p>24 日本民主党(鳩山総裁)結成</p>
<p>12 23 釧路商工信用組合が創設される。</p> <ul style="list-style-type: none"> .. 釧路市国際貿易促進地方議員連盟が結成される。 	<p>10 鳩山一郎内閣成立</p> <p>30 日鋼室蘭争議終結(193日間)</p>
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<ul style="list-style-type: none"> .. 阿寒村で赤痢が流行し、479人が罹患する。 	<ul style="list-style-type: none"> .. 赤痢流行、全道で10,841人罹患 .. 全国で同盟罷業632件・915,111人参加

昭和30年(1955)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>4 釧路社会保険出張所が城山から栄町へ移転・新築される。</p> <p>19 釧路市文化団体連絡協議会が結成される。</p>	<p>1 釧路村と昆布森村合併</p> <p>27 重要無形文化財第1次指定</p>
2	<p>1 釧路電話局の加入電話が自動交換方式に改められる。</p> <p>18 まりも国道(国道240号線)が2級国道に指定される。</p> <p>・ 第1回釧路児童スケート大会が開催される。</p> <p>・ 第1回釧路スケート連盟杯争奪アイスホッケー大会が開かれる。</p>	<p>14 (財)日本生産性本部設立</p> <p>27 総選挙、民主185・自由112・左社89・右社67</p>
3	<p>31 商業高校が道に移管され、北海道釧路商業高等学校と改称する。</p>	<p>19 第2次鳩山内閣成立</p>
4	<p>1 字名変更で、穂禰平小・中を山花小・中、湯波内小・中を桜田小・中、上大楽毛小・中を鶴丘小・中、平戸前小を北斗小と改称する。</p> <p>1 星園家政専門学校が高等学校に昇格し、釧路家政高等学校と改称する。(翌年、北海道釧路星園高等学校と改称)</p>  <p>【釧路家政高校】</p> <p>1 釧路自動車販売店協会が設立される。</p> <p>2 柏木小学校が開校する。</p> <p>10 釧路歌人会が創立される。</p> <p>23 道議選で、市部は太田益夫・阿部英一、管内は岡林歓喜・二瓶栄吾が当選する。</p> <p>30 村長選挙で阿寒は小村義馬・音別は紅林鉄雄が各3選を果たす。</p> <p>30 阿寒(定員26名)・音別(同22名)村議会議員選挙が行われる。</p> <p>・ 市の自動車練習所が市立自動車学校となる。(道内初の公立自校)</p>	<p>23 道知事・道議選、田中敏文知事3選</p>
5	<p>1 釧路港が極洋捕鯨(株)の母船式サケ・マス船団基地となり、極星丸と独航船30隻が出港する。</p> <p>・ 市内高校リーグ軟式庭球大会が行なわれるようになる。</p>	<p>・ 北洋サケマス漁業に14船団・独航船234隻、オホーツク2船団・50隻が出漁</p> <p>・ 根釧パイロットファーム床丹第2地区着工</p>
6	<p>5 『北海文学』17号が発刊され、原田康子「挽歌」の連載が始まる。(～翌年7月26号)</p>  <p>【原田康子】</p>  <p>【市立図書館での北海文学同人合評会】 左から3人目が原田康子、右から2人目が鳥居省三</p> <p>・ 北海道立阿寒湖診療所が開設される。</p>	<p>1 ロンドンで日ソ国交正常化交渉開始</p> <p>7 関税及び貿易に関する一般協定(GATT)への日本加盟調印(9.10発効)</p> <p>23 全国軍事基地反対連絡会議結成(砂川・北富士・内灘等で反基地・反戦闘争激化)</p>

<p>7 17 信浄寺が松浦町に説教所として開設される。</p>	<p>27 共産党6全協、武装闘争路線を廃棄</p>
<p>8 .. 第1回くしろ北海盆踊り大会が開催される。 .. 釧路市民合唱団が結成される。 .. 阿寒村公民館が雄鉄阿寒駅前旧病院を転用して移転する。</p>	<p>6 第1回原水爆禁止世界大会広島大会開催 10 石炭鉱業合理化臨時措置法公布 .. 森永粉ミルクで乳児死亡(12月迄に113人)</p>
<p>9 .. 舌辛川上流に村井建設が大曲炭砒を開坑する。</p>	
<p>10 1 日本詩吟学院岳風会釧路支部が発足する。 28 市文化祭が市総合文化祭と改称して開催される。</p>	<p>1 第8回国勢調査、道人口4,773,087人 13 左・右社会党統一大会</p>
<p>11 3 釧路市文化賞の第1回授与式が行なわれる。 19 雌阿寒岳が有史以来初の噴火。 (ポンマチネシリの火口で水蒸気爆発があり、東28^キ。先まで降灰を観測する)</p> <div data-bbox="625 551 1007 1055" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">【雌阿寒岳噴火】 昭和30年11月19日16時50分頃</p> <p>.. 道展の第1回釧路移動展が公民館で開催される。</p>	<p>1 赤平の茂尻炭砒でガス爆発、60人死亡 15 自由・日本民主両党、自由民主党結成 16 拓銀、都市銀行へ加入</p>
<p>12 11 『釧路新聞』(第3次)が創刊される。</p> <div data-bbox="256 1160 920 1529" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">【昭和30年代の釧路新聞社々屋(白金町)】</p> <p>.. 舌辛川の富士見橋が架け替えられ、永久橋となる。 .. 阿寒市街の簡易上水道敷設工事が竣工する。 .. 択捉島沖で釧路の底曳大型船が周年操業体制に入る。</p>	<p>14 日本の国連加盟にソ連が拒否権行使 19 原子力基本法・原子力委員会設置法公布</p>
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<p>.. 釧路管内の乳牛数が5千頭、産乳量が10万石を超える。</p>	<p>.. 下期から「神武景気」到来(～32年上期) .. 電気釜新発売、テレビ・洗濯機等による「家庭電化時代」開始 .. 全国で同盟罷業638件・1,028,629人参加</p>

昭和31年(1956)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
2	<p>13 釧路優良商店会が設立される。(昭和61年、釧路日商連となる)</p> <p>29 末広4丁目から出火し、歓楽街の6棟21戸が焼失、1人が焼死する。</p>	15 総評春闘、第1波官・民統一闘争実施
3	<p>12 第1回阿寒スピードスケート競技大会が開催される。</p> <p>29 釧路専門店会と釧路商店会が合併し、(協)釧路専門店会となる。</p>	21 ソ連、北洋鮭鱒資源保護の為、ブルガーニン・ライン設定
4	<p>2 釧路機船底曳網漁協が釧路機船漁協と改称する。</p> <p>10 釧路歌人会が創立される。</p> <p>11 釧路書道連盟が結成される。</p> <p>29 欧米との直輸出入航路再開第1船「赤城山丸」が出港する。</p>	<p>14 積雪寒冷地域における道路交通の確保に関する特別措置法(積寒法)公布</p> <p>21 「水俣病」患者、初めて確認</p>
5	<p>・ 集乳工場の設置場所を巡る阿寒村内3農協の対立が始まる。</p>	14 日ソ漁業条約調印
6	<p>25 音別村立尺別炭砒幼稚園が尺別炭砒小敷地内で開園する。</p> <p>29 寿町で火災出動中の消防車が児童の列に突入し、7人が死亡、12人が重軽傷を負う。</p>	30 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(教育委員の任命制等)公布
7	<p>18 「釧路まりも学園」の落成式が挙行される。</p> <p>・ 日本化学飼料(株)釧路工場が大楽毛で操業を開始する。</p> <p>・ 露天転換の駅前市場(和商協同組合)と黒金市場が開業する。</p>	<p>1 北海道開発公庫発足</p> <p>8 参議選、自民61・社会49・緑風5・創価3</p>
9	<p>10 雄別炭礦鉄道の全面出資で(株)釧路製作所が設立される。</p> <p>・ 舌辛川支流ペルシナイ川に、村井建設が然別炭砒を開坑する。</p> <p>・ 太平洋炭砒が武佐に選炭汚水浄化用沈澱池を設置する。</p>	<p>8 全国中立労組連絡会議(中立労連)結成</p> <p>28 文部省、初の全国学力調査</p>
10	<p>8 HBC釧路放送局が開局し、民放初のラジオ放送を始める。</p> <p>24 前年の釧路市総合文化祭と釧路地区労働文化祭が統合し、第1回釧路文化祭が開催される。(～11/4)</p>	19 日ソ国交回復に関する共同宣言調印
11	<p>20 同人詩誌『かばりあ』が創刊される。(創刊号のみ『かばりや』)</p> <p>25 阿寒湖小・中学校の新校舎(マリモ校舎)落成式が行なわれる。</p>	<p>4 ソ連軍ブダペスト侵攻(ハンガリー動乱)</p> <p>5 英仏軍エズ運河占領(10.29～イスラエル軍シナイ半島占領、第2次中東戦争)</p>
	 <p>【マリモにちなんだ円形の阿寒湖小学校】昭和48年に中学が独立新校舎へ移転、54年に小学校も移転してマリモ幼稚園園舎となる。</p>	
12	<p>10 原田康子著『挽歌』の単行本が東都書房から刊行される。</p> <p>28 『釧路歌人会誌』(年刊)が創刊される。</p> <p>・ 富士見坂の拡幅工事が完成する。(6月に幣舞ロータリー造成)</p>	<p>18 国連総会、日本の国連加盟承認</p> <p>22 NHK札幌局、テレビ放送開始</p> <p>23 石橋湛山内閣成立</p>
(この年)		(この年)
	<p>・ サンマが大豊漁で釧路港の水揚量が1,500万貫となる。</p> <p>・ 釧路港の移・輸出入貨物量が開港以来初めて200万トンを超える。</p>	<p>・ 全道大冷害凶作、被害総額397億円</p> <p>・ 鉱工業生産指数219.1・製造工業同231.3</p> <p>・ 全国で同盟罷業631件・954,177人参加</p>

昭和32年(1957)


月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	1 阿寒村に町制が施行され、村長の小村義馬が初代町長となる。	29 日本南極観測隊、昭和基地設営
2	28 原田康子が『挽歌』で女流文学賞を受賞する。	25 岸信介内閣成立
3	1 全日本スピードスケート選手権大会(第25回)が、初めて阿寒湖で開催される。(～3日)	13 共同通信、「菅生事件」の真相報道 15 HBC、道内初の民放テレビ放送開始
4	1 釧路国支庁が釧路支庁と改称される。 10 釧路北陽高等学校が大町の旧電話局を仮校舎として開校する。 11 市水産物協組が設立され、市内水産工場の大楽毛移転を決める。 .. 釧路サッカー協会が創立される。 .. 北海道バター釧路・音別工場が、クロバー乳業各工場と改称する。	6 開拓営農振興臨時措置法公布
5	30 音別炭砒が栄和産業(株)上音別炭砒となる。	
6	.. 釧路鮭商組合が設立される。(後に釧路鮭調理師会が分離独立) .. 映画『挽歌』のロケが市内を中心に行われる。 【『挽歌』映画ポスター】 一躍ベストセラーとなった『挽歌』はこの昭和32年久我美子主演映画の後、昭和51年秋吉久美子主演で再度映画化されている。	21 岸・アイゼンハワー、日米共同声明(日米安保委設置・在日米地上軍撤退等)
8	1 雄鉄が旅客専用ディーゼルカーの運行を開始する。 26 釧路ライオンズクラブが創立される。 .. 遍照寺の寺号公称が許可される。	6 日米安保委員会設置 27 東海村原子力研究所の1号炉が臨界点に達し、原子力の火が点る
9	14 阿寒町開基70周年及び町政施行記念式典が挙行される。 15 阿寒町西高台に殉公碑が建立され、慰霊祭典が行われる。 15 渡辺茂編『釧路市史』を市が発刊する。 .. 市立病院附属准看護婦養成所が開設される。	5 国鉄白糠線着工 20 初の国産ロケット・カップパーC型打上げ
10	19 釧路国相撲協会が相撲錬成場を建て、土俵開きが行なわれる。 27 市長・市議(36名)選挙が行われ、山本武雄が市長に初当選する。	
11	3 音別村公民館が新築され、落成式が挙行される。 18 市議会議長に山崎鉄三郎が四選される。	1 日本原子力発電(株)設立
12	15 釧路電報局が黒金町の電話局隣に新築・移転する。 26 布伏内郵便局が開設される。	6 日ソ通商条約調印 27 閣議、道総合開発第2次5ヶ年計画決定
(この年)		(この年)
	.. 管内農家家畜数調査で、鶏が前年比43%増の55,369羽・牛が同23%増の14,111頭等に増えるが、馬のみ同13%減の15,471頭に減る。 .. 釧路港からの木材移出積出しが初めて百万石を超える。	.. 道内交通事故、初の5千台(5,125件) .. 経済成長率、実質9.9%・名目15.1% .. 全国で同盟罷業810件・1,554,968人参加



昭和33年(1958)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>21 湖陵高校が釧路勢初のアイスホッケー全国優勝を果たす。</p> <p>27 売春防止法施行(4/1)が迫り、米町遊廓の解散式が行われる。</p>	<p>22 第2回日ソ漁業交渉、鮭鱒11万トンを妥結</p>
2	<p>27 信浄寺の寺号公称が許可される。</p>	<p>5 非外資系のアラビア石油㈱設立</p>
3	<p>1 札幌鉄道郵便局釧路郵便室が分局に昇格する。</p>	<p>9 関門国道トンネル(3,461m)開通</p> <p>24 全日本農民組合連合会結成</p>
4	<p>27 三代目鳥取橋が永久橋として竣工し、渡橋式が行なわれる。</p> <p>.. エンパイアクリーニングが本社を札幌に移す。</p> <p>.. 同人詩誌『釧路現代詩話会』が創刊される。</p>	<p>1 北海道総合開発第2次5ヶ年計画実施</p> <p>26 日本貿易振興会法公布(7.25.JETRO設立)</p>
5	<p>28 釧路北ロータリークラブが創立される。</p>	<p>22 総選挙、自民287・社会166</p>
6	<p>1 釧路文学団体協議会が発足する。</p> <p>10 音別村社会福祉協議会が結成される。</p> <p>22 阿寒町長・町議補欠(3名)選挙が行われ、太田佐市が初当選する。 (異議が出されて無効となり、12月に再選挙となる)</p> <p>27 皇太子殿下が阿寒湖畔 (～29日)・釧路(～30日) をご来訪される。</p>  <p>【錦町魚揚場を見学される皇太子殿下】</p>	<p>12 第2次岸信介内閣成立</p> <p>23 皇太子殿下ご来道(～7.10)</p> <p>24 阿蘇山大爆発、死者12人</p>
7	<p>1 釧路市公民館が新築され、オープンする。</p>  <p>【釧路の文化・芸術・社会教育の拠点となった公民館】</p> <p>2 釧路港南新埠頭が着工される。(3日、中央埠頭着工)</p> <p>31 本州製紙(株)釧路工場建設工事の鍬入れ式が行なわれる。</p>	<p>5 北海道大博覧会開催(～8.31札幌・小樽)</p> <p>18 王子製紙労組、無期限スト突入(王子争議)</p>
8	<p>27 丹頂鶴自然公園が開園し、5羽のタンチョウが公開される。</p>  <p>【開園間もない丹頂鶴自然公園】</p> <p>22 虞犯少年の収容施設「釧路学園」が緑ヶ岡に開園する。</p>	<p>23 青函トンネルの海底ボーリング調査開始</p> <p>25 日清食品、初の即席麺「チキンラーメン」発売開始</p>


9	<p>1 管内9町村の釧路教育会館(白樺荘)が末広町にオープンする。</p> <p>10 創価学会の寄進により、興徳寺が建立される。</p> <p>25 阿寒湖畔の簡易上水道施設が完成する。</p>	<p>22 米軍、千歳空港の航空管制権返還</p> <p>27 台風22号(狩野川台風)、中伊豆等で死者1,189人</p>
10	<p>1 音別村体育協会の設立総会が開かれる。</p> <p>1 釧路—札幌間準急「狩勝」が通年運行を開始する。</p>	<p>・・ 警職法(改正)反対闘争激化(11.22廃案)</p>
11	<p>1 釧路石炭乾溜が釧路ガスへ石炭流動乾溜ガスの供給を始める。</p> <p>1 クロバー乳業(株)釧路工場・音別工場が、雪印乳業(株)各工場と改称する。</p> <p>4 北陽高校々舎が緑ヶ岡に新築され、仮校舎から移転する。</p> <p>8 副港市設魚揚場の中央・左翼棟が完成し、開場式が行われる。</p> <p>15 音別村役場庁舎が新築され、落成式が行われる。</p> <p>24 昭和し尿消化処理場の落成式が行われる。</p> <p>26 前々年拡張された富士見坂の舗装工事が竣工し、開通する。</p> <p>・・ 阿寒町役場阿寒湖畔出張所が開設される。</p> <p>・・ 公営住宅望洋団地で初めての92戸(市営)が完成する。</p>	<p>1 特急「こだま」、東京—神戸間運転開始</p> <p>1 雪印乳業、クロバー乳業を合併</p> <p>22 王子製紙労組、中労委斡旋案を受諾</p> <p>27 皇太子殿下の婚約発表</p>
12	<p>7 太平洋炭砒の武徳館が完成し、落成式が行われる。</p> <p>12 音別村簡易上水道施設が完成する。</p> <p>18 阿寒町長のやり直し選挙で、大野直栄が初当選する。</p> <p>・・ 9～11月に実施の市民結核検診で、受診者18,499人中2,188人が結核患者と判定される。</p>	<p>23 東京タワー(333m)完成</p> <p>25 公共用水域水質保全法・工場排水等規制法、各公布</p> <p>・・ 「主婦の店ダイエー」、神戸三宮に開店</p>
(この年)		(この年)
<p>・・ 高城高(道新釧路支社記者:乳井洋一)が、『宝石』等にハードボイルド小説を発表し始める。</p> <p>・・ 札幌市の中村万平が阿寒町の白水川で褐鉄鉱床を発見する。</p> <div data-bbox="252 1305 834 1939" data-label="Figure"> </div> <p>【ピリカネツの鉱山分布図】</p>		<p>・・ 日教組の勤評反対闘争激化(年末終息)</p> <p>・・ ミッチーブーム、フラフープ大流行</p> <p>・・ 経済成長率、実質5.5%・名目6.2%</p> <p>・・ 全国で同盟罷業887件・1,179,566人参加</p>




昭和34年(1959)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>1 音別村に町制が施行され、村長の紅林鉄雄が初代町長となる。</p> <p>9 国体スケート(第14回)道予選会が釧路で初めて開催される。</p> <p>18 音別中屋体で町制施行記念式典が挙行される。</p> <p>21 音別村主畜農業協同組合が、音別町農業協同組合と改称する。</p> <p>23 朝陽小学校が開校する。</p> <p>28 音別地区労(7単産・1,063人)が発足する。</p>	<p>1 計量(メートル)法施行</p> <p>10 NHK教育テレビ開局</p> <p>14 昭和基地に放置の太郎・次郎、生存確認</p>
2	<p>3 釧路市総合企画委員会(6部会・135人)が発足する。</p> <p>25 工業高校の校舎約半分が焼失する。</p> <p>【炎上する工業高校校舎】 翌年10月に焼失分が復旧され、昭和38～44年度に全面改築された。</p>  <p>28 阿寒地区労(9単産・3千人)が発足する。</p>	<p>18 藤山外相、安保改定試案を発表</p>
3	<p>4 阿寒地方中小企業相談所が設立される。</p> <p>6 青空(せいこう)画会が釧路美術協会に改組・改称する。 .. 劇団「虹の会」が結成される。(7.12.第1回公演) .. 市教育研究所が郷土読本『くしろ』(小3・4年副読本)を発刊する。</p>	<p>28 安保条約改定阻止国民会議結成</p>
4	<p>5 釧路ステーションデパート協同組合が設立される。</p> <p>23 道議選で、市部は阿部英一・太田益夫、管内は竹内重雄・二瓶栄吾・千葉軍司が当選する。</p> <p>30 阿寒町(定員26名)・音別町(同22名)議会議員選挙が行われる。</p> <p>30 音別町長選挙が行われ、千葉豊治が初当選する。 .. 太平洋炭砒の選炭工場が拡張され、処理能力180万トン/年となる。</p>	<p>10 皇太子・美智子后、御成婚パレード</p> <p>15 最低賃金法公布</p> <p>16 国民年金法公布</p> <p>23 道知事・道議選、知事に町村金五初当選</p>
5	<p>1 釧路一川湯間準急「摩周」が通年運行を開始する。</p> <p>3 鳥取町主畜農業協同組合が釧路市農業協同組合と改称する。</p> <p>24 第1回「サクラまつり」が鶴ヶ岱公園で開催される。</p> <p>31 第1回たそがれ野球大会が始められる。(60チーム参加)</p>	<p>13 第3回日ソ漁業交渉、鮭鱒8万5千トンで妥結</p>
6	<p>20 釧路電話局の天気予報サービス(ダイヤル99)が始まる。</p> <p>25 浄土寺の寺号公称が許可される。</p> <p>28 第13回全道工場鉱山相撲大会が十條製紙相撲場で開催される。</p>	<p>2 参議選、自民71・社会38・学会系6</p> <p>30 沖縄県宮森小学校に米軍ジェット機墜落、死者21人・負傷者100人</p>
7	<p>12 第1回釧路地方軽自動二輪車耐久競技大会が行われる。</p> <p>17 釧路市青少年補導センターが発足する。(栄町児童館に仮設)</p>	
8	<p>1 釧路市開基90年記念式典挙行、「釧路市の歌」が制定される。</p> <p>9 第11回全道都市対抗柔道大会が旭小屋体で開催される。</p> <p>15 音別町第1回町民大運動会が音別小グラウンドで開催される。</p> <p>20 日本山妙法寺の仏舍利塔が城山に完成し、落成式典が行われる。</p>	



9	<p>1 雄別炭礦鉄道(株)が鉄道部門を分離し、雄別鉄道(株)を設立する。</p> <p>1 副港市設魚揚場の右翼棟が竣工し、全面使用開始される。</p> <p>4 釧路ガス(株)が庶路炭鉱の坑内ガスを本州社宅へ供給し始める。</p> <p>19 国体バレーボール道予選大会が初めて釧路市で開催される。</p> <p>22 釧路一根室間に準急「ノサップ」が運転開始される。</p> <p>24 市内で初めての老人クラブ「モシリヤ会」が城山で結成される。</p> <p>.. 北電が宇田別変電所の運転を開始する。</p>	<p>11 国泰寺『日鑑記』、道の有形文化財に指定</p> <p>26 台風15号(伊勢湾台風)、列島縦断、死者・行方不明5,098人(道内34人)</p>
10	<p>7 本州製紙が我が国初のクラフトライナー工場を完成し、竣工式が行われる。</p>  <p>【本州製紙釧路工場】 昭和49年の第4期増設工事完了時には生産能力71万となり、東洋一の製紙工場と言われた。</p> <p>16 釧路開発建設部阿寒湖畔出張所が開所する。</p> <p>26 国鉄釧路客貨車区が浜釧路駅から宝町に移転・新築される。</p> <p>27 音別町第1回総合文化祭が開催される。(～11月3日)</p> <p>28 釧路市私立高校誘致期成会が発足する。</p> <p>.. 釧路勤労者音楽協議会(労音)が発足する。</p>	<p>25 社会党西尾派33議員離党</p> <p>31 文部省、初の教育白書発表</p>
11	<p>.. 釧路で初めての跨線橋が国道38号線の本州製紙前に完成する。</p>	<p>27 安保阻止第8次統一行動、デモ隊2万人が国会構内に突入、300人が負傷</p>
12	<p>1 釧路赤十字病院が浦見町から新栄町に移転・新築され開院する。</p> <p>1 立正校成会釧路支部(44年に釧路教会)が発足する。</p> <p>1 愛国浄水場が完成し、給水を開始する。</p> <p>12 音別町に衛生組合、防犯協会(15日)が設立される。</p> <p>16 釧路一帯広間に電々公社のマイクロ回線が開設される。</p> <p>19 江南高校の鉄筋新校舎が光陽町に完成し移転する。</p>  <p>【江南高校新校舎】</p> <p>28 NHK釧路放送局がテレビ本放送を開始する。</p>	<p>11 三井三池炭鉱、1,177名の指名解雇通告(三池争議始まる)</p> <p>14 北朝鮮への帰還第1船、新潟出港</p> <p>18 炭鉱離職者臨時措置法公布</p>
(この年)		(この年)
	<p>.. 南埠頭造成の為、知人の7造船所が浜町へ移転する。</p>	<p>.. 前年より「岩戸景気」、年末日銀券発行残高1兆294億円、成長率実質10.4%・名目14.2%</p> <p>.. 全国で同盟罷業872件・1,213,593人参加</p>



昭和35年(1960)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>20 釧路労災病院が中園町に完成し、開院する。</p>  <p>【開院当時の労災病院】</p> <p>28 北海道学校植林コンクールで、仁々志別小・中が最優秀賞を得る。</p>	<p>13 大鵬、初入幕</p> <p>19 改訂日米安保条約調印</p> <p>24 民主社会党結成</p> <p>25 三井三池炭砒で無期限スト突入</p>
2	<p>20 管内農民組合が統合して、全釧路農民連合が結成される。</p> <p>22 釧路一帯広一札幌間の電話が手動即時通話となる。</p>	<p>1 北炭夕張鉱でガス爆発、死亡42人</p>
3	<p>3 釧路市物産協会が市内70業者により設立される。</p>	<p>31 治山治水緊急措置法公布</p>
4	<p>4 光陽小学校が開校する。</p> <p>11 希望学園・釧路第一高校が旧江南高校を仮校舎として開校する。</p>  <p>【希望学園・釧路第一高等学校の昭和39年3月に完成した校舎】</p>	<p>26 ソウルで10万人デモ(翌日李承晩大統領辞任、「4月革命」)</p>
5	<p>24 チリ地震(M9.5)による津波で、市内は漁船100隻損壊・住宅浸水90戸等総額1億9千万円の被害を受ける。</p>	<p>18 第4回日ソ漁業交渉、鮭鱒67,500トで妥結</p> <p>20 衆議院で新安保条約批准単独強行採決</p> <p>24 チリ地震津波、死・不明139人(霧多布11人)</p>
6	<p>1 精薄児通園施設「こぼと学園」が春採206番地に新築・開園する。</p> <p>2 安保阻止釧路公務員共闘会議(19単産3,332人)が結成される。</p> <p>4 東栄小の18教室が焼失する。(翌年2月1日に復旧)</p> <p>5 阿寒高等酪農学校(酪農学園分校)の開校式が徹別中で行われる。</p> <p>27 十條製紙釧路工場が大型高速新聞紙マシンの運転を開始する。</p> <p>28 釧路火力発電所誘致期成会が設立される。</p>	<p>4 安保改定阻止第1次実力行使(560万人)</p> <p>15 同上第2次実力行使(580万人参加、国会前で樺美智子死亡)</p> <p>23 新安保条約批准書交換、発効</p>
7	<p>7 公共用地先行取得の為、(株)釧路振興公社が設立される。</p> <p>・ 岩田鉱業が白水川の褐鉄鉱採掘を開始する。(昭和40年迄採掘)</p>	<p>19 第1次池田勇人内閣成立</p>
8	<p>13 第1回「道東書道展」が公民館で開催される。(～19日)</p> <p>20 国鉄釧路操車場の全面使用が開始される。</p>  <p>【国鉄釧路操車場(ヤード)】</p> <p>23 2階建6棟を一体化した和商市場が完成し、店開きする。</p>	<p>12 日本航空、国際線ジェット機初就航</p>



<p>9</p>	<p>1 釧路市福祉会館が川北町にオープンする。(身障者福祉協会釧路支部が管理運営)</p> <p>3 雄別中から分離して布伏内中学校が開校する。</p>  <p>【布伏内中の開校を祝福しに舞い降りた？三羽のタンチョウ】</p>	<p>10 NHKと民放4社、カラーTV本放送開始</p>
<p>10</p>	<p>21 (社)阿寒町商工会が結成される。(阿寒・雄別・古潭・湖畔が統合)</p> <p>26 釧路空港の滑走路が完成し、北日本航空の札幌—釧路線が営業を開始する。</p> <p>29 丸三鶴屋デパートが7階建に増改築され、新装開店する。</p> <p>31 中央埠頭を管理・運営する釧路開発埠頭(株)が設立される。</p>	<p>1 第9回国勢調査、道人口5,039,206人</p> <p>12 右翼少年、浅沼社会党委員長を刺殺</p> <p>30 白糠町本岐鉱でガス爆発、死者18人</p>
<p>11</p>	<p>15 音別町農協の事務所兼店舗が完成する。</p> <p>15 駅前市場(6棟130店)が完成し、店開きする。</p>	<p>1 三井三池闘争終結</p> <p>20 総選挙、自民296・社会145・民社17・共産3</p>
<p>12</p>	<p>20 阿寒町公民館が16線32番地に新築落成する。</p>  <p>【阿寒町公民館】昭和62年に移転・新築後は郷土資料館となった。</p> <p>20 『釧路叢書』第1巻が刊行される。</p>  <p>【釧路叢書第1巻『松浦武四郎蝦夷日誌集』】</p>	<p>8 第2次池田勇人内閣成立</p> <p>27 閣議、「国民所得倍增計画」決定</p> <p>・農林省、北洋海域への中型底曳網漁業転換要綱公布(転換漁船を北転船と通称)</p>
<p>(この年)</p>		<p>(この年)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・太平洋炭砒の出炭が、戦後初めて100万トンを突破する。 ・北水試がスケトウダラの冷凍スリ身技術を開発し、翌年から市内各冷凍工場が生産を開始する。 ・高集酪地域建設5ヶ年計画が終了し、釧路東・中部の乳牛が3,900頭から8,900頭、牛乳生産量が5,800トから17,400トに増加する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・小児マヒ流行、道内リ患1,578人・死亡106人 ・二輪車生産台数149万台で世界第1位 ・経済成長率、実質15.6%・名目21.3% ・全国で同盟罷業1,053件・917,454人参加



昭和36年(1961)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	25 釧路陸運事務所が寿町から鳥取54番地に新築・移転する。	1 道内全市町村、国民健康保険実施
2	9 釧路市北部土地改良区が発足し、国営土地改良事業を始める。 ・・ 釧路市農事センターが山花の農事試作場跡地に開設される。	19 医師会・歯科医師会、全国一日一斉休診 (25.保険医総辞退決定)
3	22 音別町商工会の設立総会が開かれる。	31 港湾整備緊急措置法公布
4	1 直別中学校が音別中学校に統合される。 1 音別町農業研修所が設立される。 1 市の都市改造事務所が開設され、北大通拡幅事業等を始める。 5 清明小学校が開校する。 6 景雲中学校と緑陵中学校が開校する。 13 太平洋商事(株)が設立され、炭礦購買をスーパーとして経営する。	4 全道で融雪災害、5日迄の死者・不明52人 12 ソ連、ウォストーク1号(ガガーリン少佐搭乗) 打上げ、地球一周成功 13 北海道アイヌ協会、北海道ウタリ協会と改称
5	1 北海製罐(株)釧路工場が操業を始める。 20 山本市長が社会党籍離脱を表明する。 27 阿寒町農業協同組合が設立される。(3主畜農協合併) 28 第1回あさ野球大会開会式が行われる。(60チーム参加) ・・ 市が道内初のホームヘルパー(家庭福祉員)制度を始める。	
6	3 尺別炭砒専用鉄道が地方鉄道に昇格し、尺別鉄道と改称する。  【尺別鉄道の 新尺別駅 3番線ホーム】 4 第1回釧路職場対抗相撲大会兼釧路相撲選手権大会が開かれる。 20 釧路まりもライオンズクラブが結成される。 27 副港に2階建6棟2列の仲買荷捌所が完成する。 ・・ 阿寒水族博物館とマリモ水中公園がオープンする。	12 農業基本法公布(16.農政審議会令公布)
7	5 白樺台団地(約80万㎡)の整地工事が始まる。 20 釧路空港(第2種空港、滑走路1,200m)の正式供用が始まる。  【開港もない 釧路空港】 20 山花橋が永久橋に架け替えられ、渡橋式が行われる。 20 浜釧路駅が黒金町から幸町に移転・新築される。	1 札幌市民交響楽団結成(翌年、財団法人札幌交響楽団に改組・改称) 18 国防会議、第2次防衛力整備計画決定 20 ソ連製小児麻痺生ワクチン1,300万人分を緊急輸入、投与開始

<p>23 江南高校野球部が北海道大会で優勝し、甲子園初出場を決める。</p>	 <p>【釧路江南が甲子園に釧根地区から初出場】 8月11日開会式入場行進</p>	
<p>26 市内で初めてのプールが鶴ヶ岱公園内にオープンする。</p>		
<p>8 1 国鉄「釧路民衆駅」が使用開始される。</p>  <p>【完成当時の釧路民衆駅】 駅舎建設資金を地元にも負担してもらい、代わりに商業施設を駅内に設けたものを「民衆駅」と言った。</p>		<p>8 仙台高裁の松川事件差戻し審で全員無罪判決(21.検察側再上告)</p> <p>8 農林省、開拓パイロット事業実施要綱制定</p>
<p>9 8 民衆駅地下のステーションデパートが開店する。</p> <p>20 釧路東映ホテルが浦見町の日赤病院跡地にオープンする。</p> <p>29 阿寒町議会議員補欠(5名)選挙が行われる。</p>		<p>16 台風18号(第2室戸台風)、室戸沖で最大瞬間風速84.5m/sなど暴風被害、死者202人</p> <p>16 全北海道農民連盟発足</p>
<p>10 1 尺別炭鉱がベルト斜坑(1,927^尺・傾斜16度)の開削に着手する。</p> <p>1 釧路一札幌間準急「狩勝」が急行「第1・第2狩勝」となる。</p> <p>5 民衆駅2階の日本食堂が開店する。</p> <p>26 市長・市議(定数40名)選で、山本市長が再選され、女性議員が初当選する。</p>		<p>2 大鵬、21歳の史上最年少で横綱に昇進</p> <p>12 炭労、石炭政策転換要求行動開始</p> <p>26 文部省、中学校で全国一斉学力テスト実施</p>
<p>11 1 加入電信のテレックス・サービスが市内で始められる。</p> <p>6 「尺別事件」が起こる。(泉信夫外10名が生産妨害などで解雇処分)</p> <p>10 中央埠頭第1バースが竣工し、供用を開始する。</p> <p>20 市議会議長に山本幸造が就任する。</p> <p>24 千代ノ浦に共同浴場を併設した隣保館が完成する。</p> <p>25 やち坊主同人会の季刊随筆誌『やち坊主』が創刊される。</p>		<p>6 高校生急増対策法公布</p> <p>13 産炭地域振興臨時措置法・低開発地域工業開発促進法、各公布</p> <p>29 児童扶養手当法公布</p>
<p>12 11 釧路電話局の時報サービスが開始される。</p> <p>12 市の別保し尿処理工場の完工式が行われる。</p>		<p>12 首相外内閣要人暗殺計画発覚、旧軍人ら13人逮捕(三無事件)</p>
<p>(この年)</p>		<p>(この年)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 釧路地区吹奏楽連盟が創立される。 ・ 市内で水産加工場が増え、排水が社会問題化しだす。 ・ 市の製品出荷額(鉱業除く)が道内第3位の341億円となる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 農林業就業者、全就業者の30%割る。 ・ 経済成長率、実質13.3%・名目20.7% ・ 全国で同盟罷業1,386件・1,677,971人参加



昭和37年(1962)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>28 釧路俳句連盟の結成大会が公民館で開かれる。</p> <p>・第1回釧路地区職場対抗囲碁大会が開催される。</p> <p>・阿寒町営農改善推進機構が設置される。</p>	<p>・東京でインフルエンザ流行、全国に拡大して6月迄に患者47万人・死者5,868人</p>
2	<p>9 釧路市、音別・阿寒・厚岸町が産炭地域振興法の指定地域となる。</p>	<p>9 産炭地域振興協議会、道内40市町村指定</p>
3	<p>1 北海道電波管理局釧路出張所の開所式が行われる。</p> <p>17 市の「老人温泉保養運動」が始まり、第1陣のバスが阿寒湖畔に向け出発する。</p> <p>31 尺別炭鉱の湖陵高校音別分校(定時制)が閉校される。</p>	
4	<p>7 阿寒湖畔コタンの共同浴場落成式が行われる。</p> <p>30 市内で初めて、個人タクシーの営業免許が4人に出される。</p>	<p>4 建物の区分所有法公布</p> <p>26 全日本労働総同盟組合会議(同盟)結成</p>
5	<p>1 帯広—釧路間に気動車準急「ぬさまい」の運転が開始される。</p> <p>4 第1回釧路自動車ショーが栄町公園で開かれる。(～5日)</p> <p>8 HBC釧路局がテレビ本放送を開始する。</p> <p>11 全釧路学校剣道連盟結成式が市教育会館で行われる。</p>	<p>3 国鉄三河島駅で二重衝突事故、死亡160人・負傷325人</p> <p>10 新産業都市建設促進法公布</p>
6	<p>10 第1回「音別蒨まつり」が霧里川沿いで開催される。</p>  <p>【音別町山間の大フキ群生地】</p> <p>26 市議会が「交通安全都市宣言」を満場一致で議決する。</p>	<p>29 十勝岳爆発、不明5人・負傷12人</p>
7	<p>12 石炭鉱業調査団(第一次)が太平洋炭砦を視察する。</p>  <p>【太平洋炭砦での石炭鉱業調査団】 中央が有沢広巳団長。</p> <p>21 遍照寺が寺号公称を許される。</p> <p>25 釧路信用金庫阿寒支店が開設される。(9月16日、新店舗落成)</p>	<p>1 参議選、自民69・社会37・公明9</p> <p>10 閣議、第2期道総合開発計画決定</p> <p>27 社会党江田書記長、新社会主義ビジョン発表、党内抗争再燃</p>





8	<p>1 STV釧路局がテレビ本放送を開始する。</p> <p>13 阿寒民芸品制作協同組合の設立総会が開かれる。</p> <p>13 釧路港ハーバーレーダー測位局の開所式が行われる。</p> <p>20 新陽小学校が開校する。</p> <p>・太平洋炭礦の春採坑と興津坑が統合される。</p>	<p>6 原水禁世界大会、ソ連核実験巡り紛糾</p> <p>12 堀江謙一、日本人初の小型ヨットで太平洋横断、サンフランシスコ着</p>
10	<p>1 釧路一帯広間の電話が自動即時通話となる。</p> <p>1 釧路一函館間に特急「おおぞら」の運転が開始される。</p>  <p>【釧路一札幌間を6時間23分で走る特急「おおぞら」】</p>	<p>5 閣議、全国総合開発計画決定</p> <p>13 石炭鉱業調査団、石炭鉱業合理化対策(スクラップ&ビルド方式等)答申</p> <p>22 米、キューバ海上封鎖(キューバ危機)</p>
11	<p>5 音別橋が竣工(永久橋架替え)し、渡橋式が行われる。</p> <p>10 北転船による北洋海域の底曳網漁業が開始される。</p> <p>10 大楽毛の国道38号線立体交差跨線橋が使用開始される。</p> <p>17 東邦交通が米町線で道内初のワンマンカー運行を始める。</p>  <p>【駅横の東邦交通本社ビルとバスターミナル】</p> <p>30 白樺台団地まで朝暘小から下校した児童が行方不明になる。(翌年春、三津浦で遺体発見)</p>	<p>・閣議、石炭政策大綱(スクラップ&ビルド方式等)決定</p>
12	<p>1 阿寒町長選挙で大野直栄が無投票再選を果す</p> <p>12 音別町母子会が設立される。</p> <p>25 釧路駅の通り抜け地下道が開通する。</p> <p>・ノワール美術同人会(47年にノワール美術協会)が結成される。</p>	<p>11 酪農民が自衛隊島松演習場の通信線を切断(恵庭事件)</p>
(この年)		(この年)
<p>・市内冷蔵工場の収容能力が3万トンを超え、函館を抜いて全道一となる。</p>		<p>・経済成長率、実質8.3%・名目13.4%</p> <p>・全国で同盟罷業1,283件・1,516,481人参加</p>


昭和38年(1963)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>16 阿寒湖畔の民芸品共同作業所が完成し、協組員が制作を始める。</p> <p>19 公営では道内4番目のユースホステルが春採公園内に開館する。</p> <p>19 釧路埼霧信号所が知人礁に移転し、ダイヤフラムホーンに代わる。</p> <p>26 釧路埼灯台の霧笛(パイプ吹鳴器)が市立博物館に移される。</p>	
2	<p>5 寿小学校の鉄筋校舎が完成し、落成式が行われる。</p> <p>11 釧路保健所が花園町に移転・新築され、業務を開始する。</p>  <p>【釧路保健所】左が鉄筋造の新庁舎。右は末広町にあった木造の旧庁舎(昭和26年5月～)</p> <p>28 市総合企画審議会が「総合計画書」を答申する。 .. 釧路演劇団体協議会が結成される。</p>	<p>11 福島町吉岡で、青函海底トンネル調査坑着工式</p>
3	<p>4 国費助成の石炭専用船第1号「雄海丸」が釧路に初入港する。</p> <p>16 上徹別簡易郵便局が阿寒町49線に開局する。</p> <p>27 市立自動車学校が閉校する。</p>	<p>28 全国農民総連盟結成</p>
4	<p>1 釧路工業高校に定時制課程(機械科)が併置される。</p> <p>5 駒場小学校が開校する。</p> <p>16 国立釧路総合職業訓練所が大楽毛に開設される。</p> <p>17 道議選で、市部は阿部英一・太田益夫・武藤正春、管内は竹内重雄・二瓶栄吾が当選する。</p> <p>26 共栄中学校の8教室が焼失する。</p> <p>26 音別町長選挙で、千葉豊治が無投票再選を果たす。</p> <p>30 阿寒町(定員26名)・音別町(定員22名)議会議員選挙が行われる。 .. 釧路地区吹奏楽連盟が発足する。</p>	<p>1 第2期北海道総合開発計画実施</p> <p>5 選抜高校野球大会、北海高が準優勝</p> <p>17 道知事・道議選、町村知事が再選</p>
5	<p>1 釧路信用金庫阿寒湖支店が開設される。</p> <p>10 釧路市厚生年金体育館が柳町に開館する。</p>  <p>【開館まもない厚生年金体育館】</p>	<p>4 埼玉県狭山市で誘拐女子高生の遺体発見</p> <p>23.被差別部落民の石川一雄を別件逮捕(狭山事件)</p>
6	<p>1 根室一札幌間に気動車急行「阿寒」の運転が開始される。</p> <p>9 鳥取神社境内の開拓記念館開館式及び「鳥取開拓記念碑」除幕式が行われ、「鳥取傘踊り」の伝習が披露される。</p>	<p>10 日ソ昆布協定調印(19.貝殻島周辺～230隻一斉出漁)</p> <p>20 観光基本法公布・施行</p>

<p>15 釧路市青少年科学館が春湖台に開館する。</p> <p>【当時の青少年科学館】</p>		
<p>7 11 第1回釧路市乳牛共進会が山花の農事センターで開催される。</p> <p>25 音別町消防望楼上に「愛の鐘」が設置される。</p> <p>【音別町「愛の鐘」】 毎日4回、トランペット6個が吹き鳴らされる。</p>		<p>11 老人福祉法公布</p> <p>12 閣議、新産業都市13ヶ所指定、北海道は道央地域6市13町村</p> <p>20 中小企業基本法公布</p> <p>21 道内各地で皆既日食観測</p> <p>26 経済協力開発機構(OECD)理事会、日本加盟承認(翌年4.28.加盟)</p>
<p>8 3 愛国浄水場が完成し、竣工式が行われる。</p> <p>9 春採湖の会設立総会が科学館で開催される。</p> <p>12 釧路商業高が甲子園に初出場、初戦で敗退する。</p> <p>23 阿寒湖畔スキー場のゲレンデ整備完工式が行われる。</p> <p>26 上阿寒・上舌辛等の畑217haの農作物が降雹で全滅する。 .. 釧路市老人クラブ連合会が結成される。</p>		<p>5 米英ソ、部分的核実験停止条約調印(14.日本調印)</p> <p>6 原水禁世界大会、ソ連核実験巡り分裂</p> <p>15 政府主催の第1回全国戦没者追悼式挙行</p>
<p>9 9 桜田橋が永久橋に架替えられ、渡橋式が行われる。 .. 釧路港港湾整備改定5ヶ年計画(西港建設等)が決定される。 .. 「多発性硬化症」(後に「スモン病」・「釧路病」)の全道調査が行われ、84人の患者中54人が釧路とされる。</p>		<p>12 最高裁、松川事件再上告審判決、全員の無罪確定</p>
<p>10 1 精神薄弱児収容施設の「ひかり学園」が開園する。</p> <p>31 臨港鉄道の旅客営業が廃止される。(25日お別れ列車運行)</p>		
<p>11 1 大楽毛の十勝種畜牧場釧路支場跡に、主畜農協連の釧路畜産農業センターが開設される。(翌年3.6.開所式)</p> <p>7 下徹別の松之恵橋が永久橋に架替えられ、渡橋式が行われる。</p> <p>29 第2土地区画整理事業(495ha、3億7千万円)完工式が行われる。</p>		<p>9 三池三川坑炭塵爆発事故、死者458人</p> <p>9 横浜市鶴見で国鉄二重衝突、死者161人</p> <p>21 総選挙、自283・社144・民社23・共5</p> <p>22 ケネディ米大統領、ダラスで暗殺</p>
<p>12 2 釧路農協ビルが新橋大通に竣工し、農協ストアが開店する。</p> <p>5 釧路工芸企業組合の共同作業所が沼尻隣保館横に開設される。</p> <p>15 釧路優良商店会の栄町会館落成式が行われる。</p> <p>20 副港の第二魚揚場が完成する。</p> <p>20 市議会が鳥取・湯沢両市との姉妹都市提携を宣言する。</p>		<p>9 第3次池田勇人内閣成立</p>
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>	
<p>.. 大楽毛の水産団地に9工場が移転して10工場となり、水産加工場の市街地からの移転・集約化が本格化する。</p>	<p>.. 国内火力発電量、水力発電量を上回る</p> <p>.. 経済成長率、実質8.6%・名目14.4%</p> <p>.. 全国で同盟罷業1,068件・1,181,929人参加</p>	




昭和39年(1964)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>4 西港の実施設計調査費が新年度北海道開発予算に計上される。</p> <p>25 旧釧路新聞赤レンガ社屋が解体される。</p>	<p>31 明治庶路砒、釧路炭田大手で初の閉山</p>
2	<p>1 雄鉄が釧路駅—雄別鉱四区間(約53km)でバス運行を開始する。</p>	
3	<p>4 太平洋炭礦が桂恋沖で深部海底下炭層ボーリング調査を始める。</p> <p>29 釧路丹頂ライオンズクラブが結成される。</p> <p>31 尺別小学校が閉校し、尺別炭鉱小学校に統合される。</p>  <p>【尺別小学校】</p> <p>・ 釧路税務署が浦見町から幣舞町に移転・新築される。</p>	<p>23 日本鉄道建設公団発足</p> <p>24 ライシャワー米大使、少年に刺され負傷(輸血で血清肝炎、「黄色い血」問題化)</p>
4	<p>6 漁民らの西港建設反対期成会が結成される。</p> <p>9 第一高校の新校舎が愛国39番地に完成し、仮校舎から移転する。</p> <p>18 釧路女子短期大学と同付属高校(13日)が開校する。</p>  <p>【釧路短期大学】(昭和48年名称変更、高校共に男女共学となる)</p> <p>・ 太平洋炭礦高等鉱業学校が開校する。</p> <p>・ 阿寒母子館が富士見町に設置され、館内に町立阿寒保育所が開設される。(後の阿寒幼稚園)</p>  <p>【阿寒母子館(阿寒保育所)】</p>	<p>1 一般海外渡航自由化(年1回・500ドル以内)</p> <p>15 北日本・富士・日東の各航空会社合併、日本国内航空(株)設立</p> <p>20 雄別炭鉱(株)、上茶路炭鉱を開坑</p> <p>25 第1回戦没者叙勲を発令</p> <p>28 日本、経済協力開発機構(OECD)加盟</p>
5	<p>3 「釧路市民憲章」が制定される。</p>  <p>【釧路市民憲章制定記念市民大会】</p> <p>27 蒲鉾製造12業者が統合し、釧路蒲鉾工業協同組合を設立する。</p>	<p>25 参議院、部分的核実験停止条約批准承認(15.衆議院承認)、成立</p>

6	<p>7 道内2番目の朝鮮人学校が新富町に開校する。</p> <p>15 釧路石炭乾留から釧路ガスへの供給が坑内ガスに切り替わる。 ・・ 太平洋炭礦の南新埠頭埋立造成工事が完成する。</p>	<p>1 「知床」国立公園指定</p> <p>16 新潟地震(M7.5)、死者26人、全壊全焼 2,250戸</p>
7	<p>10 鳥居省三『釧路文学運動史・明治大正編』が刊行される。</p> <p>15 市消防署に初めて救急車が配置され、救急搬送業務を開始する。 ・・ 釧路ソフトボール協会が結成される。</p>	<p>9 林業基本法公布</p> <p>10 三浦綾子『氷点』、朝日新聞懸賞1位入選</p> <p>10 新白糠炭鉱、豪雨被害で閉山</p>
8	<p>8 春採湖七夕祭り(第1回春採湖水祭り)が開催される。 ・・ 日東化学釧路工場が草地化成肥料工場を新設し、操業を始める。</p>	<p>2 米、北ベトナム攻撃発表(トンキン湾事件)</p> <p>22 「北海道の鳥」にタンチョウ選定</p>
9	<p>7 湖畔で式典・パレード等阿寒国立公園指定30周年が祝われる。</p> <p>28 阿寒町が霜害に見舞われ、7・8月の冷害と合わせた被害総額が約8千万円となる。</p>	<p>8 初の北方領土墓参団、水晶島上陸</p> <p>23 王貞治、55本の年間本塁打日本新記録</p>
10	<p>1 函館一網走間の特急「おおとり」の一部が滝川で分割され、釧路までの運行を開始する(昭和45年9月まで)</p> <p>4 日中友好協会釧路支部結成大会が開かれる。</p> <p>10 音別火葬場が新築落成する。</p> <p>20 秋田銀行釧路支店が開設される。</p>	<p>1 東海道新幹線開業</p> <p>7 白糠線、白糠一上茶路間(25.2km)開通</p> <p>10 東京オリンピック開幕(~24日)、女子バレーボール日ソ決勝戦(23)視聴率85%</p>
11	<p>8 釧路と札幌外道内主要都市の電話が自動即時通話となる。</p> <p>10 道漁連が丸釧魚卸売市場を引継ぎ、市場業務を再開する。</p> <p>11 平和市場が協業化した寄合い百貨店「くしろデパート」が開店する。</p>  <p>【くしろデパート】 屋上観覧車が人目を引いた。</p> <p>19 音別町婦人団体連絡協議会が結成される。</p> <p>20 道赤十字血液銀行釧路支所が開設され、採血業務を始める。</p> <p>23 釧路郵便局の新庁舎が幸町に完成し、業務を開始する。</p> <p>29 釧路と札幌・旭川・北見・小樽間の電話が自動即時通話となる。</p> <p>29 阿寒町上徹別母子館の落成式が行われる。</p>	<p>8 パラリンピック東京大会開催</p> <p>9 池田首相病氣辞任、佐藤栄作内閣成立</p> <p>12 全日本労働総同盟(同盟)発足</p> <p>17 公明党結成</p>
12	<p>11 音別町文化協会が結成される。(25団体)</p> <p>22 道立釧路水産試験場庁舎が副港に移転・新築される。</p> <p>26 市内公立普通科高校の通学区改定(小学区制)が公布される。</p>	<p>1 帯広空港、開港</p>
(この年)		(この年)
<p>・・ 前年調査の「多発性硬化症」が「亜急性脊髄視神経神経症」の頭文字を取り「スモン」と呼ばれ、市・道などが対策に乗り出す。</p>		<p>・・ 経済成長率、実質12.5%・名目17.5%</p> <p>・・ 全国で同盟罷業1,220件・1,048,980人参加</p>

昭和40年(1965)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>11 「釧路西港問題協議会」が発足し、市と漁民の話し合いが始まる。</p> <p>21 全国高校スケート選手権大会(長野県)で釧路第一高校が男子総合優勝する。(45年まで史上初の6連覇を達成)</p>	<p>11 「期待される人間像」中間草案発表</p>
2	<p>5 NHK釧路放送局がFMラジオ放送を開始する。</p> <p>6 第1回くしろ氷まつりが開催される。(～7日)</p> <p>12 市内加入電話が1万台を超え、局番が三局制となる。 ・・ 旅テル市川が旧釧路郵便局本局で営業を始める。(昭和53年迄)</p>	<p>1 原水爆禁止国民会議(原水禁)結成</p> <p>7 米、北ベトナムのドンホイ空爆(北爆開始)</p> <p>10 衆院予算委で「三矢研究」暴露</p> <p>22 北炭夕張砒でガス爆発、死者62人</p>
3	<p>31 上音別小中と音別第二小が閉校し、二俣小中に統合される。</p> <p>31 中音別小が閉校し、音別小に統合(一部二俣小)される。</p>	
4	<p>1 根室本線でATS(列車自動停止装置)使用を開始する。</p> <p>1 北海道学芸大学釧路分校が4年制大学に昇格する。</p> <p>1 釧路混声合唱団が、NHK釧路放送合唱団を母体に結成される。</p> <p>1 東中が文部省から道徳教育研究校に指定される。(40・41年度)</p> <p>12 市内初の生乳給食(週2回、外は脱脂乳)が旭・寿小で始まる。</p> <p>24 釧路工業高専の開校式と入学式が工業高体育館で行われる。</p> <div style="text-align: center;">  <p>【釧路工業高等専門学校】 翌年3月に工業高内仮校舎から大楽毛の新校舎へ引っ越した。</p> </div>	<p>15 ILO条約関連法案、強行採決</p> <p>24 ペ平連、初のデモ行進</p>
5	<p>8 十條サービスセンターがオープンする。</p> <p>8 母船式鮭鱒「極山丸船団」の基地が釧路から函館に移転し、釧路の独航船12隻が函館に向け出港する。</p> <p>23 学大釧路分校校舎の半分近くが焼失する。</p>	<p>11 山村振興法公布</p> <p>28 道内公立高通学区8学区(大学区制)</p> <p>28 山一証券救済の為、日銀特別融資発動</p>
6	<p>24 「釧路十景」(釧路景勝ベストテン)が選定される。 ・・ 旧近江屋旅館が解体され、望楼部分が弟子屈に移設される。</p>	<p>1 福岡県山野鉦でガス爆発、死者237人</p> <p>22 日韓基本条約調印</p>
7	<p>13 阿寒湖バスセンター ・駐車場が完成し、オープンする。</p> <div style="text-align: center;">  <p>【阿寒湖バスセンター】 2階は宿泊施設</p> </div> <p>13 釧路市連合町内会が結成される。(85町内会加盟)</p> <p>22 鳥取土地区画整理事業により、仁々志別川が直線化され、昭和橋が完成して渡橋式が行われる。</p> <p>27 市役所内に消費者相談室が開設される。</p>	<p>1 中標津空港、供用開始</p> <p>4 参議選、自民71・社会36・公明11</p> <p>17 札幌市民生活協同組合設立</p> <p>27 戦後初のサハリン(樺太)墓参団出発</p>

<p>8 1 柳町プールが体育館裏にオープンする。</p> <p>12 市・道立衛生研・保健所が市内騒音調査を実施する。(～13日)</p> <p>20 音別町開村50周年式典と町立国保音別病院落成式が举行される。</p>  <p>【町立国保音別病院】</p> <p>23 阿寒商工会館が竣工し、業務を開始する。</p> <p>28 釧路体操連盟の設立総会が開かれる。</p>	<p>19 佐藤首相、戦後初の首相沖縄訪問</p>
<p>9 1 釧路港湾福利厚生会館が南浜町に開館する。</p> <p>9 加バーナビ一市で姉妹都市提携調印式が行われる。</p> <p>.. 布伏内福祉センターが新築・落成する。</p>	<p>.. 台風23、24号来襲、道内死亡・不明6人</p>
<p>10 1 釧路駅に「緑の窓口」が開設される。</p> <p>1 釧路一函館間急行「まりも」が札幌迄の寝台専用車となる。</p> <p>5 炊事遠足の共栄小学校児童・教師が、新富士海岸で漂着した旧日本軍の爆発物により死傷する。(死亡4名、重軽傷32名)</p>  <p>【事件の凄惨さを今に伝える慰霊碑】</p> <p>10 雪裡橋が架設され、渡橋式が行われる。</p> <p>14 巖島神社内に釧路殉公社が完成し、鎮座祭が執り行われる。</p> <p>27 市長選で山口哲夫が初当選する。市議選(定数40名)で三上イトと石川セイ子が当選し、女性議員が2名に増える。</p>  <p>【山口氏の当選を伝える釧路新聞】</p>	<p>1 第10回国勢調査、道人口5,171,800人</p> <p>15 日勝道路開通</p> <p>21 朝永振一郎博士、ノーベル物理学賞受賞</p>
<p>11 1 日本配合飼料釧路工場が材木町に完成し、操業を開始する。</p> <p>6 釧路市漁協事務所が錦町から副港に移転・新築される。</p> <p>8 旭跨線橋が完成し、開通式が行われる。</p>	<p>10 東海原発、営業用原子力発電に成功 (出力5,000kw)</p>

14 阿寒小学校新校舎の落成式が行われる。

【鉄筋校舎になった阿寒小学校】



- 19 市議会議長に牧野泰三が選出される。
- 28 音別町婦人団体連絡協議会が第1回婦人大会を開催する。
- 30 阿寒町タンチョウヅル愛護会の設立総会が開かれる。

12 2 市役所と消防本部の新庁舎落成式が合同で行われる。



【当日の釧路市役所庁舎】
右下の看板に「落成式典会場」の文字が見える。

- 13 北大通8丁目に道銀ビル(地下1階・地上5階)がオープンする。
- 15 町立尺別炭鉱幼稚園が火災により焼失する。
- 17 釧路一音別間の国道(52.8km)改良工事が完成する。
- 21 クラシックレコード同好会が「フロインデ会」と改称する。
- 28 市議会で工場誘致条例一部改正(増設分奨励金廃止)案が、野党議員退場により可決される。

- .. 家畜市場が大楽毛駅前から畜産センター内に移転・新築される。

【二代目大楽毛家畜市場】
北海道農協乳業(株)根釧工場建設の為、昭和49年に移転、三代目となる。



- 1 北海道住宅供給公社発足
- 10 国連総会で安保非常任理事国に当選

(この年)



- .. 市内水産加工場での魚粕生産が、ホールミール形式に切换え始められる。
- .. 太平洋炭礦で5件・5人の死亡事故が起きる。

(この年)


- .. 消費者物価7.4%上昇、物価問題深刻化
- .. 経済成長率、実質5.7%・名目11.3%
- .. 全国で同盟罷業1,527件・1,677,285人参加



昭和41年(1966)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>12 肢体不自由児療育施設のマザーズホームが豊川町に開園する。</p> <p>30 阿寒町で第1回タンチョウ祭が開催される。</p>	
2	<p>19 釧路音楽協会(釧路音楽フラテ会を改称)の設立総会が開かれる。</p>	<p>4 千歳発全日空機羽田沖墜落、死者133人</p>
3	<p>10 尺別駅前簡易郵便局が開設される。(昭和46年3月1日廃止)</p> <p>14 釧路鳥取傘踊り保存会が結成される。</p> <p>15 阿寒高校の定時制課程が廃止される。</p> <p>18 まりも学園が全焼し園児2名が焼死する。</p> <p>19 雄別炭鉱尺別鉱業所のベルト斜坑(2km)完工式が行われる。</p> <p>19 東映ホテルに市内初のボウリングセンターがオープンする。</p> <p>25 中音別簡易郵便局が開設される。(昭和61年5月1日廃止)</p> <p>31 霧里小学校が二俣小に統合される。</p> <p>31 下仁々志別・共和の小中学校が仁々志別小中に統合される。</p> <p>・阿寒ライオンズクラブが設立される。</p> <p>・本州製紙・十條製紙・雪印乳業の3社が工場誘致条例改正(増設分奨励金交付の廃止)に対して、各々市を提訴する。</p>	<p>25 閣議、明治百年記念事業実施を決定</p>
4	<p>1 共同処理施設税が廃止され、一般家庭のゴミ収集が無料となる。</p> <p>1 社団法人釧路水産協会が発足する。</p> <p>1 釧路電報局・電話局が統合し、釧路電報電話局となる。</p> <p>6 白樺台小学校が開校する。</p> <p>12 釧路赤十字高等看護学院が開校する。</p> <p>17 釧路市医師会付属准看護学校が開校する。</p> <p>20 4社のバス路線新設申請に対し、東邦交通の管内2線・阿寒バスの市内2線・雄鉄バスの市内1線が認可され、臨鉄は却下される。</p> <p>21 酪農学園短大酪農学校音別分校(通信制)が開校する。</p> <p>22 劇団「どらま・ぐるうぷ」が結成される。</p>	<p>1 メートル法、全面実施(尺貫法使用禁止)</p> <p>1 北海道学芸大学、北海道教育大学と改称</p> <p>26 IOC、'72年冬季五輪開催地を札幌に決定</p>
5	<p>16 釧路消費者協会が設立される。(会員数334名)</p> <p>17 旧市庁舎に図書館分室と公民館別館(6/1)が開設される。</p> <p>18 春採湖のヒブナ調査で、8年ぶりに1尾が確認される。</p> <div data-bbox="258 1594 852 1778" data-label="Image"> </div> <p>【春採湖のヒブナ】 昭和12年12月に「春採湖ヒブナ生息地」が国の天然記念物に指定された。</p> <p>18 釧路丹頂鶴自然公園で、初の自然抱卵ヒナが誕生する。</p> <p>20 道立阿寒湖ユースホステルがオープンする。</p> <p>24 映画館「オリオン劇場」が閉鎖される。</p> <p>29 焼失した町立尺別炭鉱幼稚園が再建され、落成式が行われる。</p>	<p>16 中国で「文化大革命」発動</p> <p>30 米原潜、横須賀に初入港</p>



6	8 西港反対期成会を解散(3/27)し、西港漁業対策本部が発足する。	29 ザ・ビートルズ来日
7	20 釧路市学校教育研究会が発足する。 30 第1回釧路農業祭が畜産農業センターで開催される。(～8/1)	29 閣議、第1期住宅建設5ヵ年計画決定
8	12 常陸宮ご夫妻が阿寒湖畔にご宿泊される。 18 江南高が2度目の甲子園出場、初戦延長12回で借敗する。 29 釧路消費者大会(栄町会館80名)が初めて開催される。 30 水面貯木場(24万㎡)と木材工業団地(90万㎡)が完成する。  【水面貯木場】 31 釧路室内楽団が北大交響楽団との合同演奏会を開催する。	4 総評議長に釧路臨鉄出身の堀井利勝 23 戦後初の国後島墓参実現
10	1 釧路市医師会館が花園町に完成し、落成式が行われる。 12 旭橋が完成し、渡橋式が行われる。 16 阿寒町開基80年記念式典が挙行され、『阿寒町史』が発刊される。 21 ベトナム反戦ストで自治労が初めて1時間ストを決行する。 28 『釧路市百年史』編纂審議会が発足し、事務局が設置される。 31 釧路ガスの2万㎡ガスホルダー(直径33φ)が完成する。	1 根室本線落合一新得間の狩勝新線開通 21 総評54単産、ベトナム反戦統一スト 31 中教審、高校教育多様化を目指す「後期中等教育の拡充整備」最終答申
11	11 ホクレン釧路飼料工場が南浜町に完成し、操業を開始する。 20 湖畔小学校の校舎・屋体が改築され、落成式が行われる。 28 阿寒町長選で、大野直栄が無投票3選を果す。 .. 国道240号線(通称まりも国道)の全線舗装が完了する。  【雌阿寒岳を望む当時のまりも国道】	16 札幌ベ平連発足 29 国防会議、第3次防衛力整備計画大綱を決定
12	12 焼失したまりも学園が再建され、落成式が行われる。	9 「建国記念の日」、2月11日に制定 27 衆議院、「黒い霧解散」
(この年)		(この年)
.. 市内出生数3,130人で、前年比588人・約16%の減少となる。		.. 丙午の迷信で出生数前年比25%減 .. いざなぎ景気で好況('65下期～'70下期) .. 経済成長率、実質11.4%・名目16.2% .. 全国で同盟罷業1,239件・1,130,353人参加



昭和42年(1967)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	12 雄鉄新釧路—水面貯木場間の公共臨港線(3.6km)が開通する。	29 総選挙、自277・社140・民30・公25
2	13 市と消費者協会の第1回消費生活講座が開かれる。(～15日) 20 給食物資を共同購入する(統一献立)学校給食協会が発足する。 26 釧路リムセ保存会が八重清次郎らにより発足する。	4 厚生省、初の原爆被爆者実態調査公表 11 初の建国記念日 17 第2次佐藤内閣発足
3	24 霧里小学校が二俣小に統合され、閉校する。 31 上徹別中学校が阿寒中に統合され、閉校する。	29 札幌地裁、「恵庭事件」で憲法判断回避 31 道章・道旗、正式決定
4	1 北海道くしろ蝦夷太鼓研究保存会が結成される。 15 道議選で、市部は渡部五郎・武藤正春・浜村仙三郎・滝沢勉、管内は竹内重雄・二瓶栄吾が当選する。 24 音別町長選挙が告示され、千葉豊治が無投票で三選を果たす。 28 阿寒町(定員26名)・音別町(定員22名)議会議員選挙が行われる。 29 阿寒湖畔—釧路間の電話が自動即時通話となる。 .. 北海道ボウリング連盟釧路支部が発足する。	1 道立図書館、江別市に移転・開館 15 道知事・道議選、町村金吾3選 15 都知事選、美濃部亮吉初当選
5	2 釧路空港からの東京直行便が運航を開始する。(3時間半) 25 新釧路川が「釧路川」、従来の釧路川が「旧釧路川」と改称される。 29 市の留守家庭児童保育室が米町・松浦両児童館に開設される。 .. 北方美術協会が創立される。(翌年1月、北潮美術協会と改称) .. 地域での家庭教育懇談会「こんばんは教室」が市内で始まる。	15 ケネディ=ラウンド(関税一括引下げ交渉)妥結(6.30.53カ国調印)
6	3 鳥取に釧路スポーツセンターが開館する。(夏・水泳、冬・スケート) 24 日進小学校が火災で焼失する。(翌年8月に鉄筋造で再建) 30 雄別炭鉱の落盤事故で6人が死亡する。	6 閣議、資本取引自由化基本方針を決定
7	3 釧路商業高校が全道高校女子バレー大会で優勝する。(昭和44年まで3年連続優勝、松田紀子が43・44年の優秀選手となる) 5 阿寒町体育協会の設立総会が開かれる。 6 釧路湿原が国の天然記念物に指定される。(指定面積5,012ha) 9 第50回市民大運動会に60チームが参加し、観客3万人が集まる。  【第50回市民大運動会】 50回記念聖火リレーが行われ、8分の記念映画が作成された。 15 市と観光協会の「観光客を親切に迎える運動」が始まる。(～9.15) .. 阿寒町第1次農業構造改善事業(5カ年計画)が着手される。	5 石炭鉱業再建整備臨時措置法公布 28 放送法改正、ラジオ受信料廃止(翌年4月) 28 一酸化炭素中毒症特別措置法公布
8	8 自衛艦の釧路港入港阻止集会・デモに3,500人が参加する。 21 市内8業者の学校給食パン工業協同組合工場が操業を始める。 .. 鶴居村営軌道が運行中止となり、市内の線路約2kmが撤去される。	3 公害対策基本法公布


9	<p>3 旭小学校が火災で焼失する。(翌年12月に鉄筋造で再建)</p> <p>29 9月定例会市議会が青果市場問題で流会する。(10.4.臨時会招集)</p>	<p>1 四日市喘息患者、初の大気汚染公害訴訟</p> <p>3 北海道立美術館開館</p>
10	<p>1 阿寒湖畔福祉センターが完成し、落成式が行われる。</p>  <p>【阿寒湖畔福祉センター】 ステージ、800人収容の大集会室を備え、2階は郷土資料室。</p> <p>2 釧路港中央埠頭に道内2番目のチップヤードが完成する。</p> <p>2 市内初の学童横断歩道橋が旭小前に完成する。</p> <p>10 第1回市長杯マラソンが行われる。(48年から釧路湿原マラソン)</p> <p>13 精神薄弱児教育全道研究集会が東中外で開かれる。(～14日)</p> <p>.. 市の優秀美術作品買上が始まる。(翌年度より制度化)</p>	<p>8 佐藤首相訪ベトナム阻止行動で学生1名死亡 (第1次羽田事件)</p>
11	<p>15 大楽毛土地地区画整理事業(昭和38年着工)が竣工する。(120畝)</p> <p>18 オリエンタルデパートがオープンする。</p>  <p>【オリエンタルデパート】 昭和45年7月25日に「オリエンタルプラザ」と改称する。</p> <p>20 「尺別事件」解決で、組合員8人が6年ぶりに職場復帰する。</p> <p>30 国立釧路医科大学誘致期成会が設立される。</p>	<p>15 ワシントンで日米共同声明(小笠原の返還 1年以内、沖縄は不明)</p>
12	<p>1 雄別地区給食センターが完成し、4校2,600人に配食を始める。</p> <p>20 釧路司法書士会と土地家屋調査会が発足する。</p> <p>27 寿小学童横断歩道橋(市内2番目)が完成する。</p>	<p>3 南アフリカで初の人間への心臓移植手術 (12.21患者死亡)</p>
(この年)		(この年)
<p>.. 釧路港の外国貿易高が初めて年間100億円を突破する。</p> <p>.. 市内で電報の年間通数がピークの241,000件となる。</p>		<p>.. 農業就業人口19.3%、初めて20%を割る</p> <p>.. 経済成長率、実質12.4%・名目17.2%</p> <p>.. 全国で同盟罷業1,204件・731,601人参加</p>

昭和43年(1968)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>20 雄鉄鳥取信号所が雄鉄昭和駅と改称する。</p> <p>21 音別町母子健康センターが町立病院横にオープンする。</p> <p>27 道東初の言語治療教室が旭小仮校舎に開設される。</p> <p>31 太平洋炭礦の崩落事故で3人が死亡する。</p>	<p>19 米原子力空母エンタープライズ佐世保入港(寄港阻止闘争の学生ら重軽傷519人)</p> <p>29 東大医学部無期限スト(東大紛争の発端)</p>
2	<p>6 グルノーブル冬季五輪に、斉藤幸子(江南高卒)の外釧路出身アイスホッケー選手4人が出場する。</p> <p>21 新野し尿処理場(市と白糠・音別町の共同施設)が供用開始する。</p> <p>25 昨年秋にスロープが整備された鶴丘スキー場が仮オープンする。</p>	<p>20 炭労臨時大会、炭鉱国有化要求を決議</p> <p>20 在日朝鮮人金嬉老、寸又峡温泉で人質と籠城(金嬉老事件)</p>
3	<p>1 阿寒アイヌ民族文化保存会が発足する。</p> <p>19 工場誘致条例改正訴訟で釧路地裁が市勝訴の判決を出す。</p> <p>31 鶴丘小・中学校と桜田中学校が閉校される。 ・・ 鶴居村営軌道(新富士一中雪裡)が廃止される。 ・・ 釧路市共同職業訓練センターが市水道部庁舎跡に開設される。</p>	
4	<p>1 市立釧路総合病院に高等看護学院が開設される。</p> <p>10 町立音別保育所がオープンする。</p>  <p>【町立音別保育所】</p> <p>14 道教大附属釧路小学校が川北町の仮校舎で開校する。</p>	<p>5 小笠原諸島返還協定調印(6.26発効)</p> <p>15 日大で20億円の使途不明金発覚(日大闘争の発端)</p> <p>22 道庁新庁舎完成</p>
5	<p>9 雄別炭鉱の崩落事故で4人が死亡する。</p> <p>10 釧路聾学校に幼稚部が開設され、初の入学式が行われる。</p> <p>20 『新釧路市史』編纂員に山本武雄ら14名が委嘱される。</p> <p>25 阿寒町の「動く図書館＝たんちょう号」が運行開始する。</p>	<p>11 パリ・カルチュラタンで学生2万人が警官隊と衝突(13～労働者ゼネスト・仏5月革命)</p> <p>16 十勝沖地震(M7.9)、死者52人・家屋倒壊</p> <p>30 消費者保護基本法公布</p>
6	<p>21 丹頂鶴自然公園で孵化3日目のヒナへの給餌に初めて成功する。</p> <p>26 消費者相談室が丸三鶴屋にも開設される。(56年丸ト北村に移転)</p> <p>30 全道高校バレーボール大会で工業と商業がアベック優勝する。 ・・ 丸三鶴屋デパートの新館(地上2階地下1階)がオープンする。</p>	<p>2 米軍機、九州大学構内に墜落</p> <p>10 大気汚染防止法、騒音規制法各公布</p> <p>14 北海道大博覧会開催(~8.18)</p> <p>26 小笠原諸島返還、日本復帰</p>
7	<p>1 阿寒国保町立診療所が移転・新築され、診療を開始する。</p>  <p>【阿寒国民健康保健町立診療所】</p> <p>1 釧路市民交通災害共済制度がスタートする。</p>	<p>1 核拡散防止条約、62カ国調印</p> <p>1 郵便番号制度実施</p> <p>2 東大全共闘、安田講堂バリケード封鎖</p> <p>7 参議選、自69・社28・公13・民7・共4、タレント候補多数当選</p>



<p>1 市内初の屋根付きビニールプールが朝陽小にオープンする。</p> <p>13 釧路オリエンタルホテルがオープンする。</p> <p>【オリエンタルホテル】 左横にボウリング場が増築され、後に結婚式場となった。跡地に1993年、プリンスホテルが新築された。</p>  <p>15 雄別鉱区の大曲炭鉱が閉山する。</p> <p>17 野犬対策で「ワンワンポスト」が設置される。</p> <p>28 第1回阿寒町民運動大会が北海道百年記念で開催される。</p>	
<p>8 16 第1回釧路しゃんしゃん祭りが鳥取市の同祭りと同時開催される。</p> <p>18 白樺台小児童2名が沼で水死する。</p>	<p>8 札幌医大で日本初の心臓移植手術</p> <p>20 ソ連・東欧5カ国軍、チェコ侵入(チェコ事件)</p>
<p>9 10 市民文芸誌『釧路春秋』が創刊される。</p> <p>17 釧路港中央埠頭の完工式が行われる。</p>	<p>2 北海道百年記念式典挙行</p> <p>26 厚生省、水俣病を公害病に認定</p>
<p>10 1 市医師会が日曜休日の在宅当番医制度を開始する。</p> <p>5 明光山法光寺の寺号公称が許可される。</p> <p>15 北海道くしろ蝦夷太鼓保存会が伊勢神宮で演奏する。</p>  <p>【湿原まつりで演奏するくしろ蝦夷太鼓保存会の面々】</p> <p>22 音別町名誉町民称号第1号が紅林鉄雄に贈られる。</p> <p>29 市議会議長に浅川正敏が選出される。</p> <p>30 大型鉄鋼漁船の製造・修理の為、釧路重工業(株)が設立される。</p>	<p>17 川端康成、ノーベル文学賞受賞</p> <p>21 国際反戦デー、デモ学生ら新宿駅占拠へ騒乱罪適用(新宿騒乱事件)</p> <p>23 明治百年記念式典挙行</p>
<p>11 3 阿寒町民憲章の制定記念式が挙行される。</p> <p>3 HTB釧路局がUHFによるテレビ放送を始める。</p> <p>23 釧路みなとライオンズクラブが結成される。</p> <p>25 国道44号線の東釧路渡線橋が完成し、渡橋式が行われる。</p>	
<p>12 2 水産ビルが完成し、機船漁協と水産ホテルが業務を開始する。</p> <p>24 西港漁業補償が34億3,700万円で妥結し、市・漁業者・経済界の3者が道庁で仮調印する。</p> <p>・阿寒湖畔スピードスケートリンクが新設されオープンする。</p>	<p>10 府中市で「3億円事件」</p> <p>25 石炭鉱業審議会第4次答申(閉山促進)</p> <p>29 東大、翌年の入試中止決定</p>
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<p>・市内金融機関の預金総額が500億円を超える。</p> <p>・十條・本州両製紙釧路工場が北米産チップ輸入を始める。</p>	<p>・道内のシンナー遊びによる死者42人</p> <p>・日本のGNP、1,428億ドルで世界第2位</p> <p>・経済成長率、実質14.2%・名目18.4%</p>

昭和44年(1969)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>1 全市の新住居表示(丁目・番・号)が、白樺台地区から順次実施される。(3/19.鳥取地区実施)</p> <p>11 釧路新聞社の社屋が黒金町へ移転・新築される。</p>  <p>【釧路新聞社の新社屋】</p>	<p>10 閣議、石炭審第4次答申を受けた新石炭政策(閉山促進)決定</p> <p>18 ~19. 東大安田講堂バリケード封鎖解除</p>
2	<p>20 道教大釧路分校音楽研究室の第1回定期演奏会が開かれる。</p>	<p>18 日大、文理学部を最後に全学封鎖解除</p>
3	<p>19 釧路市文化団体連絡協議会の再建総会が開かれる。</p> <p>20 十條製紙釧路工場の自家火力発電(重油4万2千kw)が完成する。</p> <p>21 徹別中学校が阿寒中に統合され、閉校する。</p> <p>27 第一高校が、選抜高校野球大会に初出場し、1回戦で勝利する。(4/2の2回戦で敗退)</p> <p>27 鳥取地区区画整理事業(485ha、5億8千万円)完工式が行われる。</p> <p>31 道立釧路職業訓練所が大楽毛に移転・新築される。</p>	<p>6 八幡製鉄と富士製鉄、合併契約調印</p> <p>31 北海道市町村振興基金条例公布</p> <p>31 白糠の明治鉱業本岐炭鉱閉山</p>
4	<p>1 釧路湖陵高校に理数科が設置される。</p> <p>9 市営製氷工場が西港漁業補償の一部として無償譲渡される。</p> <p>10 道教大附属釧路中学校が開校する。(6/1開校式)</p> <p>10 岸福寺の寺号公称が許可される。</p> <p>19 工場誘致条例訴訟で札幌高裁が原告控訴を棄却する。</p> <p>29 日本水彩画会東北北海道支部が結成される。(後に釧路支部)</p>	<p>28 「沖縄デー」、全国でデモ隊と機動隊衝突、逮捕者965人</p>
5	<p>6 「ハシドイ」が釧路市の木に選定される。</p> <p>17 太平洋スカイランド本館がオープンする。</p> <p>23 全市の市内局番が1ケタから2ケタに切り替えられる。(道内4番目)</p> <p>26 市公害対策審議会が発足する。(11月に第1回答申)</p> <p>29 市内28寺院が釧路市仏教会を結成する。</p>	<p>23 食管法改正により自主流通米制度発足</p> <p>23 初の公害白書発表</p> <p>30 閣議、新全国総合開発計画(新全総)決定</p>
6	<p>16 学校屋内体育館の夜間開放が旭小で始まる。</p>	<p>14 (新)都市計画法施行</p>
7	<p>22 釧路地方文化団体連絡協議会が発足する。</p> <p>22 市全域と釧路村の一部が都市計画区域(釧路圏)に指定される。</p> <p>22 釧路火発(7万5千kw)計画中止が正式決定される。</p> <p>27 第1回釧路市ママさんバレーボール大会が開催される。</p>	<p>20 アポロ11号の2飛行士、人類初の月面到着</p>
8	<p>1 釧路市開基百年記念式典が厚生年金体育館で挙行される。</p> <p>8 千葉町長の死去(6/30)に伴う音別町長選挙が行われ、今野宗一が初当選する。</p> <p>20 釧路水産物卸売市場錦町分場がオープンする。</p>	<p>7 大学の運営に関する臨時措置法公布</p> <p>22 長沼ナイキ基地訴訟、札幌地裁で自衛隊違憲判決</p>


<p>9 13 同盟系の釧路市役所職員労働組合が結成される。</p> <p>18 市内初の老人福祉センターの完工式が行われる。(後の緑風荘)</p> <p>28 第1回老人スポーツ大会が鶴ヶ岱公園で開催される。</p> <p>.. 武佐住宅団地造成が始まる。(31.8ha、計画人口4千人)</p>	<p>5 日比谷で全国全共闘連合会結成大会</p>
<p>10 2 全道道徳教育研究大会が公民館で開催される。</p> <p>3 旭町下水ポンプ場の完成式が行われる。</p> <p>4 市文化祭を改称し、市芸術祭が開幕する。(～12/14)</p> <p>23 市長・市議(定数40名)選が行われ、山口市長が再選される。</p> <p>.. 釧路総合職業訓練所が、釧路総合高等職業訓練校と改称する。</p>	<p>21 国際反戦デー、1,505人逮捕</p> <p>31 文部省、高校生の政治活動禁止を通達</p>
<p>11 1 同盟系の全郵政釧路郵便局支部が結成される。</p> <p>5 音別町商工会館の落成式が行われる。</p> <div data-bbox="432 651 1007 1010" data-label="Image"> </div> <p>【音別町商工会館】</p> <p>8 釧路叢書編纂委員会が北海道新聞文化賞を受賞する。</p> <div data-bbox="264 1066 767 1294" data-label="Image"> </div> <p>【第23回 北海道新聞文化賞(産業経済賞)】</p> <p>9 先住アイヌ民族供養祭が城山のモシリヤチャシコツで行われる。</p> <p>18 市議会議長に浅川正敏が再選される。</p> <p>23 第1回ししゃも祭りが阿寒川河口で行われる。</p> <p>28 HTB釧路放送局が本放送を開始する。</p> <p>29 昇雲台火葬場が別保に完成する。</p>	<p>8 北大本部バリケード封鎖解除</p> <p>17 佐藤首相、沖縄返還交渉の為訪米、前日からの抗議行動で逮捕者2,093人</p>
<p>12 2 西港建設に伴う漁業補償調印式が行われる。</p> <p>5 釧路駅前に釧正館ビルが新築され、オープンする。</p> <p>21 西港第1期工事が着工(礎石投入)する。</p> <p>.. 雪印乳業音別チーズ工場が閉鎖され、ホクレン音別クーラーステーションとなる。</p>	<p>27 総選挙、自288・社90・公47・民31・共14</p>
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<p>.. 釧路港が初の水揚量日本一となる。(529,700ト、52年迄連続9年)</p> <p>.. テレビが市内全世帯の94.5%(内カラーは10.9%)に普及する。</p> <p>.. 太平洋炭礦の出炭が初めて200万トを突破する。</p>	<p>.. 道内21炭鉱(314万3千ト)が閉山</p> <p>.. 経済成長率、実質13.7%・名目17.5%</p> <p>.. 全国の紛争大学、国立62・公立15・私立47</p> <p>臨措法公布後機動隊導入41校</p>


昭和45年(1970)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>8 釧路空港にVOR(超短波全方向式無線標識)が設置される。</p> <p>12 市大楽毛分室が生活館との併設で新築され、支所に昇格する。</p> <p>15 第1回釧路市酪農祭が農協ビルで開催される。</p> <p>18 全国高校スケート男子スピードで、第一高が6連覇の偉業を果す。</p>	<p>14 第3次佐藤内閣成立</p> <p>23 長沼ナイキ基地控訴審、札幌高裁判決で国側逆転勝訴</p>
2	<p>27 雄別炭鉱(株)の雄別・尺別・上茶路3鉱が企業ぐるみで閉山する。</p>  <p>【雄別炭鉱駅前商店街】 この「駅前通」を中心に47軒の店があり、昭和30年代には約1万5千人が住んでいたが、閉山後まもなく無人の廃墟となった。</p>	<p>3 政府、核拡散防止条約調印を決定</p> <p>11 東大宇宙研、初の国産人工衛星打上成功</p>
3	<p>22 雄別・尺別両炭礦職員組合解散総会が開かれる。</p> <p>26 工場誘致条例訴訟の和解が最高裁で調印される。</p> <p>26 市スポーツ振興助成条例が議決される。</p>	<p>14 万国博EXPO'70、千里で開幕(～9/13)</p> <p>31 赤軍派学生、日航機よど号をハイジャック</p>
4	<p>1 職業訓練法人釧路地方職業訓練協会が設立される。</p> <p>15 雄別炭鉱労働組合解散大会が開かれる。</p> <p>15 雄別鉄道と尺別鉄道が廃止される。</p>  <p>【当日の雄鉄さよなら列車】</p> <p>16 阿寒バスの雄別線が雄鉄に替わり運行開始する。</p> <p>26 尺別炭鉱閉山式及び尺別炭鉱労働組合解散大会が開かれる。 ・ 釧路ハンドボール協会が結成され、市体協に加盟する。</p>	<p>19 日中貿易協定調印</p>
5	<p>23 全国スモンの会北海道支部結成大会が市公民館で開かれる。</p> <p>25 「釧路市老人体操」が創作され、発表会が開かれる。</p> <p>30 雄別小学校・中学校の閉校式が行われる。</p>	<p>1 総理府に沖縄・北方対策庁設置</p> <p>6 著作権法改正公布(死後50年迄保護)</p> <p>11 日本人初のエベレスト登頂成功</p>
6	<p>8 釧路西ロータリークラブが設立される。</p> <p>19 炭鉱出身議員の転出により阿寒町議補欠(9名)選が行われる。</p> <p>24 町立尺別炭鉱幼稚園が閉園される。</p> <p>27 太平洋スカイランドの温水プールがオープンする。</p>	<p>1 北海道農業開発公社設立</p> <p>22 政府、日米安保条約自動延長を声明</p> <p>23 反安保統一行動、全国で77万人参加(道内17万2千人)</p>



7	<p>1 電話局と公民館の「言葉を大切にする運動」発会式が開かれる。</p> <p>20 尺別炭鉱小学校・中学校の閉校式が行われる。</p> <p>21 尺別閉山による音別町議補欠(6名)選で無投票当選となる。</p> <p>22 「東釧路貝塚」が国の史跡(記念物)に指定される。</p> <p>29 村井建設の然別炭鉱が閉山する。</p>	<p>10 閣議、第3期道総合開発計画(46～55)決定</p> <p>17 住友歌志内鉱でガス爆発、死者30人</p>
8	<p>4 湖畔のホテル山浦が隣接店からの延焼により全焼する。</p> <p>13 釧路市戦災記念碑が栄町公園に完成し、除幕式が行われる。</p> <p>.. 阿寒市街に有線放送施設が設置される。(雄別社内施設を転用)</p>	<p>2 銀座などで休日歩行者天国開始</p> <p>10 東京都、光化学スモッグ発生予報開始</p> <p>.. 伊達火発建設反対運動開始</p>
9	<p>1 釧路市外5町村伝染病隔離病舎組合が設立される。</p> <p>2 相撲協会公認の市設相撲場が厚生年金体育館裏に完成する。</p> <p>26 「釧路子ども劇場」結成総会が開かれる。</p> <p>28 くしろデパート屋上の観覧車が前月死亡事故の為取壊される。</p>	<p>5 椿忠雄新潟大教授、スモン発病原因＝キノホルム説を発表</p>
10	<p>1 阿寒町布伏内出張所が布伏内福祉センター内に開設される。</p> <p>4 第1回くしろ湿原まつりが北斗高台で開催される。</p> <p>19 阿寒町給食センターが完成し、全小中学校への配食を始める。</p> <p>23 釧路そうごデパートが開業する。(53年「OKUNO」に改称)</p> <p>31 桜田(旧湯波内)小学校が閉校される。</p>	<p>1 第11回国勢調査、道人口 5,184,287人 (札幌市、100万人超)</p> <p>20 初の防衛白書「日本の防衛」発表</p>
11	<p>1 NHKテレビ阿寒中継所が放送(UHF)開始する。</p> <p>1 釧路児童相談所が豊川町の新庁舎に移転する。</p> <p>1 第1回阿寒町芸術祭が開催される。</p> <p>1 精神薄弱者更正施設「鶴が丘学園」が開園する。</p> <p>1 太平洋関連企業が太平洋興発(株)に統合され、石炭採掘事業だけの太平洋炭礦(株)釧路炭礦が分離独立する。</p> <p>18 「朝日桜」の朝日酒造合資会社が撤退する。</p> <p>24 音別工業団地進出第1号のカネヤ製網道東工場が操業開始する。</p> <div data-bbox="261 1346 823 1626" data-label="Image"> </div> <p>【カネヤ製網 道東工場】</p> <p>25 阿寒中学校が移転・改築され、落成式を行う。</p>	<p>15 沖縄の国政参加選挙実施(衆5人・参2人)</p> <p>25 三島由紀夫、市ヶ谷自衛隊で自決</p>
12	<p>7 釧路商工信組本店が移転・新築され、営業を始める。</p> <p>10 阿寒町長選で、大野直栄が無投票4選を果す。</p> <p>22 市総合計画基本構想(魅力ある北方生産文化都市)が議決される。</p> <p>28 釧路圏(市・釧路村)の市街化区域・同調整区域が告示される。</p>	<p>15 三井砂川鉱でガス爆発、死者19人</p>
(この年)		(この年)
<p>.. 雄別・尺別の閉山で阿寒・音別町の人口が激減する。(国勢調査 '65～'70で、19,474人と9,070人が8,598人と4,247人へ)</p> <p>.. 北大通都市改造事業前年でビル建設ラッシュがピークとなる。</p>		<p>.. マイカー4世帯に1台、全国の交通事故死 16,765人のピーク</p> <p>.. 経済成長率、実質10.8%・名目17.9%</p>



昭和46年(1971)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国高校スケート選手権(八戸)のアイスホッケーと女子スピード総合で、第一高が共に初優勝する。(男子スピードは7連覇逃す) 	
2	<p>14 阿寒町文化協会が設立される。</p> <p>20 第1回「阿寒湖氷上まつり」が開催される。(～22日)</p>  <p>【「阿寒湖氷上フェスティバル」に改称して冬の大イベントとなる】</p> <p>22 緑いっぱい市民運動世話人会が発足する。</p>	<p>22 成田空港第1次代執行、3/6迄の逮捕者 461人・双方の負傷者1,427人</p>
3	<p>15 映画館・ボーリング場・商店等の6丁目ビルがオープンする。</p> <p>20 道警釧路方面本部と釧路署の合同庁舎が完成し、方面本部が幣舞町から移転する。(釧路署は前年7月移転)</p> <p>23 北斗小学校の閉校式が行われる。</p>	
4	<p>2 道立漁業研修所が星が浦に開設される。</p> <p>5 愛国小学校の開校式が行われる。</p> <p>11 道議選で、市部は渡部五郎・桜井勝弘・武藤正春・滝沢勉、管内は若狭靖・竹内重雄が当選する。</p> <p>24 市立郷土博物館友の会が結成される。</p> <p>25 阿寒町(定員18名)・音別町(定員14名)議会議員選挙が行われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町立阿寒保育所が開設される。(53年にマリモ幼稚園となる) ・ 祈願寺の寺号公称が許可される。 ・ 佐藤学園が釧路保育専門学校を昭和に開校する。 	<p>11 道知事・道議選、堂垣内尚弘が初当選</p> <p>15 北海道開拓記念館、開館</p>
5	<p>1 釧路―東京間に冷蔵コンテナ急行列車が運行開始される。</p> <p>9 第1回東北海道少年剣道大会が厚生年金体育館で開かれる。</p> <p>31 釧路市公益質屋が廃止される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5棟目の魚揚場が完成し、副港の整備事業が完了する。 	<p>15 日本国内航空・東亜航空合併、東亜国内航空(株)発足</p>
6	<p>30 音別町で農村地域集団電話が開通(246戸)する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 阿寒町大正乳牛育成牧場(150ha)が完成し、本格的放牧が始まる。(43年度から試験放牧開始) 	<p>17 沖縄返還協定調印</p> <p>27 参議選、自63・社39・公10・民6・共6</p>
7	<p>1 北海道自然保護協会釧路支部が発足する。</p> <p>9 厚生年金釧路市福祉会館(4階建て)がオープンする。</p> <p>18 大楽毛の神馬事記念館(釧路農協連)完成式が行われる。</p>	<p>1 環境庁発足</p> <p>2 国立公文書館開館</p> <p>30 岩手県雫石で自衛隊機が全日空機に追突、全日空機の162名全員死亡</p>

8	<p>1 丹頂乳業・旭印乳業・ホクレン牛乳(白糠農協)の3者が合同した釧路農協連市乳工場が柳町で操業を始める。</p> <p>3 釧路白糠工業団地(331ha)の起工式が行われる。</p> <p>8 釧路地方文連協の第1回郷土芸術祭が、7市町村で開かれる。(～11月29日)</p>	<p>15 米、ドル・金交換停止(ニクソンショック)</p> <p>20 道知事、国立医大は旭川と表明</p> <p>28 円、変動相場制に移行</p>
9	<p>5 市立博物館などが釧路湿原総合調査(3ヶ年計画)を始める。</p> <p>10 阿寒町営バス仁々志別線の運行が始まる。</p> <p>30 阿寒共同火葬場が完成する。</p>	<p>16 成田空港第2次強制代執行で機動隊3名死亡・123名負傷、逮捕者234名</p> <p>29 新潟水俣病訴訟、昭和電工に賠償命令</p>
10	<p>1 釧路市公害防止条例が施行される。(6月1日一部施行)</p> <p>1 市で70歳以上の老人医療費助成が始まる。</p> <p>19 名誓寺の寺号公称が許可される。</p> <p>24 釧路港湾合同庁舎が完成する。</p> <p>・ ・ 米坂ヒデノリが第35回自由美術協会展自由賞を受賞する。</p>	<p>21 沖縄返還協定批准反対第1波全国統一行動、逮捕者453人</p> <p>25 国連総会、中国の復帰決定</p>
11	<p>1 北海道畜産公社釧路食肉処理工場が操業開始する。</p> <p>7 第1回東部地区弓道連盟選手権大会が太平洋武徳館で開かれる。</p> <p>10 市商品テスト室が福社会館内に開設される。</p> <p>26 阿寒町で農村地域集団電話が開通(366戸)する。</p> <p>・ ・ 道道弟子屈―鶴居―釧路線を切り替えた北斗新道が開通する。</p>	<p>14 福島町で青函トンネル起工式</p> <p>19 総評など44単産200万人、沖縄返還協定強行採決抗議のゼネスト</p>
12	<p>10 市西消防署が新設され、完成祝賀会が開かれる。</p> <p>11 柳町スピードスケート場(パイピングリンク)がオープンする。</p> <p>18 音別カラマツ利用センターが完成し、操業開始する。</p> <p>24 工場誘致条例が市議会で修正可決され、代わりに工場等誘致委員会条例が制定される。</p> <p>27 鶴丘市民スキー場のリフト等が完成し、正式オープンする。</p>  <p>【鶴丘スキー場】 昭和43年2月にリフト無しで仮オープンしていた。</p> <p>28 鳥取の釧路スポーツセンターが閉鎖される。(翌年11月再開)</p>	<p>15 札幌地下鉄南北線北24条―真駒内開通</p> <p>19 円切上げで1ドル=308円に(スミソニアン・レート)</p>
(この年)		(この年)
<p>・ ・ ドルショックで市内缶詰工場等の輸出産業が打撃を受ける。</p>		<p>・ ・ 対米貿易収支、25億ドルの大幅出超(日米貿易摩擦激化)</p> <p>・ ・ 経済成長率、実質4.4%・名目10.1%</p>

昭和47年(1972)



月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>10 釧路戦災記録会が発足する。</p> <p>7 釧路市色彩委員会(学識3人・市2人)が発足する。</p>	<p>10 道内老人医療費無料化(70歳～)開始</p> <p>24 元日本兵横井庄一、グアム島で身柄保護</p>
2	<p>3 札幌冬季五輪(~13日)に釧路出身の斉藤幸子らスピード3人・アイスホッケー5人の選手が出場する。</p> <p>14 市民会館建設位置と柳町運河を考える市民討論会が始まる。</p>	<p>19 浅間山荘事件(28日までに警官2名死亡、3月13日までにリンチ殺人の12遺体発見)</p> <p>21 ニクソン大統領訪中(27日上海コミュニケ)</p>
3	<p>1 雄別炭鉱記念の阿寒町郷土資料館が雄鉄阿寒駅跡に開館する。</p> <p>15 釧路一東京間冷蔵コンテナ急行列車が特急になる。(36→30時間)</p>	<p>22 高松塚古墳極彩色壁画を発見</p>
4	<p>1 阿寒診療所が増築され、町立阿寒病院と改称する。</p> <p>1 太平洋生協と太平洋商事の店舗が統合され、釧路生活協同組合が設立される。</p>  <p>【統合前の太平洋生協本部店】</p> <p>3 釧路一東京間カーフェリー「まりも」が釧路に初入港する。</p>  <p>【カーフェリー「まりも」就航】 北埠頭ターミナルは「まりも」を見送る人々で大いに賑わった。</p> <p>26 道内初の老人福祉電話が市内2世帯に設置される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音別町身体障害者育成会が結成される。 ・深山の栄和炭鉱が閉山し、太平洋炭礦から分区された知人で米町炭礦として採炭を再開する。(翌年9月閉山) 	<p>1 札幌市、政令指定都市となる</p> <p>4 毎日新聞記者と外務省職員、機密漏洩で逮捕(沖縄密約事件・西山事件)</p> <p>29 新夕張・三菱美唄鉱、閉山</p>
5		<p>15 沖縄、本土復帰</p>
6	<p>1 市営新野牧場が完成し、市内農家の乳牛が放牧される。</p> <p>1 釧路地区農業共済組合が発足し、旧市・町組合は各支所となる。</p> <p>15 魚腸骨共同処理工場(後の釧路ハイミール)が操業を始める。</p> <p>29 釧路空港ビル(株)の設立総会が開かれる。</p> <p>30 鳥取郵便局が普通局に昇格し、釧路西郵便局と改称する。</p>	<p>1 道路交通法改正公布(免許取得に路上試験、初心者に「若葉マーク」義務化)</p> <p>11 田中角栄『日本列島改造論』発刊</p> <p>23 二風谷アイヌ文化資料館、開館</p>

7	<p>8 北大通都市改造事業(26.4ha・23億7千万円)完工式が行われる。</p> <p>29 音別町学園都市誘致促進期成会が発足する。</p>	<p>4 閣議、第5次石炭政策(閉山促進)決定</p> <p>7 田中角栄内閣成立</p> <p>24 四日市喘息公害訴訟で被害者側勝訴</p>
8	<p>1 市制施行50周年記念式典が、沈床化整備工事が完成した栄町公園で挙行される。</p> <p>8 釧路市で観測史上3位の最高気温30.6度を記録する。</p> <p>10 雄鉄阿寒駅跡地に阿寒町中央公園が完成する。</p> <p>15 『釧路空襲』第1巻が刊行される。(49年迄全3巻を発刊)</p> <p>16 釧路駅前バスターミナルが完成し、使用開始される。</p> <p>24 釧路地方総合開発促進期成会湿原対策特別委員会が発足する。</p>	<p>26 ミュンヘン五輪開催(～9.11)</p>
9	<p>5 「市民の花」に「キンレンカ」が同選定委員会で選ばれる。</p>  <p style="text-align: center;">【キンレンカの植え付け】</p> <p>8 春採コタン祭が紫雲台で開催される。</p> <p>12 釧網線さよならSL列車が運行される。(10/14幸町公園にSL設置)</p> <p>25 阿寒カントリークラブゴルフ場がオープンする。</p> <p>25 「日本列島改造論を考える市民シンポジウム」が開かれる。</p> <p>30 釧路アイスホッケー連盟が発足する。</p>	<p>8 国鉄白糠線上茶路一二股間、開通</p> <p>19 環境庁、大雪山縦貫道路着工を承認</p> <p>24 厚岸大橋開通</p> <p>29 日中共同声明調印、国交回復</p>
10	<p>1 UHB釧路放送局が本放送を始める。</p> <p>10 第1回釧路市少年サッカー大会が旭小グラウンドで開催される。</p> <p>12 永久保秀二郎関係文書が市立図書館に寄贈される。</p> <p>25 阿寒町民センター(後の総合福祉センター)落成式が行われる。</p>  <p style="text-align: center;">【阿寒町民センター】</p> <p style="text-align: center;">阿寒町公民館でもあったが、昭和62年7月に公民館が新築・移転されて、総合福祉センターと改称する。</p>	<p>23 旭川の「風雪の像」と札幌の北大アイヌ民族文化陳列ケース、時限爆弾で損壊</p>

<p>11 2 音別町生活改善センターが完成し、落成式が行われる。</p>  <p>【音別町生活改善センター】</p> <p>2 鳥取スポーツセンターが市営となって一年ぶりに再開される。</p> <p>3 第1回鉦路新郷土芸術賞が、北芸・羽生輝・斉藤一明に贈られる。</p> <p>8 市と鉦路地方総合開発促進期成会主催の「鉦路湿原の将来方向を考える市民シンポジウム」が、栄町会館で開かれる。</p> <p>13 徹別農業研修センターが新築落成し、竣工式が行われる。</p> <p>20 鉦路大橋(国道38号線)開通式が行われる。</p>  <p>【鉦路大橋】 狭く古い新川橋に代わり、国道にふさわしい大橋となる。</p> <p>24 全道高文連演劇大会が市公民館で開催される。(～27日)</p>	<p>2 奈井江町石狩炭鉱でガス爆発、死者31人</p> <p>5 上野動物園のパンダに長蛇の列</p> <p>24 通産省、伊達火発建設を許可</p>
<p>12 13 駅前百貨・黒金の両協組等の共同ビル「パルコ」がオープンする。</p> <p>25 『新鉦路市史』全4巻で最初となる第3巻が発刊される。</p> <p>31 出光興産(株)鉦路油槽所のボイラーが爆発し、三ツ輪寿寮など7棟を損壊し、2人が死亡・8人が負傷する。</p> <p>・ 舌辛共同墓地を整地・区画割りし、火葬場・斎場を備えた阿寒霊園が完成する。</p>	<p>10 総選挙、自271・社118・共38・公29・民19</p> <p>22 第2次田中内閣成立</p>
<p>(この年)</p> <p>・ 管内で唯一行われていた阿寒町の稲作が消滅する。</p> <p>・ 列島改造論で全国的な土地投機ブームとなり、市内でも半年で3倍に値上がりする土地が現れる。</p>	<p>(この年)</p> <p>・ 東京証券取引所、年間売買株数1千億株突破(1,003億5,800万株)</p> <p>・ 経済成長率、実質8.5%・名目14.7%</p>

昭和48年(1973)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>13 阿寒ロイヤルバレースキー場がオープンする。</p> <p>26 市立釧路図書館の新館が完成し、開館する。</p>  <p>【改築後の市立釧路図書館】</p>	<p>26 閣議、土地対策要綱(大規模取引の届け出制等)を決定</p> <p>27 パリでベトナム和平協定調印</p>
2	<p>16 釧路消費者協会が小売・卸売魚価等を調査する。(～20日)</p> <p>23 釧路市スポーツ振興協議会が発足する。</p>	<p>14 大蔵省、外国為替相場の変動幅制限停止(変動相場制へ移行)</p>
3	<p>4 釧路心身障害者団体連絡協議会(釧路障団連)が結成される。</p> <p>13 第1回「目で見るとみんなの消費生活展」が開かれる。(～18日)</p> <p>22 (株)釧路河畔開発公社の設立総会が開かれる。</p> <p>31 総合開発促進期成会湿原対策委が『釧路湿原の将来』を纏める。</p>	<p>20 水俣病裁判、熊本地裁で患者側勝訴</p>
4	<p>1 阿寒町立新町保育所が開所する。(翌年、阿寒幼稚園新町分園)</p> <p>1 肢体不自由児母子通園施設のマザーズホームが市に移管され、わかば整肢園となる。</p> <p>1 釧路女子短大が釧路短大と改称し、附属高校が男女共学となる。</p> <p>12 道立釧路高等看護学院が開院式と入学式を行う。</p>	<p>12 国民の祝日法改正公布(祝日と日曜重複は月曜が振替休日)</p>
5	<p>4 釧路市水産加工業協同組合の設立総会が開かれる。</p> <p>15 市立図書館の図書館バスによる貸出サービスが始められる。</p> <p>25 阿寒町土地開発公社が設立される。</p>	
6	<p>6 劇団「虹の会」と「青」が統合し、釧路演劇集団が結成される。</p> <p>11 釧根自動車会館が鳥取大通6丁目にオープンする。</p> <p>18 オリエンタルホテルの火災で、2人が死亡・34名が負傷する。</p> <p>25 (有)本州ストアが本州ハイマートを新築し、開店する。</p> <p>27 阿寒町市街の電話自動化記念通話式が行われる。</p> <p>28 阿寒町役場の新庁舎が完成し、業務を開始する。</p>  <p>【阿寒町役場】</p>	<p>14 北電、伊達火発強行着工</p> <p>17 根室半島沖地震(M7.2)、浜中で津波2.3m</p>

<p>7</p> <p>1 市で一般家庭尿尿汲取料と3歳未満児医療費が無料化される。</p> <p>4 社団法人「音別農業振興公社」が設立許可される。</p> <p>15 音別町長選挙で、今野町長が無投票再選を果たす。</p> <p>17 商工中金釧路事務所が開業する。</p>	<p>6 生活関連物資の買占め及び売惜しみに対する緊急措置法公布</p>
<p>8</p> <p>1 市で初の車椅子昇降機付福祉バス「いずみ号」が運行開始する。</p> <p>3 栄町公園噴水池の通水式が行われる。</p>  <p>【栄町公園】</p> <p>13 西郵便局の新局舎が完成・移転し、跡に鳥取郵便局が復活する。</p> <p>16 釧路市土地開発公社が発足する。</p> <p>19 「釧路市民盆踊り」が初めて栄町公園通を通行止めで開催される。 (翌年から「くしろ北海盆踊り」となる)</p> <p>19 青雲台体育館がオープンする。(雇用促進事業団が建設)</p> <p>20 『北海文学』が2年8ヶ月ぶりに復刊する。</p> <p>28 釧路市商店街連合会の設立総会が開かれる。</p>	<p>8 金大中、都内ホテルで拉致(金大中事件)</p> <p>21 三菱大夕張炭鉱、閉山</p>
<p>9</p> <p>1 国鉄釧路工場が釧路鉄道管理局車両管理所と改称する。</p> <p>15 北海道農協乳業(株)根釧工場が「よつ葉牛乳」等の生産を始める。</p> <p>23 雄鉄線跡地に昭和から鶴野までの自転車専用道路が開通する。</p> <p>23 第1回釧路市少年相撲大会が柏木小特設土俵で開催される。</p> <p>29 星が浦北部土地区画整理事業(167ha.6億円)竣工式が行われる。</p>	<p>7 札幌地裁、長沼ナイキ基地訴訟で自衛隊違憲判決</p>
<p>10</p> <p>10 第1回釧路湿原マラソンが実施される。</p>  <p>【第1回湿原マラソン】 勢いよくゲートを飛び出してゆくランナー</p> <p>10 金市館釧路支店の新館が完成し、オープンする。</p> <p>21 市長・市議(定数40名)選が行われ、山口市長が3選される。</p> <p>23 第1回北海道・加アルバータ州スポーツ指導者交流事業で、カナダ人アイスホッケーコーチが来釧し、1ヶ月間中・高生等を指導する。 .. 舌辛川の17線橋が永久橋に架け替えられる。</p>	<p>1 大規模小売店舗法公布(百貨店法廃止)</p> <p>6 第4次中東戦争勃発</p> <p>17 石油輸出国機構(OAPEC)、原油価格21%UPと選別的原産決定(第1次石油ショック)</p> <p>23 江崎玲於奈、ノーベル物理学賞受賞 .. ヤイニューカラ・アイヌ民族学会設立</p>
<p>11</p> <p>8 北中渡線橋が完成し、開通式が行われる。</p> <p>16 市議会議長に田畑武行が選出される。</p>	<p>5 国立旭川医科大学開校</p> <p>16 閣議、石油緊急対策要綱6項目を決定</p>

- 18 釧路コロポックル手話の会が発足する。
- 20 釧路市中央卸売市場が完成し、開場式が行われる。
- 28 旧阿寒中学校舎を改修した阿寒町武道場がオープンする。
- .. ガソリンスタンドが日曜・祝日休業や平日時間短縮を実施する。



【日曜祝日休業の看板を出すガソリンスタンド】

- 29 熊本市大洋デパート火災、死者**103**人
- .. 石油ショックで「狂乱物価」・「モノ不足」、全国で「トイレトペーパー・パニック」

- 12 1 釧路空港の**1,800m**滑走路と空港ビル・ILS等が完成し、初のジェット機**DC-9**(東京直行便)が就航する。



【1,800m滑走路から離陸するTDAのDC9機】

- 1 釧路浴場組合が営業時間を午後**9**時迄に**1**時間繰上げる。
- 5 市と本州製紙との公害防止協定が調印される。
- 5 タンチョウ生息数**4**支庁管内一斉確認調査で**233**羽が確認される。
- 10 釧路料飲店組合が年末年始**1**時間営業延長を自粛する。(～1/7)
- 10 釧根地区ハイヤー協会の緊急ハイヤー制度が廃止される。
- 13 釧路市生活物資緊急対策会議(市・支庁・会議所外)が発足する。
- 13 古川下水終末処理場の開場式が行われる。
- 16 市連合町内会の婦人部設立大会が開かれる。
- 24 「物不足解消・物価値上げ阻止釧路市民大集会」が公民館に**500**人を集めて開かれ、北大通をデモ行進する。
- 27 市内初の特別養護老人ホーム釧路啓生園が開園する。
- .. 釧路高校演劇研究会が発足する。
- .. 阿寒湖中学校の独立新校舎が完成し、移転する。

- 1 函館・亀田両市が合併、函館市に
- 22 国民生活安定緊急措置法及び石油需給適正化法、公布・施行
- 22 日銀、公定歩合**9.0%**へ引き上げ(1885年以来最高)


(この年)

- .. 釧路港の貨物取扱量が初めて**1**千万トンを超える。(1,251万トン)
- .. 釧路港の魚水揚量が**88**万5千トン(前年比**20**万6千トン増)で5年連続日本一、金額も**466**億9千万円(157億4千万円増)で2位となる。

(この年)


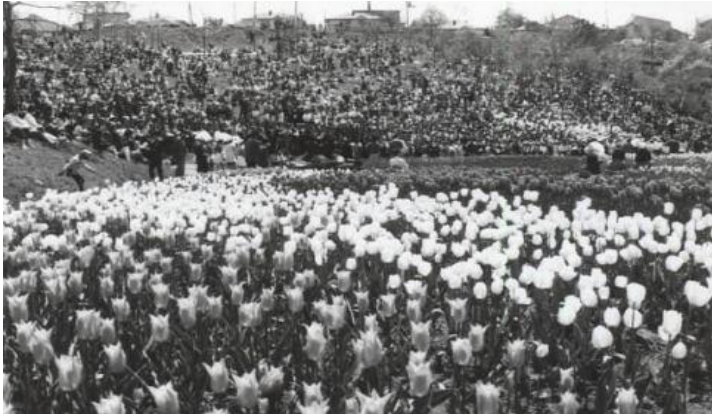
- .. 物価指数、卸売**15.9%**・消費者**11.7%**上昇
- .. 経済成長率、実質**7.9%**・名目**21.8%**

昭和49年(1974)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>18 音別町「町民の広場」にファミリー体育館がオープンする。</p>  <p>【音別町ファミリー体育館】平成5年釧路沖地震で損壊し、翌年解体された。</p> <p>30 仁々志別住民センターが新築され、落成式が行われる。</p>	<p>11 閣議、灯油・プロパンに標準価格設定(25日トイレトペーパー・ちり紙に設定)、6/1灯油・5/21その他解除</p>
2	<p>18 公民館での「物価を考える緊急市民対話集会」に500名が集まる。</p>	<p>25 教員の人材確保特別措置法公布</p>
3	<p>10 第1回道東家庭婦人バレーボール大会が開催される。</p> <p>15 釧路演劇協議会が発足する。</p> <p>29 星園高校が武佐に移転・改築され、引越が完了する。</p>	<p>12 小野田元陸軍少尉、ルパン島から帰国</p> <p>14 全道酪農家、乳価引上要求生乳出荷スト</p> <p>16 国民生活安定緊急対策本部、生活関連物資等値上事前了承制(価格凍結)を決定</p>
4	<p>1 阿寒・音別・白糠・鶴居の4市町村消防が合同して釧路西部消防組合が設立され、阿寒支署・音別支署が開設される。</p> <p>1 市医師会の内科・小児科夜間当番医制度がスタートする。</p> <p>2 市職員107名が物価調査員(物価Gメン)に発令される。</p> <p>6 鳥取西小学校が開校する。</p> <p>10 阿寒幼稚園が開設される。(富士見本園2学級・新町分園3学級)</p> <p>10 北方都市問題研究世話人会が『北方市民生活』を創刊する。</p> <p>11 大幅賃上げ・スト権奪還を掲げた春闘ゼネストで、小中学校の殆どが臨時休校、役所や公立病院等が半日休業となり、バスは翌日にかけて丸2日間、国鉄は10～13日午後まで4日間、全面運休となる。</p> <p>17 釧路労災高等看護学院が開設され、入学式が行われる。</p> <p>22 太平洋炭礦のWSD採炭方式技術の豪輸出契約が調印される。</p> <p>23 音別町の「東日本学園大学」開校式・入学式が行われる。</p>	<p>11 公労協・官公労・民間労組など81単産・600万人がゼネスト</p> <p>27 日ソ漁業交渉妥結、母船式タラバガニ漁(蟹工船方式)廃止</p>
5	<p>11 釧路市身体障害者福祉センターがオープンする。</p> <p>24 十條製紙アイスホッケー部の日本リーグ加盟が承認される。</p>	<p>8 森永ミルク中毒訴訟、国・森永謝罪し和解</p>
6	<p>29 市・白糠町・水産加工15社による釧路水産団地公社が設立される。</p>	<p>25 国土利用計画法公布(土地取引規制等)</p>
7	<p>1 霧対策連絡協議会(2支庁・8市町等28関係機関)が発足する。</p> <p>7 高山塵芥処理場(第1、40ha)が使用開始される。</p> <p>9 釧路少年鑑別所が改築され、落成式が行われる。</p> <p>10 大楽毛家畜市場が移転・新築(三代目)され、落成式が行われる。</p> <p>29 市と十條製紙釧路工場との公害防止協定が調印される。</p>	<p>7 参議選、自62・社28・公14・共13・民5</p> <p>24 北の湖、史上最年少(21歳2ヶ月)横綱に</p>
8	<p>13 第1回阿寒町産業まつりが開催される。(～20日)</p> <p>20 昭園人道橋が完成し、渡橋式が行われる。</p> <p>.. 釧路合唱連盟が発足する。(市内7合唱団が加盟)</p>	<p>8 ニクソン米大統領、ウォーターゲート事件で辞任</p> <p>30 丸の内の三菱重工ビルで時限爆弾、死者8人・重軽傷385人(以後企業爆破事件続発)</p>

9	<p>5 北中学校改築工事が竣工し、落成式が行われる。</p> <p>24 道立釧路病院が移転改築され、業務を開始する。</p>	1 原子力船「むつ」、放射能もれ事故
10	<p>8 阿寒国立公園指定40周年記念式典が挙行される。</p> <p>16 音別町内の電話がダイヤル式に切替えられ自動化される。</p> <p>20 釧路空港で第1回空港まつりが開かれる。</p> <p>28 釧路霧信号所が知人礁霧信号所に移設される。</p> <p>.. 阿寒川の18線橋が永久橋に架け替えられる。</p>	<p>8 佐藤栄作前首相、ノーベル平和賞受賞</p> <p>20 愛国一幸福駅切符、半年で300万枚突破</p>
11	<p>1 『釧路市教育研究史—戦後25年のあゆみ』が発刊される。</p> <p>1 69才以上の歯科医療費無料化が開始される。</p> <p>5 市立では初の0歳児保育が、双葉保育園で始まる。</p> <p>12 第1回東北海道市町村史研究大会が市立図書館で開催される。</p> <p>16 西港の南防波堤灯台が完成し、点灯式が行われる。</p>	26 田中角栄首相、金脈問題で退陣表明
12	<p>1 釧路一札幌便が丘珠から千歳空港に移り、ジェット機が就航する。</p> <p>8 阿寒町長選で太田佐市が当選し、16年ぶりに町長に復帰する。</p> <p>9 釧路信用金庫本店ビルがオープンする。</p> <p>10 釧路河畔駐車場の全面開設式が行われる。</p> <p>12 寿小に道内2番目の弱視学級が開設される。</p> <p>14 西港への入港第1船「千昌丸」が石油栈橋に接岸する。</p> <div data-bbox="603 974 1007 1294" data-label="Image"> </div> <p>【西港供用開始のテープカット】 降りしきる雪の中、開建部長・市長らがテープカットを行った。</p> <p>17 市内初の老人集会所「寿の家」が昭和に完成し、オープンする。</p> <p>22 釧路西部消防組合阿寒支署が新築され、落成式が行われる。</p> <div data-bbox="252 1391 847 1765" data-label="Image"> </div> <p>【釧路西部消防組合阿寒支署】</p>	9 三木武夫内閣発足
(この年)		(この年)
<p>.. 路線バス料金50%・砂糖60%・チリ紙150%等の物価高騰「狂乱物価」により、市民生活が混乱する。</p>		<p>.. 高校進学率、90%超(90.8%、中学卒就職率7.7%、高校卒就職率48.0%)</p> <p>.. 物価指数、卸売31.3%・消費者24.5%上昇</p> <p>.. 経済成長率、実質マイナス1.4%・名目19.1%</p>

昭和50年(1975)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>8 市水産業対策協議会(200カイリ対策)が発足する。</p> <p>10 「釧路近代文学を読む会」が発足する。</p> <p>12 阿寒湖水族資料館が新築され、オープンする。</p>  <p>【阿寒湖水族資料館】 1階にジオラマ大水槽、 2階に鳥や動物の剥製が展示される。</p> <p>17 市観測史上1位の日降雪量59cmを記録し、交通完全マヒとなる。</p> <p>18 上音別社会福祉センターが新築され、落成式が行われる。</p> <p>29 釧路赤十字血液センターが新釧路町に移転し落成式が行われる。</p>	<p>6 23万トンの級タンカー祥和丸、マラッカ海峡で座礁、満載の原油流出</p>
2	<p>5 市立小・中学校通学区域調査委員に関する規則が公布される。</p>	<p>3 海洋法対策北海道水産都市協議会、発足</p>
3	<p>4 太平洋炭礦高等鉱業学校が閉校する。</p> <p>8 阿寒町で「第1回全国子供の自然と小鳥と鶴会議」が開かれる。</p> <p>23 釧路駅構内の巴踏切が廃止され、巴人道跨線橋が開通する。</p> <p>28 市立博物館が『釧路湿原総合調査報告書』を刊行する。</p>	<p>10 新幹線、東京一博多間全通</p>
4	<p>1 音別町公民館が閉鎖される。(事業は生活改善センターに移行)</p> <p>8 阿寒高校が移転し、仲町の新校舎で授業が始まる。</p> <p>13 道議選で、市部は滝沢勉・浅川正敏・岩崎守男・伊藤武一、管内は北村義和・若狭靖が当選する。</p> <p>17 釧路商工会議所が旧釧路信金本店跡に移転する。</p> <p>27 阿寒(定員18名)・音別(定員14名)町議会議員選挙が行われる。</p>	<p>13 道知事・道議選挙、堂垣内知事再選</p> <p>30 解放戦線軍、サイゴンへ無血入城(ベトナム戦争終結)</p>
5	<p>7 上音別保育所が上音別社会福祉センター内に開設される。</p> <p>20 釧路市文化財保護審議会が発足する。</p> <p>31 第1回チューリップフェアが鶴ヶ岱公園外で開催される。(～6/8)</p>  <p>【第1回チューリップフェア開幕式の1万人大合唱】</p> <p>.. 第1回アイヌ民衆史講座が、山本多助らを講師に開催される。</p>	<p>7 エリザベス英国女王、来日</p> <p>19 警視庁、連続企業爆破容疑者8人逮捕(内4人が北海道出身)</p>

・阿寒町に紀ノ丘神楽保存会が結成される。



【紀ノ丘神楽(61年に町指定無形民俗文化財)】

6

30 千歳の米軍、完全撤退

7

1 全日空が釧路—東京線を開設し、第1便が就航する。
1 幣舞橋架替の仮橋が開通し、9日から四代目の解体工事が始まる。



【翌年11月まで使われた仮橋と解体を待つ四代目幣舞橋】

17 市と太平洋炭礦との公害防止協定が調印される。
29 市と会議所等の釧路市商業近代化推進協議会が発足する。

19 沖縄海洋博開幕(～翌年1.18)

8

1 直別郵便局が廃止され、直別簡易郵便局が設置される。
4 釧路商調協が長崎屋等の申請売場面積削減を決定する。
8 音別町開基60周年記念式典が生活改善センターで挙行される。
16 第1回千灯祭が開催される。



【千灯祭の様子】

19 愛国ニュータウン(141ha・1万2千人)造成工事修祓式が行われる。
21 西港第1埠頭10m岸壁が完成し、十條丸(22,194ト)が接岸する。
27 市とホルムスク市(サハリン州)との姉妹都市提携が調印される。
28 阿寒町初の福祉バス「しろぼと号」が運行を始める。

4 クアラルンプール事件発生
15 三木首相、現職初の終戦記念日に靖国神社参拝


9

6 武富稻荷社例大祭が50年ぶりに復活開催される。(～7日)
28 「国際婦人年釧路の集い」が釧路信金で催され100人が参加する。
・阿寒地区国営草地開発事業(5年間でha造成)が着工される。

17 経済対策閣僚会議、第4次不況対策(公共事業追加・金利引下げ等)決定
30 天皇・皇后両陛下、初の訪米

<p>10 1 釧路市動物園が開園する。</p>  <p>【釧路市動物園のキリン】</p> <p>1 釧路・阿寒自転車道の昭和橋―山花間が開通する。</p> <p>8 「釧路市消費生活を守る条例」が制定される。</p> <p>12 北大・札医大などの参加により、本道で初の難病患者無料診断が市立病院で実施される。</p> <p>16 労使紛争中の第一高3年生の代替授業が仮校舎で始められる。</p> <p>25 釧路消費者協会が初めて産地直送野菜即売会を開く。</p> <p>29 フェリー・ターミナルが北埠頭から西港へ移転し、入港第1船の「ましう」が接岸する。(30日「まりも」・11/20「さろま」入港)</p>	<p>1 第12回国勢調査、道人口 5,338,043人</p> <p>31 新日鉄、室蘭製鉄所の生産規模大幅縮小</p>
<p>11 8 十條アイススケートセンターが旧十條ボウルを改築して開設され、釧路で初のアイスホッケー日本リーグ公式戦が行われる。</p> <p>27 釧路ガスの5万立米球形ガスホルダーが完成する。</p> <p>29 直別生活館の完成式が行われる。</p>	<p>26 公労協、スト権奪還ゼネスト突入、国鉄8日間全面運休</p> <p>27 北炭幌内鉱でガス爆発、死者24人</p>
<p>12 2 第一高校の労使紛争が泥沼化し、新年度生徒募集を停止する。</p> <p>10 十條製紙のクラフトパルプ・プラント新設工事が完了し、操業開始する。</p> <p>12 佐野家文書・星兜(残欠)・鳥取村本籍簿・永久保秀二郎日誌・釧路新聞・三津浦古谷遺跡・キタサンショウウオ・砂岩脈・ヤチボウズの9件が市の文化財に指定される。</p>  <p>【キタサンショウウオの幼生】</p>  <p>【谷地坊主(ヤチボウズ)】</p> <p>.. 安原ゴミ処分場が使用開始される。</p> <p>.. 西港第1埠頭のコンテナヤード・オープンヤード・上屋が完成する。</p>	<p>5 財政特例法案(赤字国債発行)成立</p> <p>14 SLサヨナラ列車、室蘭―岩見沢間走行</p> <p>27 石油備蓄法公布</p>
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<p>.. 国勢調査で、市人口が206,689人とされ、20万都市になる。</p>	<p>.. 大学・短大学生数200万人超(高卒34.2%)</p> <p>.. 物価指数、卸売3.0%・消費者11.8%上昇</p> <p>.. 経済成長率、実質マイナス2.7%・名目10.6%</p>

昭和51年(1976)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>10 中徹別小学校が新築落成し、記念式典が挙行される。</p>  <p>【阿寒町立中徹別小学校】</p> <p>11 鶴ヶ岱公園の市営弓道場が全面改築され、落成式が行なわれる。</p> <p>23 太平洋興発が中国炭輸入を始め、第一船が入港する。 ・・ 石黒ホーム(後のホームック)の1号店が中園町にオープンする。</p>	<p>31 日本初の五つ子誕生</p>
2	<p>4 インスブルック冬季五輪に、長屋真紀子らスピード3人・アイスホッケー7人の釧路出身選手が出場する。</p> <p>8 厚生年金体育館で日中卓球交流釧路大会が開催される。</p> <p>11 釧路ぬさまいライオンズクラブが結成される。</p>	<p>4 米上院公聴会でロッキード社の贈賄判明</p>
4	<p>4 音別工業団地に大塚製薬釧路工場が完成し、操業開始する。</p> <p>4 長崎屋釧路店がオープンする。</p>  <p>【当時の長崎屋釧路店】 平成14年一度閉店、翌年アベニュー946となり再開。</p> <p>8 阿寒郵便局が国道拡幅に伴い移転・新築され、業務開始する。</p> <p>10 第一高校の2年後廃校を学校法人希望学園が正式表明する。</p> <p>10 第1回寺島春雄賞の授賞式が行われる。</p> <p>30 市議会が年度を越えて6日迄会期を延長する。(暫定予算編成)</p>	<p>1 公立学校「主任制」実施(5/1時点で制度化 40県にとどまる)</p> <p>2 道庁ロビー爆破事件、死者2人・負傷95人</p>
4	<p>1 星園高校に普通科(2学級)が新設される。</p> <p>6 釧路駐車場協会の設立総会が開かれる。</p> <p>19 くしろ日本舞踊協会が発足する。</p> <p>26 阿寒町塵芥焼却場が完成し、火入れ式が行われる。</p>  <p>【阿寒町塵芥焼却場】</p>	<p>13 米200カバ専管水域法成立(12/10ノ連同法 布告、翌年3/1米ソ実施)</p>

28 阿寒アイヌ民族文化保存会所属「阿寒湖ユーカラ座」がパリで「アイヌ叙事詩・創世神曲劇・カムイ ユーカラ」を上演する。



【パリの「阿寒湖ユーカラ座」】
ユネスコ国際会議場で138カ国・600人の観客から大好評を得る。釧路管内からは20名が参加した。(写真提供の床明は前列右端)

5 10 東北海道日ソ友好貿易協会が設立される。

14 衆院に「ロッキード調査特別委」設置

- 6 1 丸三鶴屋新館の増築(3～6階)工事が完成し、オープンする。
- 1 東邦交通と阿寒バスが市内路線定期券・回数券を共通化する。
- 6 第1回茅野公園まつりが開催される。
- 17 「幣舞橋彫像設置市民の会」が発足する。
- 27 釧路西部消防組合音別支署の新庁舎落成式が行われる。

25 河野洋平ら自民党離党議員、新自由クラブ結成



【釧路西部消防組合音別支署】

・ 釧白工業団地の汚水処理場が完成し、運転開始する。

- 7 4 新釧路川河畔公園初のスポーツ施設テニスコート3面がオープンする。
- 12 (株)東北海道日ソ貿易公社が設立される。
- 15 第1回くしろ市民大学が釧教大を主会場に開かれる。(～12月)
- 31 モントリオール夏季五輪女子バレーで、釧路商業高卒の松田紀子が大活躍し、日本が金メダルを獲得する。



17 モントリオール五輪、開会
27 東京地検、ロッキード事件で田中前首相逮捕




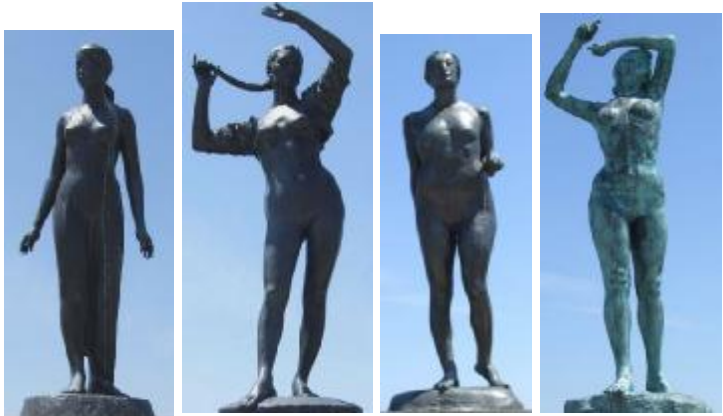
【松田紀子選手】





【オリンピック壮行会の様子(左端が松田選手)】

<p>8 8 江南高が甲子園に出場(3回目)するも、初戦で敗退する。</p> <p>16 釧路市夜間急病診療所が花園町に開設される。</p> <p>24 釧路地区農業共済組合音別支所が新築され落成式が行われる。</p> <p>29 阿寒町民テニスコートが本町と湖畔に各1面完成し、オープンする。</p>	<p>5 札幌高裁、長沼ナイキ基地訴訟控訴審で自衛隊違憲判決取消</p> <p>20 佐藤孝行元運輸政務次官、ロッキード事件受託収賄容疑で逮捕</p>
<p>9 9 民有林の橋では全国一長い音別川大井橋が開通する。</p> <p>14 寿小学校肢体不自由児学級の開級式が行われる。</p> <p>17 釧路地区のポケットベル・サービスが始まる。</p> <p>24 釧路鉄道学園(双葉町)が改築され、落成式が行なわれる。</p> <p>24 釧路東急インが営業を開始する。</p>	<p>6 ソ連ミグ25戦闘機、函館空港に強行着陸</p>
<p>10 5 釧路で初めての中原悌二郎展が開かれる。(～17日)</p> <p>・ 柏木小PTAが優良PTAの文部大臣表彰を受ける。</p> <p>・ 岡崎正之の歌集『帽灯』が第10回北海道新聞文学賞を受賞する。</p>	<p>22 鬼頭判事補ニセ電話事件表面化</p> <p>29 政府、「防衛計画の大綱」を決定</p> <p>・ 国家公務員の週休2日制(4週5休)試行</p>
<p>11 18 STV釧路放送局がラジオ放送を開始する。</p> <p>19 釧路消費者協会が丸三鶴屋内に「くらしの窓」をオープンする。</p> <p>26 五代目幣舞橋の渡り初め式が行われる。</p>  <p style="text-align: center;">【五代目幣舞橋の渡り初め式】</p>	<p>5 政府、防衛費をGDPの1%以内と決定</p> <p>10 天皇在位50年式典</p> <p>15 中小企業事業転換対策臨時措置法公布</p>
<p>12 9 市河文書が市の有形文化財に指定される。</p>  <p style="text-align: center;">【市河文書】</p> <p style="text-align: center;">「山本勘助」の記載があり、その実在を裏付ける貴重な史料。</p>	<p>5 総選挙、自249・社123・公55・民29・共17・新自17</p> <p>18 教育課程審議会、「ゆとり教育」を答申</p> <p>24 福田赳夫内閣成立</p>
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<p>・ 市内の各種学校7校が専修学校の認可を受ける。</p>	<p>・ 物価指数、卸売5.0%・消費者9.3%上昇</p> <p>・ 経済成長率、実質4.8%・名目12.3%</p>

昭和52年(1977)



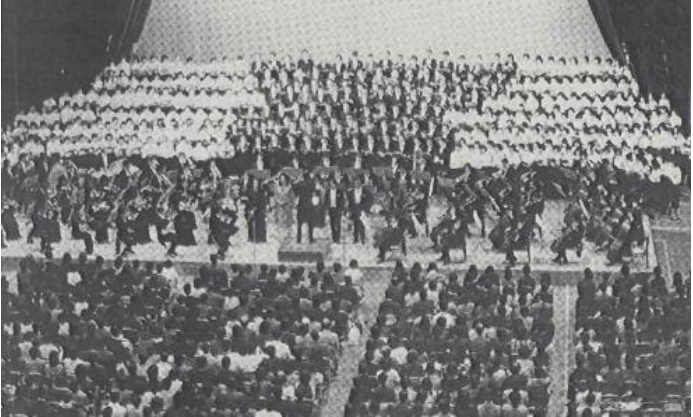
月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>12 桂恋小学校が鉄筋校舎に改築され、落成式が行われる。</p> <p>29 釧路労働基準監督署が柏木町に新築・移転される。</p>	<p>4 東京品川で青酸コーラ事件、2人死亡</p>
2	<p>4 北海道警察学校釧路方面分校が大楽毛に新築・移転される。</p> <p>19 市観測史上1位の55日連続真冬を記録する。</p> <p>19 釧路市民生協初の大型ショッピングセンター桜ヶ岡店がオープンする。</p>	<p>13 国公立大学共通一次試験、初実施</p> <p>15 道東・北に大寒波、幌加内にて国内最低気温マイナス42.1度を記録</p>
3	<p>11 巖島神社の「円空作観音像」が道の有形文化財に指定される。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>【円空作仏像「くすり乃たげごんげん」】 1666年頃に彫られたと伝えられている。クスリ場所へは1799年に移された。雄阿寒岳・雌阿寒岳を霊峰とする「阿寒大神(アカンカムイ)」として祭られる。</p> <p>25 釧路商調協が大型店新設・増床の1年間凍結を決める。</p> <p>31 市議会が年度を越え2日迄会期延長される。(2年連続暫定予算)</p> <p>31 西徹別小学校が閉校となり、中徹別小に統合される。</p>	<p>1 米・ソ、200カ㍊漁業専管水域を実施</p> <p>26 社会党江田副委員長離党、社市連結成</p>
4	<p>1 労災高等看護学院が労災看護専門学校と改称する。</p> <p>24 釧路交響楽団が発足する。</p> <p>26 幣舞橋彫像設置市民の会が、丸三鶴屋本館で「道東の四季～幣舞橋の彫像と彫刻家四人展」を開催する。(～7月1日)</p> <p>.. 釧路市地域スポーツ推進協議会が発足する。</p>	<p>26 革新自由連合、正式発足</p>
5	<p>3 五丁目幣舞橋に「道東の四季像」が建立され、除幕式が行われる。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>【道東の四季像】 左から「春」：舟越保武、「夏」：佐藤忠良、「秋」：柳原義達、「冬」：本郷新</p> <p>7 国際ソロプチミスト釧路クラブの認証式が行われる。</p> <p>22 桜が丘小学校の火災で14教室が焼失する。</p> <p>25 釧路市ボランティア連絡協議会が発足する。</p>	<p>2 領海法(12浬)・漁業水域暫定措置法(200浬)公布(7.1施行)</p> <p>11 三井芦別鉱でガス爆発、死者25人</p>
6	<p>6 市営音羽牧場がオープンし、育成牛100頭が放牧される。</p> <p>6 釧路市緑いっぱい市民運動世話人会が『釧路の園芸』を刊行する。</p>	

<p>9 生協富士見店建設阻止行動を近隣商店主などが行なう。</p> <p>12 河畔公園に野球場(A面)とサッカー場(A面)がオープンする。</p> <p>19 60回記念市民大運動会が行われ、のべ5万人の観客を記録する。</p> <p>20 市内小学校の米飯給食テスト実施が始まる。</p>	
<p>7 6 釧路機船漁協の4隻(乗組員66名)が200カリ第1次減船となる。</p> <p>12 愛国ニュータウンの宅地分譲受付が始められる。</p> <p>14 北斗遺跡が国の文化財(史跡)に指定される。</p> <p>17 音別町長選挙で、今野町長が無投票で3選を果たす。</p> <p>21 ぬさまい河畔広場が完成し、開園式が行われる。</p>	<p>10 参議選、自63・社27・公14・民6・共5・新自3</p> <p>20 道立近代美術館、開館</p> <p>23 文部省、小中学校学習指導要領改正告示(「君が代」を国歌など)</p>
<p>8 1 『釧路湿原』(叢書第18巻・釧路湿原総合調査団編)が発刊される。</p> <p>1 阿寒町観光振興公社が設立される。</p> <p>6 十條製紙が8号マシン増設により、年産40万トンの体制となる。</p> <p>11 江南高が甲子園に出場(2年連続4回目)するも、初戦で敗退する。</p> <p>15 第1回「音別町商工祭」が開催される。(～17日)</p>	<p>7 有珠山噴火(9日洞爺湖畔地区避難命令)</p> <p>9 最高裁、狹山事件で上告棄却(石川一雄被告の無期懲役確定)</p>
<p>9 26 釧路新書が創刊され、第1巻『東北北海道物語』が出版される。</p>  <p>【平成17年までに発刊された釧路新書全27冊】</p>	<p>3 王貞治、世界記録の756号本塁打</p> <p>28 日本赤軍、ダッカ日航機ハイジャック事件(10/1「超法規的措置」で6人釈放・出国)</p>
<p>10 1 音別小学校新校舎が完成し、落成式が行われる。</p>  <p>【音別小学校】</p> <p>1 鳥取北橋が人道橋から歩車道の永久橋に架替えられ、開通する。</p> <p>4 釧路市埋蔵文化財調査センターがオープンする。</p> <p>5 共栄小炊事遠足爆発事故慰霊碑の除幕式が行われる。</p> <p>11 市の戸籍・住民票ファクシミリ・サービスがスタートする。</p> <p>16 市長・市議(定数40名)選で、市長に鱒淵俊之が初当選する。</p>  <p>【4年前の雪辱に喜び沸き立つ鱒淵俊之選対事務所】</p> <p>28 余市から移転の水産庁北海道区水産研究所落成式が行われる。</p>	<p>29 東京スモン訴訟、第1次和解成立</p> <p>30 北炭夕張炭鉱、完全閉山</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鶴見橋―柳町公園間の自転車専用道路が開通する。 	
11	<p>1 阿寒町タンチョウ観察センターが丹頂の里にオープンする。</p>  <p>【タンチョウ観察センター】 平成8年に国際ツルセンターがオープン後はその分館となる。</p> <p>3 日本・フィンランド親善少年アイスホッケー交歓会が行われる。</p> <p>14 市議会議長に矢野忠治が選出される。</p> <p>18 愛国ニュータウンの全天候型テニスコート2面がオープンする。</p> <p>27 第1回「釧路市ボランティアのつどい」が開かれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山花小中学校が鉄筋校舎に改築される。 ・ 太平洋炭礦(株)が、豪州炭輸入の為現地に合弁会社を設立する。 	4 閣議、第3次全国総合開発計画決定
12	<p>1 開発埠頭(株)の西港臨港線(新富士駅―第1埠頭)が開通する。</p> <p>7 釧路地方職業訓練協会の技能研修センター落成式が行われる。</p> <p>8 下水道愛国中継ポンプ場が完成し、運転を始める。</p> <p>10 布伏内に特別養護老人ホーム「鶴の園」が開設される。</p>  <p>【社会福祉法人 扶躬会鶴の園】</p> <p>17 東北海道日ソ友好貿易会館が開館する。</p> <p>21 釧路市東消防署落成式が行なわれる。(中央・西・東の3署体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鳥取中学校が鉄筋校舎に改築される。 	<p>15 円高進行、1ドル=238円を記録</p> <p>26 特定不況業種離職者臨時措置法公布</p>
(この年)		(この年)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 釧路港の魚水揚量が88万9千トンを連続9年日本一となり、金額でも881億円で初の日本一となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業倒産18,474件・負債総額2兆9,781億円 ・ 物価指数、卸売1.9%・消費者8.1%上昇 ・ 経済成長率、実質5.3%・名目11.5% ・ 日本男性平均寿命72.69才で世界一、女性も77.95才でスウェーデンと並び1位

昭和53年(1978)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>5 釧路商工会議所より釧路町商工会が分離発足する。</p> <p>19 阿寒湖畔の喫茶店兼住宅火災で5人が焼死する。</p> <p>21 釧路商業高校が昭和に移転し、新校舎で授業が始まる。</p>	<p>10 総理府、初の『婦人白書』発表(労働人口の37.4%女性、平均賃金男性の58.3%等)</p>
2	<p>2 釧路刑務所の現地改築(54・55年度予定)が正式決定する。</p>	<p>19 閣議、第4期道総合開発計画(53～62)決定</p>
3	<p>15 釧路第一高校の廃校式が行われる。</p> <p>19 直別小学校の閉校式が行われる。</p> <p>20 中江学園釧路女子技芸学校が閉校する。</p> <p>24 財団法人北斗霊園の設立が認可される。</p> <p>27 丸ト北村が和議手続を申請する。(4/11営業再開)</p> <p>31 上徹別小学校が閉校され、中徹別小学校に統合される。 ・・ 太平洋炭礦の52年度出炭量がピークの260万9,632トとなる。</p>	<p>26 社会市民連合と田英夫ら社会党離党議員、社会民主連合結成</p>
4	<p>1 阿寒湖保育所がマリモ幼稚園となる。(翌年3月阿寒湖小旧マリモ校舎を改築して移転)</p> <p>1 音別幼稚園が音別小空き教室を借用して開園する。</p>  <p>【この年9月16日に移転式が行われた音別幼稚園園舎】</p> <p>6 武佐小学校と大楽毛中学校が開校する。</p> <p>17 東日本学園大学に歯学部が開設され、音別で入学式が行われる。</p> <p>24 日赤病院内に病弱児学級(わかば学級)が開設される。 ・・ 阿寒町地籍調査事業が開始される。</p>	<p>1 釧路東高等学校開校</p> <p>18 石油税法公布(エネルギー対策財源)</p> <p>21 日ソ漁業協力協定調印(漁獲量割当前年の30%減・禁漁区拡大)</p> <p>30 植村直己、単独犬ぞりで北極点到達</p>
5	<p>29 東京事務所開所式が千代田区日本都市センターで行われる。</p> <p>31 阿寒湖チウレイ島にマリモ展示観察センターが開設される。</p>  <p>【マリモ展示観察センター(トラサンベ)】</p>	<p>20 成田空港(新東京国際空港)、開業</p> <p>23 伊達火発、試運転開始</p>
6	<p>1 西港石油基地共同防災センターの開所式が行われる。</p> <p>12 河畔公園の野球場B面がオープンする。</p> <p>15 市行政改革協議会(委員20名)が発足する。(11/1答申)</p> <p>19 イトーヨーカ堂が新橋大通への出店を表明する。</p> <p>28 釧路全商連が大型店進出反対の「商業危機突破大会」を開く。</p>	<p>12 宮城県沖地震(M7.5)、死者27人</p> <p>16 大蔵省、オンライン処理による金融機関相互間の業務提携を通達</p>

<p>7</p>	<p>1 西港で北海道子ども博覧会が開かれる。(～8/20)</p> <p>7 阿寒町農業協同組合事務所・店舗の新築落成式が行われる。</p> <p>13 北電音別発電所(緊急用14万8千kw)の完工式が行われる。</p>  <p>【音別発電所】 緊急用ガスタービン発電 施設で左端はガスタンク</p>	<p>5 農林省、農林水産省と改称</p> <p>18 北海道環境影響評価条例、道議会で可決 (都道府県で初のアセスメント条例)</p>
<p>8</p>	<p>4 港まつりで市初の歩行者天国が実施される。(～6日)</p> <p>10 音別中学野球部が全道中学校野球大会で優勝する。</p> <p>17 市内で初の発泡スチロール魚箱工場が生産を始める。</p>	<p>12 日中平和友好条約調印</p> <p>20 初の全国民参加北方領土返還要求大会</p>
<p>9</p>	<p>23 雄鉄跡地の道道釧路阿寒自転車道(26.5km)が全線開通する。</p> <p>29 釧路消費者協会が第1回青空バザーを栄町公園で開く。</p>	<p>9 有事立法粉碎全国共闘会議(総評外)結成</p>
<p>10</p>	<p>1 柳町テニスコートの5面がオープンする。(翌年9月に3面)</p> <p>1 釧路空港に第一管区海上保安本部釧路航空基地が開設される。</p> <p>1 釧路パシフィックホテルが営業を始める。</p> <p>18 釧路市商店街振興組合連合会が設立される。</p> <p>28 第1回くしろ菊まつりが栄町公園で開かれる。(～11/5)</p>	<p>12 警察庁、初の「サラ金」実態調査結果発表 (自殺130人・3,546社に暴力団関与等)</p> <p>17 靖国神社、A級戦犯14名を合祀</p> <p>24 有珠山の泥流、温泉街襲い死者3人</p>
<p>11</p>	<p>3 阿寒町名誉町民称号の第1号が前田光子 (前田一步園主)に贈られる。</p>  <p>【阿寒の発展に貢献した 前田光子一步園主】</p> <p>11 音別町が「青色申告と諸税完納の町」を宣言する。</p> <p>16 日本フィルと「第九を歌う市民の会」が厚生年金体育館でベートーヴェンの交響曲第9番を演奏する。</p>  <p>【日本フィルと「第九を歌う市民の会」の協演風景】 練習を積んだ350人が、ベートーヴェンの交響曲第九番の演奏に参加した。 これを契機として合唱団「コールフロイデ」が18日に発足する。</p>	<p>11 無限連鎖講(ネズミ講)防止法公布</p> <p>15 大規模小売店舗小売業の事業活動調整法、改正(出店規制強化)公布</p> <p>18 特定不況地域中小企業対策臨時措置法・特定不況地域離職者臨時措置法、各公布</p> <p>21 江川卓の巨人入団を巡りドラフト紛糾</p> <p>27 日米安保協議委員会、「日米防衛協力の為の指針」(ガイドライン)決定</p> <p>27 国鉄札幌駅付近の高架化工事開始</p>

17 和商市場が店舗を改築し、新装オープンする。

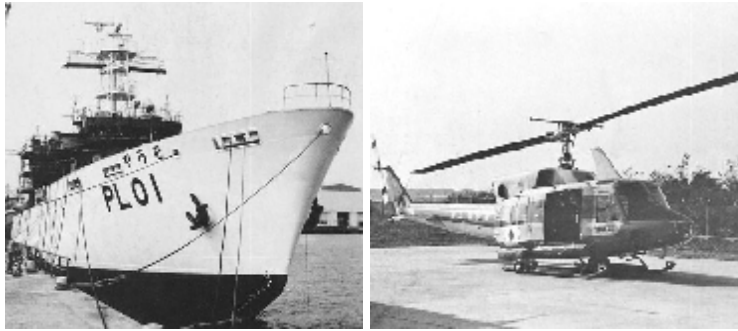


【釧路和商市場】
函館朝市と並ぶ有名市場。

- 20 市が国から、水産業では初めての特定不況地域に指定される。
- 22 市総合計画策定委員会から提言書が市長に渡される。
- 25 大楽毛駅の人道渡線橋が完成し渡橋式が行われる。
- 26 道道西港線の星が浦立体交差橋が全面開通する。
- ・ 阿寒幼稚園新園舎が完成し、新町分園を富士見本園に統合する。

12 4 阿寒町長選で太田佐市が無投票3選を果す。

8 釧路海上保安部にヘリコプター搭載巡視船「そうや」が就役する。



【巡視船「そうや」と搭載ヘリコプターMH531号機】

- 12 幣舞橋彫像設置市民の会が『幣舞橋と道東の四季像』を発刊する。
- 13 市総合計画『快適都市くしろ』が議会に提出される。(翌年3月議決)
- 20 音別町「老人憩いの家」の落成式が行われる。



【音別町「老人憩いの家」】

- 20 市初の大規模鉄筋造児童館・鳥取西児童センターが開館する。
- 22 市議会が大型店出店1年間凍結を全会一致で議決する。
- 23 音別中学校が全焼する。

7 大平正芳内閣成立

17 OPEC、翌年石油価格を四段階で**14.5%**値上げ実施決定(第2次オイルショック)

(この年)

- ・ 200カリ規制での魚価高と円高により鮭鱒缶詰等の輸出が止まり、市内各缶詰工場が苦境に陥る。
- ・ 釧路港水揚量日本一が連続9年でストップする。(八戸に次ぎ2位)

(この年)

- ・ 円高・ドル安が進行、輸出産業不振ながら国際収支**165億3,400万ドル**の黒字
- ・ 物価指数、卸売マイナス**2.5%**・消費者**3.8%**
- ・ 経済成長率、実質**5.2%**・名目**10.2%**

昭和54年(1979)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>12 南埠頭共同防災センターの開所式が行われる。</p> <p>20 釧路精神薄弱者育成会の「はしどい作業所」開所式が行われる。</p> <p>24 音別町林業研修センターが落成する。</p> <p>27 第1回阿寒湖水上フェスティバルが開催される。</p>	<p>1 米中、国交回復</p> <p>13 国・公立大学共通1次試験、初実施</p> <p>17 国際石油資本、対日原油供給削減を通告</p>
2	<p>20 釧路湿原がラムサール条約に加盟する事が閣議決定される。</p>	<p>14 ダグラス・グラマン疑惑で国会喚問</p>
3	<p>15 釧路港が大麦輸入指定港となり、豪州産大麦が初陸揚げされる。</p> <p>30 福祉会館に増築した釧根地域婦人会館の落成式が行われる。 ・・ 釧路湿原の5,012haが国設鳥獣保護区、内3,833haが特別保護地区となる。 ・・ 桜が丘小の火災復旧分鉄筋校舎が完成する。</p>	<p>15 省エネ・省資源対策推進会議、石油消費5%節減などの対策決定</p> <p>28 米スリーマイル島原発で放射能漏れ事故</p>
4	<p>1 鳥取北10-9が全道一の宅地公示価格上昇率(10.6%)となる。</p> <p>1 婦人会館5階に釧路市消費生活センターが開設される。</p> <p>6 美原小・昭和小・桜が丘中の3校で開校式が行われる。</p> <p>8 道議選で、市部は岩崎守男・滝沢勉・浅川正敏・伊藤武一、管内は北村義和・若狭靖が当選する。</p> <p>16 北海道釧路養護学校が暁町に開校する。</p> <p>22 阿寒町(定員18名)・音別町(定員14名)議会議員選挙が行われる。</p> <p>29 第1回阿寒国立公園早春まつりが開催される。(～5/6)</p> <p>30 太平洋石炭販売輸送(株)が釧路臨港鉄道を吸収合併する。</p>	<p>8 道知事・道議選、堂垣内知事3選</p>
5	<p>2 イトーヨーカ堂が売場面積縮小で釧路全商連と合意する。</p>	<p>10 札幌地裁、道スモン訴訟患者側全面勝訴</p>
6	<p>3 石油不足でガソリンスタンドが日曜・祝日一斉休業を始める。</p> <p>7 港湾労働者福祉センターが西港に完成し、落成式が行われる。</p> <p>9 灯油問題危機突破釧路市民集会在栄町会館で開かれる。</p> <p>10 音別町町制施行20周年記念式典が挙行される。</p> <p>18 『久本春雄画集』が発刊される。</p>	<p>12 元号法公布</p> <p>22 エネルギー使用合理化法公布</p> <p>28 主要先進国首脳会議(東京サミット)開催</p>
7	<p>2 市消費生活係に「灯油110番」が開設される。</p> <p>16 第2次オイルショックで、市エネルギー対策本部が設置される。</p> <p>16 釧路市「道立地方美術館」誘致期成会の設立総会が開かれる。</p> <p>24 釧路ーソウル間に大韓航空の直行便が就航する。</p>	<p>2 国鉄、運輸相に再建基本構想提出(職員削減・地方線80線廃止・運賃値上げ等)</p> <p>17 防衛庁、第5次防衛力整備計画発表(北海道に機甲師団新設など)</p>
8	<p>8 釧路工業高が甲子園に初出場するも、初戦で敗退する。</p> <p>8 第1回釧路市「子どもの船」が出港する。(～14日)</p> <p>10 愛国ニュータウン内に美原野球場がオープンする。</p> <p>22 釧路市高齢者生きがい事業団の設立総会が開かれる。</p> <p>25 釧路市民文化振興財団の設立が道教委の認可を受ける。 ・・ 市役所屋上にNO_x自動測定器が設置される。</p>	
9	<p>12 柳町テニスコートが3面増設されて8面となり、ハウスが新設される。</p> <p>15 雄別中学校生阿寒湖遭難慰霊碑の除幕式が行われる。</p> <p>20 阿寒町富士見橋の架替工事が竣工し、渡橋式が行われる。 ・・ 十條・本州両製紙釧路工場で故紙再生プラントが操業開始される。</p>	


10	<p>2 釧路市エネルギー問題懇話会が発足する。</p> <p>13 第1回釧路市スポーツ賞・同奨励賞の授賞式が行われる。</p> <p>19 台風20号で韓国漁船3隻が釧路沖で遭難する。(死亡・不明67人)</p>	7 総選挙、自248・社107・公57・共39・民35
11	<p>1 柳町アイスホッケー場がオープンする。</p> <p>3 市民文化会館が完成し、落成式と札幌交響楽団・釧路合唱連盟の第9交響曲演奏会などが行われる。</p>  <p>【夜の釧路市民文化会館】</p> <p>9 北防波堤北灯台が初点される。(北防波堤灯台は同南灯台と改称)</p> <p>11 阿寒湖小学校の新校舎落成式が行われる。</p> <p>11 釧路市・鳥取町合併30周年記念式典が行われる。</p> <p>20 市消防本部が道内初の起震車「マグマ」の運用を始める。</p>	<p>9 第2次大平内閣成立</p> <p>18 国際陸連初公認の女子フルマラソン大会「第1回東京女子国際マラソン」開催</p>
12	<p>4 国立道東医科大学誘致期成会設立総会が開かれる。</p> <p>9 美原公設ショッピングセンターがオープンする。</p> <p>11 音別中学校が移転・新築(前年焼失)され、落成式が行われる。</p> <p>13 釧路交通遺児を励ます会の第1回バラソルコンサートが開かれる。</p> <p>23 国設阿寒湖畔スキー場がオープンする。</p>  <p>【国設阿寒湖畔スキー場ロッジ】</p>	<p>18 角膜及び腎臓の移植に関する法律公布</p> <p>18 北海道漁連、魚のカラ売りで100億円超す欠損判明</p>
(この年)		(この年)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 釧路港の水揚げ量が再び日本一となる。(平成3年迄連続13年) ・ 釧路空港の乗降客数が67万5千人となる。(平成2年迄での最高数) 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 石油高・円安により、卸売物価指数7.3%上昇、国際収支87億5,400万ドルの赤字 ・ 経済成長率、実質5.3%・名目8.5%

昭和55年(1980)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	20 全国高校スケート大会が釧路で初めて開かれる。(～23日)	9 根室のレボ船元締めら3人逮捕
2	16 レークブラシッド冬季五輪女子500mで、長屋真紀子(第一高卒)が五輪新で5位入賞する。	26 海上自衛隊、環太平洋合同演習(リムパック80)に初参加
3	1 駅西地区市街地再開発事業協議会が発足する。 7 阿寒町自然休養村管理センターがオープンする。  【浴室・サウナもある自然休養村管理センター】 29 浜町ポンプ場が完成し、通水式が行なわれる。 31 音別町「老人憩の家」内部を全焼する。(9/20復旧)	31 過疎地域振興特別措置法公布
4	1 阿寒町郷土資料館が旧公民館にオープンする。 7 興津小学校が開校する。 10 市勤労青少年ホーム(ステップ釧路)がオープンする。 11 北海道釧路北高校が、旧第一高校舎を改装して開校する。	1 釧路村に町制施行 25 政府、モスクワ五輪不参加を最終決定
5	1 北斗霊園の第1次募集(300区画)が始まる。 3 雄別鉄道廃止10周年記念式と鉄道記念碑除幕式が行われる。 19 釧路市単身老人声かけ運動がヤクルト宅配員の協力で始まる。 21 こばと学園とわかば整肢園(マザーズホームを改称)との釧路市中心身障害児療育センターの開所式が行なわれる。	27 韓国戒厳軍、光州市を武力制圧、死者多数(光州事件) 30 石油代替エネルギー-開発導入促進法公布
6	1 鶴丘に建設された身障者療養施設「丹頂の園」がオープンする。 17 釧路湿原の5,012haがラムサール条約登録湿地となる。 .. 釧路そうごデパートがオクノ釧路店に改称する。	12 選挙運動中の大平首相、急逝 22 初の衆参同日選、衆=自284・社107・公33・民32・共29、参=自69・社22・公12・共7・民5
7	2 大塚食品工業(株)釧路工場が竣工し、落成式が挙行される。  【大塚食品工業(株)釧路工場】 7 釧路市姉妹都市協議会の設立総会が開かれる。 22 釧路市生徒指導推進協議会の発会式が行われる。 28 岡山市友好親善使節団が来釧し、友好都市交流が始まる。	17 鈴木善幸内閣成立 19 モスクワ五輪開会、日・米・中・西独など65ヶ国がボイコット
8	1 ぬさまい公園に全国一大きい花時計が設置され、時を刻み始める。 15 雄別閉山10周年記念式と炭鉱記念碑除幕式が行われる。 18 第1回釧路市障害者福祉都市推進協議会が開かれる。	

	<p>27 「国立釧路医科大学誘致を成功させる会」が発足する。</p> <p>30 釧路地域水産物流通加工拠点整備事業推進会議が発足する。</p>	
9	<p>9 第1回釧路市ろうあ者成人学級の開講式が行われる。</p> <p>12 太平洋炭礦が創業60年記念で、炭礦資料館をオープンする。</p> <p>15 釧路郵便局の新庁舎が完成し、業務を開始する。</p> <p>17 市立病院で歯科診療が始められる。</p> <p>29 釧路地域産炭地振興協議会が道東火発候補地を西港に決める。</p>	<p>20 北海道沖の韓国船操業問題で日韓漁業交渉妥結</p> <p>25 知床横断道路(国道334号線)開通</p>
10	<p>1 市内住宅地の平均地価上昇率が道内主要都市第2位となる。</p> <p>11 釧路市ウタリ共同納骨堂が紫雲台に完成し、落成式が行われる。</p> <p>22 苫東厚真火発への太平洋炭専用運搬第1船が出港する。</p> <p>29 十條サービスセンターが新館をオープンする。</p> <p>30 旭地区再開発事業(10.6ha・42億円)の完工式が行われる。</p>	<p>1 第13回国勢調査、道人口 5,576,110人</p> <p>14 札幌地裁で伊達火発環境権訴訟判決、住民側敗訴</p>
11	<p>9 北海道新聞釧路支社の新社屋が黒金町に完成し移転する。</p> <div data-bbox="256 779 807 1155" data-label="Image"> </div> <p>【北海道新聞 釧路支社】</p> <p>20 阿寒市街の国道240号線拡幅事業(52年～23億円)が完了する。</p> <p>27 釧路市水産水処理協同組合(28社)が発足する。</p>	<p>27 電電公社、電話料の深夜割引開始</p>
12	<p>2 仁々志別小中学校の鉄筋新校舎が竣工する。</p> <p>14 昭和の学園橋が完成し、渡橋式が行われる。</p> <p>22 厚岸信用金庫音別支店が開設され、営業を始める。</p> <p>22 鳥取小学校が移転・新築され、引越が完了する。</p> <p>26 はしどい作業所とこぶし作業所が、新富士の釧路市福祉作業センター(元雇用促進事業団簡易宿泊所を改装)へ移転する。</p>	<p>27 国鉄経営再建促進特別措置法公布</p>
(この年)		(この年)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市立中学校区毎に、青少年健全育成の「校下連絡協」が結成される。(9～12月に山花を除く全10校区) ・ 北市(負債総額60億円)・安本(同55億円)進藤商店(同30億円)など、市内で大型企業倒産が相次ぐ。 ・ 阿寒湖畔「老人憩いの家」が建設される。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車生産1,104万台で世界第1位 ・ 石油高と戦後2番目の米凶作・冷害などで卸売物価指数17.8%・消費者物価指数8.0%上昇、国際収支107億4,600万ドルの赤字 ・ 経済成長率、実質4.3%・名目8.2%




昭和56年(1981)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>7 北斗にないて会館が完成し、落成式が行われる。</p> <p>14 釧路市農業生活センターが山花に完成し、落成式が行われる。</p> <p>16 釧路市早期療育相談室が療育センター内にオープンする。</p>	<p>6 閣議、「北方領土の日」を2月7日に決定</p> <p>22 警視庁、校内暴力対策会議を開催</p>
2	<p>5 第1回全国中学スケート大会(八戸市)で、鳥取中がアイスホッケーと女子スピード団体で優勝する。</p> <p>14 阿寒町長太田佐市が逝去する。(15・16日に町葬が行われる)</p> <p>21 拓殖銀行釧路南支店が閉鎖される。(7月に新橋大通支店開設)</p> <p>24 科学技術庁による「霧」の総合調査研究が3カ年計画で始まる。</p>	<p>7 初の北方領土の日(東京で全国大会)</p>
3	<p>18 阿寒町全域の電話が釧路市内扱いとなる。(市外局番0154)</p> <p>29 阿寒町長選挙が行われ、佐藤八夫が初当選する。</p> <p>29 阿寒町議会議員補欠選挙が行われる。(欠員1名)</p> <p>30 市教育研究所が千歳町へ移転・改築され、「釧路教育研究センター」と改称する。</p>	<p>1 新帯広空港オープン</p> <p>2 中国残留の日本人孤児47人、初来日</p> <p>16 臨時行政調査会(第2次臨調)発足</p>
4	<p>5 釧路歯科医師会館で休日緊急歯科診療が始まる。</p> <p>6 鶴野小学校が開校する。</p> <p>6 西港内の韓国籍沈船処理で、市長が訪韓し合意書に調印する。</p> <p>12 釧路地域文庫連絡会が『子どもと本のかけ橋』を発刊する</p> <p>24 市「スポーツリーダーバンク制度」が始まり、指導員・推進員が委嘱される。</p>	<p>9 米原潜当て逃げで貨物船沈没、死者2人</p>
5	<p>1 釧路初の夜間保育所が旭保育園2階にオープンする。</p> <p>8 音別川鮭鱒孵化場が改築され、落成式が行なわれる。</p> <p>11 市給食センターが完成(9日)し、中学10校の完全給食が始まる。</p> <p>28 「釧路プロジェクト推進連絡協議会」が発足する。</p> <p>30 釧路豊学校の新校舎・寄宿舎落成式が行われる。</p>	<p>25 障害に関する用語整理の法律公布</p>
6	<p>2 市総合福祉センターが完成し、落成式が行なわれる。</p> <p>13 第1回音別町史編さん委員会が開催される。</p>	<p>5 衆院外務委、非核3原則を国是とする決議</p> <p>11 食糧管理改正法公布(米穀通帳廃止)</p>
7	<p>3 北斗霊園の開園式が行われる。</p> <p>4 北大通商店街のパステルタウンがオープンする。</p> <p>8 イトーヨーカドー釧路店が開業する。</p>  <p>【イトーヨーカドー釧路店】 2005年から"セブン&アイ・ホールディングス"の看板に変わっている。</p> <p>11 柳町テニスコート3面の夜間照明施設が完成し、使用開始する。</p>	

<p>20 稲沢六郎の「釧路八重桜」が、開発新品種として農水省に登録される。</p> <p>【新品種「釧路八重」】 鶴ヶ岱・柳町公園等に群生している。</p> <p>22 市のコンピュータ・オンラインシステムが本格稼働を始める。</p> <p>26 音別町長選挙が行われ、今野宗一が4選を果たす。</p>		
<p>8 6 山花公園の冒険広場(10ha)がオープンする。</p> <p>8 村田公園(100ha、釧路町トリトウシ)が開園する。</p> <p>9 札響の野外演奏会「グリーンコンサート」が初めて釧路で開かれる。</p> <p>24 釧路市盲人ガイドヘルパー派遣制度がスタートする。</p>		<p>4 第7次石炭政策答申(国内炭年産2千万ト)</p>
<p>9 5 音別町「町民文化会館」の落成式及び祝賀会が開催される。</p>	 <p>【町民文化会館】 大ホールは300人収容</p>	<p>10 鈴木首相、現職初の北方領土視察</p>
<p>10 1 石勝線が開通し、釧路一札幌間が4時間59分に短縮される。</p> <p>2 釧路地域職業訓練センターが完成し、落成式が行なわれる。</p> <p>18 市長・市議(定数40名)選が行われ、鰐淵市長が再選される。</p> <p>28 北海道老人大学釧路校の開校式兼第1期生入校式が行われる。</p>		<p>16 北炭夕張新鉱でガス爆発、死者93人</p> <p>19 福井謙一京大教授、ノーベル化学賞決定</p>
<p>11 4 三代目久寿里橋が完成し、渡橋式が行われる。</p> <p>5 十條製紙釧路工場のデインクド(脱墨)パルプ2号マシンが稼働を始め、古紙利用が本格化する。</p> <p>10 太平洋炭砒の知人新鉱区竣工式が行われる</p> <p>14 市議会議長に神保一郎が選出される。</p>		<p>5 東京地裁、ロッキード事件偽証罪で小佐野賢治被告に有罪判決</p> <p>13 沖縄本島で新種の鳥発見、ヤンバルクイナと命名</p>
<p>12 14 三ツ輪運輸が西港第2埠頭に穀物サイロを完成させる。</p> <p>26 ダイエーの建設計画申請を、釧路支庁が不受理とする。</p>		<p>14 労働戦線の統一準備会発足(民間39単産)</p>
<p>(この年)</p>		<p>(この年)</p>
<p>・ 市内の灯油小売平均価格が5月に80円/リットルに急騰し、8月以降86～89円/リットルの高値安定となって、市民生活を圧迫する。</p>		<p>・ ガンが脳卒中抜き死因第1位(24%・17万人)</p> <p>・ 国際収支、3年ぶりの黒字(47億7千万ドル)</p> <p>・ 物価指数、卸売1.4%・消費者4.9%上昇</p> <p>・ 経済成長率、実質3.7%・名目7.0%</p>


昭和57年(1982)



月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	16 音別町市街地区(約1,200世帯)の行政区画改正が実施される。	26 東京地裁、ロ事件全日空6名に有罪判決
2	24 南浜ポンプ場が完成し、通水式が行われる。	8 ホテル・ニュージャパン火災、死者32人
3	10 市青少年問題協議会などが『釧路市子ども白書』を発刊する。 12 釧路地区酪農危機突破総決起大会が開催される。 20 釧路市民生協の売上高が百億円を突破する。(105億円・15%増) 27 白樺終末処理場が完成し、修祓式が行われ、稼働開始する。	26 北電共和・泊原発を電調審が承認
4	4 第1回阿寒ジュニアスラローム選手権大会が湖畔スキー場で開かれる。 6 武佐中学校と美原中学校が開校する。 10 阿寒町スポーツセンター(農業者トレーニングセンター)がオープンする。  【阿寒町スポーツセンター】 20 三ツ輪運輸と全農サイロが共同出資で釧路サイロ(株)を設立する。 23 運輸省航海訓練所の帆船「海王丸」が西港に停泊する。(～27日) 25 音別町町民温水プールがオープンする。  【音別町町民温水プール】 30 釧路地方総合開発促進期成会の湿原対策特別委員会が、保護区域拡大と国立公園指定等を要望する「基本見解」をまとめる。	1 500円硬貨発行
5	27 市タンチョウ保護増殖センター開設式が行われる。  【タンチョウ保護増殖センター】 動物園管理棟の右隣にある。	23 道ウタリ協会、「北方領土に先住権保留」を総会決議




<p>6 4 道内初の「一日通産局」が開かれ、大型店対策等が要望される。</p> <p>8 釧路刑務所が全面改築され、落成式が行われる。</p> <p>10 阿寒町市街地区町内会連合会が、まリモ国道グリーンベルトに5,200株のマリーゴールドを移植する。</p>	<p>8 東京地裁、ロッキード事件全日空ルートの佐藤孝行被告らに有罪判決</p> <p>12 北海道博覧会、14年ぶりに開幕(～8/22)</p>
<p>7 1 阿寒町町内会連合会が発足する。</p> <p>1 釧路地方気象台が10%単位の降水確率予報を始める。</p> <p>21 スワード市(米アラスカ州)で姉妹港提携調印式が行われる。</p>  <p>【スワード市長外53人の使節団との記念植樹(8/13市役所前庭)】</p> <p>27 バーナビー市へ初の親善学生交流団が出発する。(高校生10人)</p> <p>29 八千代市との第1回ブロンズ像友好少年野球交歓大会が行われる。</p>	<p>26 札幌市、スパイク使用冬季5ヶ月間に制限</p> <p>30 臨調の基本答申、3公社の分割・民営化等「増税なき財政再建」を建議</p>
<p>8 1 市制施行60周年記念式典が市民文化会館で行われる。</p> <p>1 第1回鮫島賞(道俳句協会)に鈴木青光句集『霧多布』が選ばれる。</p>	<p>24 公選法改正公布(参議院全国区に比例代表制導入)</p>
<p>9 1 釧路市夜間急病診療所で外傷救急部門の開設式が行われる。</p> <p>10 古今の釧根短歌集『釧根万葉集』(川村淳一編)が刊行される。</p>	<p>9 最高裁、長沼ナイキ訴訟で憲法判断回避</p> <p>24 閣議、臨調答申による「行革大綱」決定</p>
<p>10 8 千代ノ浦海岸が第1種漁港に指定され、漁港建設が決まる。</p> <p>9 市制施行60周年記念「出世坂」改修事業完成式が行われる。</p>  <p>【完成式のテープカット】</p>  <p>【改修された出世坂】</p> <p>20 第1回釧路市産業賞が6人に授与される。</p> <p>22 釧路熱供給公社の設立総会が開かれる。</p>	<p>9 北炭夕張新鉱閉山</p> <p>12 鈴木首相、退陣表明</p>

<p>11</p>	<p>1 財団法人・釧新教育芸術振興基金が設立される。</p> <p>4 世界野生生物基金(WWF)総裁の英エジンバラ公・フィリップ殿下が釧路湿原を視察される。</p>   <p>【左:WWF総裁歓迎レセプション(東京)の様子 右:エジンバラ公】</p> <p>15 特急「おおぞら」に初めて禁煙車輛が設けられる。</p> <p>18 鶴ヶ岱公園ひょうたん池に石組「晨(あした)の岬」が完成する。</p>  <p>【石組「晨(あした)の岬】</p> <p>21 サンアビリティーズくしろ(釧路市障害者教養文化体育施設)が完成し、開館式が行なわれる。</p>  <p>【鳥取南7丁目2番のサンアビリティーズくしろ】</p> <p>28 釧路赤十字病院が増改築され、8階建新病棟での診療が始まる。</p>	<p>15 FM北海道、札幌と旭川で本放送開始</p> <p>27 中曽根内閣成立</p>
<p>12</p>	<p>3 慈福寺の寺号公称が許可される。</p> <p>29 国立公園指定に向けた環境庁による釧路湿原緊急調査の58年度予算が認められる。</p>	<p>14 全日本民間労働組合協議会(全民協・41単産425万人)</p> <p>20 釧路地裁網走支部、「梅田事件」再審決定</p>
<p>(この年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の灯油小売平均価格が90円/リットル台で高止まりし、11月下旬には99円/リットルまで高騰し、100円/リットル台の店も出る。 		<p>(この年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際収支の黒字、68億5千万ドルに増大 物価指数、卸売1.8%・消費者2.7%上昇 経済成長率、実質3.1%・名目5.0%

昭和58年(1983)




月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>13 音別町民スケートリンク(スピード・IH・カーリングの3面)がオープンする。</p> <p>25 釧路工業高が全国高校スケート大会(盛岡市)アイスホッケーで初優勝する。(釧路勢は12年ぶり4度目)</p>	<p>9 中川一郎代議士、札幌のホテルで自殺</p> <p>19 中曽根首相、「日本列島不沈空母」発言</p>
2	<p>4 全国中学校スケート大会(軽井沢)アイスホッケーで、北中が優勝、鳥取中が準優勝する。</p> <p>5 商工会議所のフィッシャーマンズワーフ等米国視察団が出発する。</p> <p>6 NHK釧路開局45周年記念歌「釧路川」(作詩＝公募の園辺甲治、作曲＝船村徹)が発表される。</p> <p>21 4年制大学設立に向けた釧路市高等教育懇話会が発足する。</p>	<p>1 老人保健法施行(老人医療費有料化)</p>
3	<p>1 釧路科学友の会と青少年科学館が『釧路の科学』を発刊する。</p> <p>25 北大通商店街近代化推進委員会が発足する。</p> <p>28 おもちゃライブラリーが婦人会館にオープンする。</p> <p>30 市と十條・本州製紙が公害防止協定を改定(煤塵・Nox)調印する。</p>	<p>11 中標津空港でYS11機着陸失敗、52人負傷</p> <p>14 臨時行政調査会、行革に関する最終答申</p>
4	<p>1 財団法人「前田一步園財団」が発足する。</p> <p>1 道東勤医協釧路協立病院が治水町に開院する。</p> <p>5 はしどい作業所を法人化した「はしどい学園」が開園する。</p> <p>6 鳥取西中学校が開校する。</p> <p>8 釧路西高等学校が1学年6学級で開校する。</p>  <p>【釧路西高等学校】 星園・北高との統合で明輝高新設に伴い、平成21年3月に開校する。</p> <p>10 道議選で、市部は伊藤武一・岩崎守男・綿貫健輔・谷川英雅、管内は若狭靖・増井貞一郎が当選する。</p> <p>18 阿寒町名誉町民の前田光子が逝去し、27日に町葬が営まれる。</p> <p>24 阿寒町(定員18名)・音別町(定員14名)議会議員選挙が行われる。</p>	<p>10 道知事・道議選、横路孝弘初当選</p> <p>15 東京ディズニーランド開園</p> <p>16 北海道開拓の村オープン</p>
5	<p>23 釧路野菜類生産実験公社が設立される。</p> <p>24 釧路複合農業実験公社(後に開発公社と改称)が設立される。</p> <p>30 市社協の有料ホームヘルパー派遣制度がスタートする。</p>	<p>8 サラリーマン新党結成</p> <p>24 札幌市が5大都市入り(人口1,473,182人)</p> <p>26 日本海中部地震(M7.7)、死者・不明104人</p>
6	<p>1 釧路市スポーツ振興財団が発足する。</p> <p>1 釧路専門店会が日専連釧路会と改称する。</p> <p>5 阿寒湖ロータリークラブが結成される。</p> <p>.. 「阿寒町たんちょうマラソンコース」が日本陸連公認コースとなる。</p>	<p>6 国債発行残高100兆円超過</p> <p>26 参議選(初の比例代表)、自68・社22・公14 ・共7・民6</p>

<p>7 1 道管区行政監察局釧路分室が「行政苦情110番」を 8 環境庁の初の釧路湿原保全対策緊急調査が始まる。 14 釧路商工会議所が創立60周年記念式典を行なう。 24 大規模運動公園に市民球場と同附属球場がオープンする。</p>	<p>15 免田事件再審、死刑囚に初の無罪判決</p>
<p>8 5 石川啄木の歌碑が市内6カ所に 新設され、福祉会館前庭で除幕 式が行われる。</p> <p style="text-align: center;">うな浪 たが洵 うくも沙 がごも ときを きふる 旅は なりし しかな</p> <p style="text-align: center;">【旧釧路停車場(福祉会館前)歌碑】</p>  <p>9 第1回バーナビー市学生親善訪問団が来釧する。(～13日) 26 釧路市行政改革推進協議会が発足する。(10/12定年制の条例化 と退職手当の適正化等を答申) 30 道の調査でエキノコックス汚染確認地域に釧路市が指定される。</p>	<p>4 小樽のミツウマ倒産、負債総額203億円</p>
<p>9 4 春採アイスアリーナ(リンクは国際規格)が完成し、渡部絵美ら13人の プロ・フィギュアスケーターがオープンセレモニーに出演する。</p>  <p style="text-align: center;">【春採アイスアリーナ】</p> <p>14 釧路複合農業実験プラントが完成し、落成式が行われる。 20 社団法人釧路地方法人会が発足する。 25 第1回市長杯(シルバーカップ)ゲートボール大会が旭小で開かれる。</p>	<p>1 ソ連空軍機、領空侵犯の大韓航空機をサ ハリン沖で撃墜、死者269人 24 NHK「おしん」視聴率65%記録(朝ドラ最高) 26 道、冷害対策本部設置、1,500億円の被害</p>
<p>10 1 大規模運動公園の全天候型テニスコート8面がオープンする。 4 桜田橋が永久橋に架替えられ(五代目)、渡橋式が行われる。 5 第1回釧路市社会賞授与式が行なわれる。 9 第1回家庭婦人ソフトボール大会が北陽高グラウンドで開かれる。 26 複合農業開発公社で、循環農法によるシメジを初収穫する。 28 西港第2埠頭に穀物ニューマチック・アンローダーが設置される。</p>	<p>3 三宅島で大噴火、400戸焼失 12 東京地裁、ロ事件田中元首相に有罪判決 14 日本初の体外受精児出産(東北大病院) 22 国鉄白糠線廃止</p>

<p>11 1 大川下水ポンプ場が完成し、供用を開始する。</p> <p>2 市立博物館が春湖台に新築移転され、落成式が行われる。</p>  <p>【市立博物館(埋蔵文化財調査センター部分含)】</p>  <p>【訪れる度に新しい発見が見つかる魅力に富んだ展示】</p> <p>12 第2高山ゴミ最終処分場(16.5ha)の完工式が行われる。</p> <p>23 市議会議長に中村隆が深夜議会で選出される。</p> <p>24 山花橋が架替えられ(七代目)、渡橋式が行われる。</p> <p>25 西港第2埠頭に供用開始第1船が入港し、歓迎式典が行われる。</p>  <p>【供用開始された西港第2埠頭】 左に巨大な釧路サイロ(1期工事完了)、その右手前が赤色のニューマチックアンローダー</p> <p>30 市公民館の『釧路を歌おう、歌集』発表会が開催される。</p>	<p>7 明日香村キトラ古墳、ファイバースコープで石槨内に玄武の絵を確認</p> <p>9 レーガン米大統領訪日、ロン・ヤス会談で日米同盟・軍事力の強化を確認</p>
<p>12 3 共栄小学校が鉄筋校舎に改築され、落成式が行われる。</p> <p>5 音別郵便局新庁舎が竣工し、移転する。</p>	<p>18 総選挙、自250・社112・公58・民38・共26・新自ク8、(27.)</p>
<p>(この年)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 釧路港水揚量が日本初の100万トンを突破(114万トン)し、5年連続・14回目の日本一となる。 ・ 釧路署管内のサラ金で自殺・心中が10人、捜索願が67人となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際収支黒字、208億ドルで前年の3倍超 ・ 物価指数、消費者1.9%上昇・卸売▲2.2% ・ 経済成長率、実質3.2%・名目4.0%



昭和59年(1984)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>21 「アイヌ古式舞踊」(阿寒アイヌ民俗文化保存会と春採アイヌ古式舞踊釧路リムセ保存会外)が国の重要無形民俗文化財に指定される。</p>  <p>【アイヌ古式舞踊】</p> <p>23 北斗に釧路市湿原展望台(設計:毛綱毅曠)がオープンする。</p> <p>24 音別町社会福祉協議会の社会福祉法人化が認可される。</p> <p>25 市高等教育懇話会が「市立4年制文化系大学を」と答申する。</p> <p>25 短大附属高が市内開催の全国高校スケート大会アイスホッケーで、釧工高の二連覇を阻止して初優勝する。</p> <p>26 くしろ氷まつりで初めて「北海道氷彫刻コンクール」が開催される。</p> <p>28 たんちょう国体(~31日)開会式が行われ、皇太子ご夫妻が開会式にご出席される。</p>  <p>【開会式にご出席された皇太子(今上陛下)ご夫妻】</p> <p>29 皇太子ご夫妻が阿寒タンチョウ観察センターをご訪問される。</p> <p>31 開発埠頭の北埠頭線と臨鉄の十條・本州各専用線が廃止される。</p> <p>31 札幌鉄道郵便局釧路分局が廃止される。</p>	<p>5 中曽根首相、現職首相として戦後初の靖国神社公式参拝</p> <p>9 東証1部ダウ平均、初の1万円台</p> <p>18 三井三池有明鉱で坑内火災、死者83人</p>
2	<p>9 全国中学校スケート競技大会アイスホッケーで北中が二連覇、スピード男子総合で景雲中が優勝する。</p> <p>10 サラエボ冬季五輪スピードスケート500mで、北澤欣浩(北陽高卒)が銀メダルを獲得する。</p>	<p>12 植村直己、世界初のマッキンリー冬季単独登頂に成功、下山途中滑落死</p>
3	<p>11 釧路商業高校定時制課程の閉課式が行なわれる。</p> <p>12 第1回市民親善ミニバレーボール大会が開かれる。(~13日)</p> <p>23 第1回アジアジュニアアイスホッケー選手権大会が春採アイスアリーナで開かれ日・韓・豪・中が出場する。(~25日)</p>	<p>18 江崎グリコ社長、自宅から誘拐(その後「かい人21面相」を名乗る犯人が毒入り菓子を予告、グリコ・森永などを脅迫)</p>
4	<p>1 上徹別簡易郵便局が廃止される。</p> <p>1 釧路市スパイクタイヤ使用自粛指導要綱が施行される。</p>	

<p>5 10 「まちづくり市民委員会」が発足する。(9月19日、市長に「市総合計画に関する提言書」を答申)</p> <p>17 音別町「憩いの森」が完成し、森開き式を行う。</p>  <p>【憩いの森のライトアップされた夜桜】</p> <p>23 釧路佐藤総合学園が和議を申請する。(負債総額30億円)</p> <p>24 釧路市児童館母親クラブ連絡協議会が設立される。</p>	<p>12 NHK衛星テレビ放送開始</p> <p>25 国籍法・戸籍法改正(父母両系主義)公布</p> <p>27 北海道ウタリ協会、総会で「アイヌ民族に関する法律案～アイヌ新法～」を採択</p>
<p>6 2 (株)鎌倉ハムクラウン商会のハム工場が布伏内で操業を始める。</p> <p>8 鳥取百年館が完成し、開館記念式が行われる。</p>  <p>【鳥取百年館】 鳥取神社境内の鳥取城を模した百年館。左手は社務所と鳥取開拓記念館。</p> <p>9 鳥取開基百年記念式典が市民文化会館で行われる。</p> <p>20 釧路プロジェクト推進協が「フィッシャーマンズ・ワーフ」構想を発表する。 ・市道路台帳が64年ぶりに全面改定され、道路名が整理・変更された「釧路市道路台帳路線網図」が完成する。</p>	<p>30 平均寿命、男女ともに世界一(男74.20歳・女79.78歳)</p>
<p>7 25 阿寒湖畔ビジターセンター(環境庁)新館がオープンする。</p>  <p>【阿寒湖畔ビジターセンター】</p> <p>・昭和35年からの釧路西郊地区土地区画整理事業(新富士・本州・鳥取・大楽毛・星が浦北・西港臨海地区・1,347ha)が完了する。</p>	<p>28 ロサンゼルス五輪開幕、ソ連等15カ国ボイコット</p>

8	<p>6 釧路市の観測史上第1位となる最高気温31.0度を記録する。</p> <p>21 春採湖浄化総合対策プロジェクトが市役所内に発足する。</p> <p>25 音別町の「町営野球場」がオープンする。</p>	<p>8 臨時教育審議会(臨教審)設置法公布</p> <p>10 日本専売公社民営化関連4法、各公布</p>
9	<p>5 共和、中・下仁々志別の国営草地開発事業が完了する。</p>  <p>【阿寒町営下仁々志別牧場】</p> <p>8 市立釧路総合病院が移転新築され、落成式が行われる。</p> <p>13 第1回ママさんサッカー大会が寿小グラウンドで開かれる。</p> <p>22 「釧路市立大学設置を実現させる会」の設立総会が開かれる。</p> <p>・音別町総合計画(昭和59～68年度)が初めて策定される。</p>	<p>27 北電、泊原発の起工式実施</p>
10	<p>1 鳥取支所が農協ビル1階に移転し、業務を始める。</p> <p>7 大規模運動公園の芝生サッカー場がオープンする。</p> <p>10 鳥居省三著『異端の系譜』が北海道新聞文学賞に選ばれる。</p> <p>13 阿寒国立公園指定50周年記念式典が阿寒湖中で行われる。</p> <p>23 釧路スモン病訴訟で最後の1人が釧路地裁で和解する。</p> <p>25 熱供給公社の流動層石炭ボイラーが稼働開始する。</p> <p>25 大進スケートセンターが貝塚にオープンする。</p> <p>31 ニューオーリンズ市で釧路港との姉妹港提携調印式が行われる。</p>	<p>15 日高横断道路着工</p>
11	<p>1 新千円札裏面に、林田恒夫のタンチョウの写真が採用される。</p> <p>10 春採湖ヒブナ調査で、初めて大量の(237尾)生息が確認される。</p> <p>13 市スポーツ少年団(5種目・53団体・2,850人)設立総会が開かれる。</p> <p>22 市立図書館に「村上文庫」が開設される。</p> <p>24 愛国北部(芦野)土地区画整理事業の起工式が行なわれる。</p>	<p>1 日銀、15年ぶりに新札発行</p>
12	<p>1 国鉄根室本線釧一帯間の11駅が無人化・旅客業務委託となる。</p> <p>9 音別町社会福祉会館が完成し、落成式が行われる。</p> <p>9 第1回釧路・苫小牧アイスホッケー交歓大会が開催される。</p> <p>10 市総合計画(「快適都市くしろプラン」)が議会提案される。</p> <p>15 東日本学園大学が翌年4月撤退を音別町に申し入れる。</p>	<p>25 電電公社民営化関連3法、各公布</p>
(この年)		(この年)
<p>・釧路港の年間貿易額が初めて1千億円を突破する。(1,036億4千4百万円・前年比16.3%増)</p>		<p>・国際収支黒字の急増続く(350億300万^{ドル})</p> <p>・物価指数、消費者2.3%上昇・卸売▲0.3%</p> <p>・経済成長率、実質5.1%・名目6.4%</p>


昭和60年(1985)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>21 布伏内小学校改築工事が完了し、新校舎での授業が始まる。</p> <p>24 全国高校スケート大会(日光市)アイスホッケーで、釧路工業高が2度目の優勝。(釧路勢3連覇)</p>	<p>8 日本初の惑星間探査機「さきがけ」打上げ成功</p>
2	<p>3 全国中学スケート大会(市内)アイスホッケーで北中が3連覇する。</p> <p>17 釧路シャケの会が河口水中撮影を行ない、活動を開始する。</p>	<p>7 竹下登ら「創政会」旗揚げ、田中派分裂</p>
3	<p>11 「'85世界フィギュア・チャンピオンズエキシビジョン大会」が春採アイスアリーナで開かれ、ビット等世界トップ選手22人が演技する。</p> <p>13 音別町の農家・東乾司が「日本農業賞」を受賞する。</p> <p>14 鶴ヶ岱武道館の完成記念式典が行なわれる。</p> <p>17 阿寒町長選挙が行われ、佐藤八夫が再選される。</p> <p>30 春採・柏木両ポンプ場の落成式が行われ、供用開始する。</p> <p>31 第1回釧路剣道祭が鶴ヶ岱武道館で開かれる。</p>	<p>10 青函トンネル本坑(総延長世界最長)貫通</p> <p>17 科学万博つくば '85開幕(~9.16)</p> <p>22 厚生省、国内初のエイズ患者確認</p>
4	<p>1 市立病院の高等看護学院が3年制課程に切り替えられる。</p> <p>1 釧路飼料(株)が配合肥料工場を西港に完成し、操業を始める。</p> <p>27 阿寒湖アイヌ協会の「アシリ・オンネ・チセ」がオープンする。</p>  <p>【アイヌ古式舞踊が披露されるアシリ・オンネ・チセ】</p> <p>.. 市教委が鶴野小・緑陵中をパソコン学習モデル校に指定する。</p>	<p>1 日本電信電話株式会社(NTT)発足</p> <p>1 日本たばこ産業株式会社(JT)発足</p>
5	<p>3 核兵器廃絶平和都市宣言式が同実行委と市の共催で行われる。</p> <p>7 北洋サケマス漁業危機突破全国大会が副港で開かれる。</p> <p>10 釧路市春採湖審議会が発足する。</p> <p>28 毛綱毅曠が市立博物館等の設計で日本建築学会賞を受賞する。</p>	<p>17 三菱南大夕張鉱でガス爆発、死者62人</p>
6	<p>2 音別町開基70周年記念式典が挙行政され、町花が「エゾリンドウ」、町木が「ナナカマド」と制定される。</p>  <p>【右:町花「エゾリンドウ」 左:町木「ナナカマド」】</p> <p>14 釧路市水産加工振興センターの開所式が行なわれる。</p> <p>20 釧路がん検診センターが完成し、業務を始める。</p> <p>28 「釧路地区ボケ老人を抱える家族の会」設立総会が開かれる。</p>	<p>1 男女雇用機会均等法公布(翌年4/1施行)</p> <p>8 大鳴門橋(淡路島-鳴門市)開通</p> <p>18 豊田商事会長、報道陣の眼前で刺殺さる</p>
7	<p>2 大規模運動公園テニスコート8面の夜間照明利用が始まる。</p>	<p>5 労働者派遣事業法公布(翌年7/1施行)</p>

<p>16 音別町長・町議補欠(2名)選で今野町長が無投票5選を果たす。</p> <p>27 国際青年年グリーンアッセンブリー'85(26～28日・釧白工業団地)が開かれ、第1回となる「霧フェスティバル」が催される。</p>  <p>【第1回霧フェスティバルでのレーザーショー】</p>	<p>15 北海道立文書館、赤レンガにオープン</p> <p>17 最高裁、衆院議員定数訴訟で違憲判断</p> <p>26 国鉄再建監理委員会、最終答申(6分割・民営化など)提出</p>
<p>8 1 釧路駅構内の列車ホテル「ツーリング・トレイン」がオープンする。</p> <p>24 公募で無名坂の愛称が決まる。(久寿里坂・ひぶな坂・スカイロード)</p> <p>31 東日本学園大学が音別キャンパスを閉鎖する。</p>	<p>7 毛利衛、日本人初の宇宙飛行士に決定</p> <p>12 日航ジャンボ機、御巢鷹山に墜落し520人死亡、4人生存</p>
<p>9 7 新富士水産物地方卸売市場が開場する。(6日錦町魚市場閉鎖)</p> <p>8 釧路で32年ぶりの公式戦「ロッテvs日ハム」が行なわれる。</p> <p>20 第1回「釧路市高齢者健康まつり」が開かれる。</p> <p>25 音別町連合町内会が発足する。</p> <p>29 「くしろ湿原まつり」が広里から河畔公園へ会場を移して開かれる。</p>	<p>1 道交法改正公布(シートベルト義務化)</p> <p>5 文部省、日の丸掲揚・君が代斉唱実施率公表と実施徹底について初通達</p> <p>18 中期防衛力整備計画決定、GNP1%枠突破</p>
<p>10 7 釧路土現の新庁舎が完成し、業務を開始する。</p> <p>13 市長・市議(定数40名)選が行われ、鰐淵市長が3選される。</p> <p>17 釧路地区農業共済組合阿寒釧路支所が新築され、業務を始める。</p>	<p>1 第14回国勢調査、道人口 5,679,430人</p> <p>23 文部省、「児童生徒の問題行動実態調査」結果を発表(いじめ・登校拒否が激増)</p>
<p>11 3 山本多助が「北海道文化賞」を受賞する。</p> <p>14 市議会議長に本間正直が選出される。</p>	<p>23 動燃、幌延高レベル廃棄物施設の現地調査強行</p>
<p>12 11 新総合計画『快適都市くしろプラン』が議会に提案される。</p> <p>15 救急センター釧路市医師会病院が幣舞町に開院し、花園町の釧路市夜間急病診療所が廃止される。</p> <p>16 阿寒町の花に「スズラン」、木に「エゾヤマザクラ」が選定される。</p>  <p>【右:町花「エゾリンドウ」 左:町木「ナナカマド」】</p> <p>20 『音別町史』が発刊される。</p>	<p>28 郵便貯金残高、100兆円を突破</p>
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 東日本学園大学の撤退で音別町の人口が急減する。(国勢調査'80～'85で、4,392人が3,625人へ、767人・17.5%の減) ・ 釧路豊田商事被害者弁護団に223人が12億円の被害を届け出る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対外純資産1,298億ドル、英を抜いて世界一 ・ 物価指数、消費者2.0%上昇・卸売▲1.1% ・ 経済成長率、実質4.9%・名目6.4%



昭和61年(1986)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	1 音別町民憲章が制定される。	22 社会党大会、「新宣言」採択
2	15 二俣小中学校が改築され、落成式が行われる。	
3	20 道立釧路水試の仲浜町分庁舎(加工実験所)が完成する。	8 日米サケマス協議、段階撤退で合意
4	<p>1 阿寒湖畔特定環境保全公共下水道工事が完成し、供用開始する。</p>  <p>【阿寒湖畔 終末処理場】</p> <p>5 精薄者収容授産施設「さわらび学園」が駒牧に開園する。</p> <p>30 釧路フィッシャーマンズ・ワーフ推進委員会が発足する。</p>	<p>11 日ソ漁業交渉、漁獲割当75%削減で妥結</p> <p>26 ソ連チェルノブイリ原発事故、広範囲に深刻な放射能汚染</p> <p>29 クシロキングが天皇賞制覇</p>
5	<p>1 中音別簡易郵便局が廃止される。</p> <p>18 音別町第1回桜まつりが憩いの森で開催される。</p> <p>22 副港の「くしろ水産センター」(3階にマリントパス)がオープンする。</p>  <p>【くしろ水産センター (マリントパス)】</p>	<p>4 東京サミット開催(~6)</p> <p>8 英皇太子夫妻来日、「ダイアナ・フィーバー」</p>
6	<p>2 「釧路市商業近代化プロジェクト推進協議会」ががる。</p> <p>9 北陽高校が改築され、鉄筋新校舎での授業を始める。</p> <p>10 東中学校改築工事が竣工する。</p>   <p>【毛綱毅曠設計の東中学校校舎とメインホール】 平成16年4月弥生中と統合し「幣舞中学校」となる。</p>	10 臨時行政改革推進協議会、首相に「増税なき財政再建」を最終答申
7	<p>1 釧路空港のTDA東京線にエア・バスA300型機が就航する。</p> <p>1 複合農業実験公社しめじ栽培センターの竣工式が行われる。</p> <p>10 愛国ニュータウンが宅地造成部門の建設大臣賞を受ける。</p>	<p>6 衆参同日選、衆:自300・社85・公56・民26・共26・ク6、参:自72・社20・公10・共9・民5</p> <p>22 第3次中曽根内閣発足</p>




<p>8 7 釧路港東港区再開発調査委員会が発足する。 16 阿寒町殉公碑が鶴見ヶ丘公園に再建され、除幕式が行なわれる。 24 「石炭産業を守る釧路市民大会」が商工会館で開かれる。</p>	<p>12 新自由クラブ解党、自民党へ復帰 27 釧路地裁、「梅田事件」再審で無罪判決 (9/8検察側控訴断念、無罪確定)</p>
<p>9 1 第1回釧路市シルバーフェスティバルが開催される。(～29日) 10 本行寺の啄木資料室が一般公開を始める。 16 米町土地区画整理事業審議会が設置される。</p>	<p>8 社会党委員長に土井たか子就任</p>
<p>10 1 道農協乳業(株)根釧工場がよつ葉乳業(株)根釧工場と改称する。 4 阿寒町開基百年子供の集いが新設された「子供の森」で開催され、「みらいのとう」除幕式などが行われる。 5 阿寒町開基の碑除幕式と開基百年記念式典が挙行され、紀の丘神楽が町の無形民俗文化財に指定される。 6 市農業者トレーニングセンターが桜田に完成し、落成式が行われる。 10 『阿寒町百年史』が刊行され、町内全戸に配布される。 12 城山商店街など地域住民手づくりの秋祭りとして、第1回くしろコスモスフェアが鶴ヶ岱公園で開催される。 18 西港第2埠頭の石炭アンローダーが供用開始される。(平成4年に第3埠頭突端に移設される。) 30 釧路ガス(株)の8万立米球形ガスホルダーが完成する。</p>	<p>21 中曽根発言「日本は単一民族国家」問題化</p>
<p>11 1 サンライフ釧路(中高年齢労働者福祉センター)がオープンする。 1 釧一函館間直通特急「おおぞら」が釧一札幌間の運転となる。 8 芦野ニュータウン(34.4ha)の竣工式が行われる。 14 市議会に観光漁港推進特別委員会が設置される。 16 啄木の孫夫婦を招いて生誕百年祭が市立図書館で開かれる。</p>	<p>1 シートベルト着用義務化スタート 21 三原山大噴火、島民ら12,300人船で脱出 27 三菱高島鉱、閉山 28 第8次石炭政策審答申(国内炭の生産縮小・閉山促進)</p>
<p>12 1 市が「潤いのあるまちづくり優良自治体大臣表彰」を受ける。 2 阿寒町と熊本県阿蘇町が姉妹都市提携を調印する。 5 市が特定地域中小企業対策臨時措置法の指定地域となる。 8 釧路港の東と西を結ぶ西港大橋が完成し、開通式が行われる。</p>  <p>【西港大橋開通式。車での渡り初め】</p>	<p>4 国鉄分割民営化関連8法案公布</p>
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<p>・ 本州コーポレーション釧路工場の第2期改良工事により、同工場の年間紙生産量が50万ト、台となる。</p>	<p>・ 円高・国際収支黒字(858億ドル)急増続く ・ 物価指数、消費者0.6%上昇・卸売▲9.1% ・ 経済成長率、実質2.5%・名目4.4%</p>



昭和62年(1987)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>15 阿寒町開基百年記念記録映画が作成され、町民に公開される。</p> <p>20 釧路湿原関係市町村(1市2町1村)連絡協議会が設立される。</p>	
2	<p>20 釧路公立大学事務組合(10市町村)が道から設立認可される。(4月1日に発足)</p>	<p>9 NTT株上場、初値160万円</p> <p>23 公定歩合2.5%へ、「超低金利時代」開始</p>
3	<p>27 大楽毛下水道終末処理場が供用を開始する。</p>	<p>14 日本の南氷洋商業捕鯨終焉</p>
4	<p>1 釧路市シルバー人材センターが設立される。</p> <p>1 北海道旅客鉄道(株)釧路支店が営業開始する。</p> <p>1 阿寒町野球場が開設される。</p> <p>12 道議選で、市部は岩崎守男・綿貫健輔・谷川英雅・伊藤武一、管内は若狭靖・佐藤寛一が当選する。</p> <p>15 (財)釧路市公園緑化協会が発足する。</p> <p>21 阿寒町議選が告示され、18名が無投票当選となる。</p> <p>26 音別町(定員12名)議会議員選挙が行われる。</p>	<p>1 JRグループ各社開業、国鉄清算事業団発足</p> <p>12 道知事・道議選、横路孝弘再選</p> <p>25 与野党の税制改革協議会発足(27.売上税法廃案)</p>
5	<p>9 新川小学校が改築され、全児童が新校舎に移る。</p> <p>24 阿寒町営球場がオープンする。</p>	<p>3 朝日新聞阪神支局襲撃、記者死傷</p>
6	<p>4 全国ろうあ者大会(第36回)が釧路で初めて開催される。(～7日)</p>	<p>9 リゾート法公布・施行</p>
7	<p>10 阿寒町公民館が改築され、落成式が行なわれる。</p>  <p>【阿寒町公民館：図書室・大ホールなどを備えている】</p> <p>18 春採湖畔で自生しているヒカリゴケが発見される。</p> <p>31 釧路湿原国立公園誕生が官報告示される。</p>  <p>【釧路湿原国立公園誕生】 国立公園指定書が掲示されると同時に市庁舎正面に垂れ幕が掲げられ、祝賀風船200個が飛ばされた。</p>  <p>【釧路湿原】 4市町村に跨る26,861ヘクタールが指定された。</p>	<p>4 自民党竹下派「経世会」結成</p> <p>14 三井砂川炭鉱閉山</p>



8	<p>6 釧路—札幌間高速バス「スターライト釧路号」が運行開始する。</p> <p>22 鶴ヶ岱公園に日本庭園が造成され、贈呈式が行われる。</p>	
9	<p>7 釧路湿原国立公園指定記念式典が市民文化会館で挙行される。</p> <p>9 (株)音別町振興公社設立総会が開催される。</p> <p>27 大規模運動公園内に釧路市民陸上競技場(全天候型日本陸連第2種公認施設)及び同附属競技場が完成する。</p>  <p>【釧路市広里の大規模運動公園】</p>	<p>6 第1回北海道マラソン開催</p>
10	<p>1 釧路湿原国立公園管理事務所が幸6ビル3階に開設される。</p> <p>9 仁々志別川の不二橋(四代目)が完成し、渡り初めが行なわれる。</p> <p>12 市の印鑑登録手帳が磁気カードに代えられる。</p> <p>17 道知事が国立釧路医科大学の誘致断念を表明する。</p>	<p>7 第1回ツール・ド・北海道開幕</p> <p>12 利根川進、ノーベル医学・生理学賞受賞</p> <p>19 NY株式市場大暴落(ブラックマンデー)</p> <p>20 東京株式市場、戦後最大の暴落</p>
11	<p>4 阿寒町老人健康増進センター(屋内ゲートホール場)がオープンする。</p> <p>7 市立博物館が第40回北海道新聞文化賞を受賞する。</p> <p>23 阿寒町第九を歌う会と道響外による第九演奏会が開かれる。</p> <p>27 「'87NHK杯国際フィギュア競技大会」が、春採アイスアリーナで開かれる。(～29日)</p>  <p>【'87NHK杯国際フィギュア大会 オープニングラン】</p> <p>.. 阿寒湖畔有線放送が完成する。</p>	<p>6 竹下登内閣成立</p> <p>20 全日本民間労働組合連合会(連合)結成、同盟と中立労連解散(19日)</p>
12	<p>1 大規模小売店のホクホー釧路店(釧路町)が開店する。</p> <p>17 雌阿寒岳防災対策連絡協議会(3支庁・6町外)が発足する。</p> <p>28 公園緑化協会事務所が春採公園内に完成する。</p>	<p>15 公文書館法公布</p>
(この年)		(この年)
	<p>.. 釧路港水揚量ピークの133万ト_ンで9年連続日本一となる。</p>	<p>.. 円高進行(年末1^{ドル}=123円)、国際経常収支黒字870億1500万^{ドル}、対米貿易収支568億^{ドル}の黒字で日米貿易摩擦深刻化</p>

昭和63年(1988)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>21 石川啄木来釧80年を記念し、「くしろ啄木一人百首」かるた大会が行われ、「釧路啄木研究学会」が発足する。</p>  <p>【くしろ啄木一人百首】</p>	<p>4 円相場、戦後最高の1ドル=120円45銭</p>
2	<p>20 青柳徹(釧短附高卒)がカルガリー冬季五輪スピードスケート1,500mで、5位(日本新)入賞する。</p>	
3	<p>7 道立タンチョウ記念館誘致促進期成会が設立される。 11 美原小分離新設校団地内建設の住民陳情が不採択となる。 13 JR武佐駅が開設される。 30 フィッシャーマンズ・ワーフが全国2番目の「民活法」事業に認定される。 ・・ 市の昭和62年度観光客入込数が初の百万人台となる。(109万人)</p>	<p>13 青函トンネル開業、青函連絡船終航 18 東京ドームがオープン</p>
4	<p>5 市小学校給食センターが完成し、落成式が行なわれる。 14 釧路公立大学一期生266名の入学式が行われる。</p>  <p>【釧路公立大学一期生入学式の様子】</p>	<p>1 少額貯蓄非課税制度(マル優)、原則廃止 6 道教委・北教組交渉で主任制合意 9 奈良県藤ノ木古墳第2次調査開始 10 瀬戸大橋(道路・鉄道併用橋としては世界最長)開通</p>
6	<p>16 釧路販売士協会の設立総会が開かれる。 19 第71回市民運動会が会場を市民陸上競技場へ移して開催される。 23 阿寒町「高齢者等いきがいセンター」が発足する。 25 丹頂の里に「炭鉱と鉄道館 雄鶴」が移転・新築され、落成式が行われる。</p>  <p>【炭鉱と鉄道館 雄鶴】 雄別炭礦の資料が展示され、裏手には雄別鉄道のSLがある。</p>	<p>3 道主催「世界・食の祭典」開幕 14 自民党税調、一般消費税3%導入を決定</p>

<p>7 17 音別パークゴルフ場が完成する。</p>  <p>【音別パークゴルフ場】 27,252㎡の広大な良コースとして好評を博す。</p> <p>30 愛国西土地地区画整理事業(104ha.68億円)が完了する。</p> <p>31 釧路市朝市協同組合の新共同店舗がオープンする。</p>	<p>5 リクルート事件、政・官界へ波及</p> <p>9 青函博覧会、函館・青森で開催</p> <p>20 新千歳空港オープン</p> <p>23 東京湾で海上自衛隊潜水艦と釣り船衝突 30人が死亡(8.24.防衛庁長官引責辞任)</p> <p>23 JR釧網本線釧路湿原駅開業</p>
<p>8 12 釧路戦災記録会が『改訂版 釧路空襲』(全1巻)を発刊する。</p>	<p>1 道知事、旧土人保護法廃止・アイヌ新法(仮称)制定を政府に要請</p>
<p>9 5 釧路商工会議所が道東経済センタービルでの業務を開始する。</p> <p>14 阿寒の地熱開発調査が始まり、ピリカネップで開坑式が行われる。</p> <p>23 第1回釧路湿原フェアが釧路川右岸緑地で開催される。(～25日)</p>	<p>17 ソウル五輪、開幕(～10.2)</p> <p>19 天皇陛下が大量吐血、緊急入院</p>
<p>10 8 釧路エンジニアリングセンターの新工場が落成する。</p> <p>9 音別町体育協会設立30周年記念式典が挙行される。</p> <p>22 共栄中学校が改築され、校舎落成式が行なわれる。</p> <p>24 釧路公立大とサイモンフレイザー大(加)が姉妹校提携を調印する。</p>	<p>17 北電の泊原発、試運転開始</p> <p>19 東京地検、リクルート本社等強制捜査</p>
<p>11 2 山本多助が文部省の「地域文化功労者」に選ばれ、表彰を受ける。</p> <p>3 JR新大楽毛駅が開設される。</p> <p>10 釧路一根室間直通バス「特急ねむろ号」が運行を始める。</p> <p>10 貝塚大橋が完成し、渡り初めが行なわれる。</p> <p>15 市議会議長に割方祥一が選出される。</p> <p>15 「釧路食糧備蓄基地研究会」が発足する。</p>	<p>29 ふるさと創生政策により全市町村へ一律1億円の交付金配付方針決定</p>
<p>12 1 阿寒湖畔トレーニングセンターが完成し、スケートリンク・多種目競技場との阿寒湖畔スポーツ広場がオープンする。</p>  <p>【阿寒湖畔トレーニングセンター】</p>	<p>3 道議会、泊原発道民投票条例案を否決</p> <p>7 本島長崎市長、天皇の戦争責任発言</p> <p>30 税制改革関連6法(消費税導入)公布</p>
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<p>・ 釧路港の水揚量が126万7千トﾝで連続10年日本一となる。</p>	<p>・ 対外資産残高、1兆4693億ドルで英を抜き世界1位</p>

昭和64年・平成元年(1989)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>11 ラムサール条約締結国会議誘致期成会が設立される。</p> <p>20 全国高校スケート大会(軽井沢)アイスホッケーで釧工・江南が優勝・準優勝を分ける。</p>	<p>7 昭和天皇崩御、皇太子明仁親王即位</p> <p>8 「平成」と改元</p>
2	<p>15 阿寒町の新「地域防災計画」が完成し、町防災会議が承認する。</p>	
3	<p>19 阿寒町長選挙で、現職を破り、月舘俊松が初当選する。</p> <p>20 ソ連政府が、違反操業により全北転船27隻の許可取消しを通告し、水産庁は釧路などへの全船帰港を命令する。</p> <p>25 米町下水ポンプ場が始動する。</p>	
4	<p>1 富良野あさひ郷「おんべつ学園」が旧東日本学園にオープンする。</p> <p>5 美原小分離校の芦野小学校が開校する。</p> <p>8 阿寒町サークルハウス赤いベレーがオープンする。</p>  <p>【温泉浴場、レストラン、宿泊、サイクリングセンターの「赤いベレー」】</p> <p>10 阿寒町消費者協会が発足する。</p> <p>29 鶴ヶ岱公園に茶室「鶴翔庵」が完成し、オープンする。</p>	<p>1 消費税実施</p> <p>25 竹下首相リクルート疑惑で退陣表明</p> <p>29 JR標準線廃止</p>
5	<p>15 東邦交通が「くしろバス」へ社名変更する。</p>	
6	<p>1 釧路市が「スポーツ都市宣言」を行う。</p> <p>1 市漁協などが共同して釧路沖海底を清掃する。(～3日)</p> <p>10 ラムサール条約国内登録湿地関係市町村会議で「湿原サミット釧路宣言」が採択される。</p> <p>11 音別町制施行30周年記念式典が挙行される。</p> <p>26 日本語学校飛鳥学院阿寒校が布伏内中の空き教室で開校する。</p>	<p>2 宇野宗佑内閣成立</p> <p>3 北京で「天安門事件」、死者数百人</p> <p>4 ふるさと銀河線(北見一池田140km)開業</p> <p>22 北電泊原発1号機営業運転開始</p>
7	<p>4 音別町ふるさと創生事業が選定される。(日本一明るい街・ふるさと創生基金・駅前広場)</p>  <p>【ふるさと創生基金で研究開発されたアイスクリームを売る「この街愛すの店」】</p> <p>7 日ソ合弁レストラン「くしろ」がサハリン州ホルムスク市内に開店する。</p>	<p>23 参院選、社46・自36・連合11・公10・共5で与野党議席数逆転</p> <p>24 宇野首相、参院選大敗で退陣表明</p>

- 11 音別町長選挙が告示され、無投票で今野町長**6**選となる。
- 14 フィッシャーマンズ・ワーフ**MOO・EGG**がオープンする。
- 23 釧路市消防百年記念式典が釧路市民文化会館で挙行される。
- 26 鳥取ドームが鳥取十号公園にオープンする。



【「全天候型克寒体育館」の鳥取ドーム】

- 31 浜釧路駅が閉鎖となり、貨物業務は新富士駅へ移管される。

- 8 1 釧路市開基**120**年、釧路開港**90**周年、釧・鳥合併**40**周年記念式典が市民文化会館で挙行される。
- 12 世界先住民会議が道東経済センターで開催され(7日から札幌市と平取町、**12**～**14**日釧路市)、**17**カ国・地域の先住民が参加する。
- 22 鹿児島県出水市と釧路市の友好都市提携が調印される。
 - .. 阿寒小学校が自然愛護運動で「前田一步園賞」を受賞する。
 - .. 阿寒町総合運動公園、多目的広場が使用開始される。

- 9 海部俊樹内閣成立

- 9 3 はまなす国体・夏季大会ボウリング競技会が開催される。(～6日)
- 21 豊漁魚価安のサンマ漁で史上初の**24**時間臨時休漁を実施する。
- 22 幣舞橋架橋**100**年記念式典が挙行される。

- 29 北炭幌内坑が閉山、全国の稼働炭鉱7山に減少

- 10 2 **JR**大楽毛駅舎が改築オープンし、大楽毛支所が入居する。
- 15 市長・市議(定数**40**名)選が行なわれ、鰯淵市長が**4**選を果たす。

- 20 北海道脱スパイク推進条例が可決、成立

- 11 14 市議会議長に西山百治が選任される。
- 23 ダイエー釧路店が貝塚**3**丁目にオープンする。

- 10 「ベルリンの壁」が取り壊される
- 21 総評が解散、「連合」結成

- 12 1 釧路空港の**2,300**m滑走路が供用開始される。




- 29 東証平均株価史上最高値の **38,915**円


- 28 旧田村邸が「米町ふるさと館」としてオープンする。



【米町ふるさと館】左:外観 右:展示の様子



平成2年(1990)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>19 阿寒町議会で「ふるさと創生基金条例」が議決される。</p> <p>22 阿寒町立学校給食センターが改築され、給食業務を開始する。</p>  <p>【給食センターでの調理業務】</p>	<p>13 共通1次試験に代わる大学入試センター試験、初実施(～14日)</p> <p>18 天皇戦争責任発言の本島・長崎市長が右翼に銃撃され重傷</p>
2	<p>27 市、支庁、土現、教育局による「春採湖環境保全推進協議会」が発足する。</p>	<p>1 連合北海道が発足</p> <p>18 総選挙、自275・社136・公45・共16・民14</p>
3	<p>2 国道44号線旭バイパスが12年がかりの工事を終え開通する。</p> <p>29 協同組合くしろデパートが愛称「KOM」として新装開店する。</p>	<p>27 三菱南大夕張炭鉱閉山</p>
4	<p>1 エアー・ニッポンが釧路一丘珠線を開設する。</p> <p>1 音別町市街地字番地が改正される。</p> <p>1 「おんべつ学園」の授産施設「第二おんべつ学園」が開園する。</p> <p>7 「第二おんべつ学園」のレストラン「おんとびあ」が開店する。</p> <p>10 北斗に精神障害者通所授産施設「いずみの里」が開所する。</p> <p>11 阿寒町酪農ヘルパー利用組合が設立される。</p> <p>12 日栄総合技術専門学校(自動車整備科・介護福祉科)が開校する。</p> <p>20 昭和3年築の旅館「たかの」が解体される。</p>  <p>【旅館「たかの」】 唐破風造りの玄関構えや家具などが市教委により保存されている。</p> <p>20 元清算事業団職員の「解雇撤回・JR復帰を求める国労釧路地本闘争団」(釧路64名・十勝24名)が結成される。</p>	<p>1 国鉄清算事業団1,051人解雇(道内525人)</p> <p>10 北海道脱スパイク条例により、道東地区が初の規制期間入り(～11月20日)</p>
5	<p>1 23年振りの統一メーデーが幸町公園で開催される。</p> <p>16 西港の新フェリーターミナルが完成し、初入港の新造フェリー「サブリーナ」の甲板で竣工式が行なわれる。</p>  <p>【フェリー「サブリーナ」】</p> <p>30 日本語学校飛鳥学院阿寒校で2期生の入学式が行われる。 .. 阿寒町手作りチーズ研究会が発足する。</p>	

<p>6 1 ハイビジョンシティ・フォーラムが市民文化会館で開催される。</p> <p>6 阿寒町浄水場が布伏内に完成し、本格運転を開始する。</p> <p>17 雄別炭鉱閉山20周年記念「雄別の集い」が開催される。</p>	<p>13 北電泊原発2号機の試運転スタート</p> <p>26 札幌でPMF(パシフィック・ミュージック・フェスティバル)開幕</p>
<p>7 4 ラムサール条約締結国釧路会議1993年6月開催が決定する。</p> <p>10 しゃも寅の井戸が建設省の「手づくり郷土賞」を受賞する。</p> <p>29 鳥取コミュニティ・センター「コア鳥取」がオープンする。</p>	
<p>8 7 「あかんランド丹頂の里」にバンガロー5棟がオープンする。</p>  <p>【5人用のログハウス風バンガロー】</p> <p>17 阿寒町の姉妹都市阿蘇町の小中学生が来町し、初の子ども交流が行なわれる。</p>	<p>2 イラク軍、クウェートに侵攻</p> <p>24 戦後初の択捉島上陸含む北方墓参団の第一陣根室港を出発</p>
<p>9 5 釧路湖陵高校の新校舎が緑ヶ岡に完成する。</p> <p>15 FM北海道釧路局が開局する。</p> <p>23 尺別炭鉱閉山20周年の集いが音別町文化会館で開催される。</p> <p>23 「あかんランド丹頂の里」にBMX用サイクルパークがオープンする。</p> <p>24 「北の文化会議'90釧路」が釧路公立大学で開催される。</p>	
<p>10 1 姉妹都市ホルルムスク市へ「市民交流の船」が出発する。</p> <p>1 阿寒町総合運動公園多種目競技広場がオープンする。</p> <p>6 柏木小学校の新校舎・屋体が竣工する。</p> <p>8 「マリモ保護会創立40周年記念シンポジウム」が湖畔で開かれる。</p> <p>15 市内全小中学校で地場産品を使った「ふるさと給食」週間始まる。</p> <p>22 「石炭(やま)と産炭地域(まち)を守る釧路市民大会」がキャッスルホテルで開かれ、市民約2千人が参加し、中央陳情団を送り出す。</p> <p>30 西港第3埠頭が供用開始し、第1船が接岸する。</p>	<p>1 第15回国勢調査実施</p> <p>1 東証株価、3年7ヶ月ぶり2万円割れ、「バブル経済」崩壊へ</p> <p>10 「感動市場」、全道7市で開催(～25日)</p>
<p>11 .. 「脱スパイク」の為、富士見坂等がロードヒーティング化される。</p>	<p>8 国連平和協力法案、廃案決定</p>
<p>12 1 管内10市町村による「釧路広域市町村圏事務組合」が発足する。</p> <p>12 新総合計画「快適都市くしろプラン輝き21」が議会に提案される。</p> <p>12 市とカムチャッカ州が合弁企業「カムカイドウ」設立で合意する。</p> <p>15 山花小中学校が全市域から入学可能な「特認校」となる。</p> <p>26 鶴見橋(道々釧路環状線)部分使用(片側2車線)始まる。</p>	
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<p>.. 釧路港の輸・移出入貨物量が初めて2千万トンを超える。</p>	<p>.. 大学・短大入学者数、女子が男子を上回る</p>

平成3年(1991)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
	<p>14 釧路市農協の釧路湿原国立公園内原野所有権移転の届出書を、釧路支庁が返戻する。</p> <p>21 文苑土地区画整理事業の起工式が行なわれる。</p> <p>22 釧路保健所が「ハートダイヤル」を開設し、心の健康相談を始める。</p> <p>26 連合釧路地協が発足し、初代議長に鈴木勉が就任する。</p> <p>29 市都市計画審議会で市街化区域の拡大を決定する。(文苑・愛国・昭和など13地区、295ha)</p> <p>.. 阿寒町老人憩の家「旭町寿の家」がオープンする。</p>	<p>17 湾岸戦争勃発</p>
2	<p>5 鳥取中が全国中学スケート大会アイスホッケーで2連覇を遂げる。</p> <p>13 釧路市土地開発公社への旧浜釧路駅跡地売却が決定する。(フィッシャーマンズ・ワーフの第2次計画用地)</p> <p>20 釧路市が「暴力追放・防犯都市」を宣言する。</p> <p>22 釧路消費者協会などがシンポジウム「紙・缶・ビンの回収についてみんなで話し合う会」を開催する。</p> <p>25 ラムサール条約締結国釧路会議地域推進委員会が発足する。</p> <p>.. 消防阿寒湖支署新庁舎で業務が開始される。</p>	<p>9 関西電力美浜原発事故起こる</p>
3	<p>3 布伏内コミュニティセンターがオープンする。</p> <p>8 市が議会で清算事業団から「武佐の森」を取得する方針を示す。</p> <p>11 皇太子殿下が初めて来釧し、市立博物館、湿原展望台、阿寒町赤いベレー、タンチョウ観察センターなどを訪問する。(～12日)</p>  <p>【タンチョウ観察センターご訪問中の皇太子殿下】</p> <p>29 道議選の管内で、若狭靖・佐藤寛一が無投票当選となる。</p> <p>.. 市の平成2年度観光客入込数が初の200万人台となる。(210万人) 釧路管内総数も初の900万人台。(929万人、内阿寒町150万人)</p>	<p>28 環境庁、スパイクタイヤ禁止地域に札幌圏を指定</p> <p>7 衆議院石炭対策特別委員会、産炭地域振興臨時措置法の10年延長決定</p>
4	<p>1 釧路短大附属高校が「釧路緑ヶ岡高校」へ校名変更する。</p> <p>7 道議会議員選で、市部は綿貫健輔・岩崎守男・伊藤武一・谷川英雅が当選する。</p> <p>15 新運転免許試験場が大楽毛北1に完成し、業務を開始する。</p> <p>18 道教委の「生涯学習のまちづくり百選」に市の「コスモス街道づくり」、「移動天文台」、「遠隔地探鳥会」が選ばれる。</p> <p>21 阿寒町議(定数16名)、音別町議(定数12名)選挙が施行される。</p>	<p>7 道知事・道議選、横路知事3選</p> <p>12 北電泊原発2号機営業運転を開始</p> <p>26 自衛隊掃海艇、ペルシャ湾へ向け出港</p>

	<p>26 阿寒湖畔アイヌ生活記念館「ポンチセ」がオープンする。</p>  <p>【ポンチセ】 アイヌ民族の昔の生活用具などを展示している。</p>	
5	<p>1 阿寒町商工会がハンドイ香水試作品の原価提供を始める。</p> <p>22 産炭地6市3町による石炭存続を求める東京集会が開かれる。</p>	<p>19 雲仙普賢岳噴火、火砕流・溶岩流発生(6月3日、火砕流で死者42人・重軽傷454人)</p>
6	<p>9 鳥取神社創祀百年記念式典が開かれる。(三笠宮寛仁親王出席)</p>  <p>【鳥取百年館の展示室で説明を受ける三笠宮ご夫妻】</p>	<p>7 石炭鉱業審議会、第9次石炭政策答申</p>
7	<p>9 釧路港飼料用穀物輸入量100万t/年突破祝賀会が開かれる。</p> <p>20 春採湖ネイチャーセンターがオープンする。</p> <p>25 釧路公立大、サイモンフレーザー大、キャピラノ大の日加3校の姉妹校協定の調印式が行われる。</p> <p>27 日ソ合弁企業「カムカイドウ」の設立を水産庁が承認する。 .. フィッシャーマンズワーフ構想とシンボルロード事業が「地域活性化貢献賞」に選ばれる。</p>	<p>17 上砂川町の旧三井砂川炭鉱の立坑を利用した無重力実験センターがオープン</p>
8	<p>25 第1回音別町健康まつりが町民文化会館で開催される。</p> <p>26 シメジ生産の第3セクター、釧路複合農業開発公社が約7億円の負債を抱えて解散する事が株主総会で決定される。</p>	
9	<p>5 山花・美濃開拓百年記念式典が開かれ、記念碑を建立する。</p> <p>9 市の在宅高齢者緊急通報システム「もしも」がスタートする。</p> <p>22 米町公園と佐野碑園の竣工式が行われる。</p>	<p>3 釧路町の人口、2万人を突破</p>
10	<p>1 市の情報公開制度がスタートし、市政情報コーナーが開設される。</p> <p>4 フィッシャーマンズワーフ計画推進地区が建設省の都市景観大賞(景観形成事例部門)に選ばれる。</p> <p>5 貝塚跨線橋が完成し、貝塚光和通が全面開通する。</p> <p>18 武富稲荷の創祀百年記念祭が開催される。</p>	<p>.. エゾシカの農林業被害全道で20億円を超え史上最高。</p>
11	<p>7 阿寒町フレバツ岳でNEDOが有望な地熱層を発見する。</p>	<p>5 宮沢喜一内閣成立</p>

10 釧路空港供用開始30周年を祝う「くしろエアポートフェスティバル」が開催される。

15 市議会議長に菅原博且が選任される。

20 阿寒町「ネイチャーハウス」が湖畔スキー場入り口に完成する。

・ 全日本人文字コンテストで阿寒町の「タンチョウの愛情物語」がグランプリを受賞する。



【コンテストで大賞に輝いた人文字「タンチョウの愛情物語」】

12 2 興津下水ポンプ場が運転を開始する。

20 昭和土地区画整理事業の起工式が行われる。

21 鶴見橋が完成し、開通式が行なわれる。

24 緑ヶ岡トンネル(市道緑ヶ岡若草通)が開通する。

・ 朝暘小学校の新校舎・屋体が竣工する。

3 PKO協力法案、衆議院可決(20日、参議院継続審議決定)

21 ソ連邦、「独立国家共同体」へ移行し消滅

(この年)

(この年)



・ 釧路港が水揚量13年連続日本一を達成する。



【13年連続日本一を支えたイワシの水揚(副港)】

・ 地価下落始まり、株価続落、金融・証券界の不祥事続発でバブル経済の実態露呈

平成4年(1992)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>19 釧根地域選出道議8人の「丹頂会」が呼びかけ、釧根2市13町村の市町村長と共に両地域の政治課題を話し合う。</p> <p>・阿寒町商工会がアカエゾマツから芳香剤を試作する。</p>	<p>10 旧軍が慰安所設置・従軍慰安婦募集に関する資料発見(13日、政府認定)</p>
2	<p>5 鳥取中が全国中学スケート大会アイスホッケーで3連覇を遂げる。</p> <p>12 紀宮さまがタンチョウ観察センター・丹頂鶴自然公園を見学する。</p> <p>20 アルベールヴィル冬季五輪で短附高卒の佐藤和弘が1万mで5位、鳥取小卒の宮部行範が千mで銅メダルを獲得する。</p>	
3	<p>5 英エジンバラ公が2度目の来釧で、湿原を視察する。(～7日)</p> <p>25 水産庁のマリナーション構想の整備事業指定地区として、千代の浦と桂恋の両漁港地区が認定される。</p>	<p>1 暴力団対策法施行</p>
4	<p>1 時事タイムス放送社が市内初の都市型CATV(有線テレビ)の本放送を開始する。</p> <p>1 星園高校の家政科が教養福祉科に転換される。</p> <p>5 鳥取温水プールがオープンする。</p>  <p>【鳥取温水プールで遊ぶ子供たち】</p>	<p>22 北方領土からのビザなし渡航の第一陣が根室・花咲港に到着</p>
5	<p>・「阿寒町木工デザインに関する人材育成事業」がスタートする。</p>	<p>2 国家公務員の完全週休2日制スタート</p>
6	<p>17 阿寒町が「暴力追放、防犯の町」を宣言する。</p> <p>27 市立博物館が人工飼育のヒブナの人工産卵と孵化に成功する。</p>	<p>9 PKO法案参院可決(15日衆院可決、成立)</p> <p>13 札幌で第1回よさこいソーラン祭り開催</p>
7	<p>1 音別町ふれあい図書館「みなくる77」がオープンする。</p>  <p>【音別町ふれあい図書館】</p>	<p>1 新千歳空港の新旅客ターミナルビル開業</p> <p>25 パルセロナ五輪開幕(～8.2)</p> <p>26 参院選、自68・社22・公14・共6・日新4で自民党大幅議席回復</p>
	<p>11 釧路—札幌間で3社共同の都市間バス運行が始まる。</p>	

<p>18 釧路一大阪直行便が就航し、市長らが記念搭乗する。</p> <p>29 音別町と徳島県鷲敷町との姉妹都市提携が調印される。</p> <p>・「あかんランド丹頂の里」にパークゴルフ場がオープンする。</p>	
<p>8 1 市制施行70周年記念式典が開催される。</p> <p>20 釧路商工会議所が「釧路ファイン大使」9人を委嘱する。</p> <p>・阿寒町本町地区の公共下水道工事が着手される。</p>	<p>3 東証株価1万5千円台割れ(6年5ヶ月ぶり)</p> <p>10 PKO協力法施行、国際平和協力本部発足</p> <p>27 佐川急便事件で金丸自民党副総裁辞任</p>
<p>9 1 釧路市と都留市との友好都市提携が調印される。</p> <p>11 音別町高齢者事業団が設立される。</p> <p>12 学校週5日制スタートで、月1回の土日連休が始まる。</p> <p>14 第52回国体冬季スケート競技会の釧路市での開催が決定する。</p> <p>・町立阿寒病院に「CTスキャン」「電子スコープ」が導入される。</p>	<p>12 元北大助教授毛利衛が搭乗するスペースシャトル「エンデバー」打上げ</p> <p>28 三井石炭鉱業芦別鉱閉山</p>
<p>10 4 釧路市の第1回都市景観賞が、釧路キャッスルホテル・シーグレース号・ささき画廊の3件7人に授与される。</p> <p>10 おんべつ学園の「福祉の店・おんとびあⅡ」がオープンする。</p> <p>12 釧路市生涯学習推進会議が発足する。</p> <p>19 環境庁の「アジア湿地シンポジウム釧路会議」が開催される。</p>	<p>1 十條製紙と山陽国策パルプが合併調印、新社名は「日本製紙」</p> <p>23 天皇陛下が北京で「中国国民に多大の苦難を与えた」とのお言葉</p>
<p>11 1 釧路市生涯学習センターがオープンする。</p> <div data-bbox="261 965 943 1406" data-label="Image"> </div> <p>【生涯学習センターのオープンセレモニー】 「まなぼっと幣舞」の愛称で親しまれている。</p> <p>16 阿寒バスが愛国191に移転し、新社屋での営業を開始する。</p> <p>17 釧路空港計器着陸システム「ILSカテゴリーⅢA」が着工する。</p> <p>20 春採湖が平成3年度水質汚濁度全国ワースト1になる。</p> <p>21 第1回釧路市生涯学習フェスティバルが開催される。(～23日)</p> <p>・阿寒湖畔スキー場ウォッチングハウスがオープンする。</p>	
<p>12 7 釧路市観光協会が解散し、社団法人釧路観光協会が発足する。</p> <p>・建設省のマイロード事業に阿寒湖畔中央道路が選定される。</p>	<p>10 国連「1993国際先住民年」開幕式で、道ウタリ協会の野村理事長が演説</p>
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<p>・ 釧路港水揚量が全国2位となり、連続日本一は13年で止まる。</p>	<p>・ 地価公示価格、17年ぶりの下落</p> <p>・ 百貨店の年間売上高、統計上初の減額</p>

平成5年(1993)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>12 鷹敷町へ初の音別町中学生訪問団が出発する。(～15日)</p> <p>15 釧路沖地震(震度6、M7.8)が発生し、釧路市で死者1人、負傷439人、被害総額245億円、阿寒町で負傷35人、17億円、音別町で負傷30人、27億円の大きな被害を受ける。</p>  <p>23 全国高校スケート大会アイスホッケーで江南が初優勝する。</p> <p>24 釧路沖地震で大被害のガス供給復旧支援に、道外のガス会社から142人が到着する。</p>  <p>26 不通になっていたJR根室本線の釧路一帯広間が全線開通する。</p> <p>30 GATTウルグアイ・ラウンドでの乳製品自由化阻止に向け「日本の食と農業を守る緊急釧路総決起大会」が開かれる。</p> <p>・・ 阿寒町西徹別一般廃棄物処理場が完成する。</p>	<p>・・ 釧路沖地震の全道被害総額530億円、死者1人、負傷者927人</p> <p>【釧路沖地震地震による被害の様子】 左:阿寒町公民館の調理室内部 右:音別町市街の倒壊した住宅</p> <p>【ガス復旧工事の様子】 左:盛岡ガスからの支援隊 右:復旧工事の様子。 ピーク時、道内252名・道外515名の応援を受ける。</p>
2	<p>3 全国34社、800人余のガス供給復旧支援部隊が離釧する。</p> <p>6 地震でガス供給が停止した9,391戸の全世帯が完全復旧する。</p> <p>9 鳥取中が全国中学スケート大会アイスホッケーで4連覇を遂げる。</p> <p>25 札幌交響楽団の第1回釧路定期演奏会が開かれる。</p>	<p>23 円相場1_{ドル}＝116円の東京市場最高値(4.21、110円台割り込み)</p>
3	<p>1 阿寒町外を除く釧路圏内7市町でスパイクタイヤ使用規制が始まる。</p> <p>14 下徹別小学校閉校記念式典が開催される。</p> <p>16 阿寒町長選挙が告示され、無投票で月舘町長再選となる。</p> <p>31 『新修釧路市史』(全4巻)の第1巻が刊行される。</p>	
4	<p>1 十条製紙アイスホッケー部が日本製紙クレインズへ、チーム名を変更する。</p>	<p>2 ラムサール条約登録湿地に霧多布湿原、厚岸湖・別寒辺牛湿原を追加指定</p>
5	<p>7 環境庁が全国で初めて設立する野生生物研究機関の「釧路湿原野生生物保護センター」が北斗にオープンする。</p> <p>8 釧路市が「生涯学習都市」を宣言する。</p> <p>24 釧路根室地域日本赤十字看護大学誘致期成会が設立される。</p>	

25 ラムサール条約釧路会議を前にして、釧路全日空ホテルが錦町にオープン、6月1日には幸町にプリンスホテルがオープンする。

31 旧(第2次)釧路新聞社社屋を復元した「港文館」が完成する。



【港文館2階展示室の様子】



【幸町公園から港文館横に移設された啄木像と歌碑】

6 3 釧路市観光国際交流センターの落成式が行われる。

9 第5回ラムサール条約締約国会議が、95カ国・151団体1,217名の参加により開催される。(～16日)



【国際交流センターでの会議の様子】

26 釧路一旭川都市間バスの運行が開始される。

28 二俣郵便局廃止により二俣簡易郵便局が業務を開始する。

9 皇太子殿下の「結婚の儀」を皇居で挙行

21 自民党を集団離党した武村正義ら10人が「新党さきがけ」結成

22 自民党羽田派44人、「新生党」結成

7 1 JAS釧路一名古屋直航便が開設される。

8 北大通シンボルロード完成祝賀会が開かれる。

13 災害用無線電話が市役所と市内医療機関などに導入される。

20 音別町長選挙が告示され、無投票で今野町長7選となる。

27 市個人情報保護運営審議会が発足する。

31 鳥取市・湯沢市との姉妹都市提携30周年記念調印式が開かれる。

12 M7.8の「北海道南西沖地震」が発生し、奥尻島などで死者201人、行方不明29人、負傷者305人

18 総選挙、自民223・社会70・新生55・公明51
日新35・共産15・民社15・さき13・社民連4

8 2 柳町アイスホッケー場上屋工事が完成し、通年リンクとなる。

23 阿寒神社の新社殿が完成し、遷座祭が執り行われる。

.. 徹別パークゴルフ場がオープンする。

9 非自民7党連立の細川護熙内閣発足

19 国際先住民年記念「ニ風谷フォーラム」開幕

9 4 米町再開発事業竣工記念式典が開催される。

26 東部コミュニティセンター「コア大空」がオープンする。




.. 阿寒町で国際先住民年記念モシリレラフェスティバルが開かれる。

21 公定歩合1.75%、初の1%台


<p>10 1 釧路市の個人情報保護制度がスタートする。</p> <p>8 阿寒湖畔で「マリモの唄」歌碑除幕式が開催される。</p>  <p>【「マリモの唄」歌碑】 「ボッケ」の側の湖岸に建立され、石川啄木碑も横にある。</p> <p>17 市長・市議(定数40名)選が行なわれ、鰐淵市長が5選を果たす。</p>	<p>11 エリツイン露大統領訪日(13日、2島変換の56日ソ宣言継承等含む東京宣言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 戦後最悪の米凶作、全国平均作況指数75 ・ 戦後最大の冷害で全道被害額、1,974億円
<p>11 11 市議会議長に工藤清雄が選出される。</p> <p>19 春採湖の汚濁度が環境庁の平成5年度調査でワースト3位となり、1年でワースト1を返上する。</p> <p>21 「エストニア文化フォーラム」が生涯学習センターで開催される。</p> <p>28 釧路労協(釧路市労働組合協議会)が48年の活動に幕を降ろす。</p> <p>30 釧路地区同盟が32年の活動に幕を降ろす。</p>	<p>19 北海道横断自動車道の釧路—池田間86^キに建設省から施行命令</p>
<p>12 1 町立音別歯科診療所が新築完成し、診療を開始する。</p> <p>1 釧路地区連合が発足する。</p> <p>1 市営寿駐車場(収容台数353台)がオープンする。</p> <p>16 音別町商工会館が移転新築され、業務を開始する。</p>  <p>【音別町商工会館】</p>	<p>14 新多角的貿易交渉(ウルグアイラウンド)が最終決着し、乳製品等関税化受入れ決定</p> <p>24 JR不採用国労事件で、中労委は道内451人の救済命令</p>
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 釧路港水揚量が前年の全国2位から4位に後退する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際収支黒字、ピークの1,319億1,500万^{ドル}



平成6年(1994)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>17 下徹別小跡地にコミセン「タンチョウの家」がオープンする。</p> <p>20 山花地区で市内初の温泉掘削に成功する。</p> <p>23 ラルズプラザ釧路店が、金市館時代から数え34年で閉店する。</p>	<p>31 全道労協センターが解散</p>
2	<p>5 音別カーリング協会10周年記念「道東カーリング大会」が開かれる。</p> <p>21 釧路職安が湖陵高校跡地の新庁舎へ移転、業務を開始する。</p> <p>27 食糧庁による外国産米の緊急輸入でタイ米6,300トンが釧路港へ初めて荷揚げされる。</p>	<p>4 政党助成法公布</p> <p>25 住友赤平炭砒が閉山</p>
3	<p>5 国産米を求め、市民生協中央店前に約500人の行列ができる。</p> <p>31 市の人口が20万人台を割る。(4月4日には20万人台に回復)</p>	<p>11 食糧庁、国産米と輸入米のセット販売禁止を通達</p>
4	<p>1 仁々志別多目的センターがオープンする。</p>  <p>【仁々志別多目的センター】</p> <p>1 軽費老人ホーム「ケアハウスよねまち」がオープンする。</p> <p>1 徘徊老人早期保護の「SOSネットワーク」が管内6市町村で始まる。</p> <p>10 知的障害者授産施設「はしどい学園」の新園舎がオープンする。</p>  <p>【新園舎落成式の様子】</p> <p>27 市役所内2労組が統一に向けた協議機関設置を合意する。 ・・ 第2次音別町総合計画が発表される。</p>	<p>8 細川首相が退陣表明</p> <p>23 場外舟券売場「ボートピア釧路」が白糠町にオープン</p> <p>26 名古屋国際空港で中華航空エアバス機墜落、炎上264人死亡</p> <p>28 羽田孜内閣が発足</p>
5	<p>20 長倉洋海写真展「マスコド愛しの大地アフガン」が開催される。</p> <p>29 茅野公園の日本一遅い「さくら祭り」が40年ぶりに復活する。</p>	<p>26 IWC総会、南氷洋捕鯨全面禁止決定</p>
6	<p>1 市が70歳以上の高齢者に敬老バス回数券交付を始める。</p> <p>22 市漁協が西港拡張計画に伴う漁業影響調査実施に同意する。</p> <p>25 徹別郵便局が廃止される。</p>	<p>13 道立アイヌ民族文化研究センター開所</p> <p>22 円相場、初の1ドル＝100円台突破</p> <p>27 松本サリン事件で7人死亡、59人重軽傷</p> <p>29 村山富市社会党委員長が首相に就任</p>
7	<p>7 「阿寒国際ツルセンター」が着工する。</p> <p>22 釧路―北見臨時都市間バス運行が開始する。(～10月16日)</p>	<p>19 萱野茂氏が参議院議員に繰上げ当選、アイヌ民族では初の国会議員</p>
8	<p>2 釧路国際ウェットランドセンター準備委員会が発足する。</p>	



<p>9 1 「高齢者生きがい交流プラザ」が隣接の「ケアハウスよねまち」との合築形式で完成し、オープンする。</p> <p>10 水環境のワイズユースを考える道内初の「水郷水都全国会議」釧路大会が開かれる。(～11日)</p> <p>12 市の年間夏日日数が史上第1位の19日を記録する。(これまでは昭和26年の17日)</p> <p>19 柳町スピードスケート場の管理・記録棟が完成する。</p> <p>29 武佐の産廃処分場計画に市議会が「反対意見書」を議決する。</p>	<p>8 公定歩合0.5%、初の1%割れ</p> <p>13 PKO協力法によるルワンダ難民救援への自衛隊派遣を政府が決定</p>
<p>10 3 市でゴミを5種類に分けて集める分別収集がスタートする。</p> <p>3 市資源リサイクルセンターと市民工房がオープンする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="256 640 612 878">  </div> <div data-bbox="624 640 1002 878">  </div> </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> 【リサイクルセンター】 【市民工房】 </p> <p>4 東方沖地震で釧路市は負傷82人、住宅被害353戸。</p> <p>11 平成9年冬季国体釧路大会の市準備委員会が発足する。</p> <p>20 市が運輸省から国際会議観光都市に指定される。</p> <p>24 MOOに市医師会健診センターが開設される。</p> <p>25 月舘俊松阿寒町長が2期目の任期途中で死去する。</p> <p>30 釧路港へのマサバ・マイワシ水揚げゼロで道東巻網漁が終了する。</p>	<p>4 北海道東方沖地震(M7.9)、負傷436人</p> <p>13 ノーベル文学賞に大江健三郎</p> <p>16 釧路町長選挙、現職中西町長を破り、前助役菅原澄が初当選</p> <p>21 釧路町に大型ショッピングセンター、釧路サティが開店</p>
<p>11 1 道内3番目のミニFM局「FMくしろ」が開局する。</p> <p style="text-align: center;">【FMくしろ開局】</p> <p>写真は開局直後のスタジオの様子。開局当初は道東経済センタービル1Fから放送を行っていた。現在はコーチャンフォー春採店2Fにスタジオがある。</p> <div data-bbox="552 1211 1002 1529">  </div> <p>7 管内6市町村代表が豪州ニューカッスル市を訪れ、管内3湿原とクーラガンク湿地との国際姉妹湿地提携書に調印する。</p> <p>7 釧路西高と豪州ジェスモンド高との姉妹校提携が調印される。</p> <p>7 釧路商工会議所青年部が発足する。</p> <p>11 園内11町村が阿寒国立公園指定60周年記念シンポジウムを開く。</p> <p>28 「湿地・水鳥ワークショップ」が生涯学習センターで開催される。</p>	<p>21 衆議院選区割り法成立、釧路市は新13区</p>
<p>12 4 阿寒町長選挙で佐々木三男が初当選する。</p> <p>17 阿寒湖パーク・ボランティアの会が発足する。</p>	<p>10 新進党結成、海部元首相が初代党首に</p> <p>28 三陸はるか沖地震(M7.5)</p>
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
	<p>.. パソコン国内販売台数、ワープロを抜く</p>


平成7年(1995)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>19 被災地支援の釧路ガス社員ら6人と協立病院医師ら3人が兵庫県へ出発する。</p> <p>26 釧路国際ウエットランドセンターが設立される。</p> <p>30 材木山の手トンネル・旭橋通の開通式が行われる。</p>	<p>17 兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)、死者6,434人、行方不明3人</p>
2	<p>1 釧路―網走都市間バス「流水号」の運行が開始される。</p> <p>21 釧教大と豪州ジェームスック大との交流協定が調印される。</p>	
3	<p>1 望洋児童センターを併設する複合型高齢者福祉施設「望洋ふれあい交流センター」がオープンする。</p> <p>2 星が浦高齢者ディサービス・介護支援センターがオープンする。</p> <p>14 市教委が「いじめ実態アンケート調査」の結果を公表する。</p>	<p>18 歌志内の空知炭鉱105年の歴史に幕</p> <p>20 東京地下鉄サリン事件、11人が死亡</p>
4	<p>1 都心部商店街連絡協が市中心部の共通駐車券事業を始める。</p> <p>1 阿寒町でタンチョウとマリモの研究員各1名が増員され、合計4名の研究体制となる。</p> <p>9 道議選で、市部は綿貫健輔・西田昭紘・伊藤武一・伊東良孝、管内は若狭靖・大碓和則が当選する。</p> <p>23 阿寒町議(定数16名)、音別町議(定数12名)選挙が施行される。</p> <p>28 阿寒湖畔の「オンネチセ」が改築され、オープンする。</p>	<p>9 道知事・道議選、堀達也が初当選</p> <p>19 円相場急騰、ピークとなる1^{ドル}＝79円75銭</p>
	 <p>【「オンネチセ」(島の後の三角屋根)】 アイヌ語で「とても大きな家」の意</p>	
5	<p>8 阿寒町婦人団体連絡協議会が同女性の会協議会と改称する。</p> <p>・・ 釧路市・釧路町・白糠町が地方拠点都市地域の指定を受ける。</p>	<p>16 オウム真理教の教祖麻原彰晃逮捕</p>
6	<p>18 音別町が分村80周年記念式典を挙げる。</p> <p>22 釧路駅西再開発準備組合の駅前市場仮設店舗がオープンする。</p> <p>・・ 市が日本観光協会の「第2回優秀観光地づくり賞」を受賞する。</p>	
7	<p>1 MOO岸壁炉ばたが夏季限定でオープンする。</p> <p>27 まりも学園が移転新築、開園式を行う。</p> <p>31 釧路西郵便局が鳥取大通7丁目の新局舎で営業を開始する。</p>	<p>23 参院選、自46・新進40・社16・共8・さき3 (道選挙区で自民議席失う)</p>

<p>8</p>	<p>15 栄町公園が「栄町平和公園」と改称され、「釧路市平和のモニュメント」の除幕式が行われる。</p>  <p>【除幕式の様子】</p> <p>19 音別町で「音と光のファンタジーコールオン80」が開催される。</p> <p>21 石黒ホームが札幌に本社を移し「ホームマック」となる。</p>	
<p>9</p>	<p>2 「ふるさと阿寒・札幌会」の設立総会が札幌で開催される。</p> <p>4 946オンマイマインド「釧路の歌」公募歌詞選考結果が発表される。</p> <p>13 「はなしのぶ橋」の開通式が行われる。</p> <p>24 釧路市連合町内会創立30周年記念式典が挙行される。</p> <p>25 北東アジア・北太平洋環境フォーラムが開かれる。(～29日)</p> <p>・阿寒中学吹奏楽部が全道大会で銀賞を獲得する。</p>	
<p>10</p>	<p>4 大塚製薬工業釧路工場の新工場落成式が行われる。</p> <p>9 「ふるさと阿寒・東京会」の設立総会が東京で開催される。</p> <p>10 音別町森林体験交流センター落成記念式が行われる。</p>  <p>【森林体験交流センター(ティクル80)】</p> <p>12 釧路空港のILSカテゴリーⅢaの供用が開始される。</p> <p>28 北海道4河川(釧路・天塩・湧別・十勝)シンポジウムが開かれる。</p>	<p>1 第16回国勢調査実施</p>
<p>11</p>	<p>3 音別町イメージソング「空と海と風の町」が発表される。</p>  <p>5 市立釧路図書館70周年記念「小檜山博講演会」が開かれる。</p> <p>12 サンサンロード(釧路駅地下道)改修完成記念式典が開かれる。</p> <p>30 第16回国勢調査で市の人口20万人割れが発表される。</p>	<p>3 堀知事が官官接待廃止を表明</p> <p>30 道の不正支出10億8千万円に</p>
<p>12</p>	<p>1 都市間バス全5路線がMOOに発着場を移転する。</p> <p>5 音別町忠魂碑改築工事の竣工式が行われる。</p> <p>8 阿寒町商工会のスタンプ事業がスタートする。</p>	



平成8年(1996)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>6 第68回日本学生氷上競技選手権大会が開かれる。(～9日)</p> <p>28 釧路旭保育園(私立)で休日保育事業がスタートする。</p>	<p>5 村山首相辞任を表明</p> <p>11 橋本竜太郎内閣が発足</p>
2	<p>8 全国中学アイスホッケー大会(福島県)で緑陵中が優勝する。</p> <p>17 PLEA'97釧路国際会議プレ会議が開催される。</p> <p>22 釧路市生涯学習推進会議の答申を受けた市の「まなびすと・くしろプラン」が発表される。</p>	<p>10 豊浜トンネル岩盤崩落事故、死者20人</p> <p>16 薬害エイズ問題で菅厚相は、感染・被害拡大に国の法的責任を認め、謝罪</p>
3	<p>1 釧路市鉄北デイサービス・介護支援センターがオープンする。</p> <p>1 釧路市教委がフリーダイヤル「いじめカットライン」を開設する。</p> <p>4 経営危機に陥った釧路市民生協が和議を申請する。</p> <p>9 音別町商工会が「音利YOUカード」事業をスタートさせる。</p> <p>10 前田一步園財団が「阿寒国立公園昆虫目録」を発刊する。</p> <p>22 音別町立二俣中学校の閉校式が行われる。</p> <p>31 釧路港拡張計画に伴う漁業補償交渉が妥結する。</p> <p>・・ 国際ツルセンターの完成を記念し、皇太子殿下御歌碑を建立する。</p>	<p>22 道は職員が流用した裏金相当分21億円を一括返還</p>
4	<p>1 新設の芦野保育園で地域子育て支援センター事業がスタート。</p> <p>18 太平洋炭砒が5年間で1,500人を800人への削減案を発表する。</p> <p>22 釧路市農村都市交流センター(山花温泉リフレ)がオープンする。</p>  <p>【山花温泉リフレ】 塩化物強塩泉で、釧路型薬膳のレストラン・16室の客室がある。</p> <p>26 阿寒国際ツルセンターがオープンする。</p>  <p>【阿寒国際ツルセンター「グルス」】 展示棟・研究棟・野外飼育場・分館(観察センター)がある。</p> <p>26 マリモ展示観察センターがリニューアルオープンする。</p>	
6	<p>13 釧路シビックコア地区で国の合同庁舎建設工事着工する。</p> <p>22 公立大経営学科増設・校舎増築工事落成記念式が行われる。</p>	
7	<p>1 東アジア国立公園保護地域会議が開催される。(～5日)</p> <p>1 ANA「釧路―福岡」線が開設される。</p> <p>4 釧路空港の新旅客ターミナルビルがオープンする。</p>	<p>13 堺市の小学校でO157集団食中毒が発生、全国にO157禍広がる</p>

	<p>7 いじめを考える釧路市民大会が開催される。</p> <p>8 丸三鶴屋の経営権を丸井今井が取得する。</p> <p>15 音別町福祉協議会が在宅老人給食サービスを開始する。</p> <p>17 PLEA'97釧路国祭会議インフォメーションセンター落成式。</p> <p>21 JAS「釧路—仙台」線が開設される。</p>	
8	<p>2 「くしろ記念公園」(鳥取北7)完成記念式典が行われる。</p> <p>19 釧路市湿原展望台の入館者が200万人に達する。</p> <p>26 国際湿原保全釧路会議が開催される。(～9月6日)</p>	
9	<p>4 「946全国歌唱大賞コンクール」が開催される。</p> <p>21 アジアゲートボール選手権大会で1,500人が来釧する。</p> <p>30 第10回ツール・ド・北海道が釧路で開幕する。(～10月6日) ・・ 阿寒中吹奏楽部が全道大会で2年連続の銀賞となる。</p>	<p>1 北広島、石狩両町が道内24年ぶりの市制施行、33・34番目の市誕生</p> <p>27 衆議院解散</p>
10	<p>1 本州製紙が新王子製紙と合併し、王子製紙釧路工場となる。</p> <p>4 丸井今井釧路店が仮オープンし、記念セールを開始する。</p> <p>8 鰯淵市長が衆院選出馬の為、辞職する。</p> <p>10 「第17回北海道演劇祭inくしろ」が開催される。(～13日)</p> <p>20 道13区は北村直人、道比例で鈴木宗男・鰯淵俊之が当選する。</p> <p>30 くしろ市民生協の和議申立を釧路地裁が認可する。</p>	<p>20 総選挙、自239・新156・民52・共26・社15 ・・ 旧日本軍が終戦直後に屈斜路湖に投棄した毒ガス弾の引揚調査が終了</p>
11	<p>1 阿寒町終末処理場が完成し、下水道供用が開始される。</p> <p>3 「音別八景」が決定し、推薦者の表彰式が行われる。</p> <p>3 音別町「平和の塔」の竣工式が行われる。</p>  <p>【音別町ポケットパークの平和の塔】</p> <p>11 国民健康保険町立阿寒病院が改築され、診療を開始する。</p> <p>17 市長選で綿貫健輔前道議が後藤前助役外を破り初当選する。</p> <p>20 釧路アイスアリーナ(愛称「丹頂アリーナ」)がオープンする。</p> <p>20 料亭「八浪」が80年の歴史を閉じる。</p> <p>29 釧路西港に水深14メートル岸壁の第4埠頭などを新設する「釧路港港湾計画」が中央港湾審議会承認される。</p>	<p>7 第2次橋本内閣が発足、3年3カ月ぶりの自民党単独政権</p> <p>21 雌阿寒岳が8年9カ月ぶりに噴火、津別町、美幌町などに降灰</p>
12	<p>9 釧路市新橋大通に、おんべつ学園の福祉の店がオープンする。 ・・ 釧路港の年間水揚量は、1964年以来32年ぶりに20万トンを超える17万5千2百トンで昨年の全国3位から6位になる。</p>	<p>20 米海兵隊砲撃訓練移転問題で、別海町・厚岸町・浜中町の3町長が受入の確認書</p>

平成9年(1997)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>8 PLEA'97釧路国際会議が開催される。(～10日)</p> <p>25 第52回国体冬季大会スケート・アイスホッケー競技会「くしろ湿原国体」が開催される。(～28日)</p>  <p>【くしろ湿原国体】 46都道府県から 2,283人が参加。</p>	<p>7 ブルーハウス倒産、負債総額238億円</p> <p>7 島根沖で沈没した露船籍タンカーからの重油により日本海海岸を大規模に汚染</p>
2	<p>14 武佐産廃処分場への道の不許可処分を札幌地裁が取り消す。</p> <p>16 清明小と新陽小でそれぞれの新校舎落成祝賀会が開かれる。</p> <p>22 釧路がん検診センターが、胃がん検診受診者数500万人突破を達成し、全国初の記録となる。</p>	<p>17 三井三池炭鉱が3月末閉山を労組に提案</p> <p>19 道の不正経理は総額41億5千万円に</p>
3	<p>4 知人礁霧信号所が廃止される。</p> <p>19 釧路市児童育成計画「エンゼルプラン」が策定される。</p> <p>22 新型振子特急「スーパーおおぞら」が運行開始、釧路—札幌間が3時間40分に短縮される。</p> <p>23 音別町立二俣小学校の閉校式が行われる。</p>	<p>27 札幌地裁がアイヌ民族の先住性を認定</p> <p>31 拓銀と道銀が'98年4月を目途に対等合併することで基本合意</p>
4	<p>1 乳幼児医療費助成対象年齢が3歳未満から6歳未満へ拡大される。</p> <p>25 あかんランド丹頂の里に「北緯43° 美術館」がオープンする。</p>  <p>【北緯43° 美術館】 地球の北緯43度にある国 や地域の芸術・文化を紹介するユニークな美術館</p> <p>30 新港湾計画に伴う漁業補償本協定書調印式が行われる。</p> <p>30 市の24時間対応巡回型ホームヘルプサービスがスタートする。</p>	
5	<p>6 「釧路子どもミュージカル・キッズ・ロケット」設立総会が開かれる。</p> <p>30 阿寒町内牛乳生産量3万トン達成記念式典が行われる。</p>	<p>8 アイヌ新法が成立し、北海道旧土人保護法は廃止</p>
6	<p>1 釧路市政への意見・提言制度「まちメール」がスタートする。</p> <p>15 第80回釧路市民大運動会が開催される。(運動会としては最後)</p> <p>17 啄木ゆめ公園(南大通5)がオープンする。</p> <p>17 釧路市消防本部新庁舎が供用開始される。</p> <p>19 阿寒町の「公共賃貸住宅再生マスタープラン」が策定される。</p>	

	<p>26 第3次マリモ総合調査に初めてボランティアが参加する。</p> <p>29 地ビール工場兼レストラン「くしろ港町ビール」がオープンする。</p>  <p>【左:釧路港町ビール工場 右:地ビール4種詰め合わせ】</p>	
7	<p>6 消防本部新庁舎1階の市民防災センターがオープンする。</p> <p>8 累積赤字問題で休業していた白糠町の恋問館が営業再開する。</p> <p>15 音別町長選が告示され、無投票で高野武前収入役が初当選する。</p> <p>17 阿寒町農協の直営店「赤いシャッポ」がオープンする。</p>	15 道は長期停滞事業を見直す「時のアセスメント事業」に土幌高原道路など6事業を対象にすると発表
8	<p>1 釧路錦町駐車場がオープンする。</p> <p>7 今野宗一音別町長が在任期間7期28年で退任する。</p> <p>29 第1回すえひろ祭りが開催される。(～30日)</p>	
9	<p>7 最後となる第30回音別町民大運動会が開催される。</p> <p>8 道知事、市長らが太平洋炭砒キャラバン隊や長崎県と合同で国内炭砒存続の中央要請行動を行う。</p> <p>25 釧路市北斗遺跡の「ふるさと歴史の広場」がオープンする。</p> <p>30 釧路で一番古い南大交通番が統廃合で業務を終える。</p>	18 在沖縄米海兵隊の実弾砲撃訓練が矢臼別演習場で移転実施
10	<p>10 国際啄木学会釧路大会が開催される。(～12日)</p> <p>19 市議会議員選挙(定数38名)が実施される。</p> <p>20 武佐産業廃棄物処分場設置計画をめぐる行政訴訟で、道は札幌高裁に控訴を棄却され上告を断念する。</p> <p>.. 阿寒町で第17回釧路管内身体障害者福祉大会が開催される。</p>	
11	<p>7 「エストニア音楽祭inくしろ」が生涯学習センターで開催される。</p> <p>12 市議会議長に中村啓が選任される。</p>	17 拓銀が経営破たんし、北洋銀行への営業譲渡を決定
12	<p>1 音別町のオフトーク通信システム「やすらぎ通信」が供用開始する。</p>  <p>【「やすらぎ通信」の放送風景】</p> <p>3 「石炭フォーラム'97『太平洋』の灯を消さないために」が開かれる。</p> <p>20 国道38号線と44号線を結ぶ道道釧路環状線が開通する。</p>	27 新進党解散

平成10年(1998)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>27 阿寒湖畔キャンプ場美化センターの落成式が行われる。</p> <p>30 「釧路市救命推進協議会」設立総会が開かれる。</p>	
2	<p>1 音別町福祉保健センター「ほほえみ」がオープンする。</p>  <p>【音別町福祉保健センター「ほほえみ」】</p> <p>13 長野冬季五輪で星園高卒の岡崎朋美が銅メダルを獲得する。</p>  <p>【岡崎朋美選手】 スピードスケート500mで銅メダルを獲得。</p> <p>15 子供グループ初の共同発表会「釧路管内の伝承郷土芸能発表会」が市民文化会館で開催される。</p> <p>23 釧路市の車いすガイドヘルパー派遣サービス事業が始まる</p>	
3	<p>2 釧路市の複合施設「白樺ふれあい交流センター」がオープンする。</p> <p>8 釧路湖陵高校でアルバム汚職事件が発覚する。</p> <p>9 長野パラリンピックのアイスレジャスピードで釧路市の武田豊選手が3つの金メダル、桑原明美選手が銅メダルを獲得する。</p> <p>28 HAC(北海道エアシステム)の釧路一旭川線が就航する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阿寒町立マリモ幼稚園の新園舎が完成する。 ・阿寒町「徹別多目的センター」がオープンする。 <p>4 1 道立釧路養護学校に高等部が開設される。</p> <p>17 学校と家庭を繋ぎ子供の相談相手となる、釧路市のファミリーサポーター制度がスタートする。</p> <p>17 ジャスコが釧路市昭和地区への出店を表明する。</p>	<p>10 拓銀融資のテルメインターナショナルシステムなど3社が破産、負債総額は454億円</p> <p>18 拓銀融資のエイペックスなど3社が破産、負債総額は1,523億円</p>

- ・阿寒町「子供交流館」がオープンする。
- ・阿寒町保健福祉サービス複合施設「ひだまり」がオープンする。




【阿寒町保健福祉サービス複合施設「ひだまり」(右側)と町立阿寒病院(左側)】

<p>5 9 釧路西港区第2期工事着工記念式が行われる。</p> <p>14 阿寒町の「まちづくり推進委員会」が最終報告会を開く。</p> <p>15 「釧路地方の地名を考える会」設立総会が開催される。</p> <p>19 オウル市(フィンランド)幹部5人を招き産業クラスター構想のフォーラムが開催される。</p> <p>24 阿寒町布伏内の知茶布トンネルにお別れする会が開かれる。</p>	<p>22 太平洋炭礦・池島炭鉱長期存続特別中央大会が東京で開催</p> <p>27 トマムリゾートの施設の一部を所有するアルファコーポレーションが破産宣告</p>
<p>6 1 動物園隣に「釧路市ふれあいホースパーク」がオープンする。</p> <p>1 市の24時間巡回ホームヘルプサービス本格実施が始まる。</p> <p>9 市立28小学校でポリカーボネート製箸を竹製に切替える。</p> <p>11 旧釧路川が「ふるさとの川整備事業」に指定される。</p> <p>27 釧路市都心部無料循環バス「くるりん」の運行が始まる。</p>	<p>17 別海町で製造のO157に汚染されたイクラで東京・富山など7都府県の62人が食中毒</p>
<p>7 1 HAC釧路一函館線が就航する。</p> <p>3 釧路市がハイブリッドカーを初めて公用車に採用する。</p> <p>10 釧路市が緊急雇用安定地域に指定される。</p> <p>10 「全国トロッコ列車サミット」が釧路市で開催される。</p> <p>25 山花オートキャンプ場が9月30日までの仮オープン。</p> <p>28 「釧路産業クラスター創造研究会」設立総会が開かれる。</p>	<p>12 参院選で自民惨敗、翌日橋本首相が辞意を表明</p> <p>30 小淵恵三内閣成立</p>
<p>8 1 姉妹都市バーナビー市訪問団一行13人が来釧する。(～5日)</p> <p>2 初の「全道ジュニア郷土芸能フェスティバル」が釧路市で開かれる。</p> <p>3 「釧路地方被害者支援連絡協議会」設立総会が開かれる。</p> <p>23 第1回釧路スポーツフェスティバルが開催される。</p> <p>25 釧路市とペトロパブロフスク・カムチャッキー市の「港街友好都市提携」協定書が調印される。</p>	
<p>9 15 市の「シルバーフェスティバル」と「くしろ健康まつり」を合同した「いきいきフェスタ'98」がスタートする。(～10月17日)</p> <p>16 市議会をケーブルテレビで実験的に生中継する。</p> <p>23 釧路市・釧路町合同の「ちびっこパラダイスin児童館」が催される。</p> <p>26 ぬさまい公園で「挽歌の碑」除幕式が行われる。</p>	




<p>10</p> <p>1 北海道舞台塾釧路地域大会が開催される。(～4日)</p> <p>9 阿寒湖に生息するマリモの総個数を始めて6億個と発表する。</p> <p>11 マリモ発見命名100年記念のシンポジウムと回顧展が開かれる。</p>  <p>【マリモ発見命名100年記念シンポジウムin阿寒】</p> <p>11 第1回釧路味覚祭で料理コンテストなどが催される。</p> <p>14 国際ツルセンターで「猪狩満直生誕百年記念詩碑」の除幕式が行なわれる。</p> <p>19 市内13中学校の「心の教室相談員」辞令交付が行われる。</p> <p>20 「地域国際化シンポジウム」が国際交流センターで開催される。</p> <p>23 北海道立釧路芸術館がオープンする。</p> <p>26 「くしろ演劇みたい会」設立総会が開かれる。</p>	<p>1 3年間の日ロ交渉を経て、昨年12月に妥結した北方四島周辺のロシア主張領海域での安全操業開始</p> <p>20 釧路町長選挙が告示され、菅原澄町長が無投票で再選</p>
<p>11</p> <p>1 「知茶布隧道跡の碑」の除幕式が行われる。</p> <p>2 阿寒町元仁々志別の「農村住宅」入居者募集が始められる。</p> <p>7 北海道大学から各分野の専門家を招き、最先端の科学の話題を提供する'98くしろ先端科学移動大学を開催する。(7、21、28日)</p> <p>13 第1回北海道芸術文化フェスティバルが、阿寒町・釧路市など4市町を会場に開催される。(～15日)</p> <p>15 阿寒町長選挙で佐々木三男町長が再選される。</p>	<p>16 拓銀の道内営業を継承した北洋銀行が道内トップバンクとしてスタート</p>
<p>12</p> <p>5 太平洋病院を隣接地に全面改築し、老人保健施設・特別養護老人ホームと複合した「みなみ病院」の落成式が行われる。</p> <p>8 JR釧路駅西側に第二おんべつ学園の「ワークショップ大きな木」がオープンする。</p>  <p>【「ワークショップ大きな木、食堂部の様子」】</p> <p>9 阿寒町内で交通事故死ゼロ連続500日を達成する。</p> <p>11 釧教大と露カムチャッカ教育大が姉妹校提携に調印する。</p>	<p>・道内の企業倒産は、依然拓銀破綻の影響が大きく11年ぶりに1,000件を越し、負債総額8,610億円</p>
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<p>・ 釧路港水揚量が前年の全国6位から3年ぶりの3位となる。</p>	<p>・ 11月全国平均失業率、最悪の4.4%</p>


平成11年(1999)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>20 道内初の不登校中学生を対象とした「夜間教室」が市の「ふれあい教室」でスタートする。</p> <p>23 音別町廃棄物再生利用施設「リサイクルセンター」が竣工する。</p> <p>23 将来、北海道横断自動車道の一部となる釧路外環状道路着工式が行われる。</p> <p>.. 阿寒町橋南センターがオープンする。</p>	<p>22 日韓新漁業協定が発効</p>
2	<p>11 ワン類保護管理国際シンポジウムが生涯学習センターで開かれる。</p> <p>28 阿寒湖で「スケートマラソン・プレ大会」が開催される。</p>	
3	<p>1 阿寒町商工会の「とくとくクーポン」が販売開始される。</p> <p>2 「クラスターシンポジウムinくしろ」が開催される。</p> <p>27 釧路和商市場が新装オープンする。</p>  <p>【和商市場の「勝手井」】</p> <p>.. 阿寒湖畔の平成10年度宿泊者数が100万2千人を記録する。</p>	<p>30 O157汚染のイクラ販売で別海町の水産加工会社前社長に有罪判決</p>
4	<p>1 音別町資源物リサイクルが本格的に実施される。</p>  <p>【音別町リサイクルセンター】</p> <p>11 道議選で、市部は西田昭紘・伊東良孝・伊藤武一・蝦名大也、管内は若狭靖・岡田篤が当選する。</p> <p>25 阿寒町議(定数16名)、音別町議(定数12名)選挙が施行される。</p> <p>28 「釧路市学校のあり方検討委員会」が発足する。</p> <p>.. 阿寒湖畔の共同浴場「緑町生活館」が新築落成する。</p>	<p>11 道知事・道議選、堀達也再選</p>
5	<p>7 旧釧路川岸の所有者不明沈廃船撤去作業が始まる。</p> <p>11 釧路第1学区の「公立高校適正配置懇話会」が発足する。</p>	
6	<p>20 音別町町制施行40年記念式典が挙行される。</p>	<p>23 白糠町の「ポートピア釧路」閉鎖</p>

7	<p>5 釧路公立大と韓国大田市牧園大が姉妹校提携に調印する。</p> <p>18 市内で初の複合型機能を備えた在宅サービス施設「昭和啓生園」の落成式が行われる。</p> <p>・阿寒町多目的広場のナイター照明が完成する。</p>	30 道開発庁長官と建設相が千歳川放水路計画の中止を表明
8	4 釧路港開港100年記念式典が挙行される。	9 国旗国歌法成立
9	<p>1 雌阿寒岳噴火想定ハザードマップが阿寒町全戸に配布される。</p>  <p>【配布されたハザードマップ】</p>	30 東海村で日本初の臨界事故、49人被曝
10	<p>1 軽費老人ホーム「ケアハウス楽寿苑」(昭和)がオープンする。</p> <p>7 第1回「釧路市子ども教育委員会」が開催される。</p> <p>10 釧路市・鳥取町合併50周年記念式典が挙行される。</p> <p>16 福祉とまちづくりを24時間考える「チャレンジくしろ24」が開かれる。</p> <p>23 音別町に陸上局を持つ「釧路・十勝沖海底地震総合観測システム」の運用が始まる。</p>	5 自自公3党連立の小渕第2次内閣発足
11	<p>12 市議会議長に小窪政信が選任される。</p> <p>13 近海郵船の釧路—東京間旅客フェリー(昭和47年から23年間運航)が廃止となる。</p> <p>15 高山の太平洋粗大ごみ処理センターの竣工式が行われる。</p>	
12	<p>1 太平洋炭礦本社が東京から釧路鉱業所内へ移る。</p> <p>7 火災で仮店舗営業していた釧路市朝市協同組合が改装工事を終えて5ヶ月ぶりにオープンする。</p> <p>10 音別町のコンピューターによる総合行政システムが、住民票の交付から運用を開始する。</p> <p>10 「ジャスコ」の出店予定地を含む「昭和中央土地区画整理事業」への建設大臣認可・道知事決定が出される。</p> <p>17 阿寒町立病院と札幌大との遠隔診断システムの運用が始まる。</p> <p>31 「2000年問題」で市内官公庁・民間企業が31日から元旦にかけ、宿直などの特別体制を組む。</p>	<p>3 オウム真理教対策の団体規正法と破産特例法成立</p> <p>21 東海村臨界事故で被曝のJCO社員死亡</p>

平成12年(2000)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>8 「SL冬の湿原号」(釧路一標茶)が運行開始する。</p> <p>9 昭和中央土地区画整理組合が設立される。</p> <p>17 「ジャスコ」の店舗面積は約2万7千㎡で決着と市長が発表する。</p> <p>20 釧路市で史上第2位の積雪量56cmのドカ雪により大混乱する。</p> <p>26 浪花町16番倉庫協議会が道からNPO認可を受ける。</p>	<p>4 コンピュータ2000年問題(Y2K)、大きな混乱無く政府が安全宣言</p>
2	<p>7 幣舞橋架橋百年の「ふるさと切手」が発行される。</p> <p>15 おんべつ学園地域交流ホーム落成記念式典が挙行される。</p> <p>21 釧路市と市内34郵便局が災害時協力協定を締結する。</p> <p>21 釧路で初の低床バスが運行を開始する。</p> <p>23 阿寒国際スケートマラソン大会が開催される。(～26日)</p>  <p>【阿寒国際スケートマラソン】 日蘭交流400年を記念し、オランダからの40人を含む450人が200kmレース等を行った。</p> <p>29 美原公設市場が核店舗を入れ替えて再オープンする。</p> <p>29 丸ト北村(明治39年創業)が閉店する。</p> <p>.. 音別町キャッチフレーズ「北のビーナス」の使用が開始される。</p>	<p>7 根室市の道立北方四島交流センター「ニ・ホ・ロ」が開館</p> <p>13 長崎屋が会社更生法申請</p>
3	<p>2 阿寒訪問看護ステーションの開所式が挙行される。</p> <p>9 太平洋炭砒が400人を削減することを発表する。</p> <p>13 釧路総合流通センター設立準備会が解散される。</p> <p>19 阿寒町立布伏内中学校の閉校式が挙行される。</p> <p>24 釧路市学校のあり方検討委員会が、6件13校の統合と18校の通学区再編などの中間報告を提出する。</p>	<p>31 有珠山23年ぶりに噴火</p>
4	<p>1 「阿寒町住んでよかった条例」が施行される。</p> <p>1 音別町体験学習センター「こころみ」がオープンする。</p>   <p>【体験学習センター「こころみ」】 左:20cm天体望遠鏡 右:そば打ち体験</p> <p>6 南極からの調査捕鯨船団が初めて釧路入港、1,850t荷揚げする。</p> <p>11 釧路商工会議所青年部が実施したアンケート調査で、市民1,318人、町民194人の93.6%が「合併賛成」と回答する。</p>	<p>1 介護保険制度がスタート</p> <p>1 容器包装リサイクル法施行</p> <p>4 小淵首相が昏睡状態となり内閣は総辞職</p> <p>5 森喜朗内閣成立、全閣僚が再任</p>

<p>12 暴風(最大瞬間風速33.9m)で鶴ヶ岱公園相撲場などが倒壊する。</p> <p>12 有珠山噴火で被災地を市長が訪問し、義援金を渡す。</p> <p>16 NPO運営の文化ホール「浪花町16番倉庫」がオープンする。</p>  <p>【浪花町16番倉庫】 麵友会を始め、多くの団体が イベントで活用している。</p> <p>29 鯨類捕獲調査母船一般公開に2日間で1万3,700人が入場する。</p>	
<p>5 21 国際ツルセンターでタンチョウの人工孵化に成功する。</p> <p>25 ホルムスク市ドルギフ市長が姉妹都市25周年を記念し来釧する。</p> <p>27 深谷通産相が太平洋炭砒、DME実験プラントなどを視察する。 ・音別町振興公社で「ツワブキ」の試験栽培を始める。</p>	
<p>6 2 学校のあり方検討委員会中間報告への意見を市教委が聞くための 地域懇談会が始まる。(～8月29日。23会場)</p> <p>20 雌阿寒岳の入山が2年ぶりに解禁される。</p> <p>25 衆院選道13区で北村直人5選、道比例で鈴木宗男6選となる。</p> <p>26 釧路市民交通災害共済運営委員会が「事業廃止」の答申を出す。</p>	<p>9 矢臼別の米軍夜間砲撃訓練公開</p> <p>16 釧路川の河川区域指定が湿原の4分の3を 占める15,580ヘクタールに拡大</p> <p>25 衆院選で与党の自公保59議席減</p>
<p>7 1 音別町「ふれあいの森」の林間広場がオープンする。</p> <p>8 駅西再開発準備組合の仮店舗全店が閉じる。</p> <p>8 巖島例大祭で若者が集団で暴れ、3人逮捕される。</p> <p>14 市民憲章運動推進全国大会が国際交流センターで開催される。</p> <p>17 港まつりの露店を騒擾対策のため幸町へ移転することに決める。</p> <p>19 釧路市農協の累積赤字が46億円に達し、自主再建を断念する。</p> <p>20 阿寒湖畔で初めての「湖(うみ)の日・夏祭り」が開かれる。</p>	<p>2 雪印乳業大阪工場の乳飲料で食中毒、被 害者1万2千人</p> <p>4 第2次森連立内閣成立</p> <p>11 雪印乳業が全国21工場の操業停止</p> <p>19 沖縄サミットを記念し、初の2千円札発行</p>
<p>8 1 「コアかがやき」がオープン、支所機能も稼動する。</p> <p>11 釧路市など16団体が、旧釧路川を釧路川と呼べるように求めた要 望書を開建と支庁に提出する。</p> <p>18 釧路駅前商店街の貸し自転車事業がスタートする。</p>	
<p>9 1 「グリーンコールデー北海道国際セミナー」が釧路市で開かれる。</p> <p>7 「尺別炭鉱閉山30周年の集い」が音別町文化会館で開かれる。</p> <p>11 釧路地方合同庁舎が完成し、財務事務所を皮切りに各機関が順 次引っ越しをする。(10月5日完了)</p> <p>19 阿寒湖畔で米先住民と共に「パイプセレモニー」が開かれる。</p> <p>20 台湾さんま漁船座礁事故釧路市対策協議会が設置される。</p> <p>22 「釧路市みんなできれいな街にする条例」議決される。</p> <p>22 市議会議員定数を38人から34人にする減員案が可決される。</p> <p>23 イオン釧路昭和ショッピングセンターがオープンする。</p> <p>26 「釧路地区被害者支援ネットワーク」が設立される。</p>	<p>8 食中毒事件で、大阪工場等に脱脂粉乳を 出荷していた雪印大樹工場を家宅捜査</p> <p>11 浦河沖で漁船沈没、14人行方不明</p> <p>23 屈斜路湖の旧陸軍毒ガス弾最終処理開始</p>

<p>10</p>	<p>1 春採湖が道の鳥獣保護区に指定される。</p> <p>5 全国公民館研究集会在釧路市で開催される。(6日まで)</p> <p>6 裁判所では全国初の耐震構造となる、釧路地裁などの新庁舎が完成、公開される。</p> <p>6 釧路観光協会創立50周年記念式典が開かれ、キャッチコピー「いいね釧路ときめいて」やシンボルマークなどが発表された。</p> <p>7 阿寒町公民館で札幌交響楽団のコンサートが開催される。</p> <p>9 雄別鉄道の廃止30周年記念シンポジウムが開かれる。</p> <p>15 市議補欠選が告示され、4人が無投票当選する。</p> <p>19 日本商工会議所の移動常議員会が釧路市で開催される。</p> <p>22 釧路市長選挙投票率39.32%で史上最低を記録する。</p> <p>22 綿貫健輔市長が再選を果たす。</p> <p>31 釧路高専の「地域共同テクノセンター」竣工記念式が行われる。</p> <p>31 釧路市シビックコア地区のオープン式典が行われる。</p>	<p>1 第17回国勢調査実施</p> <p>10 白川英樹教授、ノーベル化学賞を受賞</p> <p>29 中標津空港から国後島メンデレーエフ空港に初の航空機乗入れ</p>
<p>11</p>	<p>3 釧路空港初の香港チャーター便が就航する。</p> <p>8 座礁の台湾漁船を市が行政代執行により解体撤去を始める。</p> <p>12 マリモの知識普及などを考える前田一步園自然セミナーが釧路市で開催される。</p> <div data-bbox="491 969 1007 1339" data-label="Image"> </div> <p>【前田記念館(一步荘)】</p> <p>17 山花リフレの日帰り入浴客が100万人を突破する。</p> <p>20 道の次世代型エゾシカ捕獲システム導入で、音別町内にハイタワーが設置される。</p> <p>25 「釧路ラーメンれんが横丁」が浪花町十六番倉庫で開催される。</p> <p>28 釧路支庁が武佐産廃施設の使用許可を愛知の業者へ通知する。</p> <p>30 釧路サティの増床分とシネコンがオープンする。</p> <p>30 釧路空港滑走路が2,500mに延長され供用開始する。</p>	<p>5 新十津川などの旧石器発掘捏造が発覚</p> <p>17 不信任で解散、選挙後の弟子屈町議会が再度不信任案可決し岡田町長失職</p> <p>22 斡旋利得処罰法成立</p> <p>28 刑事罰対象年齢を16歳以上から14歳以上に引下げる改正少年法成立</p>
<p>12</p>	<p>3 くしろ市民生協武佐店が閉店する。</p> <p>15 阿寒湖チュウレイ島の散策路改修工事が完成する。</p> <p>20 「ふるさとの川整備事業」による末広側河畔駐車場がオープンする。</p> <p>23 音別町内の交通事故死ゼロ500日が達成される。</p> <p>31 阿寒町舌辛川人道橋「すずらん橋」開通式を21世紀の幕開けに合わせ、大晦日深夜から元日未明にかけて挙げる。</p>	<p>5 第2次森改造内閣発足</p> <p>25 札幌そごうデパートが再建を断念し、閉店</p>

平成13年(2001)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>20 幣舞橋の架橋100年を記念する公開座談会が開催される。</p> <p>27 太平洋炭礦で自然発火事故が起き、以後25日間操業を停止する。</p> <p>30 釧路市連合町内会が「21世紀の町内会活動」を発刊、配布する。</p>	<p>6 政府が1府12省庁に再編スタート</p>
2	<p>1 無料循環バス「くるりん」が有料となる。(大人100円、子ども50円)</p> <p>11 阿寒小学校新校舎落成・開校100年記念式典が挙行される。</p>  <p style="text-align: center;">【阿寒小学校新校舎】</p> <p>27 雌阿寒岳火山防災会議協議会が設立される。</p>	<p>27 北大病院で道内初の脳死肝移植手術</p>
3	<p>15 音別町浄化センターが竣工し、下水処理が開始される。</p>  <p style="text-align: center;">【音別町浄化センター】</p> <p>22 公示地価で「北大通4の1」はマイナス26.7%と全道1位、全国3位の大幅な下落率となる。</p> <p>27 阿寒町の北海道鎌倉ハムが民事再生法適用を申請する。</p> <p>31 阿寒町農協と釧路市農協の合併契約調印式が行われる。</p>	<p>19 根室信金と厚岸信金が合併して「大地みらい信金」となり営業開始</p> <p>22 全国地価公示、▲4.9%で連続10年下落</p>
4	<p>1 「釧路市みんなできれいな街にする条例」が施行され、空き缶や煙草の吸い殻を捨てると罰金が科せられるようになる。</p> <p>1 福社会館と婦人会館が統合し、「交流プラザさいわい」と改称する。</p> <p>1 市が「釧路合併」担当参事を配置し、合併への取組を開始する。</p> <p>5 釧路川の新水路部分を「新釧路川」へ、旧釧路川を「釧路川」への、34年ぶりの名称復活が告示される。</p> <p>8 スガイビル内の映画館3軒が閉館し、市内から映画館が消える。</p>	<p>1 家電リサイクル法がスタート</p> <p>26 小泉純一郎内閣成立</p>

- 20 音別町食生活改善協議会が設立される。
- 21 阿寒湖の砕氷作業船に初めて観光客が乗船する。



【砕氷船と雄阿寒岳】

- 5 8 市在住外国人向け日本語講座が国際交流センターで開講される。
- 12 釧路埼灯台の改築工事が完成し、8ヶ月ぶりに点灯される。
- 13 春採湖の会など24団体による「春採の森創生事業」の第1回植樹会が春採湖南岸の市有地で行われる。
- 29 「釧路市学校のあり方検討委員会」が、中間報告についての地域懇談会での意見から「選択ゾーン設置」などを盛り込んだ最終報告を、市教委に提出する。

- 11 熊本地裁、ハンセン病訴訟で国に18億円の支払い命ずる判決

- 6 1 城山商店街振興組合が「城山達人倶楽部」の拠点と組合事務所の「城山工房」を開設する。
- 2 釣りと自然の共存を考える「阿寒アウトドアフェスティバル」が阿寒湖畔で開かれる。
- 12 水産加工大手のマルア阿部商店が負債40億円で民事再生法適用を申請する。
- 15 座礁した台湾漁船の撤去作業が終了し、2億4千万の費用弁償を船主に強く求めていくことを市長が表明する。
- 18 中心市街地活性化法に基づくTMOの「くしろ街づくり支援センター」が設立される。
- 19 音別町で「町民便利帳」を作成し、全戸配布する。
- 23 釧路空港開港40年、釧路港重要港湾指定50年を記念し、海と空の「港」を花で飾る「フラワーポート事業」の植栽が行われた。

- 2 札幌ドームがオープン
- 8 大阪教育大学附属池田小学校に包丁男乱入、1・2年生8人を刺殺
- 22 旭川商工信組が破産処理申請、債務超過額46億円

- 7 1 昨年始めた釧路駅前商店街振興組合の「利再来貸出自転車事業」が城山商店街と提携し広域期間延長(3ヶ月)でスタートする。
- 1 夜行の特急おおぞら13・14号が特急まりもとなり、8年ぶりに「まりも」の名称が復活する。
- 5 「釧路市学校のあり方検討委員会」最終報告についての市民懇談会が開かれる。
- 11 武佐産廃施設の建設条件を限定した上で、道が愛知県の業者に許可通知を出す。
- 16 釧路合併を考える市政懇談会が17会場で開かれる。(～9月3日)
- 17 音別町長選挙が告示され、無投票で高野武町長が再選される。

- 29 小泉首相就任後初の参院選で自民圧勝

	<p>20 釧路―白糠間鉄道開通100周年記念式典が両駅で挙行政され、SL白糠号の運行・駅まつり2001の開催などのイベントが実施される。</p> <p>25 音別町で全道公立幼稚園教育研究大会が開かれる。</p>	
8	<p>1 阿寒町農協が破綻した釧路市農協を吸収合併し、「阿寒農業協同組合」が発足する。</p> <p>6 ソウルからの初のチャーター便が就航する。</p> <p>12 北緯43° 美術館横で、初めて「阿寒ひまわり祭り」が開かれる。</p> <p>21 音別町で、議員と職員が初めて合同の市町村合併研修会を開く。</p> <p>21 太平洋炭礦「技術移転5ヵ年計画」が02年度実施予定を前倒して行われ、ベトナムの研修生60人を受け入れる。</p> <p>23 高浜虚子の句碑除幕式が米町公園で挙行政される。</p> <p>26 釧路市立高女の最後の同窓会が開かれる。</p> <p>29 釧路・帯広・北見・網走・根室の道東5市長が集い「ひがし北海道活性化フォーラム」が国際交流センターで開催される</p>	13 小泉首相、現職では 5 年ぶりの靖国参拝
9	<p>10 阿寒町と阿寒建設協会が災害時の出動協定を結ぶ。</p> <p>15 「くしろスキップカード」試験運用が和商市場で始まる。(～21日)</p> <p>28 音別町が連合町内会を対象として、市町村合併説明会を開く。</p> <p>30 釧路東映ホテルが閉鎖される。</p>	11 ニューヨークとワシントンで同時多発テロ、 4,700 人以上の犠牲者
10	<p>1 書籍・CDなどを量販する大型複合店「コーチャンフォー釧路店」が春採にオープンする。</p> <p>5 音別・白糠・釧路町、釧路市の4市町長と支庁長の、合併への意見交換会が初めて開かれる。</p> <p>21 釧路市議会議員選挙(定数34名)が行われる。</p> <p>30 環境省が発表した「かおり風景百選」に、釧路市の海霧(うみぎり)が選ばれる。</p> <p>31 紅花松田商店が破産宣告を受ける。(負債総額18億円)</p>	<p>1 「北海道動物の愛護および管理に関する条例」(ペット条例)施行</p> <p>7 米英軍がアフガニスタン空爆開始</p>
11	<p>1 「釧路合併協議会設置を求める市民と町民の会」による住民発議の署名活動が始まる。</p> <p>2 釧路で初の「ビズ・カフェ」が三ツ輪ビル1階に開設される。</p> <p>12 阿寒湖温泉の女将や女性事業主等が「まりも倶楽部」を結成する。</p> <p>12 長崎屋が、不採算の41店舗(道内4店)に含まれる釧路店は1月末で閉鎖と発表する。</p> <p>12 市議会議長に花井紀明、副議長に吾妻巖が選任される。</p> <p>16 音別町国民健康保険診療所落成式が挙行政される。</p> <p>27 市教委が、平成16年4月から6件13校の統合や通学区域変更による学校規模の適正化と教育改革の実施計画を発表する。</p> <p>30 破綻した網走信組の事業を釧路信組が継承すると決まる。</p> <p>30 阿寒町塵芥焼却場で肉骨粉の試験焼却に成功する。</p>	<p>1 北海道教育大学の教員養成課程を道央校に集約するとの方針提示</p> <p>9 網走信組が破綻処理申請、債務超過額23億円</p> <p>21 猿払村で国内2番目の狂牛病感染牛発見</p>

12 1 「音別簡易水道施設」が完成し、水道水供給を開始する。



【音別簡易水道浄水場】

2 4市町長の2回目の意見交換会が支庁長の司会で開かれ、「鉏鉏」署名の扱いを優先とする鉏路市長と、「広域」で議論すべきとの鉏路町長が対立する。

5 「鉏鉏」合併協議会設置要求の署名**42,844**名分が、市と町の選管に提出される。

7 太平洋炭礦㈱は、翌年**1月30日**で閉山し、従業員**1,066**人全員を解雇することを、組合に正式提案する。

13 音別町議会が「市町村合併問題等調査特別委員会」を設置する。

20 合併協署名の市選管分は**30,884**人で、有権者の**19.9%**と確定する。

22 くしろ港町ビールの工場併設レストランが**MOO**に移転される。



【鉏路霧のビール園】

23 合併協署名の町選管分は**5,476**人で、有権者の**31.8%**と確定する。

23 太平洋炭砒から事業を引継ぐ新会社、鉏路コールマインの創立総会が開かれ、同炭砒と下請け**1,500**人の中から**500**人を採用する事などを決める。

24 鉏根の市町村教委、校長会、**PTA**連合会などによる「道教大鉏路校の存続を求める会」が設立される。

27 阿寒観光協会が、日・英・中**3**カ国語のパンフレット『阿寒湖のマリモ』を作成、配布する。



22 国籍不明の不審船が海上保安庁巡視船に発砲し**2**人負傷、応戦して不審船撃沈

(この年)



(この年)

・・ 鉏路港水揚量が前年の全国**5**位から**8**位に後退する。

平成14年(2002)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>9 太平洋炭砒で最後の採炭が行われ、82年の歴史に幕を降ろす。</p> <p>10 「釧釧」合併協議会設置請求書が市長と町長に提出される。</p> <p>14 太平洋炭砒労組臨時大会で閉山提案の受け入れが了承される。</p> <p>16 釧路コールマインが547人の従業員募集を開始する。</p> <p>19 市議会臨時会で9億2千万円融資等の新会社支援策を議決する。</p> <p>21 管内10市町村で釧教大存続を求める署名活動が開始される。</p> <p>22 釧路湿原再生へ国と関係自治体など10機関が「釧路湿原タスクフォース(実行部隊)」を発足させる。</p> <p>25 洋菓子店の老舗「サカエヤ」が75年の歴史の幕を降ろす。</p> <p>30 太平洋炭砒が閉山する。</p> <p>31 釧路コールマインが操業を開始する。</p>   <p>【釧路コールマイン】 上:人車での入坑 下:新会社の看板</p>	<p>1 欧州統一通貨ユーロの流通開始</p> <p>14 道が「太平洋炭砒閉山対策本部」設置</p> <p>23 雪印食品が豪州産牛肉を国内産に偽装</p>
2	<p>1 「くしろスキップカード」事業が本格スタートする。</p> <p>5 炭砒離職者893人対象の臨時職業相談会がヒルトップで開かれる。</p> <p>11 長崎屋釧路店が26年の営業に幕を降ろす。</p> <p>12 「釧釧」合併協議会設置を提案する臨時議会が、市・町各々で招集される。町では、特別委員会で審議することとなる。</p> <p>13 市議会が「釧釧」合併協議会設置を可決する。</p> <p>15 ソルトレク冬季五輪で白幡佳史が4位・岡崎朋美が6位に入賞する。</p> <p>22 音別・白糠の森林組合が翌年9月合併の予備契約に調印する。</p> <p>23 阿寒町への転入者意見発表会が初めて開かれる。</p> <p>26 釧教大存続で9万2千人の署名簿を市長らが大学本部へ提出する。</p>	<p>8 米ソルトレークシティで冬季五輪開幕</p> <p>12 家電量販店道内最大手そうご電器が破綻</p> <p>22 雪印食品が再建断念、4月末解散を決定</p>
3	<p>2 釧路の作曲家集団「アールクシリアン」の初公演が開催される。</p> <p>6 「釧路ロイヤル・イン」が旧東映ホテルを改装してオープンする。</p>	<p>11 北方領土人道支援事業などの疑惑に係る鈴木議員の衆議院証人喚問</p>

<p>7 釧路町議会で「釧釧」合併協議会設置を、白糠・音別を含めた広域合併協議会への移行を条件に可決する。</p> <p>11 台湾サンマ漁船座礁問題で、市が和解案受け入れを決める。</p> <p>15 ホテル「ヒルトップ」と大浴場「クオ」が営業を終える。</p> <p>17 佐々木阿寒町長が3期目不出馬を表明する。</p> <p>19 ごみ処理広域連合の釧路管内6市町村による設置が確定する。</p> <p>22 鈴木代議士への議員辞職勧告決議案を市議会が可決する。</p>	<p>15 鈴木議員が自民党離党を表明</p>
<p>4 1 釧路市にISO14001認証登録証が授与される。</p> <p>1 音別町電話健康相談が開設される。</p> <p>4 釧路工業技術センター開設準備室が市商工労働課に設置される。</p> <p>9 釧路コールマインが本格採炭をスタートさせる。</p> <p>16 国の炭鉱技術移転5ヶ年計画が、コールマインへのベトナム研修生来釧でスタートする。</p> <div data-bbox="526 728 1005 1064" data-label="Image"> </div> <p>【ベトナムからの研修生への指導風景】</p> <p>19 障害児の学童保育「なかよしクラブ」が、城山小空き教室を活用してオープンする。</p> <p>24 「阿寒湖畔エコミュージアムセンター」がオープンする。</p> <div data-bbox="255 1198 925 1556" data-label="Image"> </div> <p>【阿寒湖畔エコミュージアムセンター】 阿寒湖畔ビジターセンターを解体して新築された。</p> <p>25 第二おんべつ学園の「ワークショップ大きな木Ⅱ」がオープンする。</p>	<p>1 定期性預金のペイオフ凍結解除</p> <p>6 公立学校で完全週5日制に移行</p>
<p>5 8 ホクレン釧路地区家畜市場が大楽毛に開設される。</p> <p>12 国内4頭目のBSE感染牛が音別町で確認される。</p> <p>12 太平洋炭砒主婦会が55年の歴史に終止符を打つ。</p> <p>13 第1回釧釧合併協議会が開催される。</p> <p>21 釧路校を小学教員課程のみとする道教大再編案が発表される。</p> <p>24 水産庁が調査捕鯨基地に釧路港を指定する。</p>	<p>25 釧路サティがポスフル釧路に店名変更</p> <p>28 経団連と日経連が統合、日本経済団体連合会発足</p> <p>31 日韓共催のワールドカップサッカー開幕</p>
<p>6 3 釧路市昇雲台斎場の完成式典が開催され、4日から供用が始まる。</p> <p>12 阿寒・音別・白糠・幌呂・鶴居各農協が合併推進委員会を設ける。</p>	<p>19 あっせん収賄容疑で鈴木議員逮捕</p> <p>24 北海道国際航空が民事再生法適用を申請</p>

<p>15 釧路市消防音楽隊のラストコンサートが開催される。</p> <p>21 阿寒町議会が「合併問題等調査特別委員会」を設置する。</p> <p>21 釧路市議会が「市町村合併調査特別委員会」を設置する。</p> <p>29 4市町長と支庁長の協議で広域合併協議会の設置に合意し、阿寒町と鶴居村にも参加呼びかけを確認する。</p>	
<p>7 1 エアーニッポンネットワーク(A-net)の釧路空港第1便が就航する。</p> <p>14 第2回「釧釧」合併協議会が開かれ、6市町村広域合併協議会の枠組みが固まるまで協議を休止することとなる。</p> <p>18 弥生・東中統合準備協議会が発足する。(19日に武佐・緑陵中、22日に桂恋・白樺台小)</p> <p>24 音別町「北のビーナス発見隊」が結成される。</p> <p>29 釧白工業団地にDME実証プラント建設が決まる。</p>	
<p>8 1 釧路市制施行80周年記念式典が挙行される。</p> <p>5 阿寒町が市町村合併説明会を開く。(9日まで6会場)</p> <p>12 ごみ処理を共同で行う6市町村の「釧路広域連合」が設立される。</p> <p>15 音別町乳製品加工研究会が「この町愛すの家・モーちゃん」をオープンする。</p> <p>25 ダイエー釧路店が営業を終了する。</p> <p>27 音別町国民診療所が北海道福祉まちづくり賞で優秀賞を受ける。</p>  <p>【音別町国民健康保険診療所】</p> <p>31 釧路港一釜山港外貿コンテナ船が就航する。</p> <p>.. 阿寒オーストリッチ研究会がダチョウ飼育場を設置する。</p>	<p>1 受託収賄容疑で鈴木議員再逮捕</p> <p>5 「住民基本台帳ネットワーク」が稼働、6自治体不参加</p> <p>8 人事院勧告、公務員給与初の引き下げ</p>
<p>9 2 釧路ビズカフェが北大通に移転オープンする。</p> <p>2 太平洋炭砒離職者からの市採用職員へ辞令が交付される。</p> <p>10 釧路沖での調査捕鯨が始まり、ミンククジラ4頭が水揚げされる。</p>  <p>【調査捕鯨】 水揚げされたミンククジラ</p> <p>11 ツール・ド・北海道国際大会が3年ぶりに釧路でスタートする。</p> <p>18 阿寒町議会が広域合併協議会参加を決める。(21日に市議会・25日に音別町議会、釧路町・鶴居村・白糠町も参加を決める)</p>	<p>18 小泉首相初の訪朝</p> <p>30 小泉第2次改造内閣発足</p>

28 釧路市の「子どもインターンシップ」事業が初めて実施される。

29 音別町で「北のビーナスふる里まつり」が初めて開催される。



【北のビーナスふる里まつり】翌年「北のビーナス露まつり」「同冬まつり」となる。

30 「ハコダテ屋帽子店」が71年の歴史に幕を降ろす。

10 1 釧路工業技術センターがオープンする。



【釧路工業技術センター】

1 コールセンター「三ツ輪ハローサービスセンター」が運用開始する。

1 市役所ユニオンが、33年間の分裂を克服して結成される。

2 台風21号により、釧路气象台観測史上1位の最大瞬間風速38.7m/sを記録し、屋根損壊、停電などの被害を受ける。

10 釧路地域6市町村合併協議会の第1回会議が開かれる。

12 初の欧州便となるイタリアへのチャーター便が発航する。

19 『北海文学』創刊50年記念の原田康子講演会が開かれる。

22 市部長が釧路町長選挙での公選法違反容疑で逮捕される。

28 市助役が逮捕された部長への指示容疑で逮捕される。

31 音別町第3次総合計画策定「まちづくり検討委員会」が発足する。

2 日本航空と日本エアシステム経営統合で日本航空システム設立

2 台風21号、苫小牧市付近に上陸(関東・東北・北海道を縦断し、死者4名、負傷者108人、家屋損壊2,437棟などの被害)

15 北朝鮮拉致事件の生存者5人が帰国

18 道民投票盛り込み道行政基本条例施行

20 釧路町長選で菅原澄町長3選

11 3 綿貫健輔市長が辞職を表明する。

4 市長と合併担当参事が公選法違反容疑で逮捕される。

7 阿寒町商工会の第1回あかん未来塾「風と土の会」が開かれる。

11 「北大通花街道実行委」が5千個のチューリップ球根を植える。

11 合併協議会事務局が錦町駐車場に移転オープンする。

17 阿寒町長選で中島守一前町議会議長が初当選する。

8 国連安保理がイラク査察決議採択

12 12 市議会が議員定数34人から32人への削減を決める。

16 市長選で伊東良孝前道議が初当選する。

25 阿寒町議会が議員定数16人から14人への削減を決める。

平成15年(2003)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>7 阿寒町内114店紹介の『阿寒食べる・買うガイド』を「まりも倶楽部」が作成する。</p> <p>13 全日本Jrスピードスケート釧路大会で、松岡源季(阿寒湖中・緑岡高卒)と山崎めぐみ(同中・星園高卒)が世界選手権出場を決める。</p> <p>14 武佐・緑陵中統合校の校名が公募により「青陵中」に決まる。</p> <p>14 釧路町長選挙介入事件で、市職員15人が懲戒処分を受ける。</p> <p>15 第4回「釧釧」合併協議会で、「6市町村」への発展的解消を決める。</p> <p>15 「麺遊会」の第1回「釧路ラーメン・スタンプラリー」がスタートする。</p> <div data-bbox="454 638 1007 1010" data-label="Image"> </div> <p>【釧路ラーメンマップ】 「麺遊会」所属のラーメン店が一覧できる。</p> <p>16 弥生中・東中統合校の校名が公募により「幣舞中」に決まる。</p> <p>20 桂恋・白樺台小統合校の校名が公募により「東雲小」に決まる。</p> <p>23 群馬インターハイのアイスホッケーで釧路緑岡高が優勝、釧路工業高が準優勝を遂げる。</p> <p>30 阿寒町の「オーストリッチ研究会」がダチョウ13羽を初出荷する。</p> <p>31 釧路市議会の自民党系議員の会派が2つに分かれる。</p>	<p>17 掘知事が3選不出馬表明</p> <p>20 国内6頭目のBSE感染牛、標茶町生産と判明</p> <p>27 厚岸町学校給食で11校659人が食中毒</p>
2	<p>6 平成12年阿寒国際スケートマラソン事業補助金の不適正処理が指摘される。</p> <p>6 環境省が釧路湿原自然再生事業に着手する。</p> <p>11 全国中学校アイスホッケー帯広大会で鳥取中が3連覇を遂げ、北中が準優勝する。</p> <p>19 音別町の大塚製菓釧路工場が一部生産ラインを休止する。</p> <p>21 世界Jrスピードスケート選手権釧路大会が開幕する。(～23日)</p> <div data-bbox="258 1626 823 1957" data-label="Image"> </div> <p>【世界ジュニアスピードスケート選手権釧路大会】</p> <p>22 市政施行80周年記念の「くしろ子ども市議会」が行われる。</p>	<p>3 厚岸町小中学校集団食中毒、給食パンのSRSVが原因と断定</p>

<p>3</p>	<p>2 音別女性団体連絡協議会が創立50周年記念「2003音別女性フェア」を開催する。</p> <p>13 市の保健師が高校で初の避妊法指導の「出前講座」を行う。</p> <p>14 音別町体験学習センター「こころみ」が初の「月面撮影会」を開く。</p> <p>18 市と愛康産業が武佐産廃処分場の環境保全協定を締結する。</p> <p>19 釧路町長選介入事件で綿貫前市長らに有罪判決が下る。</p> <p>20 音別町で合併協議会による住民説明会が開かれる。</p> <p>25 釧路市では初の合併協議会による住民説明会が開かれる。</p> <p>25 「阿寒・屈斜路・摩周カルデラ」が世界遺産候補に選ばれる。</p> <p>26 「釧路市・釧路町合併協議会」が正式に廃止される。</p> <p>29 阿寒町で合併協議会による住民説明会が開かれる。</p>	<p>7 第37回吉川英治文学賞、原田康子「海霧(うみぎり)」が受賞</p> <p>20 米英軍がイラク攻撃開始</p> <p>24 釧路町で合併協議会による住民説明会</p> <p>27 道知事選公示、立候補者9人の激戦</p>
<p>4</p>	<p>1 釧路市が「助役」の呼称を「副市長」と改める。</p> <p>2 阿寒湖温泉旅館組合が「レジオネラ菌安全宣言」を発表する。</p> <p>4 道議選の管内で、岡田篤・小松茂が無投票当選となる。</p> <p>10 合併協議会が、新市に関するアンケートを1万人へ送付する。</p> <p>12 阿寒町初の学童保育所「放課後児童クラブ」がオープンする。</p> <p>13 道議選の市部で、西田昭紘・小畑保則・戸田芳美・蝦名大也が当選する。</p> <p>14 音別町がホームページを開設する。</p> <p>17 道教大釧路校と市教委が「学生ボランティア」の協定書に調印する。</p> <p>21 「麺遊会」が北海道遺産「北海道ラーメン」の担い手団体として認定され、釧路ラーメンが道内四大ラーメンの一つとなる。</p> <p>27 音別町議(定員12名)・阿寒町議(定員14名)選挙が施行される。</p>	<p>1 日本郵政公社が発足</p> <p>4 鶴居村で合併協議会による住民説明会</p> <p>13 道知事・道議選、高橋はるみ初当選</p> <p>27 標茶町長選、今西猛が初当選</p> <p>30 SARSの影響で台湾チャーター便、北海道への乗り入れを自粛</p>
<p>5</p>	<p>3 市のTV広報「くしろ大好き探検隊」が毎土曜に放映を開始する。</p> <p>8 阿寒町が下水処理場への「不明水」調査委員会を設置する。</p> <p>13 コープさっぽろがくしろ市民生協を組織統合する。</p> <p>14 釧路第1学区公立高校適正配置懇話会が、北・星園・西高の3校を統合するなどの再編案を了承する。</p> <p>15 「音別町まちづくり検討委員会」が提言書を町長へ提出する。</p>	<p>1 厚岸町農協と太田農協が合併、「釧路太田農協」発足</p> <p>26 世界自然遺産候補に秘境「知床」</p>
<p>6</p>	<p>1 「釧路西地区に普通科高校を残す会」が署名活動を始める。</p> <p>7 「釧路ふるさとカルタ協会」設立総会が開かれる。</p> <div data-bbox="694 1592 971 2042" data-label="Image"> </div> <p>【完成した「釧路ふるさとカルタ」】 88枚の札で構成されている。</p>	<p>4 屈斜路湖でカヌー転覆事故2人死亡</p> <p>6 有事関連法案成立</p> <p>10 道東自動車道、池田一本別・足寄間開通</p> <p>17 釧路町長、9月中合併是非判断先送り表明</p> <p>17 NHK「プロジェクトX」で「釧路湿原・カムイの鳥舞え」放映</p>

- 11 「釧路観光ボランティアガイドの会」が活動を開始する。
- 19 音別町に「釧路市との合併を考える町民の会」が発足する。
- 21 太平洋炭鉱閉山1年の影響調査で、地域住民**1,600**人余が転居し、**19**社が廃業、市の減収約**3**億円などが判明する。
- 22 音別町で「ウコウナウセラ」が開かれ、初のアイヌ語劇が披露される。
- 23 「釧路市産業再生推進会議」が発足する。
- 24 釧路第1学区公立高校適正配置懇話会が、地域住民の意見も盛り込んだ最終案を、道・市教委へ提出する。
- 29 音別町で**31**年ぶりに「蕎まつり」が復活し、新たに「北のビーナス蕎まつり」として開催される。



【第1回「北のビーナス蕎まつり」】
揃いの編笠・浴衣で踊る「蕎まつり音頭」

<p>7 2 「釧路西地区に普通科高校を残す会」が32,930名の署名簿を市教委へ提出する。</p> <p>12 SARSの影響で運休していた台湾チャーター便が再開する。</p> <p>25 コープさっぽろ貝塚店がオープンする。</p> <p>28 第5回合併協議会で、合併方式を新設合併とする事等を決定する。</p> <p>28 釧路市が「釧路駅周辺まちづくり検討委員会」を設置する。</p> <p>31 北大通KOM1階に「チャレンジショップ」7店がオープンする。</p>	<p>9 国立大学の独立法人化関係6法成立</p> <p>11 白糠町で土砂崩れ、民家4軒損壊、1名負傷し、25世帯が避難</p> <p>26 イラク復興支援特別措置法成立</p>
<p>8 9 全道優勝した音別ヤングースが香川県での「第25回全国スポーツ少年団軟式野球大会」に出場し、敢闘賞を受賞する。</p> <p>10 台風10号により、床上浸水が阿寒町2軒・音別町1軒などの被害を受け、白糠町では17世帯へ避難勧告を出す。</p> <p>17 釧路で初の中体連バレーボール全国大会が開かれる。(～20日)</p> <p>26 6市町村合併協議会小委員会が、合併後2年間全議員が残留できる「在任特例」採用を決める。</p> <p>27 「阿寒町花いっぱい運動推進委員会」が、道路功労者として北海道開発局長賞を受ける。</p> <p>29 「釧路・白糠次世代エネルギー特区」が国から認定される。</p>	<p>10 台風10号が襟裳岬付近に上陸(四国から道東まで列島縦断、死者17人、不明2人、負傷94人などの被害)</p> <p>25 第2次住民基本台帳ネットワークシステムが稼働開始</p> <p>29 鈴木宗男衆議、437日目に保釈</p>
<p>9 1 音別・白糠森林組合が合併し、「くしろ西森林組合」が発足する。</p> <p>3 合併協議会が先行調整項目137件の調整方針案を承認する。</p> <p>6 旧長崎屋釧路店に「アベニュー946」の1・2階部分がオープンする。</p>	<p>20 自民党総裁に小泉総理再選</p> <p>22 小泉改造内閣発足</p> <p>26 民主党と自由党が合併、新「民主党」誕生</p>

- 6 「洲崎町なつかし館『蔵』を再生させる会」が発足する。
- 12 北海道教育大学釧路校が、教員養成課程として存続し、環境教育の充実化を図ると決定する。
- 20 阿寒神社が創建100年の記念大祭を行う。



【阿寒神社】

- 23 新市建設計画「概要版」説明会が阿寒町を皮切りに開かれる。
- 26 十勝沖地震で、釧路市と音別町は震度5強、釧路空港ビル天井崩落、家屋損壊、道路陥没、下水管破損などの被害が出る。



【平成15年十勝沖地震】
左: 突出した音別町のマンホール
右: 倒壊した音別共同墓地の墓石

- 30 幣舞中学校の校歌が公募の歌詞により完成する。

- 10 1 釧路市廃棄物減量等推進審議会が、ゴミ収集の有料化計画についての意見書を市長に提出する。
- 8 十勝沖地震で一部不通になっていたJR根室線が全線復旧する。
- 10 食品スーパーのマックスバリュが春採SCに開店する。
- 20 緑ヶ岡高校が武佐中跡に移転し、校名を「武修館」に改め、中高一貫校となる計画が発表される。
- 26 西港第4埠頭と国道38号線の交通アクセス円滑化の為、JR根室本線の星ヶ浦部分を高架にすることが正式に決まる。

- 11 4 阿寒町が高校生以上全町民5,690人に合併アンケートを送付する。
- 4 釧路市の合併アンケートで、71.8%が賛成と発表される。
- 7 阿寒町が阿寒高校で合併説明会を行い、全校生徒が参加する。
- 9 衆院選道7区で北村直人6選、仲野博子比例復活で初当選する。
- 13 市議会議長に宮下健吉が選任される。

- 26 平成15年十勝沖地震(M8.0)発生、釧路町と厚岸町で震度6弱、死者1人、不明1人、負傷者849人

- 10 衆議院解散、総選挙へ
- 16 環境省が「知床」を世界自然遺産に推薦
- 19 釧路町議選(定数18)実施

- 1 北海道暴走族根絶条例施行
- 9 衆院選で民主177、自民237で単独過半数割れながら、与党3党で安定多数
- 19 第2次小泉内閣発足
- 21 釧路町の合併アンケートで反対約68%

- 15 「釧路湿原自然再生協議会」が設立される。
- 15 幣舞中へ統合する弥生中で「校舎お別れ記念式典」が開かれる。
- 16 音別小学校が開校100周年記念式典と祝賀会を行う。
- 18 青陵中学校の校歌が公募の歌詞により完成する。
- 19 釧白工業団地でDME実証プラントの竣工式が行われる。



【ジ(Di)・メチル(Methyl)・エーテル(Ether)生産実証プラント】

- 21 末広の立体駐車場ビル「パステルパーク」がオープンする。
- 25 釧路湿原大橋の開通式が行われる。
- 26 阿寒町の合併アンケートで、賛成49.6%、反対33.6%となる。
- 28 鳥取西と昭和地区を結ぶはしどい橋が開通する。

- 25 釧路町長、合併協離脱を表明
- 30 根室管内4町の任意合併協解散、中標津と羅臼の2町で法定合併協

- 12 12 伊東市長が、釧路市の合併を正式に表明する。
- 15 高野音別町長が合併を前提とした協議の推進を強調する。
- 15 鉄北地区と新富士、鳥取南などを結ぶ鉄北大橋が開通する。
- 15 「道立総合体育館を誘致する会」が解散し、「釧路地域総合体育館建設促進協議会」が設立される。
- 16 中島阿寒町長が合併推進を表明する。
- 25 十勝沖地震で被害を受けた直別駅舎が改築され、供用開始する。





【改築されたJR直別駅】

- 26 釧路地域6市町村合併協議会が、翌年3月で解散し、それ迄に新たな合併の枠組みを構築してゆく事を決める。
- 29 阿寒観光ホテルが営業を停止し、施設を鶴雅に譲渡する。

- 11 鶴居村長、合併の是非判断を翌年3月まで延期を表明
- 15 白糠町長、合併協議継続の意向を表明
- 26 空自先遣隊がイラクへ出発
- 26 米BSE問題で厚労省が米国産牛禁輸決定

平成16年(2004)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>15 阿寒湖畔で13～15日の降雪量88cm、積雪量は184cmに達し、2日間「陸の孤島」になる。</p> <p>18 日本製紙クレインズがアジアリーグの初代王者になる。</p> <p>22 阿寒湖畔で統計上第1位の最深積雪量218cmを記録する。</p> <p>27 「くしろ西森林組合」が道から中核森林組合の認定を受ける。</p> <p>30 市が鶴丘スキー場の今シーズン限りで営業休止の方針を決める。</p>	<p>15 暴風雪により北網・釧根の内陸部で道路の大部分が長期間通行止め</p> <p>21 再度の暴風雪、美幌峠が8日ぶりの開通後5時間で通行止めなどの被害</p>
2	<p>2 雇用関係4機関が移転・開所する「釧路雇用労働センター」が、MOOの2階で業務を始める。</p> <p>19 市動物園が鳥インフルエンザ対策で鳥類の檻に仕切り壁を作る。</p> <p>23 音別町初の認知症高齢者グループホーム「そら」が開所される。</p>  <p>【グループホーム「そら」】</p> <p>24 音別の「キナシベツ湿原を愛する会」と首都圏の大学生らが、アオサギの営巣地を調査する。</p> <p>28 南大通活性化を目指す「釧路の『かお』づくりプロジェクト」の第1回会合が開かれる。</p> <p>29 音別町で第1回「北のビーナス冬まつり」が開催される。</p>	<p>3 陸自本隊、千歳基地からイラクへ出発</p> <p>10 道警裏金疑惑で原田元釧本部長が証言</p> <p>23 暴風雪の厚岸で同僚の車救出作業中にトレーラー突入、太田中教員が2人死亡、5人重軽傷</p> <p>27 京都府丹波町の養鶏場で2万8千羽の鶏が鳥インフルエンザで死亡と発表</p>
3	<p>1 釧路市健康推進課がMOO3階に移転・開所する。</p> <p>4 日栄総合技術専門学校が音別では最後の卒業式を行う。</p> <p>10 阿寒町が温泉排水の下水道使用料徴収率倍増を決める。</p> <p>16 市鶴丘スキー場が最後の営業を終え、33年の歴史に幕を降ろす。</p> <p>17 ゴミ有料化案が市議会で継続審議となり、関連予算が凍結される。</p> <p>19 青陵中へ統合する武佐中で「校舎お別れ記念式典」が開かれる。</p> <p>24 統合する市内4中学校で「校旗返還式」が行われる。</p> <p>31 「釧路地域6市町村合併協議会」が正式に廃止される。</p>	<p>7 11頭目のBSE感染牛、標茶町で確認</p> <p>16 政府、鳥インフルエンザ緊急対策決定</p>
4	<p>1 阿寒湖畔オンネチセでユーカラ劇の長期公演が始まる。(～5/29)</p> <p>1 音別町が可燃ごみの釧路市最終処分場搬入を始める。</p> <p>6 統合新設の幣舞中と青陵中で開校式が行われる。</p>  <p>【左: 幣舞中学校校章 右: 青陵中学校校章】</p>	<p>1 平成の大合併で11市が誕生</p> <p>1 商品価格が税込みの総額表示に</p> <p>8 イラクで日本人3人が拉致され、犯人が自衛隊撤退を要求</p> <p>11 鶴居村議会が合併協参加を可決</p> <p>11 鶴居村長選、錠者村長が不出馬表明</p> <p>20 鶴居村長に日野浦正志初当選</p>

<p>14 水森かおりの新曲「釧路湿原」が発売され、釧路でサイン会を開く。</p> <p>20 十勝沖地震で崩落した釧路空港ビル天井の改修が終了する。</p> <p>27 十勝沖地震で倒壊した巖島神社の鳥居の復旧工事が完了し、落成式が行われる。</p>	
<p>5 2 「洲崎町なつかし館『蔵』」が毎日曜のみ開館で仮オープンする。</p> <p>8 「市民活動センター」の運営協議会「わっと」が設立される。</p> <p>10 音別町議会が釧路市を含めた広域合併参加を決める。</p> <p>12 根釧西部森林管理署と阿寒町が「阿寒湖のマリモと水源林の保全に関する森林整備協定」を締結する。</p> <p>13 釧路市が、国の雇用機会増大促進の支援地域に選ばれる。</p> <p>30 釧路ステーションデパートが閉店し、43年間の歴史に幕を閉じる。</p> <p>31 釧路市・白糠町・阿寒町・音別町が合併協議会設立を決める。</p>	<p>11 白糠町長に棚野孝夫3選</p> <p>20 鶴居村長、合併協への当初不参加を表明</p> <p>25 霧多布湿原トラストが道内初の国税庁認定NPO法人に</p>
<p>6 1 「釧路子ども家庭支援センター」が旭児童センター2階に開設される。</p> <p>2 MOO運営の釧路河畔開発公社が特定調停申し立てを決める。</p> <p>4 道教大が釧路市、厚岸・標茶・釧路町と「相互協力協定」を結ぶ。</p> <p>18 MOO2階に屋台村「港の屋台」がオープンする。</p>  <p>【賑わいをみせる「港の屋台」】</p> <p>22 白糠・音別両町議会が合併協議会への参加を決める。</p> <p>23 阿寒町議会が合併協議会への参加を決める。</p> <p>25 市議会が継続審議になっていたゴミ有料化案を可決する。</p> <p>25 市議会が合併協議会への参加を決める。</p> <p>29 釧路市が「バーコード入札」を開始する。</p> <p>30 釧路地域4市町村合併協議会の設置調印式が行われる。</p>	<p>7 駐沖縄米海兵隊の一部が矢白別へ移転を打診と判明</p> <p>13 標津町住民投票、7割が「合併しない」</p> <p>25 参院選で初の期日前投票スタート</p>
<p>7 1 ジョブカフェ北海道・釧路サテライトがMOO2階にオープンする。</p> <p>1 釧路西郵便局が市の事務委託業務を開始する。</p> <p>3 「洲崎町なつかし館『蔵』」が正式にオープンし、イベントを行う。</p>  <p>【洲崎町なつかし館『蔵』】 左: オープンに向けての改装 右: 「蔵」での演奏会</p>	<p>7 鶴居村民アンケート、6割が「自立」</p> <p>11 参院選で15年ぶりに野党が「改選第1党」</p> <p>16 鶴居村が「自立」を正式に表明</p> <p>16 塘路湖で道内初のコイヘルペス発生</p> <p>21 コイヘルペス、達古武・シラルトロ湖にも</p> <p>21 水産庁、ミンククジラの調査捕鯨を毎年実施に決定</p> <p>28 厚岸・浜中・標茶・弟子屈町の釧路東部地区合併等研究会解散</p>

- 6 公立大学が台湾の明道管理学院と協力協定を締結する。
- 7 第1回釧路地域4市町合併協議会が開かれる。
- 12 市がゴミ収集有料化の住民説明会を始める。(9月末まで40ヶ所)
- 15 「音別・昔のくらし」をテーマに模型で再現した四部作が完成し、ふれあい図書館に展示される。
- 16 「アメリカ伊能大図里帰りフロア展 in 釧路」が開催される。(～19日)



【左:世界初の「伊能大図」全体像完成 右:多くの人が訪れた会場】
大盛況のうちに展示は終了し、4日間で22,739人が訪れた。

- 24 釧路港が「みなとまちづくりモデル港」に選ばれる。
- 26 音別町の日栄総合技術専門学校が閉校式を行う。
- 29 4市町の社会福祉協議会が合併協議会を設立する。

- 8 1 「市民憲章制定40周年の集い」が開催される。
- 3 「世界子どもサミット釧路大会」が開催される。(～7日)
- 4 第2回4市町村合併協議会で、平成17年10月11日新設合併、新庁舎は現市役所などを決定する。
- 6 「くしろ港まつり」と「霧フェスティバル」が初めて同時開催される。
- 13 阿寒町商工会が開発した「エジシカバーガー」の販売が始まる。



【人気商品となったエジシカバーガー】

- 15 第30回くしろ千灯祭が行なわれ、この回をもって幕を閉じる。
- 29 「くしろ市民活動センター」がパステルビルにオープンする。
- 30 丸井今井の大通館(旧丸三鶴屋本館)が閉館する。
- 31 台風16号の暴風雨で釧路市内の道路各所が冠水する。

- 23 斜里町が「知床町」への改称断念、羅臼町・中標津町も「知床市」不採用を申し入れ
- 31 台風16号、九州・中国地方を縦断後、函館付近に再上陸、本道横断後網走沖へ、死者14人・行方不明3人・負傷者260人・住家損壊10,177棟

- 9 1 東雲小学校の公募歌詞による校歌が完成する。
- 1 湖陵高生物部が春採湖で絶滅危惧種ニホンザリガニを確認する。
- 3 新旧7イベントを結集した「第1回釧路大漁どんぱく」が開幕し、3日間でのべ20万人以上が参加する。(～5日)
- 8 台風18号により、釧路で観測史上第2位の最大瞬間風速37.7m/sを記録し、停電やタン屋根がはがれるなどの被害が出る。
- 13 釧路沿岸ミンククジラ調査捕鯨でこの年初の水揚げがある。

- 2 小泉首相、北方領土初の洋上視察
- 8 台風18号、九州横断後列島に沿って日本海北上、広島で60.2m/s、札幌で50.2m/sなど猛烈な風、死者43人、行方不明3人、負傷者1,399人、住家損壊64,993棟
- 14 中標津・羅臼町合併協、新市名「東知床市」に決定

	<p>20 音別町社協と音別憩の里が、初の合同運動会「ふれあい広場」を開催する。</p>	
10	<p>8 音別町の「住民投票を求める会」が署名活動を始めます。</p> <p>10 桂恋小で「校舎お別れ記念式典」が開かれる。</p> <p>17 釧路市が「鯨に親しむ市民の集い」を開催する。</p> <p>25 阿寒観光協会と阿寒湖温泉まちづくり協議会が合併する「阿寒観光協会まちづくり推進機構」が設立され、NPO法人を申請する。</p> <p>28 新潟県中越地震に対する支援で市職員を派遣する。</p> <p>31 太平洋炭鉱労働組合が解散し、59年の歴史に幕を閉じる。</p>	<p>1 平成の大合併、この日10市13町誕生</p> <p>13 白糠町庶路ダム完成式</p> <p>18 中標津町議会、合併住民投票条例案可決</p> <p>22 北海道遺産第2次分27件選定</p> <p>23 新潟県中越地震発生、M6.8、死者65人、負傷者4,805人</p>
11	<p>2 釧路沖の調査捕鯨が、ミンククジラ59頭を捕獲して終了する。</p> <p>4 市選管初の女性委員長として岩淵雅子が選出される。</p> <p>10 音別町の「住民投票を求める会」が1,014人分の署名を提出する。</p> <p>10 太平洋炭鉱「懐かしの映像展」が開催される。(～14日)</p> <div data-bbox="263 786 619 1261" data-label="Image"> </div> <p>【太平洋炭鉱「懐かしの映像展」ポスター】訪れた人々で会場は満員となり、大盛況のうちに終了した。</p> <p>11 新「道道釧路空港線」が開通する。</p> <p>12 第5回4市町合併協議会で、新市名を「釧路市」に決定する。</p> <p>14 阿寒町で国交省の「ボランティアホリデイ」のモデル事業が始まる。</p> <p>22 音別町が9会場12回の合併に向けた住民説明会を始めます。</p> <p>29 釧路沖の地震で市は震度5弱、負傷7人、停電などの被害が出る。</p>	<p>1 新紙幣流通開始</p> <p>5 鈴木宗男元衆議に実刑判決</p> <p>10 摩周湖上空にオーロラが出現</p> <p>24 白糠町の「住民投票を求める会」、署名活動を開始</p> <p>28 中標津町の住民投票、「合併反対」60.8%</p> <p>29 釧路沖でM7.1の地震発生、釧路町、別海町で震度5強、負傷者52人</p>
12	<p>1 コールマインなど出資の「釧路オートリサイクル」が釧白工業団地で工場起動式を行う。</p> <p>10 音別町議会が住民投票条例案を否決する。</p> <p>13 阿寒町「4市町合併を考える会」が住民投票条例の制定を申し入れる。</p> <p>14 第5回4市町合併協議会で、市議報酬など調整項目の協議を終え、合併協定案が承認される。</p> <p>17 阿寒町長が住民投票実施の考えはないと表明する。</p> <p>20 阿寒町が合併へ向けた5会場の住民説明会を始めます。</p> <p>31 NHK紅白歌合戦で、水森かおりが「釧路湿原」を熱唱する。</p>	<p>1 道内合併第1号新「函館市」誕生</p> <p>6 中標津町と羅臼町、合併断念</p> <p>6 釧路沖でM6.9の地震発生、厚岸町で震度5強、負傷者12人</p> <p>8 白糠町議会、合併住民投票条例案可決</p>

平成17年(2005)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>5 明治24年創業の薬局「イワホリ」が自己破産を申請する。</p> <p>6 音別町「住民投票を求める会」が高野武町長の解職を請求する。</p> <p>7 釧路公立大学附属図書館の増築・改修工事が完了する。</p>  <p>【釧路公立大学】</p> <p>8 阿寒町「4市町合併を考える会」が、住民投票条例制定を請求する署名活動が始める。</p> <p>8 音別町長解職請求に対し、「高野武町長を支える会」が開かれる。</p> <p>18 釧路市青少年科学館が閉館する。</p> <p>26 阿寒町「4市町合併を考える会」が、453名分の署名を提出する。</p> <p>31 釧路市・阿寒町・音別町が合併協議会を設置する。</p>	<p>16 白糠町の住民投票、合併反対55.7%</p> <p>18 釧路沖震源の地震(M6.4)、厚岸で震度5強</p>
2	<p>4 「末広はしご酒大会・冬の陣」が初めて開催される。</p> <p>5 第1回3市町合併協議会で、4市町協定の修正案が了承される。</p> <p>5 「くしろ橋南西ゆめこい倶楽部」が設立される。</p> <p>6 阿寒町で6会場7回の「3市町合併」住民説明会が始まる。</p> <p>7 音別町「住民投票を求める会」が、町長のリコールを断念する。</p> <p>9 釧路市で4会場の「3市町合併」住民説明会が始まる。</p> <p>11 音別町で2会場3回の「3市町合併」住民説明会が始まる。</p> <p>12 釧路臨港鉄道の開業80周年記念列車が運行される。</p> <p>13 全国中学校アイスホッケー東京大会で、北中が11年ぶり6度目の優勝、統合新設校の青陵中が準優勝する。</p> <p>16 3市町の社会福祉協議会が合併協議会を設立する。</p> <p>22 MOO釧路の特定調停案が金融機関6行と合意に至る。</p> <p>25 第2回合併協議会が開催され、新市建設計画を承認する。</p> <p>28 阿寒町議会が住民投票条例案を否決する。</p>	<p>4 国内初の変異型クロイツフェルト・ヤコブ病による死者を確認</p> <p>11 阿寒町の姉妹都市阿蘇町、合併して「阿蘇市」となる</p> <p>16 地球温暖化防止に向けた京都議定書発効</p>
3	<p>1 釧路保健所が「禁煙・分煙施設認証制度」が始める。</p> <p>3 釧路市長・阿寒町長・音別町長が合併協定書へ調印する。</p> <p>13 阿寒アイヌ工芸共同組合が長編ユーカラ劇を札幌で公演する。</p> <p>15 釧路市・阿寒町・音別町各議会で合併関連議案を可決する。</p> <p>24 桂恋小と白樺台小の各々で「校旗返還式」が行われる。</p> <p>31 中江学園釧路調理師専修学校が閉校する。</p> <p>31 道立釧路病院で最後の外来診療を終え、閉院式が行われる。</p>	<p>18 国泰寺の『日鑑記』、国の重文指定</p> <p>19 道横断自動車道、本別—釧路間着工式</p> <p>25 白糠・音別・阿寒・鶴居4市町村の商工会、「釧路西部商工会広域連携協議会」設立</p>

- 4
- 1 釧路市のゴミ処理有料化がスタートする。
 - 1 雌阿寒岳火山防災広域通信網が稼働を始める。
 - 1 市教委が市立学校敷地内を全面禁煙とする。
 - 5 新市議会運営調整会議の初会合が開かれる。
 - 6 桂恋小・白樺台小の統合校、東雲小学校で開校式が行われる。



【左:東雲小学校新校舎 右:東雲小学校校章】

- 10 釧根初の中高一貫教育校となる武修館中学校が開校式を行う。
- 17 市内循環バス「くるりん」の運行が終了する。
- 20 3市町の社会福祉協議会が合併協定書へ調印する。
- 22 釧路地域の「産官学」連携事業として、「釧路ITクラスター推進協会」が設立総会を開く。
- 25 釧路管内西部5農協合併推進委員会で、阿寒農協を除く4農協が合併する方針を決める。
- 29 MOOで「ダチョウバーガー」「エゾシカバーガー」試験販売を始める。

- 1 ペイオフ全面解禁
- 1 個人情報保護法全面施行
- 6 厚岸産カキから貝毒発見、出荷停止
- 26 厚岸産カキの出荷再開

- 5
- 4 釧路市動物園が累計入場者500万人を達成する。
 - 9 釧路市が城山小空き教室に「太平洋炭砒資料室」を開設する。



【太平洋炭砒資料室】
太平洋炭砒82年の歩みを1,620点の資料により公開している。

- 12 MOO再生プランを策定する市民委員会が発足する。
- 16 市長らが札幌の丸井今井本社を訪ね、アーケード建設などの支援策を示し、釧路店存続を要請する。
- 19 クジラのまちづくりに取り組む「釧路くじら協議会」が発足する。
- 23 第3回合併協議会で、現市章の使用などを決める。
- 28 DV被害者支援組織「駆け込みシェルター釧路」が設立される。

- 9 野付半島と風蓮湖のラムサール条約登録確認書へ根室市・別海町・標津町が調印
- 10 道内生息のタンチョウヅル、初の千羽超え(1,003羽確認)

- 6 2 「釧路の百貨店を守る会」が結成され、丸井今井の存続を求める。
 3 市民有志による「くしろ鯨ブランド研究会」が発足する。
 12 市が「釧路の捕鯨史を語る会」を開催する。
 15 幣舞橋の街路灯がオレンジ色のナトリウム灯に交換される。
 17 白糠町が10月以降、消防事務を委託する事で釧路市と合意する。
 19 音別町が「分村90周年記念式典」を開催する。



【音別町分村90周年記念式典】

- 20 市長が韓国でのIWC総会に政府代表団の一員として出席する。
 24 丸井今井が2006年8月の釧路店閉店の方針を表明する。

- 7 4 北西太平洋調査捕鯨船団の母船が釧路に初入港する。
 9 釧路こども遊学館がオープンする。



【釧路こども遊学館】

- 9 初の野外ジャズフェス「ワンダーカーニバル」が西港で開かれる。
 13 阿寒湖畔で将棋の王位戦(羽生vs佐藤)対局が行われる。
 14 阿寒湖畔で火山噴火防災総合訓練が初めて行われる。
 16 豊漁・安値のため、サンマ流し網漁が初の休漁措置をとる。
 19 音別町長選と町議補選(欠員1)が告示され、高野町長が無投票で3選される。補選は24日に投票となる。
 29 「伊能図展」と国土地理院長の講演会が開かれる。
 30 釧路市民球場で、北海道日本ハムファイターズの公式戦が初めて行われる(対オリックスブルーブス)。

- 2 別海町で根室管内初のBSE牛確認

- 1 道議会が道内15地域の合併を可決
 8 道知事が3市町合併を決定
 14 知床、「世界自然遺産」に登録決定
 29 「山本多助エカシ展」、岡山市を皮切りに道内外4都市で開催

<p>8 1 阿寒湖畔で無料循環バスが10月16日まで運行される。 6 港まつりのイベントで、第1回釧路港舟漕ぎ大会が開かれる。 19 官報に新「釧路市」の設置が告示される。 26 コールマインが修学旅行の高校生を初めて入坑させる。 26 阿寒「ほろろん祭り」に釧路・音別からも無料送迎バスを運行する。 31 阿寒アイヌ民族文化保存会が愛知万博で古式舞踏を公演する。</p>	<p>3 釧路保健所のアスベスト立入り調査、管内 14ヶ所中10ヶ所で飛散対策不十分 8 郵政民営化法案参院で否決、衆院解散 29 さんま漁業漁獲協定管理委員会、豊漁・安値のため48時間休漁決定</p>
<p>9 2 最終会議となる第4回合併協議会が開かれ、新市の市長職務執行者を中島阿寒町長に決定する。 3 水森かおり「釧路湿原」歌碑がMOO横に設置される。</p>  <p style="text-align: center;">【「釧路湿原」歌碑】 パネル右横のスイッチを押すと「釧路湿原」が再生される</p> <p>3 橋南西ゆめこい倶楽部の「パラソルショップ」が初めて開かれる。 7 台風14号により音別で床上浸水、阿寒で崖崩れの被害が出る。 11 衆議選道7区で民主党前職仲野博子が選挙区では初当選、鈴木宗男元衆議が道比例で返り咲く。 15 音別中学校で町史を学ぶ合併記念公開講座が開かれる。 17 「鯨と食文化を語る市民の夕べ」が開催される。 27 音別町が新市でのゴミ有料化説明会を始める。(3日まで、8ヶ所) 27 阿寒湖がラムサール条約登録を申請される。 28 MOO再生市民委員会が市町へ提言書を提出する。</p>	<p>7 台風14号、瀬棚町に再上陸、本道北部を横断(九州上陸、列島に沿い日本海北上、死者26人、行方不明3人) 11 第44回衆議院議員選挙、自民党圧勝 27 根室のサンマ漁船がイスラエル貨物船に衝突され、乗組員7人が死亡 30 釧路西部消防組合が解散式</p>
<p>10 1 「釧路ラーメンフェスティバル ら・フェスタ2005」が開催される。 3 連合釧路が伊東市長と政策協定を結び市長選で推薦する。 5 野口雨情の歌碑が釧路信金本店前に建立される。 6 「音別町に感謝する集い」が町民文化会館で開かれる。 7 阿寒町公民館で「感謝する集い」が開かれる。 11 釧路市・阿寒町・音別町が合併し、新「釧路市」が発足する。</p>	<p>1 第18回国勢調査実施</p>